

ハートライフ病院 30 周年記念特別号

社会医療法人 **かりゆし会 年報** 第25 巻 平成30 年度
(平成30 年4 月1 日～平成31 年3 月31 日)

Annual report of Social medical corporation KARIYUSHIKAI
Vol.25 2018(April 1,2018-March 31,2019)

年報発刊によせて



沖縄県の保健医療領域における課題と思われる2点について述べたいと思います。

一つ目は、県医師会プロジェクトで「65歳未満健康・死亡率改善プロジェクト～働き盛り世代の健康づくり～」です。1995年世界長寿宣言をしましたが、2010年は330ショック（平均寿命女性3位、男性30位への転落）、2015年は男性36位、女性7位と益々悪化の一途をたどっています。その原因を調べてみると、30～64歳の健康状態に大きな問題があり、2017年の粗死亡率は男性5位、女性4位でした。死亡総数は1909人で、その内訳は男性1,294人、女性615人です。その原因を調べますと、高血圧関連疾患が1位で284人、次いで自殺が2位で179人、大腸がんが3位で131人、女性特有のがんが4位で105人、不慮の事故が5位で91人、アルコール性肝疾患が6位で90人、肺がんが6位で90人でした。高血圧性関連疾患の中でも脳内出血による死亡が83人です。モデル地域（10万人前後）を選定し、市行政、協会けんぽ、地域住民、医療機関等と連携し、「適切な血圧を管理する地域づくり」、「高血圧関連疾患の死亡を防ぐ」、「脳出血死亡ゼロ」を旗印に掲げ進む予定です。

二つ目は、地域医療構想と医師の働き方改革そして医師の地域偏在・診療科偏在および新専門医制度です。地域医療構想は病床機能分化・連携そして病床の収れん化です。その後に病院機能分化・連携、更に疾患別機能分化・連携と集約化でしょうか。医師の働き方改革は医師の健康保持と地域医療・救急医療の継続との兼ね合いが求められます。当直の中身の評価と年間の時間外勤務の上限（地域基幹病院や研修医に加え熟練度が求められる時期はそれなりの時間外勤務:1860時間以内/年間）が暫定的に認められました。医師の地域偏在・診療科偏在に関する新しい指標では、沖縄県は全国に対し医師が多い地域です。宮古・八重山医療圏は中程度、産婦人科医師数も中程度、小児科医師数は少数地域です。新専門医制度では19領域中14領域（外科、産婦人科、臨床検査、病理、総合診療を除く）においてシーリング（上限枠）が検討されています。県の小児科医は過去2年間専攻医平均11名でシーリングがかかり、9名を指標にしているようです。厚生労働省発表や診療現場の実情と剥離した方針が専門医機構から出され、大きな問題となっています。

社会医療法人かりゆし会
理事長 安里 哲好

目次

年報発刊によせて	3
ハートライフ病院 平成 30 年度 年次報告	7
年報発刊によせての挨拶	9
病院概要	20
組織概要	20
施設概要	20
診療体制	23
ハートライフ病院 平成30年度事業目標	24
患者統計	29
外来・救急外来	29
入院	33
医療の質 Quality Indicator (QI)	39
地域医療支援病院認定 関連統計情報	44
ハートライフ病院 DMAT	47
ハートライフ病院財務状況推移	49
社会医療法人かりゆし会 財務状況推移	50
社会医療法人かりゆし会 平成 30 年度の活動実績	51
平成 30 年度患者満足度調査	54
平成 30 年度職員満足度調査	59
部署別業務実績	63
医 局	64
各科概要・実績	74
総合内科	74
呼吸器内科	76
循環器内科	77
消化器内科	80
肝臓内科	83
血液内科	85
小児科	88
心療内科	90
外 科	91
整形外科	96
形成外科	98
脳神経外科	101
眼 科	103
耳鼻咽喉科	105

泌尿器科	106
産婦人科	108
皮膚科	110
放射線科	111
麻酔科	112
血液浄化部	114
口腔ケア科	116
救急総合診療部	120
メディカルクラーク	124
看護部	127
各部署概要・実績	131
外来	131
救急外来	135
人工透析室	137
手術室・中央材料室	139
ICU	142
東館 4・5 階病棟（産科・婦人科・女性混合）、 産婦人科外来	145
3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科・ 形成外科）	148
東 2 階病棟（旧 3 階新病棟）	151
4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）	153
5 階病棟（消化器内科・小児科）	155
6 階病棟（血液内科・腎臓内科）	157
7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科）	159
内視鏡センター	161
医療技術部	165
各部署概要・実績	165
放射線科	165
臨床検査科	172
臨床工学科	176
栄養科	187
薬局	190
リハビリテーション科	192
医療安全管理室	199
感染対策管理室	203
栄養サポート室	208
内視鏡センター	211

予防医学センター	216	附属施設	301
患者総合支援センター	222	疾病予防運動施設リユーズ	301
地域医療連携室	223	ヘルシーカフェ ohana	303
入退院支援室	225	ハートライフ地域包括ケアセンター	
医療福祉相談室	228	平成 30 年度 年次報告	305
がん相談支援室	230	年報発刊によせての挨拶	307
患者サポート窓口	230	施設概要	309
法人事務局	233	はーとらいふ保育園	
ハートライフ病院 経営企画室・法人事務局		平成 30 年度 年次報告	313
経営企画室	233	年報発刊によせての挨拶	315
電算係	237	施設概要	316
広報係	238	組織概要	316
人事課（法人事務局）	240	かりゆし会の 1 年	319
財務・経理課	241	かりゆし会平成 30 年度永年勤続者 …	325
病院 事務部	242	30 年勤続者	326
各部署概要・実績	243	20 年勤続者	327
総務課	243	10 年勤続者	328
管財課	245		
診療情報管理室	254		
医事課	256		
附随業務部門 食堂とまと	258		
事務部 年度総括	261		
委員会活動	263		
ハートライフクリニック			
平成 30 年度 年次報告	279		
年報発刊によせての挨拶	281		
クリニック概要	282		
組織概要	282		
施設概要	282		
患者統計	284		
部門別業務実績	289		
糖尿病内科	290		
内科	298		
小児科	300		

笑顔で親切、
ハートライフ病院

笑顔だと、
気持ちいいよね。

ハートライフ病院 平成 30 年度 年次報告

Annual report of Heartlife hospital 2018



理念

わたしたちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 急性期医療（質の高いチーム医療）
2. 地域完結型医療（地域保健・医療・福祉施設との連携）
3. 救急医療（24 時間二次救急）
4. がんの予防と治療
5. 研修教育病院
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切

年報発刊によせての挨拶



本年度も全職員が「より安全な医療」、「より質の高い医療」の実現のために努力した一年であり、そして社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院の創立 30 周年を迎えることができた記念の年でもありました。今回の年報は一年間の職員の頑張った記録を載せると同時に「ハートライフ病院 30 周年記念特別号」となりました。30 年をかけて、ハートライフ病院は沖縄県中南部東海岸の中核病院としての役割を少しずつ果たせるようになってきました。

次ページから始まる 30 年の歩みを読んでいますと感謝の言葉しかありません。ハートライフ病院創始者の天願勇先生はじめ、先輩職員の皆様に対する感謝。年々増大する仕事量や患者さんのニーズに応えるべく日々一生懸命働いてくださっている職員の皆様への感謝、また職員を支えてくださっているご家族の皆様への感謝。ハートライフ病院へ患者さんを紹介して下さっているクリニックや病院の先生方、連携を密にしている医療介護の施設への感謝。一刻も早く治療をしないとイケない救急患者さんを搬送して下さる救急隊への感謝。そしてハートライフ病院を選んで下さり、通ってくださっている地域住民の方々への感謝。感謝の念が次々と湧いて尽きることがありません。

感謝の気持ちを込めて 2018 年の 10 月には横倉義武日本医師会会長の記念講演会と祝賀会、11 月には「ハートライフ病院健康祭り」を開催することができました。また、毎年 8 月 22 日に全職員に配布している感謝のお菓子も平成 30 年は家族の皆様と味わって欲しいとグレードアップすることができました。

本年度は「10 年後もハートライフ病院が地域の中核病院として輝けるために」をコンセプトに 35 億円を投入し 5 年間かけて行ってきた病院の各部門の増築改修工事が終了しました。増改築工事を行いながら医療活動を継続していくことは本当に大変なことです。この難しい事業を成功させた當銘事務部長はじめ事務部の方々、5 年間計画通りに工事を完成させた松尾建設様に心から感謝申し上げます。この増築改修が完成したことにより 2019 年～2023 年の 5 年間で徐々にハートライフ病院の診療実績が向上してくると思います。また、そのためには現在も進行中である「5 年後をめざした人材育成」に各部署のリーダーが必死に取り組んでいかなければなりません。

これからも日々の診療の中で患者さんに対して、また職員同士で「笑顔で親切、ハートライフ病院」を実践して参ります。

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
院長 奥島 憲彦

A group photo of four men in business suits standing behind a desk in an office setting. The men are arranged in a row, smiling at the camera. The desk in front of them has some papers and a small blue cup. The background shows office partitions and a printer on the right.

A photograph of a multi-story building under construction. The structure is heavily encased in scaffolding and formwork, particularly on the upper floors. The building has a light-colored facade with visible window openings. In the foreground, there is a dirt area and some green vegetation. The sky is overcast.

1988年 (S63)					1989年 (H1)					1990年 (H2)		1991年 (H3)				1992年 (H4)				1993年 (H5)	1994年 (H6)		1995年 (H7)		1996年 (H8)		1997年 (H9)										
2月	5月	8月	10月	11月	2月	4月	5月	6月	9月	2月	7月	10月	1月	4月	6月	10月	11月	12月	1月	4月	7月	10月	5月	1月	6月	8月	8月	12月	6月	12月	5月	7月					
医療法人かりゆし会病院改修工事開始 (旧沖縄白十字病院改修工事開始)					増床(300床)の認可を受ける 3階病棟(51床)開棟 人工透析室開設 職員互助会発足					増床(300床)の認可を受ける		本院前出入口に信号機設置 整形外科開設 小児科開設 保健相談室開設				本院3階病棟開棟(50床) 脳神経外科開設 西館(旧館)改修工事開始 本館完成・移転(4・5・6階病棟) 泌尿器科開設 院内保育園ドリームオープン				院内合同慰霊祭 ハートライフ病院増改築落成記念祝賀会 ハートライフ病院クランドオープン 7階病棟開棟(50床) 増改築工事完成(300床) 西館(旧館)改修工事終了 耳鼻咽喉科開設 眼科開設				産婦人科病棟開棟(29床) 形成外科開設 言語療法開設 院内喫茶店グリーンゲイブルズオープン メデカルサービスセンター(人間ドック)オープン				脳ドック開始 女子職員のユニフォームリニューアル ハートライフ病院看護師会発足		第1回院内研究発表会開催 部分業分業開始(院外処方発行) 保育園リニューアルオープン 麻酔科開設		臨床検査室移転(本館8階より西館3階へ)		骨塩定量機器設置 病理解剖実施 内視鏡センターオープン		外来患者予約システム試験運用開始 人間ドック検査部門及び受付9階へ移動 訪問看護室・医療相談室・予約受付・透析室一部変更	



現・本館の外来オープン時の式典の様子

[illegible]

へんせん 広報誌あすなろの変遷

社会医療法人かりゆし会 30年の歩み
ハートライフ病院

2005 to 2018



救急外来リニューアル運用開始



常用発電機稼働開始



マルチスライスCT導入



卒後臨床研修医第1期生 3名修了



頭頸部腫瘍センターオープン式典の様子

2005年 (H17)					2006年 (H18)					2007年 (H19)					2008年 (H20)					2009年 (H21)					2010年 (H22)					2011年 (H23)				2012年 (H25)						
2月	3月	7月	8月	10月	12月	3月	6月	7月	8月	12月	3月	4月	5月	6月	10月	11月	4月	7月	8月	9月	10月	1月	2月	3月	4月	6月	8月	9月	2月	3月	4月	5月	9月	11月	1月	3月	4月	4月	9月	12月
救急外来リニューアル運用開始					『特定医療法人かりゆし会』から『特定特別医療法人かりゆし会』へ変更	救急救命士による薬剤投与実習受入開始					救急救命士による薬剤投与実習受入開始	救急救命士による薬剤投与実習受入開始					救急救命士による薬剤投与実習受入開始	救急救命士による薬剤投与実習受入開始					救急救命士による薬剤投与実習受入開始	救急救命士による薬剤投与実習受入開始					救急救命士による薬剤投与実習受入開始	救急救命士による薬剤投与実習受入開始					救急救命士による薬剤投与実習受入開始	救急救命士による薬剤投与実習受入開始				



救急救命士による薬剤投与実習受入開始



20周年記念講演・祝賀会



久場良也医師が総務大臣賞（救急功労者）を受賞



無菌治療センター開設

病院機能評価

ハートライフ病院は1999年2月に医療施設の機能を評価する財団法人日本医療機能評価機構から「地域医療の基幹的、中心的な役割を担い、高次の医療に対応しうる」とされる「一般病院B」で基準を達していると認定を受けました。当時としては沖縄県内で2番目の認定で新聞でも報道されました。当院ではその後も5年ごとに3回の更新を重ね、2019年には第4回目の更新を予定しています。





細胞調製室(CPC)開設



ハートライフクリニック開院



ABMi 療法の臨床研究を開始(第1 症例の実施)



沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業として認証登録



かりゆし会として初となる介護事業がスタート



ハートライフ地域包括ケアセンター落成

	2013年 (H25)			2014年 (H26)			2015年 (H27)			2016年 (H28)			2017年 (H29)			2018年 (H30)												
12月	1月	2月	4月	1月	2月	4月	7月	9月	10月	12月	4月	5月	7月	11月	2月	3月	4月	9月	10月	1月	3月	4月	5月	8月	9月	10月	11月	12月
3階新病棟0床から8床 人間ドック10床から4床	標準科追加名称変更 救急科、肝臓内科、食道外科、血管外科、乳腺外科	人工透析内科、糖尿病内科	卒後臨床研修指定病院10周年 財団法人腎臓移植推進財団より感謝状を拝受 ABM療法の臨床研究を開始(第一症例の実施)	「病院機能評価」受審 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	「病院機能評価」認定 病院更新取得 機能種別版評価項目mdg:Ver1.0	



熊本地震へのハートライフ病院DMAT隊派遣



第1回ハートライフ病院市民公開講座開催



救急車型ドクターカー導入



地域災害拠点病院に指定



X線血管撮影装置(バイプレーン)増設



ハートライフ病院東館竣工



社会医療法人
かりゆし会

ハートライフ病院 創立30周年記念講演会・記念祝賀会

ハートライフ病院創立30周年記念講演会・記念祝賀会が平成30年10月18日（木）にラグナガーデンホテルで開催されました。

第1部の記念講演会では日本医師会会長で世界医師会会長でもある横倉 義武 先生による講演「日本医師会の医療政策」が行われ、参加者は熱心に傾聴していました。







第2部の祝賀会ではハートライフ病院 院長 奥島 憲彦の開会の挨拶から始まり、当法人の理事長 安里 哲好の主催者挨拶、横倉 義武 日本医師会会長、藤田 次郎 琉球大学医学部附属病院 院長、浜田 京介 中城村村長による祝辞を頂戴し、会場には地域の連携医を始め県内各地の医療関係者など多数の方々にご参加頂きました。また、琉球舞踊^{たかりゅう} 太主流家元であり、重要無形文化財「琉球舞踊」(総合認定)保持者でもある佐藤 太圭子氏による琉舞で会に花を添えて頂きました。



来賓祝辞

日本医師会会長・世界医師会会長
横倉 義武 先生



社会医療法人かりゆし会の創立 30 周年記念式典にお招き頂き、ありがとうございます。かりゆし会ハートライフ病院の安里理事長より、2 回倒産した病院というお話がありましたが、厳しい立地条件の中で、しっかりと地域医療をお守りいただいていることに対し、心から感謝を申し上げる次第であります。

この厳しい医療状況はいつまで続くか。これはわが国の人口構成をみますと、そうそう簡単には解決がつかない問題であります。一昨日、BS フジの 8 時から 10 時まで放映されているプライムニュースという番組に出演した際、財政制度等審議会の委員である慶応大学の土居丈朗教授と、元厚生労働大臣の田村憲久衆議院議員と私で、超高齢社会における社会保障財源をどうするか、また継続性をどう維持するか、という内容で議論いたしました。財政制度等審議会から提出された医療費の抑制のための厳しいプログラムに沿って、医療費の抑制をしたいというのが、現在、政府の一つの考えであります。なぜなら、日本の国家財政は約 100 兆円で予算を組みますが、その 33.6%にあたる約 34 兆円が社会保障関係費であり、その内の約 3 割、約 11 兆円が医療費の国の負担分になります。これ以上増やしたくないというのが国の考えであります。増やさないようにすれば当然のことながら、国民の皆さんは必要な医療が十分受けられなくなります。そうならないように、継続させながら財政的にも両立できるような方法を我々は探っていく必要があります。そういう中で先ほどお話しをさせていただいたように、健康寿命を延伸し、高齢になっても社会参加していただく中で、社会保障費の財政をしっかりと立てていくことが大きな課題です。財務省をはじめとする財政を預かる側は、日本の国家財政が 1000 兆円を超える国債を発行しているため、何とかこれを平準化したいということで、プライマリーバランスの黒字化を主張されます。我が国の場合、国民負担率とよばれる税金と社会保障費の国民所得に対する比率は、先進国の中ではそれ程高い方ではなく、ヨーロッパに比べるとむしろ低い方です。こうした状況で、色々な手厚い社会保障を提供していることからギャップが生じておりますので、何とかこの国民負担率を少し上げなければいけないだろうと申し上げています。その上げる方法について、ここで色々と食い違ってきておりますが、消費税を来年 10% に引き上げることは一つの

プラス要因であります。しかしながら 10% では足りず、さらに今後あげなければならない時期がくるでしょうが、消費税に関して国民は非常に不安感を持っております。従って、消費税だけでは頼れないとなりますとその他の税金、すなわち先ほど講演で申し上げましたたばこ税や砂糖税のように、糖尿病や健康に関する視点から徴収できるような税金が検討項目となってまいります。そしてもう一つ一番大きな視点として、現在、企業の内部留保が約 440 ～ 450 兆円ありますので、その 1 % を給料に回して欲しいと私は一昨日のテレビ番組の中でも強く申し上げました。1 % を給料に回しますと、国民の給与が 4 兆円増え、所得税等により税金として約 2000 億円から 3000 億円の財源ができます。さらに、健康保険料は給与の一定割合で徴収しますので、その増加分も増えることになりますので、少しずつ財政負担を和らげていく一つの方法であると思っています。そしてもう一つはやはり、医療提供体制のあり方をもう一度作り直さなくてはならないということで、地域医療構想により様々な計画を立てております。これらを着実に実行していくことが我が国の超高齢社会における社会保障を維持する方法であると思います。

安里先生は 2 回倒産して立ち直った方ありますから、これ以上は酷くなることはありません。きっとどのような環境になっても、このかかりゆし会はしっかりと地域医療を支えていただくものと確信しております。かかりつけ医が活動していくためには、そのかかりつけ医をサポートする地域に密着した急性期の医療が必要でありますので、どうぞ今後とも皆さま力を合わせてそれぞれの地域で、住民の方の健康を守っていただきますようお願い申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。本日はおめでとうございます。



病院概要

(平成 30 年 4 月 1 日時点 / データ作成 総務課 吉川)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院

所在地

〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

連絡先

電話 (098) 895-3255 (代表)

FAX (098) 895-2534

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/>

管理者一覧

理事長	安里哲好	副院長	佐久川 廣	看護部長	古波倉 美登利
院長	奥島憲彦	循環器内科部長	與座 一	医療技術部長	宮城 竜也
副院長	松元 悟	外科系統部長	西原 実	事務部長	當 銘 秀之
副院長	久場良也	医局長	秋元 芳典		

施設概要

許可病床数

308 床 (開放病床 22 床)

敷地面積及び建物概要

敷地面積 22,225.09㎡

< 本館・西館 >	構造	鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根地下 1 階付き 9 階建
	のべ床面積	23,920.55㎡
< 東館 >	構造	鉄筋コンクリート造地上 5 階・地下 1 階
	のべ床面積	7,551.31㎡
< 別館 >	構造	鉄筋コンクリート造陸屋根 3 階建
	のべ床面積	542.16㎡
< 立体駐車場 >	構造	鉄骨造陸屋根 4 階建 (駐車場)
		鉄筋コンクリートブロック造陸屋根平屋建 (機械室)
	のべ床面積	3,365.76㎡ (駐車場)
		34.00㎡ (機械室)

職員数

総 数 862 名

職種別

(平成 30 年 4 月 1 日時点 / データ作成 総務課 吉川)

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	66	クラーク	22	OMA	0	ソーシャルワーカー	5
研修医	14	臨床工学士	12	視能訓練士	3	施設技術者	5
保健師	6	臨床検査技師	37	診療放射線技師	19	保育士	1
助産師	26	理学療法士	15	管理栄養士	8	その他	46
准看護師	13	言語聴覚士	5	調理師	14		
看護師	354	作業療法士	6	事務	106		
看護助手	42	薬剤師	14	医師事務作業補助者	23	合計	862

指導医・専門医・認定医・その他認定など

(平成 31 年 3 月末時点 / データ作成 総務課 佐和田)

名称	人数
日本内科学会指導医	2
日本内科学会総合内科専門医	5
日本内科学会認定内科医	17
日本内科学会総合内科認定医	1
日本呼吸器学会専門医	1
日本循環器学会専門医	5
日本心血管インターベンション治療学会認定医	1
日本心臓リハビリテーション学会指導士	3
日本消化器病学会指導医	3
日本消化器病学会専門医	6
日本消化器がん検診学会認定医	4
日本消化器内視鏡学会指導医	4
日本消化器内視鏡学会専門医	9
日本肝臓学会専門医	2
日本肝臓学会指導医	1
日本感染症学会指導医	1
インфекションコントロールドクター	2
日本感染症学会専門医	1
日本血液学会指導医	1
日本血液学会専門医	3
日本透析医学会専門医	3
日本透析医学会指導医	1
日本透析医学会認定医	1
日本臨床腎移植学会腎移植認定医	1
精神保健指定医	1
日本精神神経学会指導医	1
日本精神神経学会専門医	1
日本小児科学会専門医	3
日本がん治療認定医機構認定医	6
日本外科学会指導医	2
日本外科学会専門医	6
日本外科学会認定医	3
日本乳癌学会認定医	1
検診マンモグラフィ読影認定医	6
日本食道学会認定医	1
日本大腸肛門病学会専門医	1
日本消化器外科学会指導医	2

名称	人数
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医	2
日本消化器外科学会専門医	1
日本内視鏡外科学会技術認定医	2
日本小児外科学会指導医	1
日本小児外科学会専門医	3
日本小児医学会地域総合小児医療認定医	1
日本整形外科学会専門医	5
日本整形外科学会リウマチ認定医	2
日本整形外科運動リハビリテーション医	3
日本手外科学会認定手外科専門医	1
日本形成外科学会専門医	1
日本創傷外科学会専門医	1
日本熱傷学会専門医	1
日本レーザー医学会指導医	1
日本レーザー医学会専門医	1
日本脳神経外科学会専門医	2
日本脳神経血管内治療学会専門医	1
日本産婦人科学会専門医	2
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍指導医	1
母体保護法指定医	1
日本泌尿器科学会指導医	1
日本眼科学会専門医	2
AMO Advanced Femtosecond Laser	1
iEK certification	1
日本医学放射線学会診断専門医	2
日本麻酔科学会指導医	2
日本麻酔科学会専門医	3
日本麻酔科学会認定医	2
日本ペインクリニック学会認定医	1
麻酔科標榜医	5
日本集中治療医学会専門医	1
日本救急医学会救急科専門医	2
日本人間ドック学会人間ドック健診専門医	1
日本人間ドック学会認定医	1
日本体育協会公認スポーツドクター	4
日本東洋医学会認定医	1
日本医師学会認定健康スポーツ医	1
日本医師会認定産業医	4

名称	人数
身体障害者福祉法指定医	23
がんリハビリテーション研修修了者	3
沖縄県災害医療コーディネーター	1
日本緩和医療学会集合研修企画責任者	1
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術実施医	1

名称	人数
小児慢性特定疾病指定医	2
日本アレルギー学会専門医	1
日本耳鼻咽喉科学会専門医	1
日本耳鼻咽喉科学会専門研修暫定指導医	1

病院機能認定など

1. 医師臨床研修指定病院（基幹型） 厚生労働省発医政第 1030005 号
2. 地域医療支援病院
3. 24 時間二次救急指定病院
4. （財）日本医療機能評価機構 一般病院 2 認定第 GB97-4 号
5. DPC 対象病院（標準病院群）
6. 地域災害拠点病院

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 労働者災害補償保険指定医療機関
3. 妊娠中毒症医療費援護法指定医療機関
4. 母体保護法指定医療機関
5. 結核予防法指定医療機関
6. 生活保護法指定医療機関
7. 戦傷病者特別援護法指定医療機関
8. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《腎臓に関する医療》
9. 原爆医療法指定医療機関
10. 指定自立支援医療機関（精神通院医療）《てんかん》
11. 母子保健法指定病院医療機関（養育医療）
《未熟児医療》
12. 特定疾患治療研究事業指定医療機関
13. 小児特定疾患治療研究事業指定医療機関
14. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
《心臓脈管外科に関する医療》
15. 身体障害者福祉法指定医療機関（更正医療）
18 歳以上、肝臓に係わるもの
16. 児童福祉法指定医療機関（育成医療）

施設認定一覧

1. 日本脳神経外科学会認定研修施設
2. 日本内科学会認定教育病院
3. 日本血液学会血液研修施設
4. 日本がん治療認定医機構認定研修施設
5. 日本感染症学会研修施設
6. 非血縁者間骨髓採取認定施設
7. 非血縁者間骨髓移植認定施設
8. 日本肝臓学会認定施設
9. 日本整形外科学会専門医研修施設
10. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
11. 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
12. 日本泌尿器科学会専門医教育認定施設
13. 日本乳癌学会関連認定施設
14. 日本眼科学会専門医制度研修施設
15. 日本消化器内視鏡学会指導施設
16. 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
17. 日本救急医学会救急科専門医指定施設
18. 日本周産期・新生児医学会暫定研修施設
19. 日本外科学会外科専門医制度修練施設
20. 日本消化器外科学会専門医修練施設
21. 日本臨床細胞学会施設
22. 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
23. 日本消化器病学会認定施設
24. 日本呼吸器学会関連施設
25. 健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施施設

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 26. 日本透析医学会教育関連施設 | 33. 下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施認定施設 |
| 27. マンモグラフィ検診施設画像認定 | 34. 日本大腸肛門病学会関連施設 |
| 28. エキスパンダー実施施設（二次再建） | 35. 日本病理学会研修登録施設 |
| 29. インプラント実施施設（一次二期再建、二次再建） | 36. 日本心血管インターベンション治療学会認定
研修施設群 |
| 30. 日本形成外科学会教育関連施設 | 37. 日本産婦人科学会専門研修連携施設 |
| 31. 日本食道学会全国登録認定施設 | 38. 人間ドック健診施設機能評価認定施設 |
| 32. 日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設 | |

診療体制

標榜診療科目

- | | | | | | |
|--------|---------|----------|--------|-----------------|-----|
| ●内科 | ●腎臓内科 | ●食道外科 | ●脳神経外科 | ●放射線科 | ●歯科 |
| ●呼吸器内科 | ●人工透析内科 | ●血管外科 | ●産婦人科 | ●麻酔科 | |
| ●循環器内科 | ●心療内科 | ●大腸・肛門外科 | ●泌尿器科 | ●リハビリ
テーション科 | |
| ●消化器内科 | ●小児科 | ●脾臓外科 | ●眼科 | | |
| ●肝臓内科 | ●外科 | ●整形外科 | ●耳鼻咽喉科 | ●救急科 | |
| ●血液内科 | ●乳腺外科 | ●形成外科 | ●皮膚科 | ●病理診断科 | |

その他、センター・専門外来など

- | | |
|-------------------------------------|-------------------|
| ●予防医学センター
(人間ドック・一般健診・生活習慣病予防健診) | ●不整脈外来 |
| ●内視鏡センター | ●甲状腺外来 |
| ●人工透析センター（昼間・夜間） | ●生活習慣病・禁煙外来 |
| ●無菌治療センター | ●睡眠時無呼吸症候群（SAS）外来 |
| ●ヘルニアセンター | ●スポーツ関節鏡センター |
| ●患者総合支援センター | ●通院治療室（外来化学療法） |
| ●胸やけ外来 | ●小児アレルギー外来 |
| | ●心臓リハビリテーション |

24 時間救急指定病院【内科・循環器内科外科・整形外科・脳神経外科】

受付時間

- | | | |
|---------|---------------|----------------|
| 月曜日～金曜日 | 午前 8:00～11:30 | 午後 12:00～16:30 |
| 土曜日 | 午前 8:00～11:30 | 午後 休診 |

診療時間

- | | | |
|---------|---------------|----------------|
| 月曜日～金曜日 | 午前 9:00～12:00 | 午後 14:00～17:00 |
| 土曜日 | 午前 9:00～12:30 | 午後 休診 |

休診日

救急を除き、日曜日・祝日・土曜日の午後

ハートライフ病院 平成30年度事業目標

ハートライフ病院 院長 奥島 憲彦

平成 29 年度の振り返り

平成 29 年度 3 月に病床が 300 床から 308 床に増床となり、病床を埋めきれぬかという懸念がありましたが新規入院患者増もあり、比較的良好な病床稼働率を保つことができました。平成 28 年度実績 274 床 (91.6%) に対し、平成 29 年度 2 月報告時点で 282 床 (91.6%) です。

新規入院患者数は目標 720 人 / 月に対して 742 人と、目標を大きく上回る結果を得ました。平成 28 年度が 718 人 / 月でしたのでクリニックや病院、施設、救急隊からの信頼が年々増してきていると感じています。

10 年後を見据えた増改築計画の東館の増築が完成し、9 月から産婦人科病棟がオープンし、海を眺めながら静かな新しい環境でお産ができるようになりました。ここ数年続いていた分娩件数減、産婦人科患者減に歯止めがかかりました。手狭になった各科の外来も東館に移り、患者さんの評判も良好です。

平成 29 年度の総収入が 87 億と事業計画 85 億 4,400 万円を 1 億 5,600 万円上回る実績を上げています。しかし、利益は 2 億 5,800 万円と事業計画の 3 億 9,000 万円を下回りました。これも増改築を同じ敷地で行いながらの診療なので、大変すばらしい成績と考えています。事務部をはじめ頑張ってくれた全職員に、心より感謝申し上げます。

平成 30 年度事業計画概要

平成 30 年度は診療報酬改定の年です。薬価はマイナス改定ですが、本体は +0.55% となりました。今年度も当院は急性期医療に主軸を置きながら、一部ある高度急性期機能をできる限り伸ばしていきたいと思えます。そして、地域包括ケアシステムにおける当院の役割を地域や県に実績で示して、2025 年に向けた地域医療構想に反映させていきます。

平成 30 年度は病棟運営の 3 指標を各科部長へのヒヤリングや病棟運営会議での検討をもとに下記のように設定しました。

※ H28 年度実績は H29 年 2 月までの実績値を入力

	H30 年度目標	H29 年度目標	H29 年度目標
新規入院患者数	740 人 / 月	720 人 / 月	735 人 / 月
病床利用数	285 床 (92%)	285 床	283 床
平均在院日数	11.7 日	12.0 日	11.6 日

この目標を達成することが黒字経営のかぎになりますので、全職員が日々の診療でこの数値を常に意識して努力していきましょう。

各部署の事業計画を参考に、ハートライフ病院の平成 30 年度の目標を下記のように設定しました。全職員でこの目標の達成に向けて、努力していきたいと思えます。

平成 30 年度ハートライフ病院の目標

1. より安全な医療とより質の高い医療の実践。
2. 急性期医療の充実とレベルアップを図る。一部で高度急性期機能の強化を図る。
3. 健全な医療経営（増収入と経費節減）を目指す。
4. 5年後を見すえた人材育成と人材採用を図る。
5. ワークライフバランスのとれた労働環境の整備を行う。
6. 職員の満足度向上を図る。
7. より良い接遇の実践と接遇教育の実施。

増改築について

平成 29 年 9 月に東館がオープンしました。平成 30 年 4 月に手術室の増室、新しい放射線科、生理検査室、地域医療連携室の改築が終了します。次いで、リハビリ室、救急総合診療部、予防医学センター、内視鏡センターの改築が行われ、平成 30 年度中に全てオープン予定です。10 年後の当院のレベルアップに応じられる増改築になります。手術件数の増加、各科の診療レベルの向上につなげたいと思います。スムーズな改築と移転ができ、診療に遅滞をきたさないように皆で努力します。機能のレベルアップに見合った職員の人員増、人員確保に努めます。診療を継続しながら増改築を同じ敷地内で行うという、大変難しいことを計画通り行っている事務部の方々の努力と、大きな事故もなく工事を行っている施行業者の方々へ、心から感謝申し上げます。

また、同時に進行している立体駐車場も、5 月には完成予定です。これまでより院内駐車可能台数が 100 台増加し、患者さんの不満が少しなりとも改善されると思います。

財務の視点

平成 30 年度の医業収入は 88 億 3,400 万円、当期利益 1,900 万円（利益率 0.2%）をめざします。今年度は増改築の影響で、減価償却費に 6 億 6,100 万円を計上しているために、例年に比べ厳しい利益となっています。これから数年は同じ状況が続くと考えられますので、より一層、全職員で収益増と経費節減に努力する必要があります。

平成 28 年より EVE やメディカルコードなどのソフトを導入し、各種加算や指導料の未算定を防ぐ多職種のワーキンググループを作って「落穂ひろい活動」をしてきました。平成 29 年度は 4,000 万円の増収を実現しましたが、今年度も継続予定です。救急医療管理加算ワーキンググループでは、基準をつくり国保で査定されても積極的に算定しました。平成 28 年度 583 件 / 月から平成 29 年度は 830 件まで増加し、DPC 機能評価係数Ⅱの増加につなげました。今年度も取り組みを継続します。7 対 1 看護入院基本料を死守します。重症度、医療、看護必要度が昨年度 25% 以上が、今年度は 30% 以上に改定となります。シミュレーションではクリアできる見込みですが、評価漏れ対策を行うワーキンググループを、今年度も継続します。小児入院医療管理料 4（年 2,300 万円の増収益）を維持していきます。

病棟運営の 3 指標を達成することに、病院全体で努力します。また、全職員が各部署での経費節減に努力していきます。

顧客の視点

増改築により患者さんは新しい病室、新しい診察室で快適な診療が受けられるようになります。術後の誤嚥性肺炎の予防や術後合併症の減少に寄与し、患者さんの早期退院につながると言われている「口腔ケア外来」を平成 29 年 4 月より週 2 日、開設しました。平均 91 人 / 月の患者さんが受診し、医療の質の向上につながると期待しています。昨年度は月 1 回、定期的に市民公開講座を行いました。今年度は地域の自治会に積極的に出向いて行って「出前健康講話」を行う予定です。

患者さんの療養環境のアメニティの向上や職員の接遇教育の強化を行います。昨年度の患者満足度評価では「満足 + ととても満足」が外来で 88.7%、病棟で 86.8% でした。今年度も患者さんの満足度向上を図る努力を継続します。大腸がん対策のワーキンググループを今年度も継続し、地域（中城村、西原町、宜野湾市、与那原町、南城市）の大腸がんの死亡率を減らします。市町村とも連携をとり、便潜血検査から大腸内視鏡検査の受診者の増加を図ります。

定期的な職員に対する接遇教育を行い、患者さんに対するより良い接遇を行います。

これまで以上に地域のクリニックとの連携を密にし、病診連携を強化します。登録クリニックの新規開拓を 24 件 / 年行います。地域医療支援病院の基準要件は紹介率 65% かつ逆紹介率 40% です。平成 29 年度は紹介率 73.8%、逆紹介率 63.7% でした。今年度も紹介率 80%、逆紹介率 70% をめざします。

「社会医療法人」として、今年度も救急医療のより一層の充実を図っていききたいと思います。昨年度は救急搬送件数は 245 件 / 月と年々増加しています。また、断り件数（不応需率）は 2.3% と年々減少しています。救急総合診療部の専従医師を増員し、夜間や土、日の体制の強化に取り組み、ドクターカーの有効活用、救急搬送件数の増加に対応できるようにします。早期に休日夜間の重症外傷患者の受け入れを実現し、24 時間「救急車は断らない」体制づくりに努力します。ドクターカーの出動件数は月平均 8 回まで増えています。救急隊と連携した 12 誘導心電図画像伝送システムを、今年度も有効に活用します。救急部専従医師の確保が緊急の課題です。

内部プロセスの視点

医師を含めた職員がいきいきと健康的に働ける労働環境の整備に取り組みます。職員の満足度調査やストレスチェックの結果も反映させ、各部署の満足度向上に取り組みます。また、各部署の離職率の低下に努力します。

平成 29 年 4 月より事務部の努力により補助金を獲得し、長年の課題であった「はーとらいふ保育園」を開園しました。子育てをしながら仕事を継続できる環境が徐々にできてきており、今後も受け入れ人数の増員を検討する必要があります。

年度はじめの「各科診療実績報告会」を今年度も継続します。そして、職員の頑張りが詰まった「年報」を作製します。

経営企画室や医事課や診療情報管理室を中心に医療データが出されます。年々よくなっていますが、まだわかりやすいデータが十分に提示できていない、DPC データの有効活用ができていない現状があります。EVE やメディカルコードなどのソフトを医事課職員や診療情報管理士が使いこなせるように、院内での勉強会を定期的に行っていきます。そして、全国の同規模病院とのベンチマークや県内での各疾患のシェアの現状なども含めてリアルタイムにデータを提示できるように、強化したいと思います。経営陣や各科の医師や各部署のニーズに応じたデータが提供できるようにしたいと思います。

今年度も救急総合診療部、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科や神経内科など、当院に早急に必要な医師の確保に努力します。初期臨床研修医が当院に残れるように、研修医出身の先生方が戻ってこれるように、体制を整え

ます。20 歳代～ 30 歳代の医師を増やすように努力します。医師のワークライフバランスには、特に尽力が必要です。当直明けの休みの確保、代休取得の促進、グループ診療、研修医の労働時間の管理などの検討が早急に必要です。

学習と成長の視点

病院にとって「人材が宝」です。5 年後を見すえた人材育成を実現するために、より充実した職員研修を行います。人材育成、高度技術の習得、各部署の診療レベルの向上に取り組みます。また、5 年後を見すえた人材採用も積極的に行います。

看護部が行っている特定看護師の研修を病院をあげてサポートしていきます。認定看護師も不在な領域に積極的にチャレンジさせていきたいと思っています。整形外科が行っている城東整形外科（秋田）の皆川先生による運動器疾患エコーの指導、消化器内科が行っている神戸大学 豊永先生による ESD 技術指導、外科が行っている東京女子医大山本教授による肝臓外科手術指導、循環器内科が行っている心臓血管研究所の及川部長による PCI 指導、大塚部長による焼灼術指導、脳外科の饒平名先生による脳血管内治療の技術指導、昭和大学井上教授による POEM 指導など、全国の一流指導医の定期的な技術指導は今年度も積極的にサポートしていきます。

熊本地震の際にも DMA T チームが迅速に出動しました。今年度も全国的な DMAT 訓練には、定期的に参加する必要があります。平成 29 年に沖縄県から災害拠点病院に認定されましたが、取り組みが遅れています。まだ食料の備蓄や水の確保など多くの問題点があります。策定の遅れている BCP(Business Continuing Plan)（災害時に業務を遂行する対策と計画）を早急に策定する必要があります。今年度も災害対策委員会を中心に多くの職員に参加していただき、災害拠点病院にふさわしい災害対策トレーニングに力を入れていきたいと思っています。

日本病院協会の「医療の質検討プロジェクト」に参加しクリニカルインジケターを、年報やホームページに公開しています。今年度も参加を継続し、全国の病院とベンチマークを行い、改善につなげていきたいと思っています。これまで 5 年に 1 度受審している日本病院機能評価を、平成 31 年 2 月に受審します。医療の質や医療安全について、第三者から審査を受ける貴重な機会ですので、全職種、病院をあげて 1 年間「医療の質の向上」に取り組みます。

創立 30 周年記念

平成 30 年 8 月 22 日でかりゆし会、ハートライフ病院は創立 30 周年を迎えます。キーワードは「感謝」です。診療所、病院、介護施設、救急隊に対する感謝をあらわすために、10 月 18 日にラグナガーデンホテルで創立 30 周年記念「地域医療連携懇談会」を行います。記念講演を横倉日本医師会会長にお願いしています。その他に地域の住民や患者さん、職員の家族に感謝を表して「健康祭り」を行います。また、例年 8 月 22 日に配っていますお菓子をグレードアップし、職員と家族で楽しめるように考えています。平成 31 年に発行する平成 30 年度年報を「創立 30 周年記念年報」として、記念講演抄録や講演会や健康祭りの写真、写真でたどる 30 年などを載せたいと考えています。これまでの 30 年間でささえてくださった方々への感謝を表すと同時に、これからの 10 年につながる実りのあるイベントを企画していきたいと思っています。

結びに

今年度の目標を職員一人一人が毎日の診療の中で、仕事の中で念頭において努力していただきたいと思います。特に役職者は、病院の目標を「率先垂範」して行い、職員の模範になっていただきたいと思います。

がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病、精神疾患の 5 疾病の院内体制の強化を行うと同時に救急医療、災害時における医療、へき地医療、小児医療、周産期医療の 5 事業にも、市町村や県などの行政や医師会と連携して取り組んでまいります。今年度も国の医療政策、県の「地域医療構想」との整合性を図りながら、ハートライフ病院の地域包括ケアシステムにおける立ち位置を把握し、「地域に求められている医療は何か？」を常に問い続けながら 2025 年に向かって、事業計画を実行していききたいと思います。

今年度も厳しい医療環境が予想されますが、私たちは「笑顔で親切、ハートライフ病院」をスローガンに職員が一丸となって、「より安全な医療」「より質の高い医療」を実践していききたいと思います。そして、患者さんやご家族が病院を出るときに、「ハートライフ病院に来て良かった」と言っていただけるように努力します。そして、職員が生き生きと働ける労働環境、職員が日々成長を感じることのできる労働環境をつくり、健全な医療経営も実現していききたいと思います。

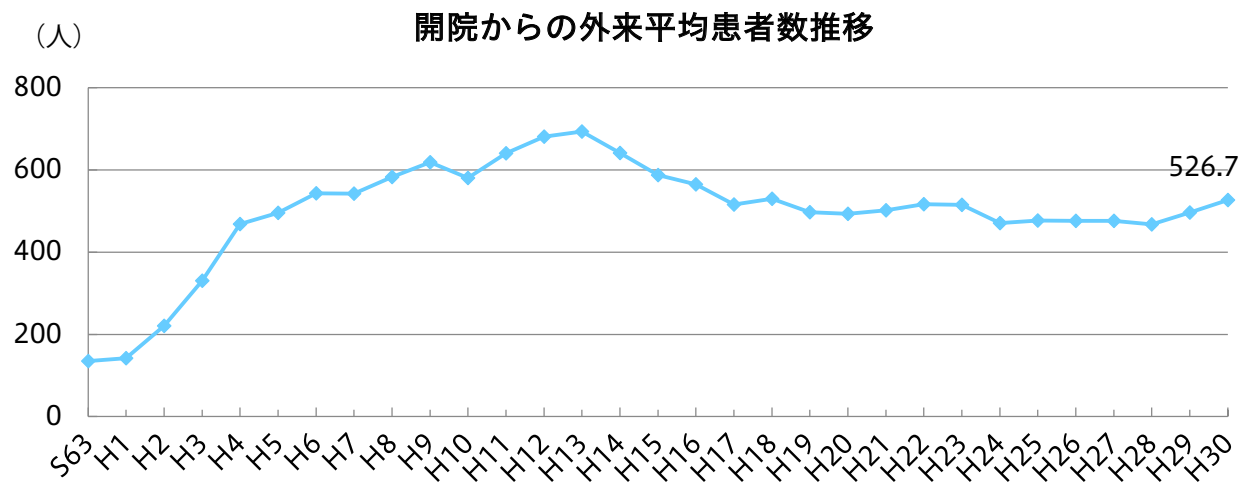
患者統計

外来・救急外来

外来 1 日平均患者数推移

(データ作成: 医事課 桑江)

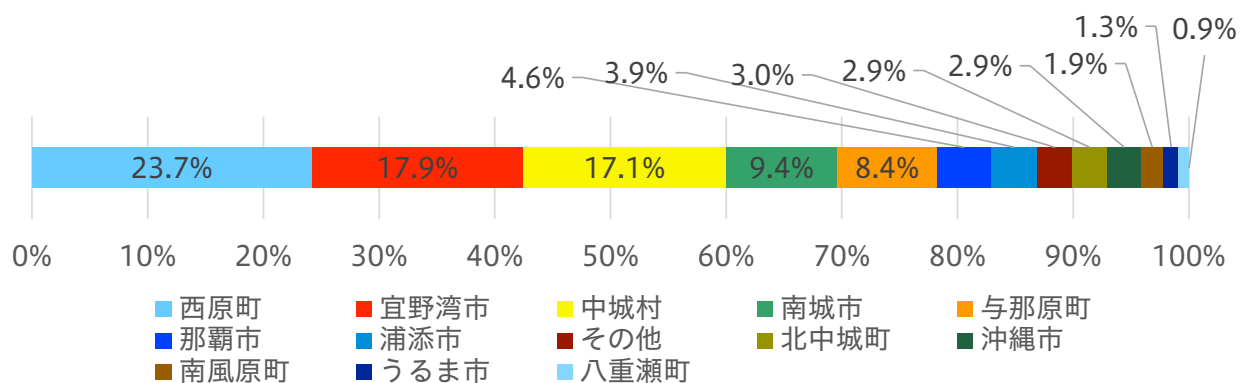
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成 26 年度	465.2	477.8	459.8	471.1	446.2	481.9	491.1	477.7	495.2	499.2	473.0	476.4	476.2
平成 27 年度	467.3	468.8	463.9	461.4	443.8	503.8	479.4	502.8	500.7	480.4	475.8	462.1	475.9
平成 28 年度	447.6	469.5	457.7	464.2	453.9	477.1	455.0	487.5	484.1	475.8	473.0	466.0	467.6
平成 29 年度	465.0	498.2	474.9	494.7	492.3	485.1	504.6	505.1	514.6	511.1	505.7	504.7	496.3
平成 30 年度	500.0	525.8	497.5	517.6	514.9	531.2	519.7	533.8	542.3	547.7	546.8	543.0	526.7



地域別外来患者数 (延べ患者数)

地域	患者数
沖縄本島 (橋で接続されている島を含む)	156,039
離島	935
県外	749
その他	380
総計	158,103

沖縄本島内 外来延べ患者構成比



救急搬送件数推移と救急患者の入院数

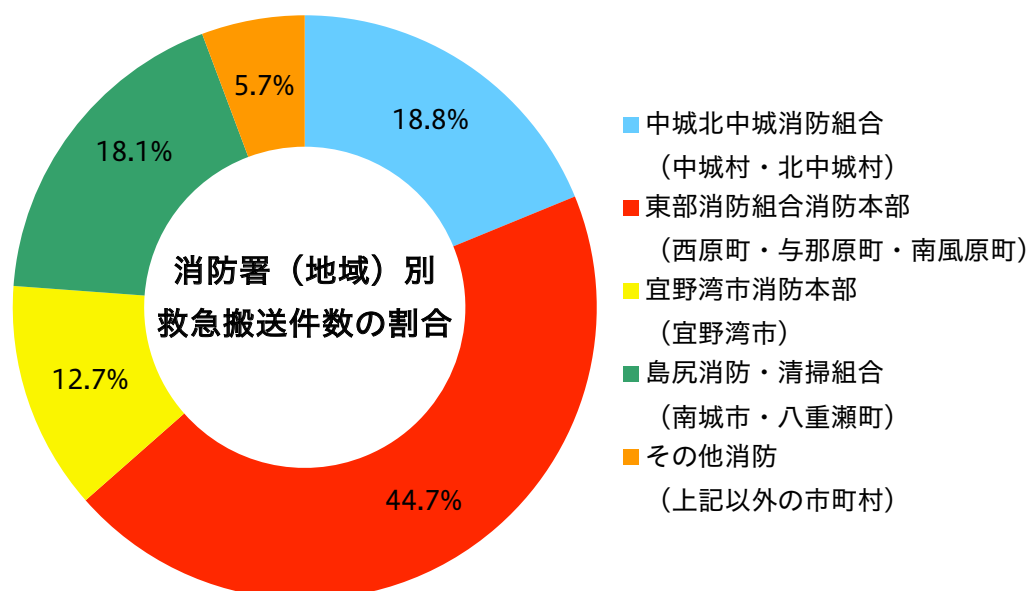
(データ作成：地域医療連携室 新垣)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	入院率
H24 年度	搬送人数	205	193	184	230	226	204	215	241	234	228	179	204	2,543	211.9	
	うち入院数	97	99	94	108	107	96	107	127	111	118	91	90	1,245	103.8	49.0%
H25 年度	搬送人数	188	197	212	259	222	218	174	170	208	210	185	200	2,443	203.6	
	うち入院数	93	104	101	99	106	110	92	91	97	104	82	89	1,168	97.3	47.8%
H26 年度	搬送人数	185	188	209	235	204	197	200	193	199	262	187	191	2,450	204.2	
	うち入院数	80	91	95	110	94	98	113	94	106	131	99	97	1,208	100.7	49.3%
H27 年度	搬送人数	194	209	206	217	192	222	218	191	196	212	228	222	2,507	208.9	
	うち入院数	98	106	97	122	98	119	119	90	88	104	101	108	1,250	104.2	49.9%
H28 年度	搬送人数	201	221	225	239	226	219	238	200	241	265	224	266	2,765	230.4	
	うち入院数	104	116	119	105	107	116	120	92	122	130	100	136	1,367	113.9	49.4%
H29 年度	搬送人数	228	229	246	258	286	221	217	216	287	260	269	235	2,952	246.0	
	うち入院数	131	105	113	112	114	92	88	94	129	122	131	129	1,360	113.3	46.1%
H30 年度	搬送人数	222	240	208	265	232	209	221	198	231	273	230	236	2,765	230.4	
	うち入院数	98	110	109	117	109	100	99	102	98	136	100	95	1,273	106.1	46.0%

消防署（地域）別救急搬送件数

(地域医療支援病院運営委員会資料より / データ作成：地域医療連携室 新垣)

	当院救急搬送件数	うち、時間外救急搬送件数	時間外の比率
中城北中城消防組合（中城村・北中城村）	520	314	60.4%
東部消防組合消防本部（西原町・与那原町・南風原町）	1,236	824	66.7%
宜野湾市消防本部（宜野湾市）	350	224	64.0%
島尻消防・清掃組合（南城市・八重瀬町）	501	325	64.9%
その他消防（上記以外の市町村）	158	62	39.2%
合計	2,765	1,749	63.3%

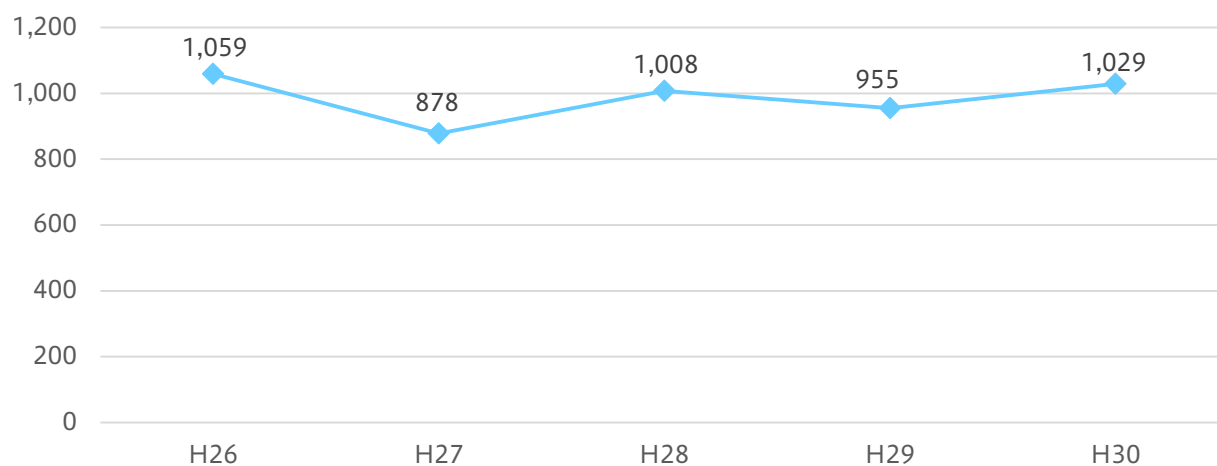


外来化学療法室施行数推移

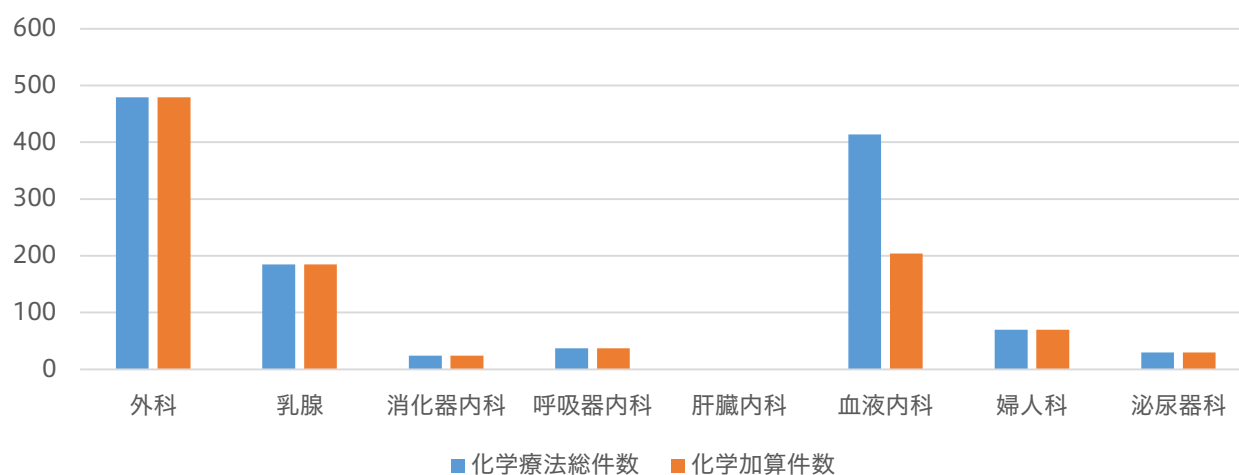
(データ作成：看護部 外来 仲田)

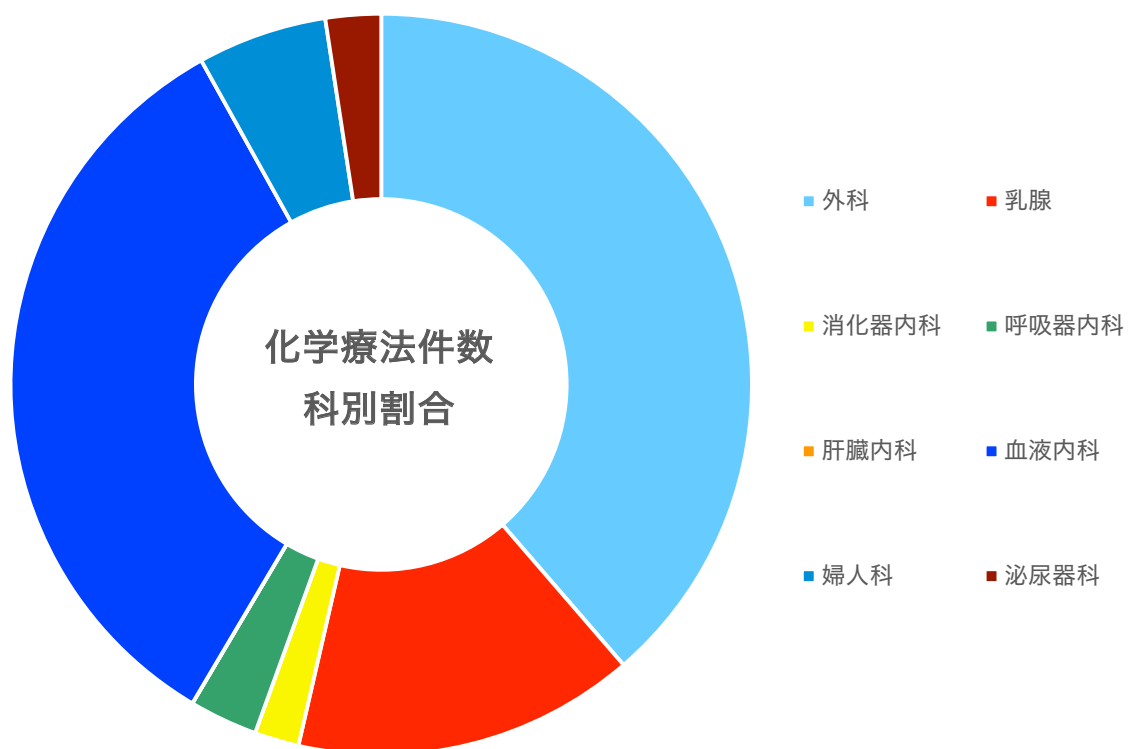
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	37	40	36	49	43	37	40	43	38	44	36	36	479
乳腺	16	22	15	19	16	16	9	9	17	16	15	15	185
消化器内科	2	1	2	3	2	2	1	3	1	3	1	3	24
呼吸器内科	2	2	2	2	2	0	4	5	5	6	5	2	37
肝臓内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血液内科	38	36	28	34	41	41	34	34	31	38	28	31	414
婦人科	8	6	6	5	4	2	8	3	7	5	8	8	70
泌尿器科	4	4	3	6	4	4	2	1	1	0	0	1	30
合計	107	111	92	118	112	102	98	98	100	112	93	96	1,239

外来化学療法加算の件数年次推移



化学療法総件数と加算件数（各科別）

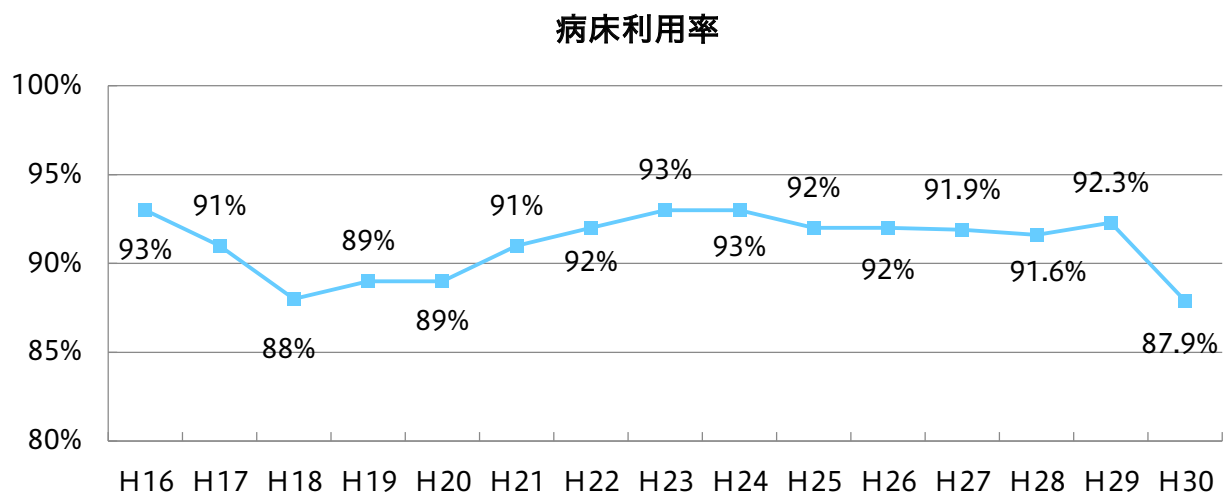
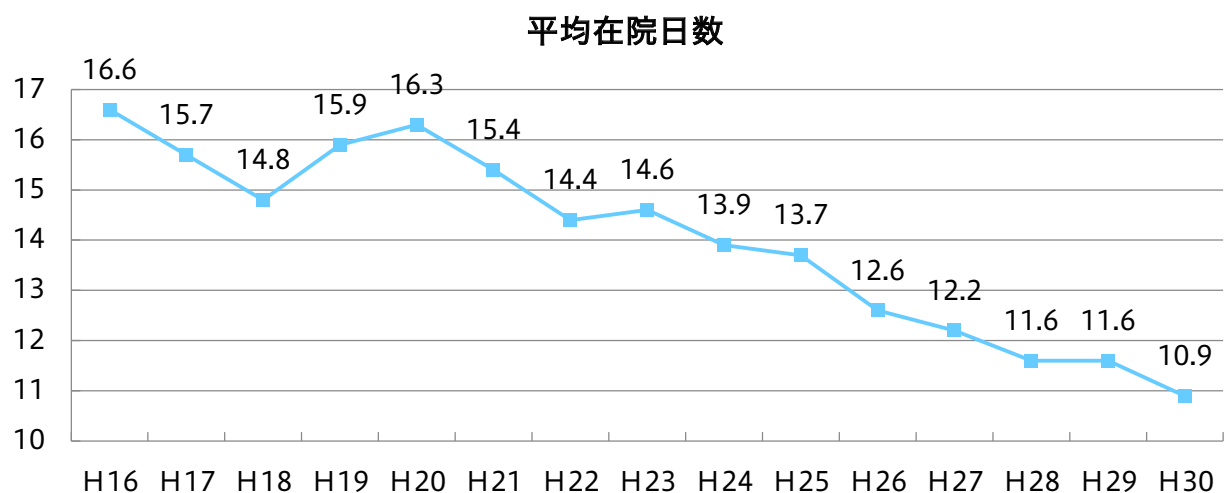
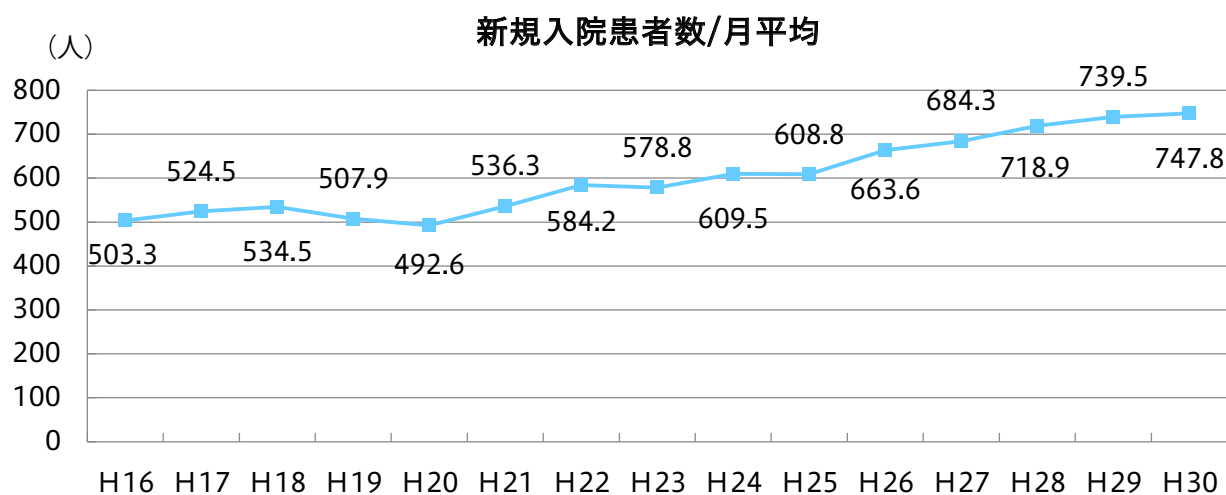




入院

3 指標

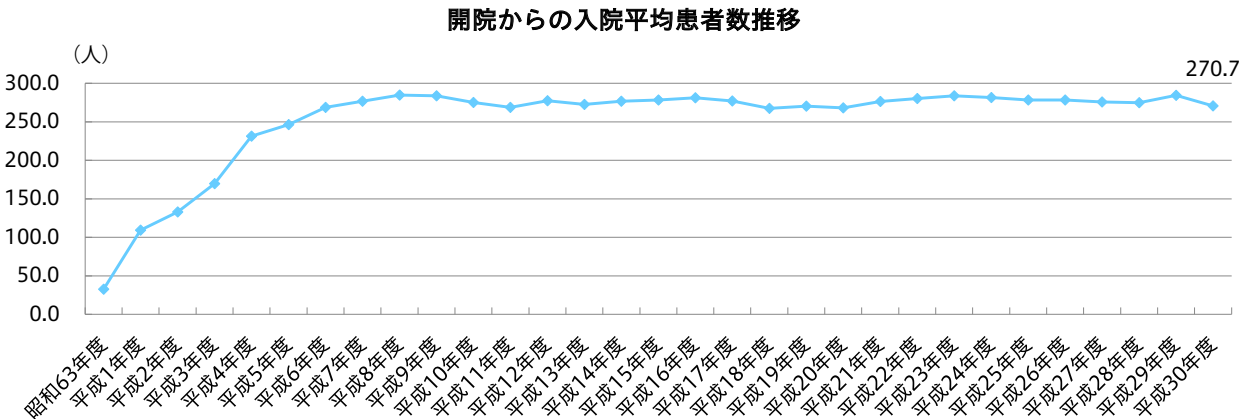
(データ作成：地域医療連携室 新垣)



入院 1 日平均患者数推移（稼働）

（データ作成：医事課 宮城）

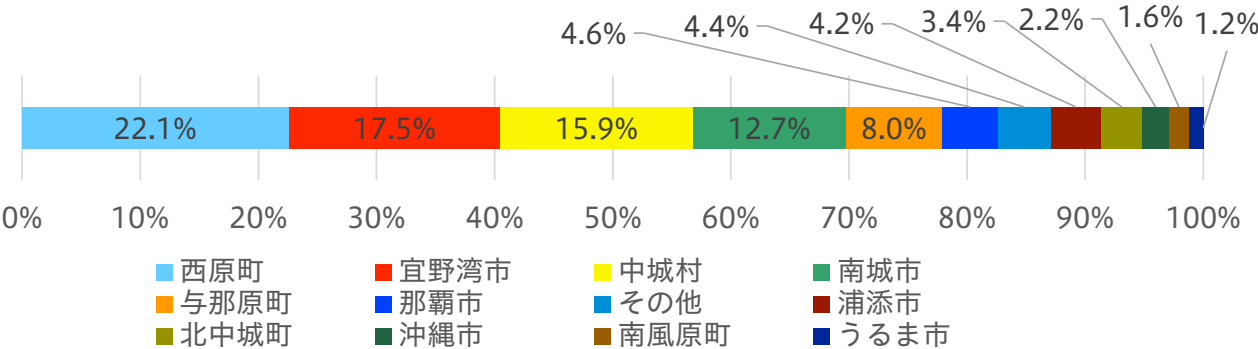
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
H26 年度	267.3	256.7	274.0	290.2	291.0	278.0	276.8	268.2	267.6	291.1	291.5	288.4	3,340.8	278.4
H27 年度	281.3	268.9	283.3	278.5	272.7	272.1	270.8	272.8	266.8	277.4	291.7	274.8	3,311.1	275.9
H28 年度	264.8	285.0	274.7	276.7	268.7	278.4	269.8	256.4	258.9	283.1	290.1	290.9	3,297.5	274.8
H29 年度	291.7	288.9	291.5	288.3	289.9	280.1	266.9	272.8	272.0	278.9	298.8	294.1	3,414.0	284.5
H30 年度	280.0	252.7	260.8	279.1	279.6	270.0	270.2	275.0	262.5	273.0	281.2	264.3	3248.5	270.7



エリア別入院患者数（延べ患者数）

地域	患者数
沖縄本島（橋で接続されている島を含む）	99,063
離島	1,233
県外	818
その他	110
総計	101,224

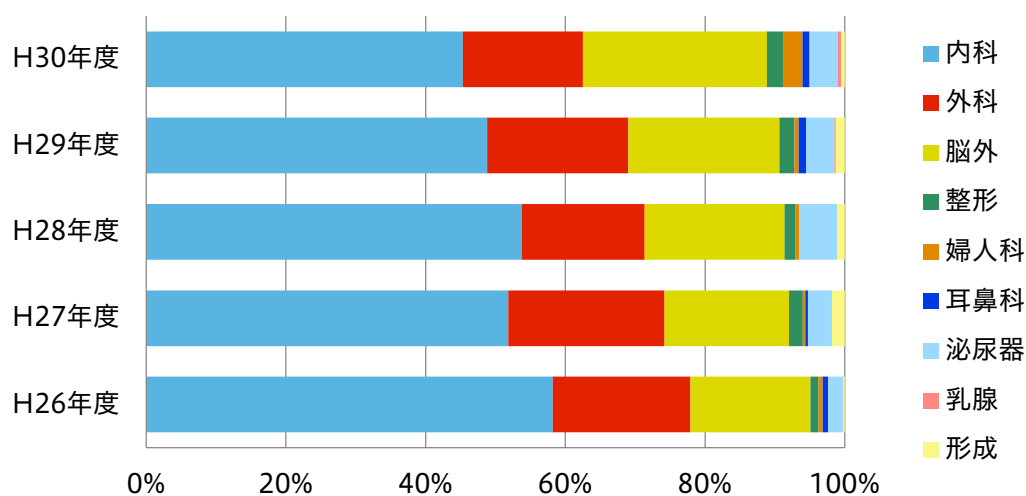
沖縄本島内 入院延べ患者構成比



ICU 患者統計

(データ作成 ICU 洲鎌)

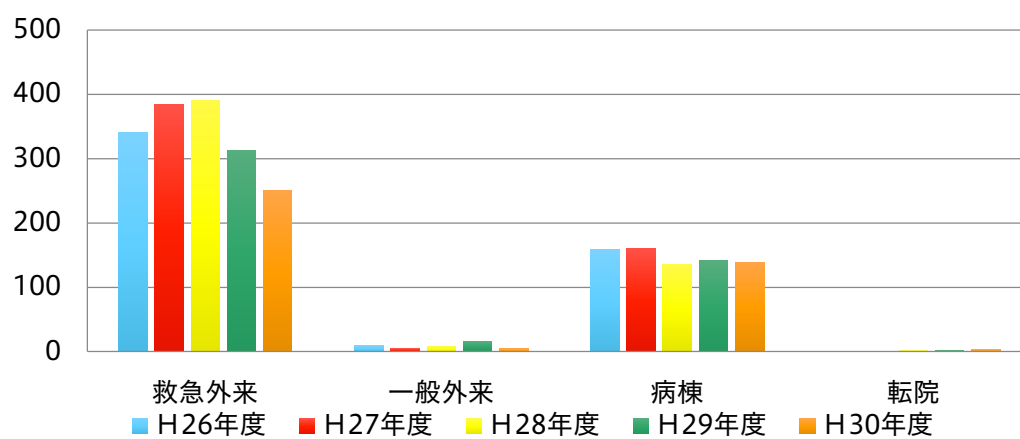
科別入院患者数



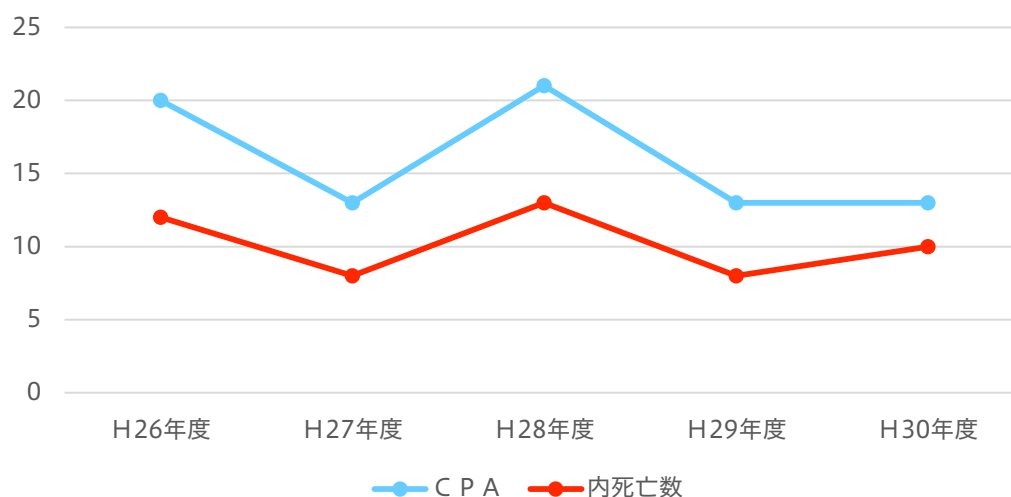
	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
内科	295	285	287	230	179
外科	100	123	94	95	68
脳神経外科	87	98	107	102	104
整形外科	6	11	8	10	9
産婦人科	3	2	3	3	11
耳鼻咽喉科	4	2	2	5	4
泌尿器科(腎臓内科)	11	19	29	19	16
乳腺外科				1	2
形成外科	1	10	6	6	2
心療内科				1	0
総数	508	550	534	472	395

※収容のルール変更により ICU に収容された外科の患者数は減少傾向にあります。

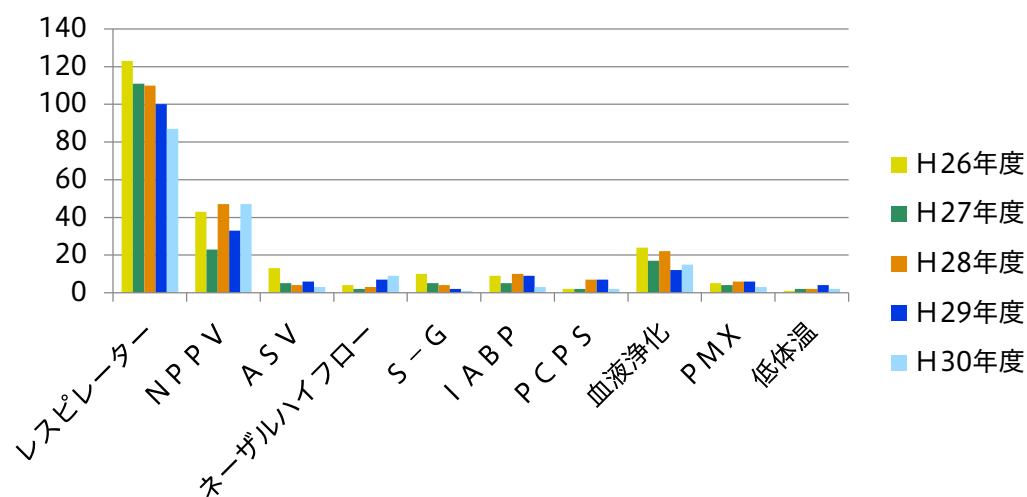
入室経路



CPA 件数（死亡数）動向



特殊治療の動向



退院患者疾患別（病態）分類

（データ作成：診療情報管理室 田河）

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	形成外科	脳外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
Ⅰ．感染症および寄生虫症 (A 00- B 99)	男	56	8	0	0	0	0	0	0	18	0	3	0	85
	女	66	6	2	0	0	0	0	1	27	0	0	0	102
	計	122	14	2	0	0	0	0	1	45	0	3	0	187
Ⅱ．新生物 (C 00- D 48)	男	136	234	6	6	17	1	0	7	0	3	116	0	526
	女	267	172	49	3	17	2	0	10	0	0	0	0	520
	計	403	406	55	9	34	3	0	17	0	3	116	0	1,046
Ⅲ．血液および造血系の疾患 ならびに免疫機構の障害 (D 50- D 89)	男	20	4	0	0	0	0	0	0	3	0	4	0	31
	女	22	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	28
	計	42	8	0	0	0	0	0	0	5	0	4	0	59
Ⅳ．内分泌、栄養および代謝 疾患 (E 00- E 90)	男	39	7	0	0	0	1	0	0	2	0	0	3	52
	女	39	6	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	48
	計	78	13	0	0	1	1	0	0	3	0	0	4	100
Ⅴ．精神および行動の障害 (F 00- F 99)	男	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
	計	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	5
Ⅵ．神経系の疾患 (G 00- G 99)	男	24	3	0	4	0	12	0	2	2	0	0	1	48
	女	62	2	0	9	0	18	0	5	2	0	0	1	99
	計	86	5	0	13	0	30	0	7	4	0	0	2	147
Ⅶ．眼及び付属器の疾患 (H 00- H 59)	男	0	0	0	0	12	0	300	0	1	0	0	0	313
	女	0	0	0	0	5	0	249	0	1	0	0	0	255
	計	0	0	0	0	17	0	549	0	2	0	0	0	568
Ⅷ．耳および乳様突起の疾 患 (H 60- H 95)	男	27	0	0	0	0	0	0	6	9	0	0	1	43
	女	5	0	0	0	0	0	0	7	13	0	0	2	27
	計	32	0	0	0	0	0	0	13	22	0	0	3	70
Ⅸ．循環器系の疾患 (I 00- I 99)	男	227	8	0	0	6	61	0	0	0	0	0	26	328
	女	331	8	2	0	8	96	0	0	0	0	0	43	488
	計	558	16	2	0	14	157	0	0	0	0	0	69	816
Ⅹ．呼吸器系の疾患 (J 00- J 99)	男	449	3	1	0	0	0	0	26	175	0	1	23	678
	女	493	17	4	0	0	0	0	25	183	0	0	22	744
	計	942	20	5	0	0	0	0	51	358	0	1	45	1,422
Ⅺ．消化器系の疾患 (K 00- K 93)	男	289	285	0	0	3	0	0	1	0	1	2	1	582
	女	374	442	0	1	0	1	0	2	3	0	0	0	823
	計	663	727	0	1	3	1	0	3	3	1	2	1	1,405
Ⅻ．皮膚および皮下組織の 疾患 (L00-L99)	男	19	17	0	6	19	0	0	0	8	0	0	1	70
	女	5	18	0	11	25	0	0	1	14	0	0	1	75
	計	24	35	0	17	44	0	0	1	22	0	0	2	145
ⅩⅢ．筋骨格系および結合組 織の疾患 (M00-M99)	男	9	2	0	149	11	0	0	0	3	0	0	0	174
	女	11	2	0	88	14	0	0	0	1	0	0	1	117
	計	20	4	0	237	25	0	0	0	4	0	0	1	291
ⅩⅣ．腎尿路生殖器系の疾患 (N00-N99)	男	242	15	51	0	6	0	0	0	3	5	68	12	402
	女	82	1	63	0	13	0	0	0	3	0	0	6	168
	計	324	16	114	0	19	0	0	0	6	5	68	18	570
ⅩⅤ．妊娠、分娩および産じよ << 褥 >> (O00-O99)	女	0	1	0	0	0	0	0	0	0	702	2	0	705
	計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	702	2	0	705

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	形成外科	脳外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
X VI . 周産期に発生した病態 (P00-P96)	男	0	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	15
	女	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	25
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0	0	40
X VII . 先天奇形、変形および染色体異常 (Q00-Q99)	男	0	0	0	2	2	1	1	0	1	0	1	0	8
	女	0	4	0	0	1	0	0	0	4	0	0	0	9
	計	0	4	0	2	3	1	1	0	5	0	1	0	17
X VIII . 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの (R00-R99)	男	4	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	7
	女	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	計	5	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	9
X IX . 損傷、中毒およびその他の外因の影響 (S00-T98)	男	32	7	2	329	13	14	3	0	69	0	6	2	477
	女	21	22	0	274	28	29	3	0	122	0	0	6	505
	計	53	29	2	603	41	43	6	0	191	0	6	8	982
XX I . 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用 (Z00-Z99)	男	76	80	1	47	1	0	0	0	261	0	12	0	478
	女	87	61	3	54	1	0	0	0	300	0	0	0	506
	計	163	141	4	101	2	0	0	0	561	0	12	0	984
総計		3,517	1,439	184	983	203	236	556	94	1,275	711	215	155	9,568

医療の質 Quality Indicator (QI)

(データ作成：診療情報管理室 柳)

当院では、2013年4月から日本病院会主催の「QIプロジェクト」へ参加しています。「QIプロジェクト2018」では、日本病院会が指定する42の指標について、全国の参加病院352病院がデータを提出、ベンチマークすることで、自院の立ち位置を確認することが出来ます。これらの指標を観察・分析し常に医療の質の向上につとめています。これらの指標の一部をここで紹介します。

患者満足度調査

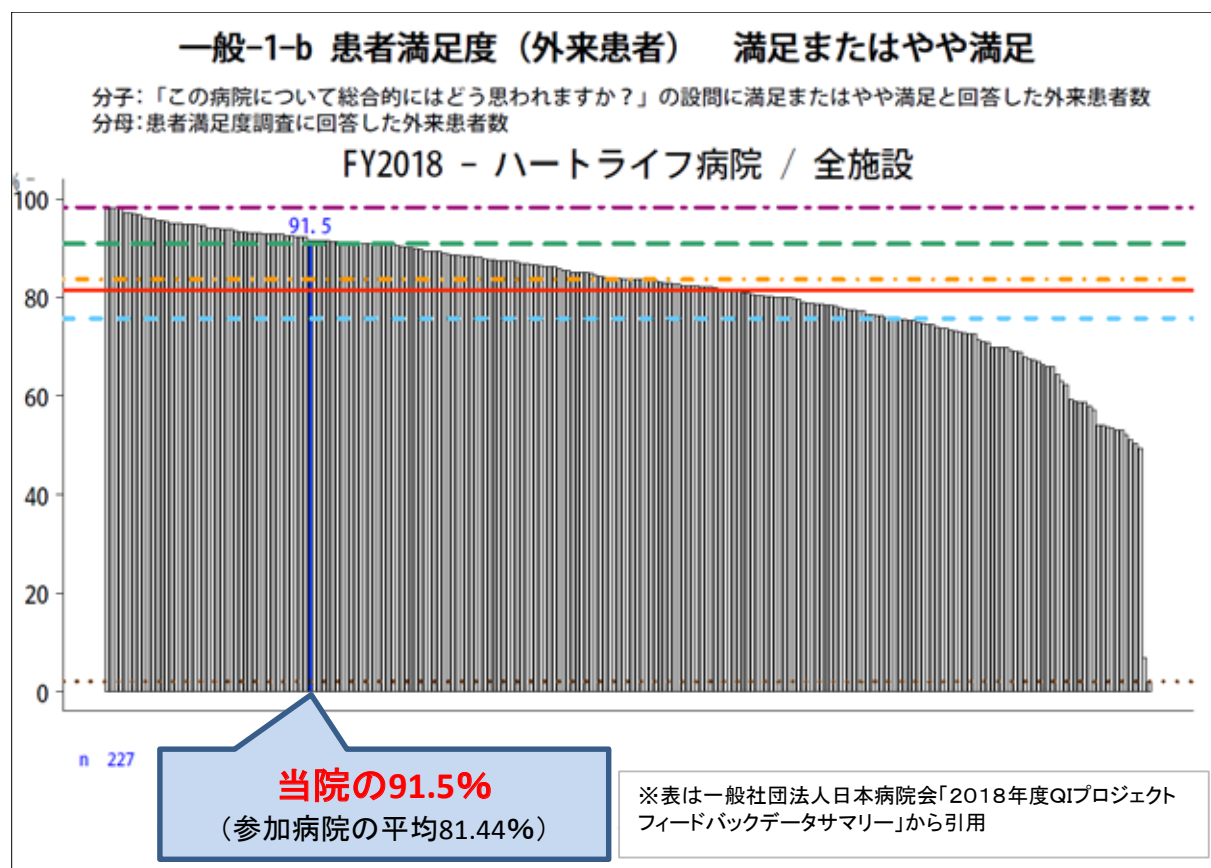
外来患者さんに「この病院について総合的にはどう思われますか？」という問いに対し「不満/やや不満/どちらともいえない/やや満足/満足」の5段階で評価をして頂きました。

外来における患者満足度の「満足またはやや満足」は、9割を超える高い満足度をいただきましたが、昨年度と比較し「満足またはやや満足」の割合が1.5%減少しました。

今後下がった要因等の調査分析を行い、患者満足度の向上に努めてまいります。

※外来調査期間:平成30年10月1日～2日の2日間 回答者数:299名

	2014	2015	2016	2017	2018
満足のみ	34.3%	32.5%	36.8%	36.0%	35.6%
満足+やや満足	90.9%	84.6%	88.3%	93.0%	91.5%
どちらともいえない	8.7%	14.5%	10.0%	6.57%	7.7%
やや不満	0.4%	0.9%	1.3%	0.43%	0.4%
不満	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%

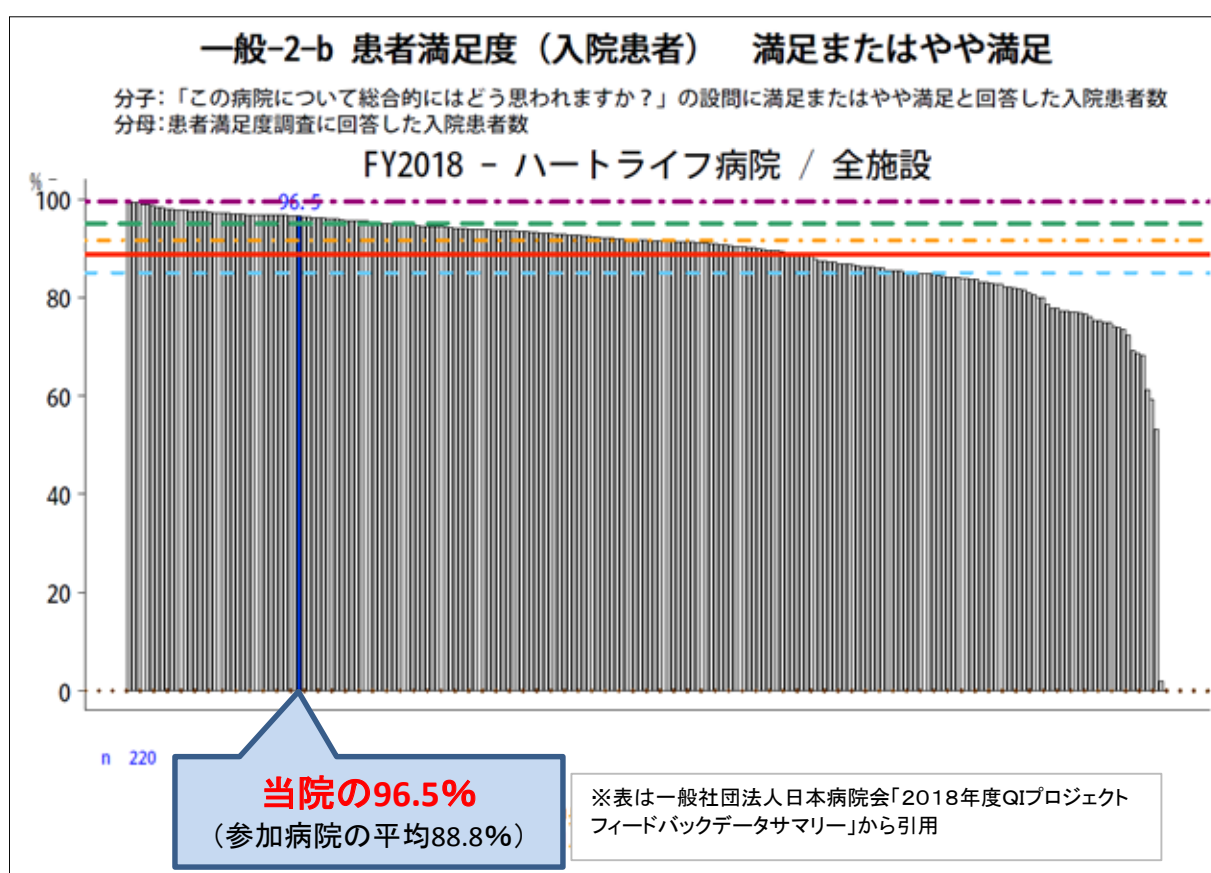


入院されている患者さんに「この病院について総合的にはどう思われますか？」という問いに対し「不満 / やや不満 / どちらともいえない / やや満足 / 満足」の 5 段階で評価をして頂きました。

昨年度に比べ満足またはやや満足は 4.0% アップしました。入院における患者満足度は、年々上昇傾向にあります。

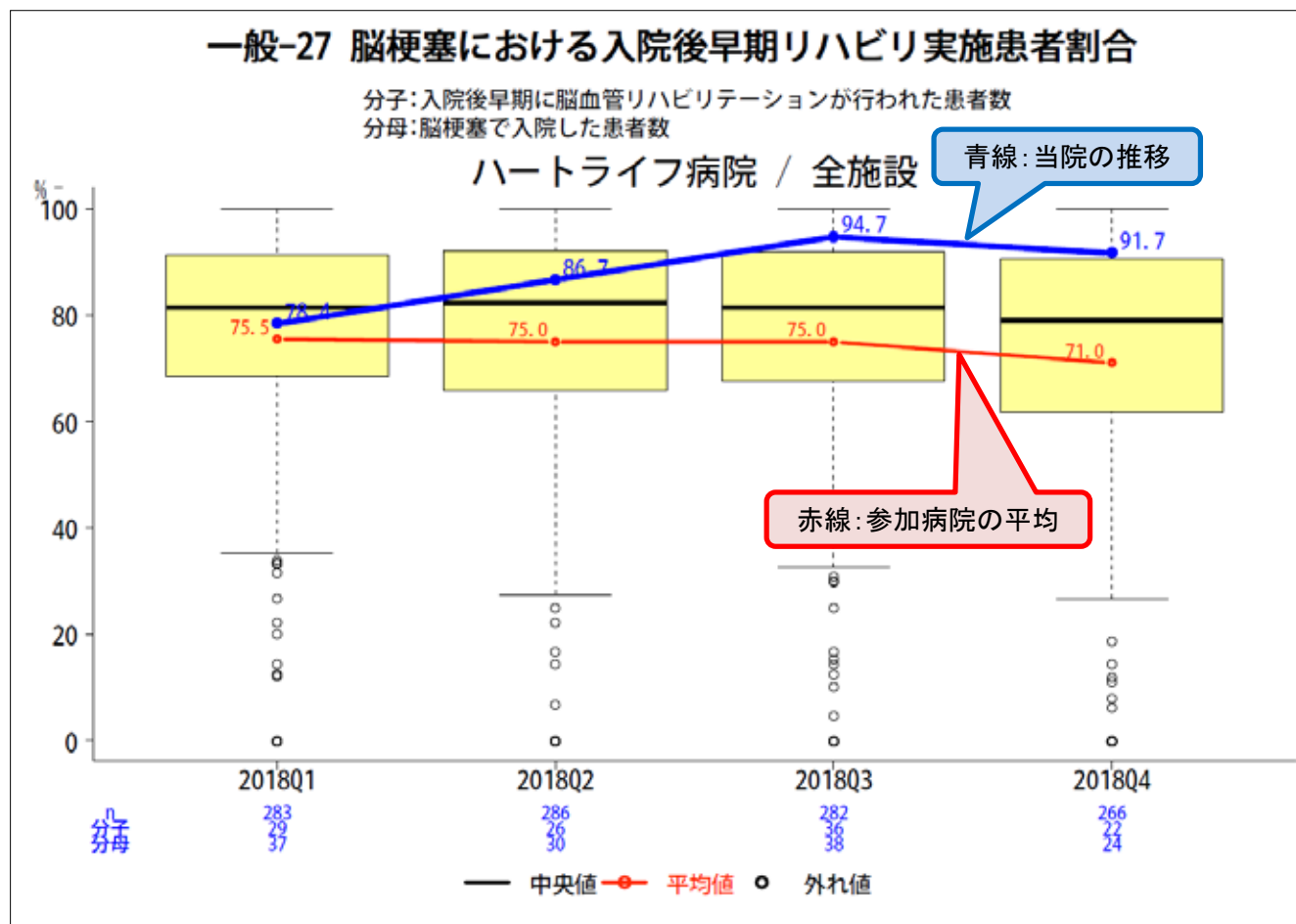
※入院調査期間：平成 30 年 10 月 1 日～ 6 日の 6 日間 回答者数：120 名

	2014	2015	2016	2017	2018
満足のみ	44.1%	42.2%	46.8%	53.0%	44.4%
満足 + やや満足	90.6%	94.1%	94.9%	92.5%	96.5%
どちらともいえない	9.4%	4.9%	5.1%	7.5%	3.5%
やや不満	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%
不満	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者の割合

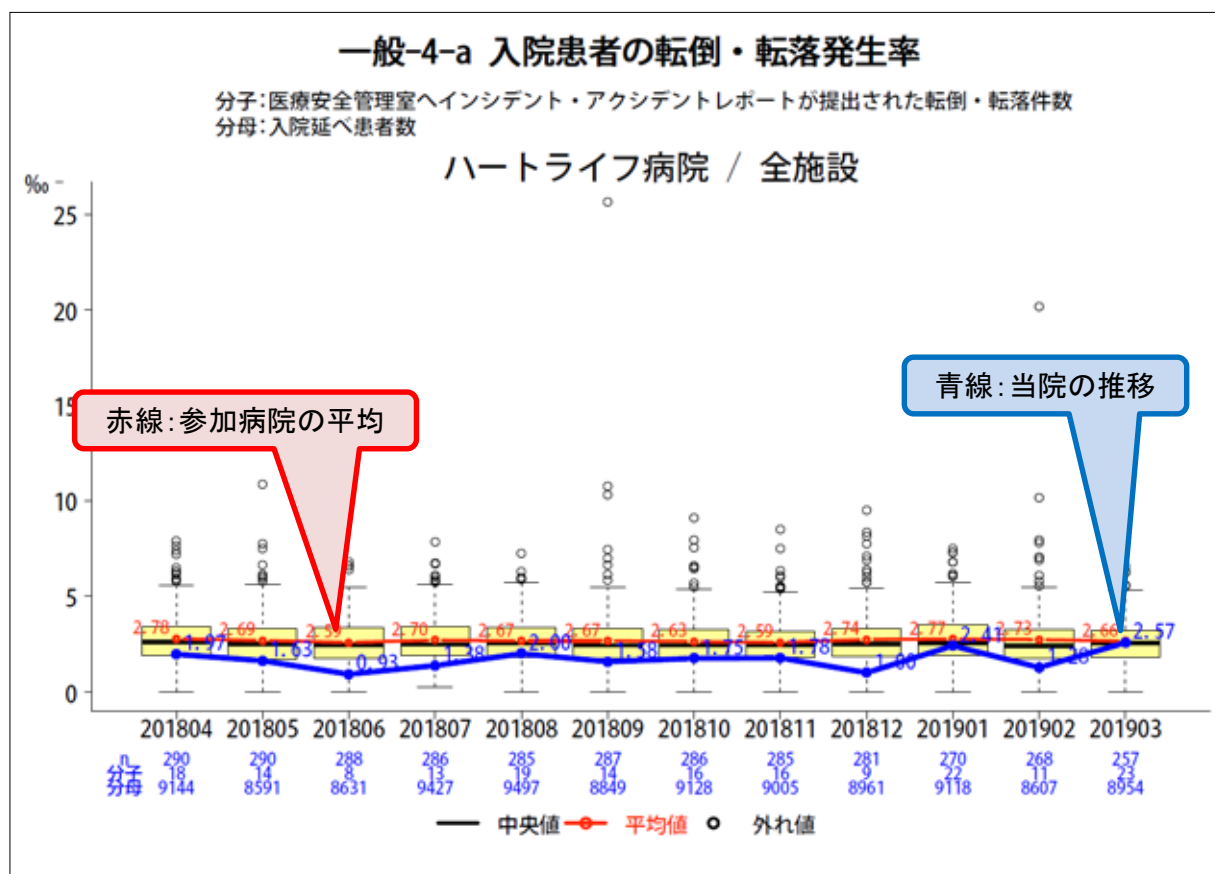
この図は脳梗塞の診断で入院し、入院後3日以内に脳血管疾患等リハビリテーションを受けた症例の割合を示しております。脳卒中の診断後できるだけ早期にリハビリを開始することが、機能の早期回復と低下抑制につながります。当院は91.7%で参加病院の平均値を大きく上回っていました。(診療情報管理室)



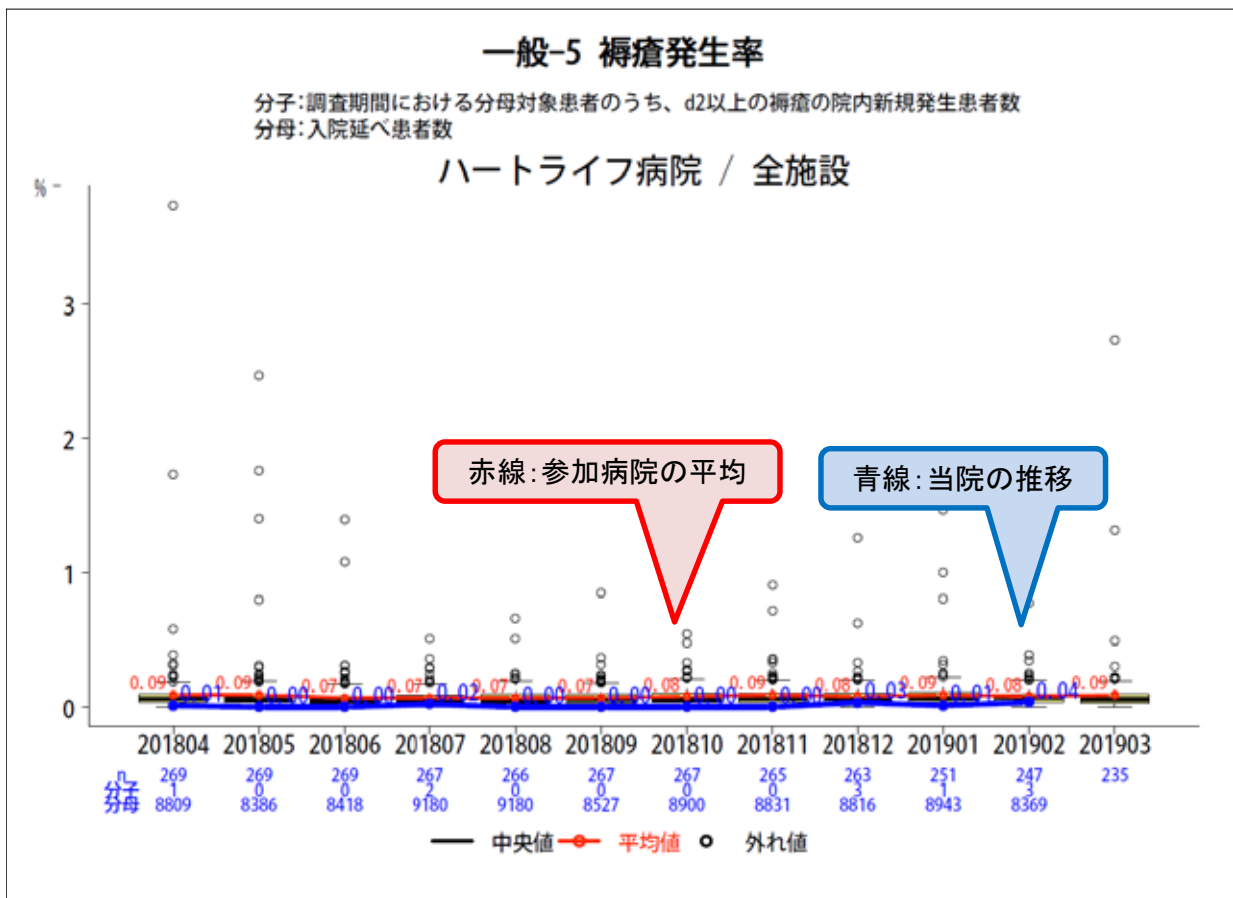
入院患者の転等・転落発生率

転倒、転落に関しては、発生時間など細かな情報収集を継続して行なっています。情報提供を行い発生部署を中心に要因分析と対策評価・見直しを行なっています。また、定期的に勉強会を開催し、その中で患者行動から事前のトイレ誘導や環境管理などの有用性について、各睡眠薬の特徴や注意点についても共有する機会としています。

今後、高齢化に伴い患者要因の増大も予測される為、継続して転倒転落における教育を行なっていきます。



褥瘡発生率



地域医療支援病院認定 関連統計情報

紹介率・逆紹介率

地域医療支援病院承認条件：紹介率 65% 以上かつ逆紹介率 40% 以上

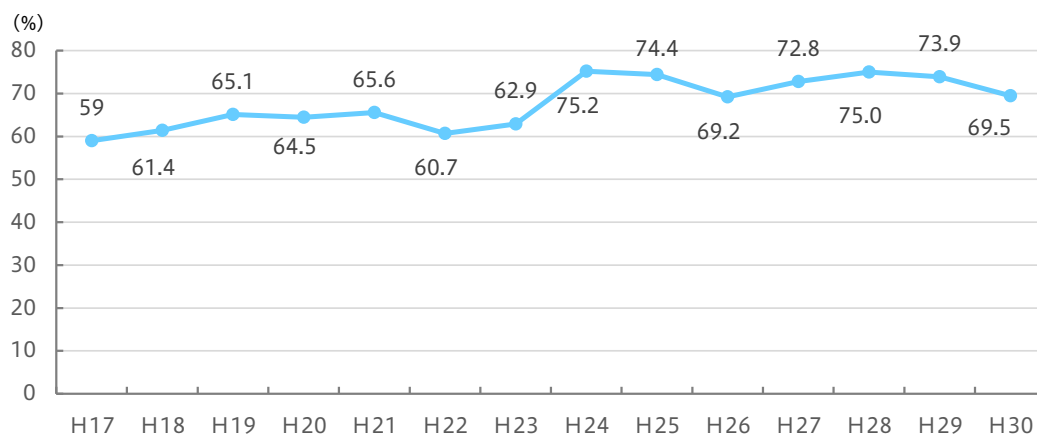
ハートライフ病院目標 紹介率 80% / 逆紹介率 70%

(データ作成 地域医療連携室 新垣)

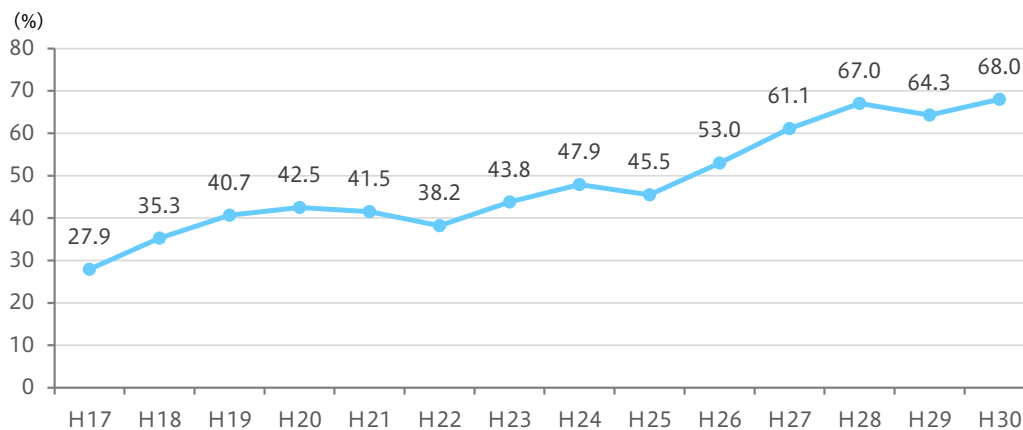
紹介患者状況

	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均	患者数 (人)	月平均
紹介患者数	7,591	633	8,280	690	8,596	716	8,645	720	8,402	700
初診患者数	18,509	1,542	17,791	1,483	18,157	1,513	18,703	1,559	18,816	1,568
救急初診患者数	7,700	642	6,512	543	6,761	563	7,149	596	6,506	542
時間内初診救急搬送件数	485	40	613	51	623	52	624	52	658	55
逆紹介患者数	5,813	484	6,949	579	7,716	643	7,528	627	8,214	685
紹介率	69.2%		72.8%		75.0%		73.9%		69.5%	
逆紹介率	53.0%		61.1%		67.3%		64.3%		68.0%	

地域医療支援病院紹介率の実績 (月平均紹介率 / 基準値 65% 目標値 80%)



地域医療支援病院逆紹介率の実績 (基準値 40% 目標値 70%)



共同利用

(データ作成 地域医療連携室 新垣)

年度別 登録医状況

	登録医数	備考
平成 26 年 3 月	297	登録医療機関は 290
平成 27 年 3 月	300	登録医療機関は 292
平成 28 年 3 月	322	登録医療機関は 313
平成 29 年 3 月	323	登録医療機関は 314
平成 30 年 3 月	324	登録医療機関は 315

平成 30 年度登録施設 診療圏内訳

医療圏	件数
北部医療圏	10
中部医療圏	102
南部医療圏	181
宮古医療圏	13
八重山医療圏	8
その他医療圏	1
合計	315

医療機器の共同利用状況

		MRI	CT	RI	超音波
平成 26 年度	総件数	3,823	12,256	317	13,263
	紹介件数	658	1,093	41	2,250
	利用率	17.2%	8.9%	12.9%	17.0%
平成 27 年度	総件数	3,758	12,147	286	12,884
	紹介件数	667	1,134	46	2,270
	利用率	17.9%	9.4%	15.8%	17.6%
平成 28 年度	総件数	3,780	12,230	202	11,677
	紹介件数	782	1,340	35	2,435
	利用率	20.7%	11.0%	17.3%	20.9%
平成 29 年度	総件数	3,822	12,253	283	11,636
	紹介件数	733	1,306	73	2,595
	利用率	19.2%	10.7%	25.8%	22.3%
平成 30 年度	総件数	4,503	12,397	287	11,887
	紹介件数	939	1,247	42	2,793
	利用率	20.9%	10.1%	14.6%	23.5%

開放病床の共同利用状況（開放病床 22 床）

	延べ利用患者数	年間平均利用率
平成 26 年度	8,950	115.1%
平成 27 年度	8,843	110.0%
平成 28 年度	10,521	131.2%
平成 29 年度	9,196	114.4%
平成 30 年度	9,352	117.4%

研修

(データ作成 地域医療連携室 新垣)

地域医療従事者に対する検討会・勉強会実施状況

内 訳	回数	症例件数	参加人数		
			院内	院外	合計
救急症例検討会	3	10	121	198	319
消化器系症例検討会	6	18	117	22	139
その他講習会・講演会等	5	2	110	21	131
合 計	14	30	348	241	589

救急救命士実習実績

(データ作成 地域医療連携室 金城)

薬剤投与病院実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	1
合 計	1

気管挿管病院実習

消防本部名	人数
中城北中城消防本部	1
東部消防組合消防本部	1
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	2
合 計	4

就業前病院実習

消防本部名	人数
中城北中城消防本部	1
合 計	1

気管挿管認定救急救命士の再教育に係る見学・指導実習

消防本部名	人数
東部消防組合消防本部	9
沖縄市消防本部	3
宜野湾市消防本部	6
金武区消防衛生組合消防本部	1
中城北中城消防本部	3
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	5
うるま市消防本部	6
合 計	33

ビデオ喉頭鏡病院実習

消防本部名	人数
うるま市消防本部	2
沖縄市消防本部	3
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	3
中城北中城消防本部	4
金武区消防衛生組合消防本部	5
宜野湾市消防本部	2
合 計	19

ハートライフ病院 DMAT

概要

DMAT とは、大規模災害や多数傷病者が発生した事故などの急性期の現場で活動できる専門的な訓練を受け、通常診療が行えれば避けられた死（防ぎ得た災害死）を減らすため、できるだけ多くの人に根本治療を、そのためにできるだけ多くの人を適切な医療機関へ搬送するための安定化処置を施し、最大多数の最大幸福をめざして活動をする厚生労働省の認めた専門研修・訓練を受けた災害派遣医療チームです。

ハートライフ病院はこれまで、救急・災害医療面で多くの会議・協議会・実働訓練・学会、講習会等に参加して実績を残し、平成 26 年に DMAT 隊員養成研修に 5 名の職員が受講し正式にハートライフ病院が DMAT 指定医療機関となり、ハートライフ DMAT が設立されました。設立後も、各種訓練、講習会に参加しつつ、薬局・臨床工学科・管財課用度係・企画室・救急総合診療部・災害対策委員会と連携しながら、DMAT 派遣・災害医療の体制作りを進め、平成 28 年に起きた熊本地震では沖縄からの最先着隊として被災地に入り、活動をしてきました。

これからも引き続き、院内の各種委員会との連携を進め、DMAT 活動体制を更に前進させます。

メンバー構成

氏名	所属・役職	職種
三戸 正人	救急総合診療部副部長 兼 循環器内科 医長	医師（内科系）
国吉 史雄	外科 医長	医師（外科系）
竹本 健太	透析室	看護師
兼本 愛美	救急外来 主任	看護師（救急看護認定看護師）
山田 義長	救急外来	看護師
江口 まり子	ICU	看護師
野原 剛	臨床工学科 副技師長	ロジスティクス（事務・調整役）
安里 健二	事務部経営企画室 電算係 副主任	ロジスティクス（事務・調整役）

活動報告

種別	名称・参加者
訓練	・ 美ら島レスキュー 2018（7 月・沖縄県 陸上自衛隊那覇駐屯地） 参加者：三戸正人、兼本愛美、江口まり子、山田義長、野原剛、安里健二、比嘉安隆（ER-Aide）、森元一晟（ER-Aide） ・ 平成 30 年度 総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練（8 月・宮崎県） 参加者：三戸正人、兼本愛美、江口まり子、山田義長、安里健二 ・ 平成 30 年度 沖縄県総合防災訓練（9 月・沖縄県那覇市、南城市） 参加者：三戸正人、国吉史雄、野原剛、安里健二、比嘉安隆（ER-Aide）、森元一晟（ER-Aide） ・ 平成 30 年度 沖縄県災害対策本部設置運営訓練（11 月・沖縄県那覇市） 参加者：三戸正人、兼本愛美 ・ 平成 30 年度 九州・沖縄ブロック DMAT 実動訓練（11 月・鹿児島県） 参加者：三戸正人（コントローラー）、国吉史雄、兼本愛美、山田義長、野原剛、安里健二 ・ 平成 30 年度 地域合同防災訓練（3 月・沖縄県 八重瀬町：南部徳洲会病院） 参加者：三戸正人、国吉史雄、兼本愛美、山田義長、野原剛、安里健二

種別	名称・参加者
研修	- 平成 30 年度 第 1 回統括 DMAT 研修 (5 月・東京都) 参加者：三戸正人 (インストラクターとして参加) - 平成 30 年度 災害派遣医療チーム (DMAT) 研修【西第 3 回】(6 月・兵庫県) 参加者：山田義長 - 平成 30 年度 災害派遣医療チーム (DMAT) 研修【西第 5 回】(8 月・兵庫県) 参加者：野原剛 - 平成 30 年度九州・沖縄ブロック災害医療ロジスティック研修 (10 月・熊本県) 参加者：三戸正人、野原剛 - 平成 30 年度 第 3 回九州・沖縄ブロック DMAT 技能維持研修 (1 月・宮崎県) 参加者：三戸正人 (インストラクターとして参加) - 自衛隊航空機を使用した DMAT 広域医療搬送実機研修 (2 月・鳥取県) 参加者：三戸正人、兼本愛美、山田義長、安里健二 - 平成 30 年度 第 2 回 DMAT ロジスティックチーム隊員養成研修 (3 月・新潟県) 参加者：三戸正人
会議	- 平成 30 年度 沖縄県総合防災訓練全体会議 - 平成 30 年度 沖縄県総合防災訓練医療部会 - 那覇空港緊急計画連絡協議会 - DMAT 連絡会議
事務局活動	ハートライフ DMAT 委員会 (DMAT 隊員、企画室、臨床工学科、管財課用度)

2018/07/19
美ら島レスキュー2018



2018/08/04 (宮崎県)
大規模地震時医療活動訓練



2018/09/01 (那覇市・南城市)
沖縄県総合防災訓練



2018/11/06 (那覇市)
沖縄県災害対策本部設置運営訓練



2018/11/10 (鹿児島県)
九州・沖縄ブロックDMAT実動訓練

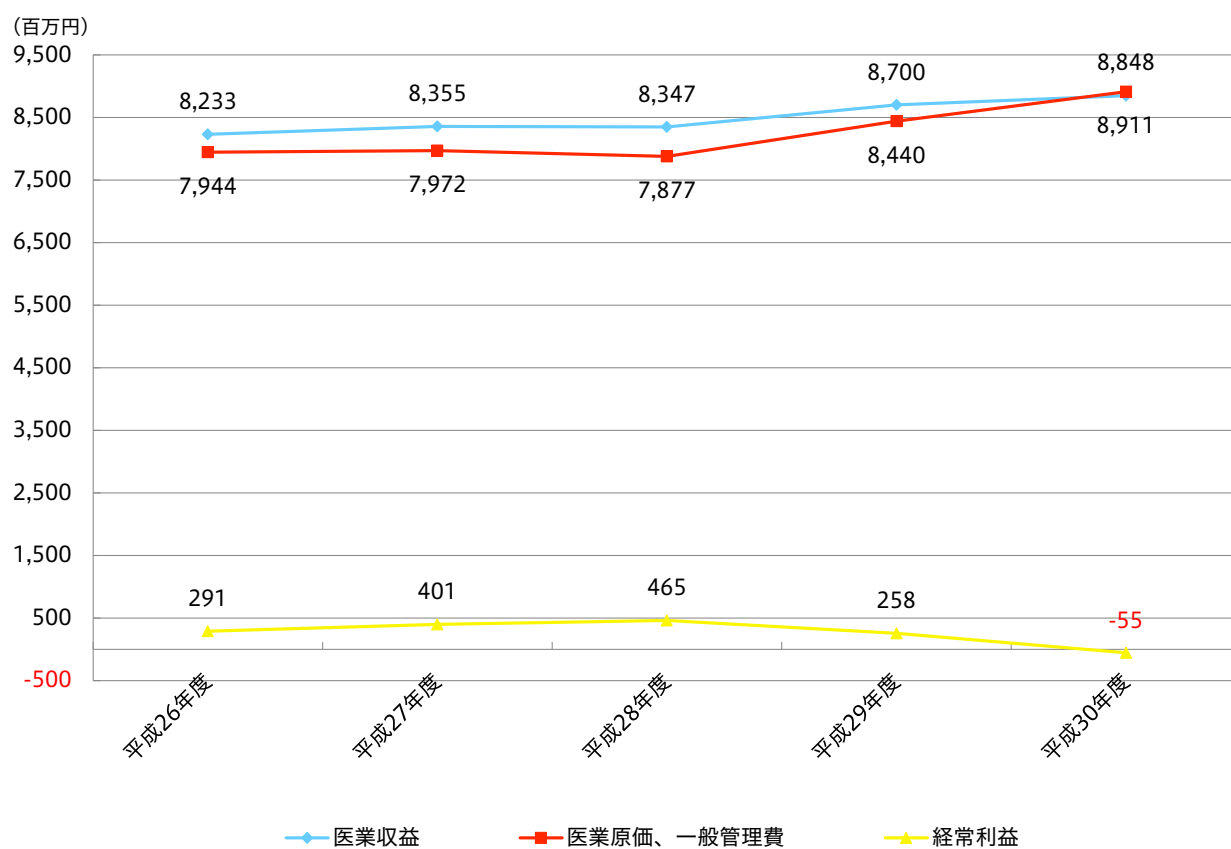


2019/03/10 (沖縄県八重瀬町)
地域合同防災訓練



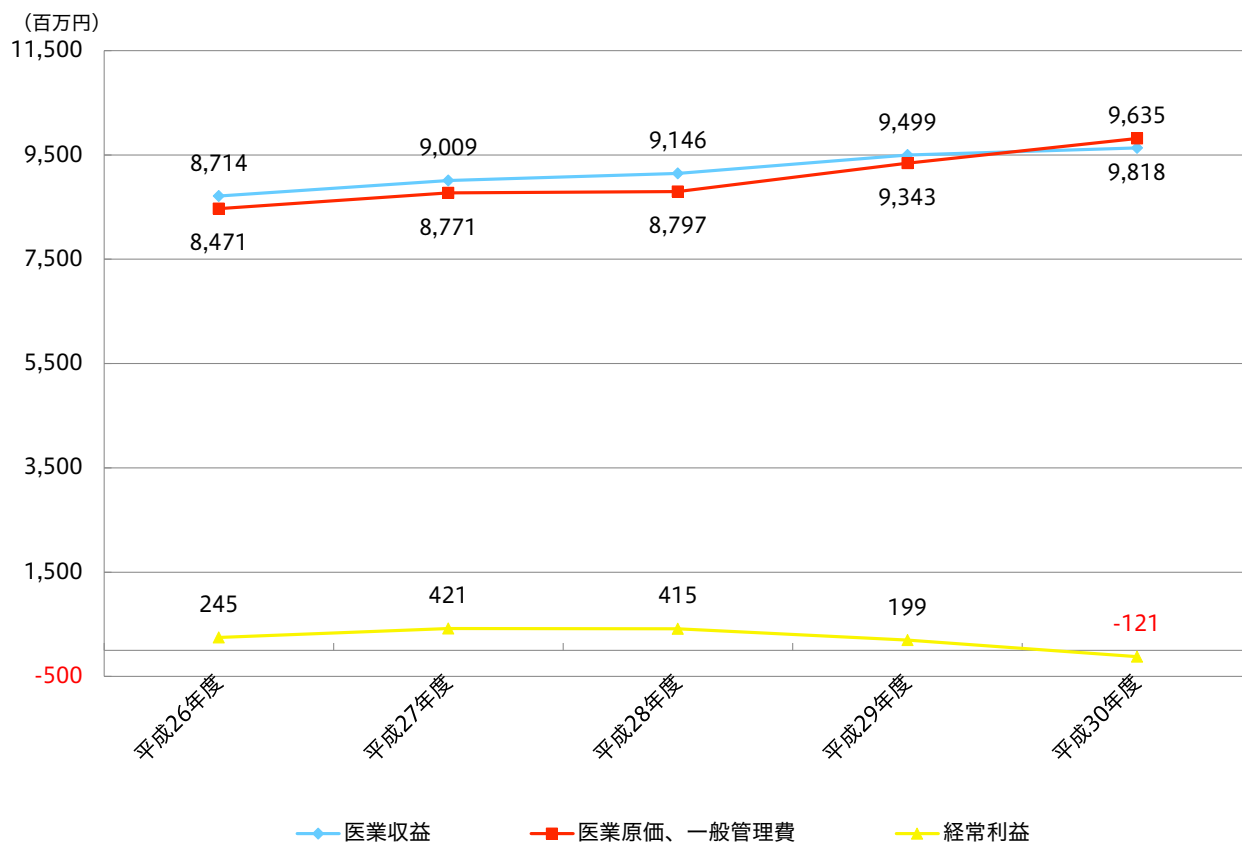
ハートライフ病院財務状況推移

(データ作成 財務経理課 大山)



社会医療法人かりゆし会 財務状況推移

(データ作成 財務経理課 大山)



社会医療法人かりゆし会 平成 30 年度の活動実績

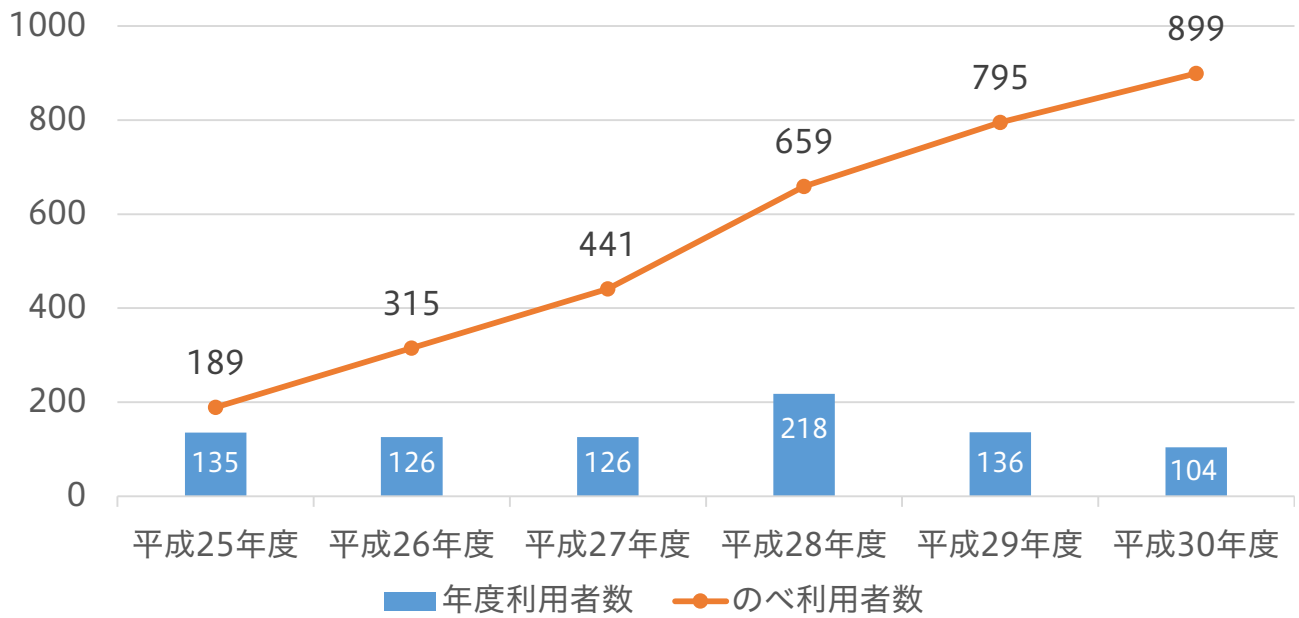
(データ作成 総務課 吉川)

年月日	名称
平成 30 年 4 月 2 日	平成 30 年度 入職式・新入職員オリエンテーション (1 日目) 新入職者歓迎会 春季 職員健診 (35 歳未満: 4/1 ~ 11、35 歳以上: 4/1 ~ 30)
平成 30 年 4 月 3 日	新入職員オリエンテーション (2 日目)
平成 30 年 4 月 23 日	院内合同慰霊祭
平成 30 年 5 月 1 日	医療機器勉強会
平成 30 年 5 月 20 日	新入職員歓迎 沖縄本島縦断駅伝大会
平成 30 年 6 月 5 日	平成 29 年度 科別実績報告会 (1 日目)
平成 30 年 6 月 6 日	平成 29 年度 科別実績報告会 (2 日目)
平成 30 年 6 月 12 日	平成 30 年度 事業計画説明会<役職者対象>
平成 30 年 6 月 15 日	緩和ケア勉強会『『死にたい』と打ち明けられた時の接遇』 講師: 心療内科 菅野 善一郎 先生
平成 30 年 6 月 19 日	九州厚生局による適時調査
平成 30 年 7 月 3 日	講演会「働く人から学ぶ」 講師: 大久保 寛司 先生 (人と経営研究所 所長)
平成 30 年 7 月 5 日	講演会「頭痛のたね もとい ねた」 講師: 林寛之 先生 (福井大学医学部附属病院 総合診療部長・教授)
平成 30 年 7 月 20 日	クリニカルパス大会 特別講演「パスの電子化で変化する取り組み・変化しない取り組み ~パスを取り巻く環境~」 講師: 河村 進 先生 (四国がんセンター 特命副院長・病院情報管理部長・クリニカルパス管理委員会委員長・日本クリニカルパス学会理事)
平成 30 年 7 月 31 日	Web 講演会「認知症ケア加算を考える」 座長: 鶴田 先生 (潤和会記念病院 名誉院長)
平成 30 年 8 月 3 日	産婦人科病棟増築記念 地域医療講演会「他科から紹介される産婦人科疾患」 講師: 片淵 秀隆 先生 (熊本大学大学院 産婦人科学教授)
平成 30 年 8 月 7 日	職員交流 卓球大会 (1 日目)
平成 30 年 8 月 8 日	職員交流 卓球大会 (2 日目)
平成 30 年 8 月 9 日	職員交流 卓球大会 (3 日目)
平成 30 年 8 月 15 日	院内感染対策講演会「標準予防策と手指衛生の 5 つのタイミング」 講師: 普天間 光彦 先生
平成 30 年 8 月 21 日	中部合同カンファレンス
平成 30 年 8 月 22 日	ハートライフ病院 開院 30 周年
平成 30 年 9 月 3 日	永年勤続者 (10 年及び 20 年及び 30 年) 表彰
平成 30 年 9 月 7 日	講演会「サイコカーディオロジーから見た循環器疾患とうつ病」 講師: 西村 勝治 先生 (東京女子医科大学医学部精神医学講座 主任教授)
平成 30 年 9 月 26 日	糖尿病勉強会「糖尿病の病態と治療・Q & A」 講師: 山本 寿一 ハートライフクリニック院長
平成 30 年 10 月 3 日	講演会「見える CKD 診療 ~保存期 CKD の実臨床~」 講師: 土屋 健 先生 (東京女子医科大学 血液浄化療法科教授)
平成 30 年 10 月 6 日	講演会「“電気メス”を効率よく上手に使うには」 講師: 渡邊 祐介 先生 (手稲溪仁会病院 外科)
平成 30 年 10 月 10 日	院内研究発表会 医療技術部予選会
平成 30 年 10 月 18 日	ハートライフ病院 30 周年記念講演会及び記念祝賀会 (ラグナガーデンホテル)
平成 30 年 10 月 19 日	講演会 文献の探し方、読み方、整理の仕方 講師: 上田 剛士 先生 (洛和会丸太町病院 救急・総合診療科部長)
平成 30 年 10 月 25 日	院内研究発表会 事務部予選会
平成 30 年 10 月 26 日	院内研究発表会 看護部予選会
平成 30 年 10 月 27 日	かりゆし会スポーツレクリエーション「部署交流ソフトバレーボール大会」 西原町民体育館
平成 30 年 10 月 29 日	医療安全講演会「“医療安全”安全意識の醸成に向けて」 講師: 久場 良也 副院長・医療安全管理責任者
平成 30 年 10 月 31 日	糖尿病勉強会「あなたもインスリンの達人に ミニレクチャー」 講師: 山本 寿一 ハートライフクリニック院長
平成 30 年 11 月 1 日	講演会「病院機能評価受審に向けて」 講師: 小松原 嘉哲 先生 (日本医療機能評価機構 評価事業推進部支援課 係長)
平成 30 年 11 月 2 日	院内研究発表会 本選
平成 30 年 11 月 6 日	感染講習会
平成 30 年 11 月 8 日	感染講習会
平成 30 年 11 月 15 日	感染講習会 講演会「働く人から学ぶ」 講師: 大久保 寛司 先生 (人と経営研究所 所長)
平成 30 年 11 月 17 日	ハートライフ病院 30 周年記念 健康まつり
平成 30 年 11 月 20 日	医療監視 (中部保健所による立入検査) 感染講習会

年月日	名称
平成 30 年 11 月 21 日	「治療と仕事の両立支援セミナーとピアサポートの紹介」 講師：増田 昌人 先生（琉球大学医学部附属病院 がんセンター長）
平成 30 年 11 月 22 日	沖縄県医師会主催 医療従事者（20 年勤続）表彰式・懇親会（ダブルツリー by ヒルトン 那覇首里城）
平成 30 年 11 月 26 日	糖尿病勉強会「糖尿病療養指導 三位一体」 講師：山本 壽一 ハートライフクリニック院長
平成 30 年 11 月 27 日	感染講習会
平成 30 年 11 月 28 日	中部地区医師会主催 医療従事者（10 年勤続）表彰式・懇親会（日本プライダルセンター）
平成 30 年 11 月 29 日	感染講習会
平成 30 年 12 月 7 日	講演会「電子カルテデータによる診療支援」 講師：岩淵 勝好 先生（山形市立病院 呼吸器内科医長）
平成 30 年 12 月 12 日	感染講習会
平成 30 年 12 月 14 日	病院機能評価に向けた模擬サーベイ 講演会「老いと ぼけ の世界と看取り」 講師：村瀬 孝生 先生（宅老所よりあい 代表）
平成 30 年 12 月 18 日	感染講習会
平成 30 年 12 月 28 日	御用納め 納会
平成 31 年 1 月 4 日	仕事始め
平成 31 年 1 月 7 日	かりゆし会成人式
平成 31 年 1 月 11 日	新春もちつき大会
平成 31 年 1 月 16 日	病院機能評価に向けた SRL 模擬サーベイ（1 日目）
平成 31 年 1 月 17 日	病院機能評価に向けた SRL 模擬サーベイ（2 日目）
平成 31 年 1 月 22 日	感染対策講演会「起因菌を狙い打て！感染症診療の基本的考え方」 講師：成田 雅 先生（沖縄県立中部病院 感染症内科）
平成 31 年 1 月 23 日	倫理講演会「立ち止まる倫理のすゝめ Part1」 講師：金城 隆展 先生（琉球大学医学部附属病院 地域医療部 臨床心理士）
平成 31 年 1 月 29 日	講演会「岡山県南西部地域における医療・看護連携」 講師：黒瀬 正子 先生（倉敷中央病院 副院長）
平成 31 年 2 月 1 日	講演会「運動器エコーのすゝめ」 講師：皆川 洋至 先生 城東整形外科診療部長
平成 31 年 2 月 2 日	医療セミナー「運動器エコーのすゝめ ※医師対象」 講師：皆川 洋至 先生 城東整形外科診療部長
平成 31 年 2 月 6 日	倫理講演会「立ち止まる倫理のすゝめ Part2」 講師：金城 隆展 先生（琉球大学医学部附属病院 地域医療部 臨床心理士）
平成 31 年 2 月 8 日	報告会「認定看護師報告会」
平成 31 年 2 月 19 日	整形外科セミナー「がん時代の整形外科に求められる意識改革 ～がん口コモを考える～」 講師：河野 博隆 先生（帝京大学医学部附属病院 整形外科主任教授）
平成 31 年 2 月 20 日	血液内科セミナー「多発性骨髄腫に対する免疫学的アプローチ」 講師：荻原 蔭太郎 先生（東京女子医科大学 血液内科講師）
平成 31 年 2 月 22 日	糖尿病セミナー「実臨床における糖尿病治療のトリセツ ～未来を守るベスト・チョイス～」 講師：野見山 崇 先生（福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科 准教授）
平成 31 年 2 月 25 日	役職者研修「幸せを呼ぶおもてなし講座」 講師：亀川 智子 先生（JAL・JTA セールス・販売部グループ長・客室乗務員）
平成 31 年 2 月 26 日	医療安全講演会「医療事故調査の実際」 講師：南須原 康行 先生（北海道大学病院医療安全管理部部長・教授）
平成 31 年 3 月 6 日	平成 30 年度 火災避難訓練
平成 31 年 3 月 11 日	病院機能評価 訪問審査（1 日目）
平成 31 年 3 月 12 日	病院機能評価 訪問審査（2 日目）
平成 31 年 3 月 20 日	「卒後臨床研修終了式」 「卒後臨床研修修了パーティ」 エリスリーナ西原ヒルズガーデン
平成 31 年 3 月 26 日	平成 30 年度 災害対策訓練（災害時用浄水器の運転訓練・化学防護服の着用訓練・トリアージメントの設営訓練）
平成 31 年 3 月 27 日	講演会「私にとっての医療」 講師：久留宮 隆 先生（国境なき医師団）
平成 31 年 3 月 29 日	講演会「熊本地震、その時 阿蘇は！」 講師：甲斐 豊 先生（阿蘇医療センター院長）

かりゆし会病児保育室 利用実績推移

かりゆし会では職員の働きやすさ実現のために平成 24 年 8 月より、ハートライフクリニック内に職員向け病児保育室を設置しています。



平成 30 年度 患者満足度調査

(データ作成 患者満足度向上委員会 富里)

当院では、患者サービス向上を目的に「患者満足度調査」を実施しております。下記に平成 30 年度に実施されました調査結果をご報告致します。アンケートにご協力して下さった皆様に心より感謝を申し上げます。今後は、皆様からいただいた貴重なご意見を病院内の全部部署で共有し、より良い医療環境の提供・サービス向上に取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願い致します。

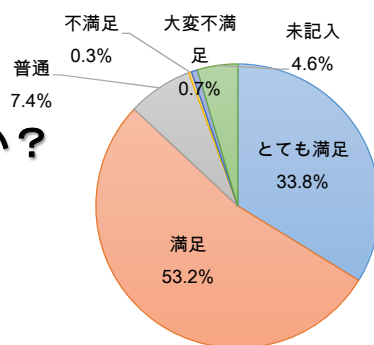
調査日時：平成 30 年 10 月 1 日（月）から 10 月 2 日（火）の 2 日間（病棟のみ 6 日までの 6 日間）

※調査場所：ハートライフ病院 外来・各病棟・透析室・人間ドック・内視鏡センター

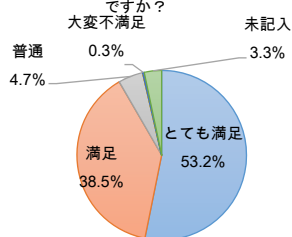


【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

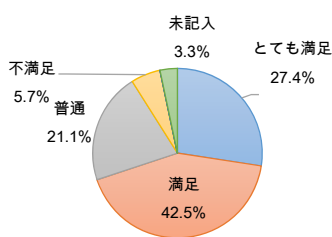
満足以上が87.0%と
概ね良い評価と
なっています。



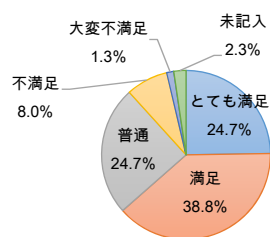
医師による診察内容は分かり易かったですか？



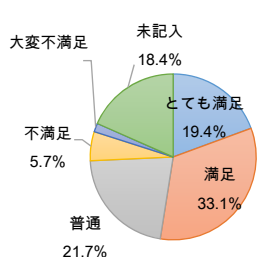
受付待ち時間はいかがでしたか？



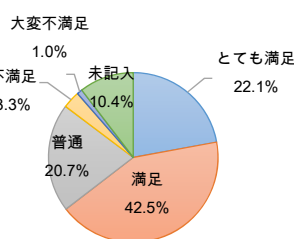
診察待ち時間はいかがでしたか？



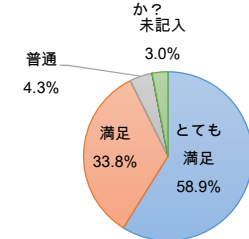
検査待ち時間はいかがでしたか？



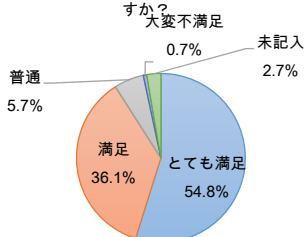
会計待ち時間はいかがでしたか？



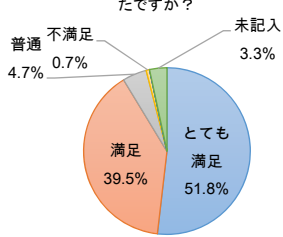
医師の言葉遣いや態度は良かったですか？



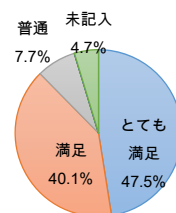
看護師の言葉遣いや態度は良かったですか？



受付事務の言葉遣いや態度は良かったですか？



その他職員の言葉遣いや態度は良かったですか？



・先生の手術が素晴らしかったです。手術看護師の方、臨床研修医の方も明瞭な説明・丁寧な対応をして下さり初めての手術でしたが不安なく臨めました。

・受付職員の対応が、とても親切。

・整形の新垣先生に診ていただきたく来院しました。特殊な膝関節なので今後新垣先生にお世話になりたいです。

・気配りがよく、ていねいな対応をしていただき感謝してます。皆様のお蔭で気持ちよく病氣と向き合えるようになりました。

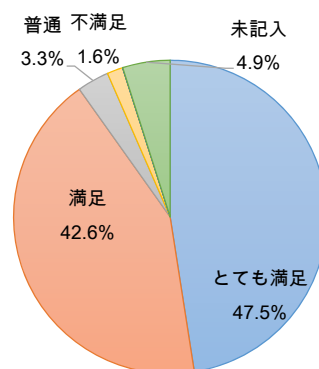
・とても良かった。施設もキレイで分かりやすい。職員さんも丁寧。

予防医学 センター

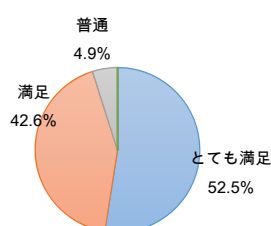
アンケート回答数
61件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

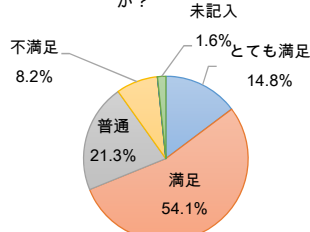
90.1%が満足以上の
評価となっています。



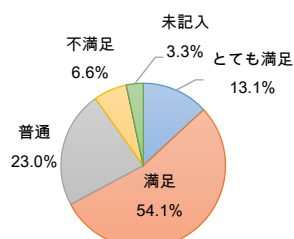
医師による診察内容は分かり易かったですか？



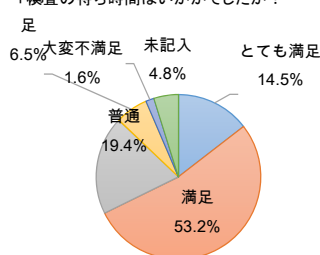
受付待ち時間はいかがでしたか？



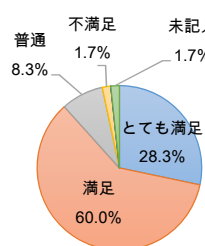
診察待ち時間はいかがでしたか？



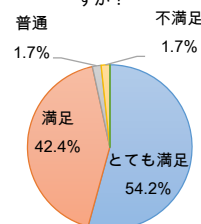
不機嫌の待ち時間はいかがでしたか？



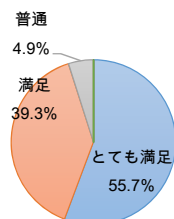
会計の待ち時間はいかがでしたか？



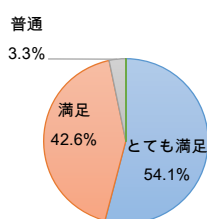
医師の言葉遣いや態度は良かったですか？



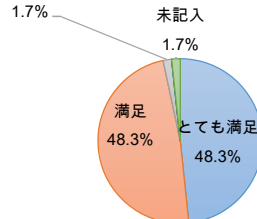
看護師の言葉遣いや態度は良かったですか？



受付事務の言葉遣いや態度は良かったですか？



その他職員の言葉遣いや態度は良かったですか？



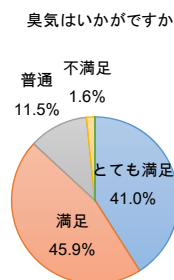
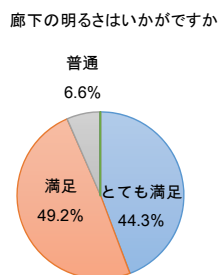
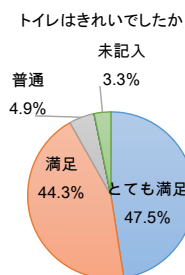
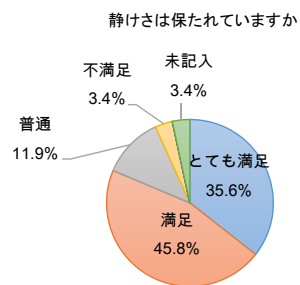
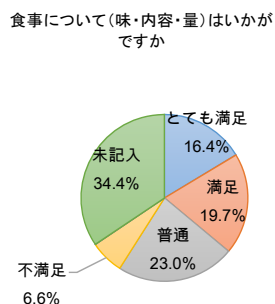
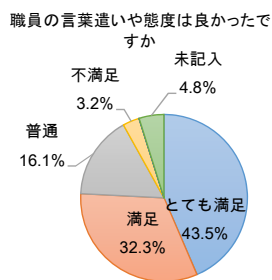
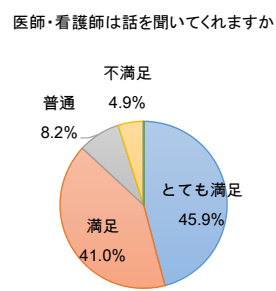
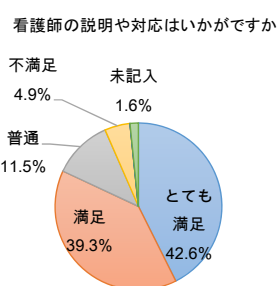
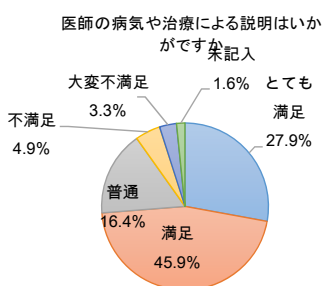
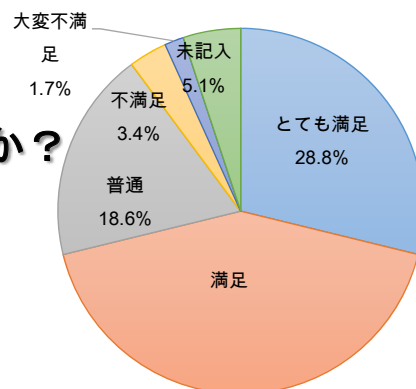
- ・人間ドックなので待ち時間はほとんどなかったです。
- ・満足してる為、毎年うけてます。いつもありがとうございます。
- ・毎年受けてます。いつも満足しています。待合室が去年までは9Fで広々としてよかったなと思いました。
- ・去年から人間ドックを受けているんですがこんなに良いならもっと早くから受ければ良かったと思っています。大満足です
- ・いつもお世話になってます。ありがとうございます。
- ・慌ただしい状況が伝わってきて不安でした。安心して検査が受けられる様にしてほしい。切れ目なく検査誘導、案内に関しては適切な対応ありがとうございました。時々工事の音でびっくりさせられましたが、仕方ないでしょうね。空腹で体温も低かったので寒かったです。食事が美味しく頂かせてもらいました。ごちそう様でした。麻酔が弱かったのならそれなりの対応をしてほしかった。
- ・お世話になりました。次回もよろしくお願いします。ありがとうございました。
- ・オプションで子宮体癌検査も実施してほしい。エコー検査のあと、おしほりタオルがほしかったです。
- ・呼び出しは番号を表示(パネル)で出した方がよい。難聴者にもやさしく！
- ・胃カメラまでの時間が長かったです。(1時間近く)外来と一緒になので仕方ないとは思いますが…。空腹とのどのかわきが強かったので待ち時間は辛かったです。スタッフさんは気にして何度も謝ってくれましたよ。その対応は良かったです。
- ・目の検査は眼圧・眼をいを標準にしてほしい(視力よりも)
- ・ロッカーの中にくつを土足で納めるのはどうかと思いました。
- ・内部設備すごく良くなって来ている。
- ・ミネラルウォーターサーバーの設置をお願いします。

透析

アンケート回答数
61件

【総合評価】 この病院での 診療に満足していますか？

71.2%が満足以上の
評価となっています。



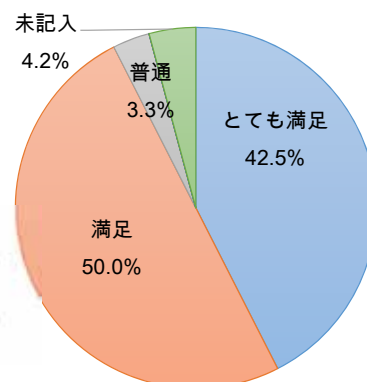
- ・看護師の説明とても満足です。
- ・先生は全て分かり易く説明を頂き理解致しております。それが望ましい対応だと思います。症状が有る事ですので必ず原因が有ると思いますが、全く前進することなく終わってしまい先が見えません。総合病院で有るという事で期待をして来たのですが・・・。
- ・いつも優しく接してくれてありがとうございます。これからよろしくお願いします。
- ・お医者さん、看護師さん、職員の皆様の対応が適切で優しくうれしいです。本当の感謝しかありません。院内も温かくすべてにありがとうございます。
- ・先生はまわってこないの、話は聞いてもらえない。看護師さんしかこないのに・・・。
- ・脳波をとるようにして下さい。
- ・仕事中は、患者との談笑者等を少し控えてほしい。院内のはしからはしまで聞こえます。あまりよくない。
- ・手洗いの水の出る時間が短い。手洗い後のビニールは不潔と思います。
- ・サービスがわるくなってる。
- ・朝早くに来て1階で待っているのですが、待っている場所についてこの前ここで待つなと言われたそうなので(私ではありませんが)三階の休憩室を早めに開放するわけにはいかないのですか？
- ・食事味はあんまりよくない。
- ・あさ7:30に空けてほしいです。
- ・せめて8時から入室してほしい。待合室を早めに空けてほしい。終わったら待たずにさっさと終わってほしい。
- ・送迎係の方でいつも患者に対し、強い口調をする方がいるらしく、透析に行きたくない1日おきに言われ、家族は困っています。すみません、相手はいくら年下だろうとあくまで患者です。もう少し口調は考えてはいかがですか？特に認知が入っていたりすると、同じことが1日おきにできるかといったら、できないと思います。自分の身になって考えてみては？
- ・血液検査等医師からの説明がない。他の病院では必ず医師からの説明がある。
- ・連絡手段に不満。いろんなことするのに説明不足。目がみえないからわからない。
- ・検査を透析の前か後か検査予定表に記入をお願いします。

病棟

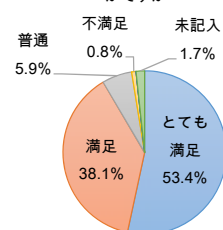
アンケート回答数
120件

【総合評価】 この病院での診療に 満足していますか

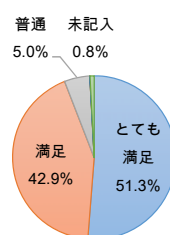
満足以上が92.5%と概ね
良い評価となっています。



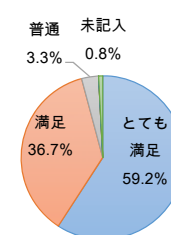
医師の病気や治療による説明はいかがですか



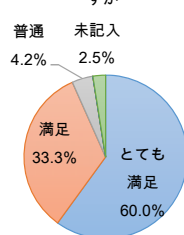
看護師の説明や対応はいかがですか



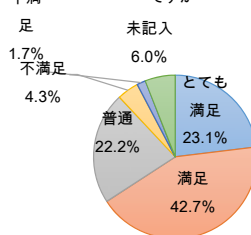
医師・看護師は話を聞いてくれますか



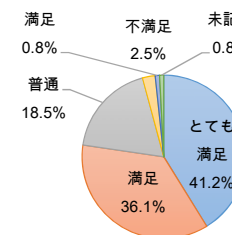
職員の言葉遣いや態度は良かったですか



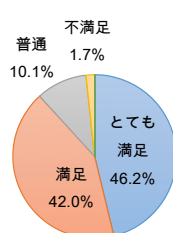
大変 食事について(味・内容・量)はいかがですか



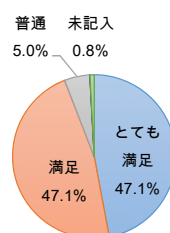
大変 静けさは保たれていますか



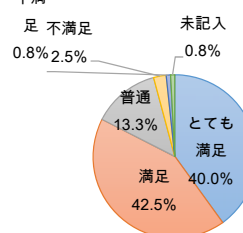
病棟・病室・トイレはきれいでしたか



病室・廊下の明るさはいかがですか



大変 室内の温度調整はいかがですか



・入院3日目なのでまだよくわかりません。ですが、命をたすけていただきとても感謝しています。これからどうしたら良いのか、(転院等)お世話になります。が、宜しくおねがいします。

・医師や看護師の方々は常に声を掛け、体調や状況を気にして下さり安心して入院生活を送れます。地元で信頼できる総合病院があることに感謝します。

・病院大嫌いな私ですが今までの病院に対する思いが大きく変わりました。この病院には何かあれば何の抵抗もなく来れそうです。有難うございました!! お世話になりました。

・入退院の繰り返しで、スタッフの皆さんの笑顔と機敏な行動に私の病も軽減されるような気分になります。過酷なお仕事、頭の下がる思いでいっぱい。あえて申し上げますと病室のカーテンの汚れが気になっております。

・毎日患者の為に先生はじめナースの方々の気づかい、心くばり、すごく親切に接して下さり、とても感謝して安心してすごす事ができました。一生けんめい仕事を頑張っている姿にこちらも元気をいただき、日々健康で明るく周囲に笑顔を与えられる人生を送っていただけたらと思います。お食事もおいしい頂きましたが、しいていば御飯が少し... (欲をいったらバチがあたりますね、ごめんなさい) 今後もお世話になりますが、宜しくおねがい致します。ありがとうございました。トイレの便器が壁とくっつきすぎ? ペーパーがとりにくい。

・医師の先生方は多忙なようなので患者が増えるのは良い事なのだろうけど、もう少し細かくみてもらいたいので医師を増やして欲しい。

・対応が良い方とあまり良くない方の差がはげしいと思いました。でもとても良くして頂き、感謝しています。ただ、1つお伝えしたいのが、何度お願いしても対応頂けない、遅いというのが目立つことが多々ありました。お忙しいのは重々承知ですが改善していただけるとよりよい医療サービスが提供できると思います。お世話になり、本当にありがとうございました。

・助産師さんたちみんなやさしくて、丁寧だったので、初産でこちらの病院をえらんで良かったです。パースプランの話をせっかくなので、お産当日、やりたかったことなどで、それは残念でした(プランの確認がなかった) 受付、会計などの待合フロアの電気がくらくて、怖い。(照明)

・付添いとして泊まる事もよくありました。夜間もナースコールで来てくれますが、看護師さんの笑い声や話し声が病室にまで聞こえてきて、嫌な思いをしました。何度もありました。オムツ交換の為、ナースコールをしても30分位は待たされます。シャワー等で食事がずれて、冷蔵庫で食事を管理してもらい、シャワーも終わりが食事という時、冷蔵庫から出てきたままの冷たい食事を食べさせられた事もありました。理解できない行動も多々ありましたが、お世話になっている立場なので何も言えませんがね。

・病院のトイレは、ウォッシュレットが望ましい。

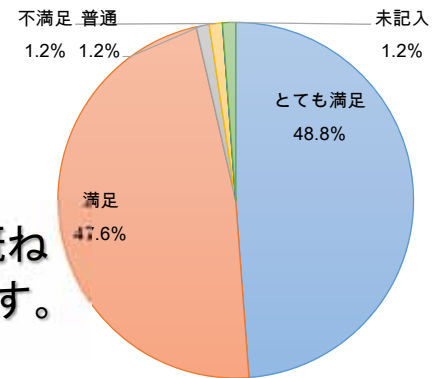
・クーラーがとてもダメです。これではカゼをひきます。

内視鏡 センター

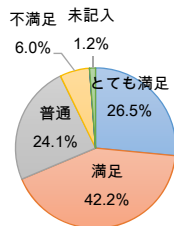
アンケート回答数
83件

【総合評価】 内視鏡での検査に 満足できましたか？

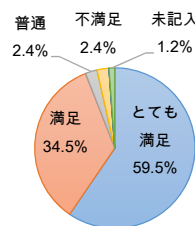
満足以上が96.4%と概ね
良い評価となっています。



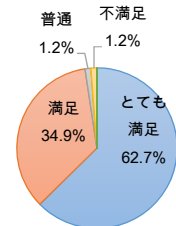
内視鏡での待ち時間



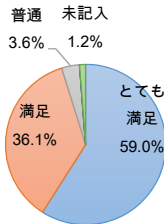
医師の言葉遣いや態度



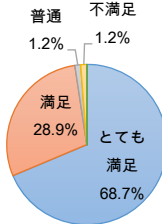
看護師の言葉遣いや態度



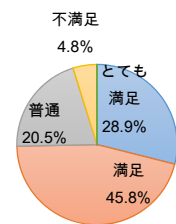
受付事務の言葉遣いや態度



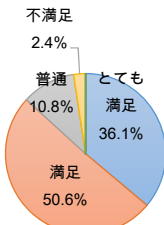
看護師の対応



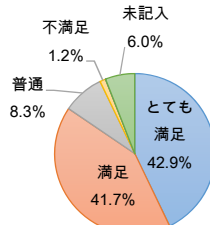
待合室の設備はいかがでしたか



検査室・麻酔部屋の雰囲気



検査後は十分に休めたか



- ・満足
- ・いつも安心して受診しています。ありがとうございます。
- ・大満足です
- ・良い
- ・スムーズに流れていました。
- ・丁寧だと思います
- ・今後も利用していきたい。
- ・スタッフの対応が素晴らしいです。こちらの病院をえらんでよかったです。次回もぜひこちらでお願いしたいと思います。
- ・担当医や看護師、すべてのスタッフの方が親切で安心して検査ができました。ありがとうございました。
- ・上等
- ・本度、宜しく御願ひ致します。
- ・特になし。ありがとうございます。
- ・すべての面で良好です。感謝！！
- ・明るくテキパキやさしい。検査が少し時間がかかりすぎ。胃カメラは早くて良かった。看護師さんはみな親切でした。
- ・検査直後のアンケートの説明に不満。体制を整える間もなくたみかけるような良くない。2〜3分休ませてほしかった。
- ・待ち時間が長すぎた。約1時間。
- ・外来での検査も土曜日できたらいいかな
- ・検査の後、今回はこういう状態だけど心配する事ないよ。とか言葉かけをして下されば患者は安心するのに！と思った。
- ・検査時の注射の時に少し時間がかかったのが不安でした。
- ・3年前と室内のインテリアが変わってなく、古びた感じが近くリニューアルの予定ありとの事
- ・着替え室等の改造(もっとと広々としてほしい)
- ・待合室を早く上等に!
- ・リニューアル後が、楽しみです。

平成 30 年度職員満足度調査

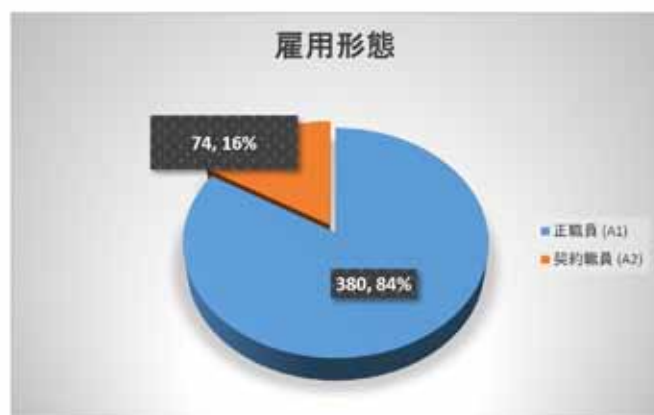
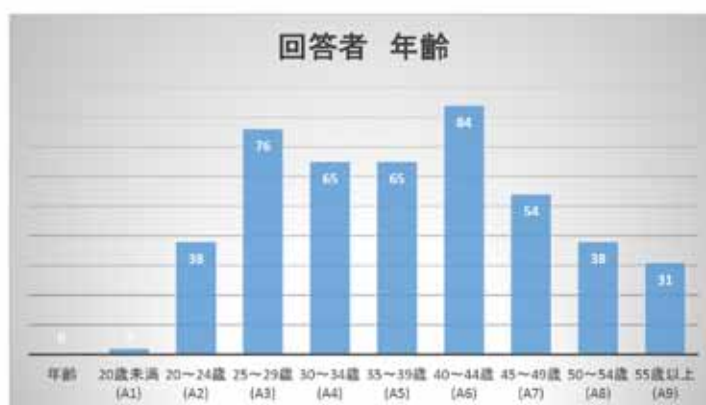
(データ作成 人事課 比嘉)

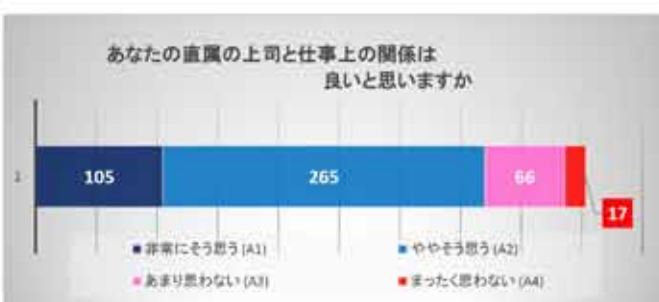
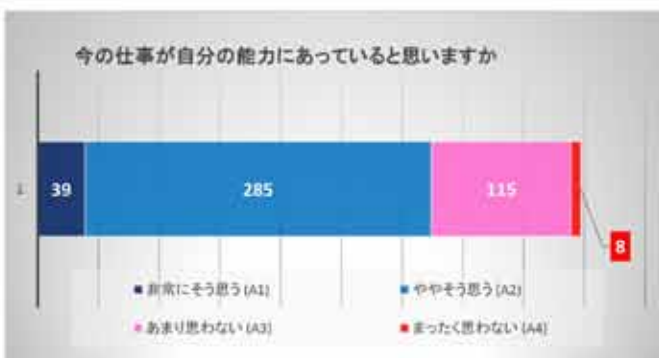
かりゆし会では職員満足度調査を行っております。働きやすく働きがいのある組織の実現に向けて、このアンケートの結果を職場改善の材料とし、職員が安心して働ける職場環境作りに取り組んで参ります。

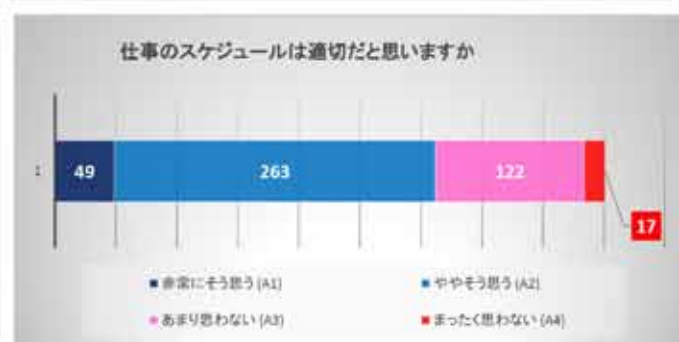
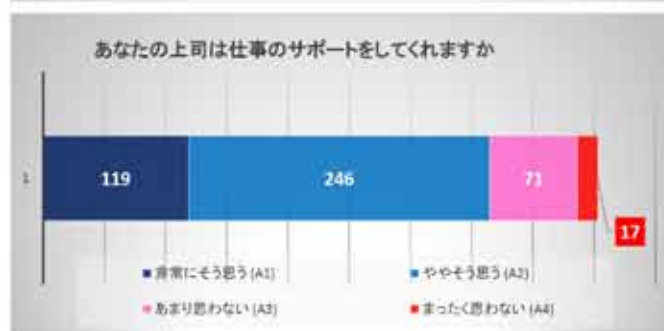
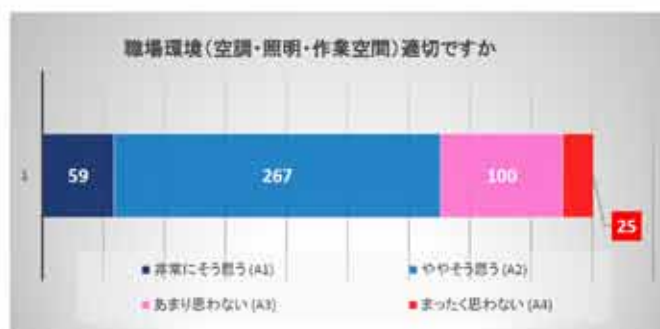
調査概要：職員数 1,033 名（H31.1.1 時点） 回答数 456 回答率 44.14%

調査日時：2019 年 2 月 1 日（金）～ 2019 年 2 月 15 日（金）

調査方法：グループセッション（グループウェア）を利用した調査票への入力









今回の職員満足調査の結果、いくつかの項目で不満足という回答がありました。報酬については、今後も給与と連動した人事評価制度の導入の継続を進め参りたいと思います。また、平成 30 年 4 月より「時間年次有給休暇」も導入し、効率的に時間休暇が取得できるようになりました。更に次年度 4 月より年 5 日の年次有給休暇の確実な取得が義務づけられることもあり、休暇の取得を推進・改善に向け取り組んでいきたいと思っています。

今回の職員満足調査結果をもとに改善しながら、働きやすい職場をめざしていきたいと思っています。

今後も職員満足度調査へのご協力を宜しくお願い致します。

部署別業務実績

医 局

部門紹介

2018 年度の医局は病院の中心部署として頑張ってきました。その構成は内科 23 名（内科初診担当 1 名、総合内科 1 名、呼吸器 2 名、循環器 5 名、消化器 9 名、血液 4 名、腎臓内科 1 名）、外科 8 名、麻酔科 4 名、整形外科 5 名、産婦人科 4 名、小児科 3 名、脳神経外科 2 名、泌尿器科 1 名、眼科 2 名、形成外科 2 名、耳鼻咽喉科 1 名、放射線科 2 名、救急科 2 名（1 名は兼任）、心療内科 1 名、人間ドック 3 名、人工透析内科 1 名、初期研修医 10 名の計 74 名となっていました。

また、初期研修医 10 名、後期研修医 6 名の指導に加え、年間 60 名程のクリニカルクラークシップ（琉球大学医学部生）に対応しています。

医師数（常勤）

（2019 年 3 月末現在）

	内科	外科	救急科	小児科	産婦人科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	放射線科	心療内科	麻酔科	予防医学	人工透析	形成外科	病理診断科	合計
全医師数 （初期研修医除く）	23	8	2	3	4	5	2	1	1	2	2	1	4	3	1	2	0	64
うち各種学会認定・専門医数	81	48	8	7	5	18	5	4	3	5	3	3	15	7	1	7	0	220
うち臨床研修指導医数	19	7	2	3	3	4	2	1	1	1	1	1	3	1	1	1	0	51
後期専門研修医	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6
初期研修医	1 年目：5 名 2 年目：5 名																	10

医局方針

1. 患者の安全・QOL を第一とし、インフォームドコンセントによる良好な信頼関係を確立する。
2. 自己の専門性の確立のため学会活動など自己研鑽に励み、専門性の提供によりチーム医療を行う。
3. 地域の医療機関、保健、福祉施設との連携を積極的に行う。
4. 他部署との交流・院内行事への参加を積極的に行う。
5. 健全な医療経営の意識を持ち、院内各会議に積極的に参加する。

活動実績

Journal Club (抄読会 / 毎週水曜日 8:00 ~ 8:30)

年	月日	担当者	演題名
2018 年 (H30)	4 月 4 日	花城 直次	化学療法後に切除可能となった局所進行直腸癌の 1 例
	4 月 11 日	渡慶次 学	肘内障
	4 月 18 日	東江 ゆりか	認知症の画像診断
	4 月 25 日	高良 誠	肝臓がん診断と治療
	5 月 2 日	佐久川 廣	NASH 診断の問題点について
	5 月 9 日	武田 理	子宮筋腫にもいろいろ
	5 月 16 日	比嘉 章子	脂質異常症
	5 月 23 日	張 同輝	一般内科症例の報告
	5 月 30 日	糸田 美和	当院における TACE 支援ソフトウェア「Embo Guide」の初期使用経験
	6 月 6 日	嘉手苅 由梨	気道エコー～輪状甲状膜がみえる～
	6 月 13 日	上原 博香	無痛分娩
	6 月 20 日	末吉 健次	一過性意識障害
	6 月 27 日	柴田 大介	SpyGlass を用いた胆道疾患の治療
	7 月 4 日	久場 良也	Informed Consent
	7 月 11 日	太田 沙也加	① lidocaine によるアレルギーが疑われた症例 ②局所麻酔中毒
	7 月 18 日	仲本 正哉	食道 ZenKer 憩室の一切除例
	7 月 25 日	宮崎 優樹	妊婦と授乳婦と薬
	8 月 1 日	三戸 正人	Heart Life ER Emergency Medical Team
	8 月 8 日	釜野 武志	末梢神経ブロックによる術中術後疼痛管理 現状と課題
	8 月 15 日	狩俣 かおり	皮下・筋肉内血腫で発症した後天性凝固因子欠乏症
	8 月 22 日	川満 豊	小児科で診た皮膚疾患
	8 月 29 日	国吉 史雄	出血性ショックの治療
	9 月 5 日	宮城 純	吸収不良症候群
	9 月 12 日	山入端 敦	Vit B12 欠乏症
	9 月 19 日	大西 勉	妊娠糖尿病 (GDM) とは
	9 月 26 日	與座 一	心不全パンデミックと BNP
	10 月 3 日	野村 寛徳	MEN 2A
	10 月 10 日	林 貴徳	高齢者糖尿病症例に対するインスリン注射回数減少の試み
	10 月 17 日	川越 得弘	Inadvertent Harvest of the Median Nerve Instead of the Palmaris Longus Tendon
	10 月 24 日	矢後 博基	形成外科の代表的な 10 症例
	10 月 31 日	高橋 有里恵	処方薬の過剰摂取問題について
	11 月 7 日	上原 史成	運動器エコー研修報告
	11 月 14 日	山崎 梨沙	屈折矯正の最新治療
	11 月 21 日	銘苅 正	蘇生的開胸術
	11 月 28 日	宮平 工	胃癌治療ガイドラインを学ぶ
	12 月 5 日	普天間 光彦	抗菌薬適正使用チーム (AST)
	12 月 19 日	嘉川 春生	前立腺癌について
	12 月 26 日	阿嘉 裕之	三大痔疾患
2019 年 (H31)	1 月 9 日	東江 拓海	インフルエンザ診療 2019
	1 月 16 日	勝連 伸一郎	ER での経験
	1 月 23 日	兼元 萌実	診断に 10 年を要した胸痛を主訴とする食道アカラシアの 1 例
	1 月 30 日	普久原 亜紀	特に既往のない 40 代男性が VF で搬送された一例
	2 月 6 日	山城 正一郎	JPTec
	2 月 13 日	新垣 和伸	変形性膝関節症に対する関節温存手術について
	2 月 20 日	金城 太貴	不整脈診療の実績報告
	2 月 27 日	比嘉 麻乃	音声障害
	3 月 6 日	親川 格	海外施設研修 / 視察報告
	3 月 13 日	仲本 学	食道表在癌の NBI 拡大内視鏡診断
	3 月 27 日	崎原 徹裕	食物アレルギーは「食べて治す」から「食べて予防する」時代へ

院内 CPC（臨床病理検討会） 座長：宮城 純

年月日	演題名	発表者	担当者
2018 年 8 月 29 日	成人T細胞白血病慢性型から急性型へ進展した一例	普久原 亜紀	狩俣かおり、(琉大) 新垣和也
2018 年 8 月 29 日	マントル細胞リンパ腫による呼吸不全の一例	石嶺 伝羽	狩俣かおり、(琉大) 新垣和也
2018 年 8 月 29 日	PEL-like-Lymphomaに消化管出血・敗血症を来した一例	石川 樹	宮城 敬、(琉大) 新垣和也
2018 年 10 月 24 日	IgG4 関連疾患を伴った肝細胞癌から癌破裂を引き起こした 1 剖検例	兼元 萌実	柴田大介、(琉大) 仲地里織
2018 年 10 月 24 日	イレウスの合併が疑われた誤嚥性肺炎の一例	平良 志子	宮城 純、(琉大) 仲地里織
2018 年 10 月 24 日	多系統異形成を伴う急性骨髄性白血病に対するさい帯血移植後に早期死亡となった 1 例	勝連 伸一郎	宮城 敬、(琉大) 石井朗子
2019 年 3 月 5 日	脳腫瘍、脳ヘルニアから死亡した成人T細胞白血病リンパ腫急性型の一部検例	東江 拓海	宮城 敬、(琉大) 石井朗子

研修医向け教育

研修医向けに、毎週下表のスケジュールで各種ミニレクチャーを開催しています。また、外部講師を招聘した講習会も行っています。

	時間・内容	時間・内容
月曜日	8:00 ～ 8:15 ミニ救急症例検討会	
火曜日	8:00 ～ 8:15 ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45 画像診断ミニレクチャー
水曜日	8:00 ～ 8:15 ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45 Journal Clab (全医師対象)
木曜日	8:00 ～ 8:15 ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45 基礎的手技&ケースカンファレンス
金曜日	8:00 ～ 8:15 ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45 基礎研修

画像診断ミニレクチャー

(毎週火曜日 午前 8 : 15 ～ 8 : 45 医局にて)

呼吸器内科					
胸写	正常	気胸	肺炎	腫瘍	胸水
日付	4 月 10 日	4 月 17 日	4 月 24 日	5 月 8 日	5 月 22 日
担当医	普天間光彦	普天間光彦	普天間光彦	普天間光彦	普天間光彦
循環器					
心電図	正常	虚血性心疾患	除脈性不整脈	頻脈性不整脈	心不全
日付	5 月 15 日	5 月 29 日	6 月 5 日	6 月 12 日	6 月 19 日
担当医	三戸正人	三戸正人	三戸正人	三戸正人	三戸正人
放射線科					
腹部画像	診断学	診断学	診断学	診断学	診断学
日付	6 月 26 日	7 月 3 日	7 月 10 日	7 月 17 日	7 月 24 日
担当医	高良誠	高良誠	高良誠	高良誠	高良誠
整形外科					
骨単純 (骨折・脱臼)	上肢	下肢	大腿骨	椎体	骨盤
日付	9 月 4 日	9 月 11 日	9 月 18 日	9 月 25 日	10 月 2 日
担当医	川越得弘	新垣和伸	上原史成	渡慶次学	渡慶次学
放射線科					
診断学	診断学	診断学	診断学	診断学	診断学
日付	10 月 9 日	10 月 16 日	10 月 23 日	10 月 30 日	11 月 6 日
担当医	高良誠	高良誠	高良誠	高良誠	高良誠
脳神経外科					
頭部画像	正常	SAH・脳出血	外傷	脳梗塞	脳腫瘍
日付	11 月 13 日	11 月 20 日	11 月 27 日	12 月 4 日	12 月 11 日
担当医	末吉健次	上笹航	末吉健次	上笹航	末吉健次

呼吸器内科					
胸部CT	正常	気胸	肺炎	肺腫瘍	縦隔腫瘍
日付	1月8日	1月15日	1月22日	1月29日	1月29日
担当医	新垣珠代	新垣珠代	新垣珠代	新垣珠代	新垣珠代
放射線科					
シンチ	骨シンチ	Gaシンチ	心筋シンチ	出血シンチ	肺血流シンチ
日付	2月12日	2月19日	2月26日	3月5日	3月12日
担当医	高良誠	高良誠	高良誠	高良誠	高良誠

基礎的手技（毎週木曜日 午前 8:15 ～ 8:45 医局にて）

内容	日付	担当
夜間当直の流れ	2018年4月12日	研修医
A採血、Aライン	2018年4月19日	研修医
発熱、SPO2低下	2018年4月26日	研修医
熱中症・低体温	2018年5月10日	研修医
高血糖緊急症・低血糖	2018年5月17日	研修医
急性呼吸不全 ALI/ARDS	2018年5月24日	研修医
喘息発作	2018年5月31日	研修医
高血圧緊急症	2018年6月7日	研修医
吐血・下血	2018年6月14日	研修医
急性冠症候群	2018年6月21日	研修医
JATEC	2018年6月28日	救急
心エコー・RUSH プロトコール	2018年7月5日	循環器
大動脈解離	2018年7月12日	循環器
グラム染色の検鏡所見	2018年7月19日	研修医
導尿・尿道カテーテルの挿入方法	2018年7月26日	泌尿器科
消毒と縫合	2018年8月2日	外科
外来における緊急止血方法	2018年8月9日	外科
中心静脈カテーテルの挿入方法・中心静脈圧の測定方法	2018年9月6日	麻酔科
腰椎穿刺の実際	2018年9月13日	麻酔科
形成外科的縫合	2018年9月20日	形成外科
輸血の適応	2018年9月27日	血液内科
救急外来における鼻出血止血方法	2018年10月4日	耳鼻科
経鼻・経口胃管・イレウスチューブ挿入方法と胃洗浄	2018年10月11日	外科
耳鏡の見方と異物除去（鼻腔・耳腔・咽頭・気管）	2018年10月18日	耳鼻科
骨折と福木固定	2018年10月25日	整形外科
直腸診・肛門鏡の取り扱い	2018年11月1日	外科
機械的人工呼吸方法	2018年11月8日	呼吸器
動脈ラインのとり方と圧測定の方法	2018年11月15日	麻酔科
顔面外傷	2018年11月22日	形成外科
熱傷	2019年12月6日	形成外科
骨髄穿刺および生検方法	2018年12月13日	血液内科
眼底の見方とその所見	2018年12月20日	眼科
緊急ペースメーカー挿入と設定の仕方	2019年1月10日	循環器
腹腔臓器破裂・損傷	2019年1月17日	外科
緊急透析の判断と適応	2019年1月24日	人工透析内科
胸腔穿刺とトロッカーカテーテルの挿入方法	2019年1月31日	呼吸器
切開とドレナージ	2019年2月7日	外科
気管切開法と輪状甲状間膜穿刺法	2019年2月14日	救急
眼内異物と眼外傷	2019年2月21日	眼科
気管支鏡の適応とその前処置	2019年2月28日	呼吸器
スワンガンツカテーテルの適応とその解釈	2019年3月7日	循環器
内視鏡（GF・CF）の適応とその前処置（緊急内視鏡）	2019年3月14日	消化器

ケースカンファレンス（毎週金曜日 午前 8:15 ～ 8:45 医局にて）

内容	日付	担当
外傷診療の基本事項	2018 年 4 月 13 日	研修医
風邪	2018 年 4 月 20 日	研修医
アナフィラキシーショック・ショックの鑑別	2018 年 5 月 11 日	研修医
Common disease	2018 年 5 月 18 日	研修医
抗生剤の使い方	2018 年 5 月 25 日	呼吸器
急性心不全	2018 年 6 月 1 日	研修医
除脈・頻脈	2018 年 6 月 8 日	研修医
急性中毒	2018 年 6 月 15 日	研修医
頭痛	2018 年 6 月 22 日	脳外科
気胸	2018 年 6 月 29 日	呼吸器
脊髄損傷について	2018 年 7 月 6 日	整形外科
裂傷・刺傷・挫創	2018 年 7 月 13 日	外科
小児科	2018 年 7 月 20 日	小児科
子宮外妊娠・卵巣捻転・救急で見る産婦人科疾患	2018 年 7 月 27 日	産婦人科
めまい・救急でみる耳鼻咽喉科	2018 年 8 月 3 日	耳鼻科
DKA・HHNC	2018 年 9 月 7 日	腎臓内科
急性腹症・消化管穿孔	2018 年 9 月 14 日	外科
多発骨折	2018 年 9 月 21 日	整形外科
血糖コントロール	2018 年 9 月 29 日	糖尿病内科
認知症①	2018 年 10 月 5 日	心療内科
認知症②	2018 年 10 月 12 日	心療内科
肺血栓塞栓症	2018 年 10 月 19 日	循環器
尿管結石の救急	2018 年 10 月 26 日	泌尿器科
急性肝炎	2018 年 11 月 2 日	消化器
出血傾向・DIC	2018 年 11 月 9 日	血液内科
急性膵炎	2018 年 11 月 16 日	消化器
肺炎	2018 年 11 月 30 日	呼吸器内科
脳血管障害	2018 年 12 月 7 日	脳外科
救急でみる眼科疾患	2018 年 12 月 14 日	眼科
喀血	2019 年 12 月 21 日	呼吸器
多発性外傷	2019 年 1 月 11 日	外科
せん妄	2018 年 1 月 18 日	心療内科
高カルシウム血症	2018 年 1 月 25 日	血液内科
見落としやすい骨折	2018 年 2 月 1 日	整形外科
腰痛	2018 年 2 月 8 日	整形外科
胆石・胆嚢炎・胆管炎	2018 年 2 月 15 日	消化器
アレルギー	2018 年 2 月 22 日	小児科
卵巣捻転	2018 年 3 月 1 日	産婦人科
痛風発作	2018 年 3 月 8 日	整形外科

外部講師による教育回診

教育回診・講演会名	内容（主訴）	主催	実施日	参加者
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討（36 歳 男性 発熱）	群星沖縄プロジェクト	2018 年 4 月 19 日	山城謙人、東江拓海、勝 連伸一郎、兼元萌実、普 久原亜紀、山城正一郎、 石川樹、嘉陽安美子、平 良志子、院外研修医 1 名、 医学生 4 名、看護師 1 名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討（55 歳 男性 全身脱力、 気分不良）	群星沖縄プロジェクト	2018 年 5 月 2 日	平良志子、東江拓海、勝 連伸一郎、兼元萌実、普 久原亜紀、山城正一郎、 石川樹、石嶺伝羽、医学 生 2 名

教育回診・講演会名	内容(主訴)	主催	実施日	参加者
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(38歳 男性 発熱、倦怠感)	群星沖縄プロジェクト	2018年5月17日	東江拓海、勝連伸一郎、 普久原亜紀、山城正一郎、 石川樹、石嶺伝羽、医学生 4名、看護師1名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(16歳 女性 下腹部痛、 嘔吐)	群星沖縄プロジェクト	2018年6月7日	勝連伸一郎、東江拓海、 兼元萌実、山城正一郎、 石川樹、石嶺伝羽、院外 研修医1名、医学生3名、 看護師3名
順天堂大学医学部総合診療科教授 Dr.Deshpande 【Department of General Medicine, Juntendo University School of Medicine, Tokyo, Japan; Home doctor, the US Embassy, Tokyo, Japan.】による教育回診	症例検討(74歳 女性 高Ca血症 意識障害)	群星沖縄プロジェクト	2018年6月26日	兼元萌実、東江拓海、勝 連伸一郎、普久原亜紀、 山城正一郎、石川樹、石 嶺伝羽、院外研修医2名、 県内医学生5名、県外医 学生3名、看護師8名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(34歳 男性 腹痛、嘔吐)	群星沖縄プロジェクト	2018年7月5日	山城正一郎、東江拓海、 勝連伸一郎、兼元萌実、 普久原亜紀、石川樹、嘉 陽安美子、山城謙人、院 外研修医2名、医学生3 名、看護師6名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(74歳 男性 意識障害)	群星沖縄プロジェクト	2018年7月19日	普久原亜紀、東江拓海、 兼元萌実、山城正一郎、 石川樹、嘉陽安美子、院 外研修医2名、医学生3 名、看護師3名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(54歳 男性 発熱)	群星沖縄プロジェクト	2018年8月2日	東江拓海、兼元萌実、普 久原亜紀、山城正一郎、 石川樹、石嶺伝羽、院外 研修医2名、看護師5名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(51歳 男性 めまい、嘔 吐)	群星沖縄プロジェクト	2018年8月16日	勝連伸一郎、東江拓海、 普久原亜紀、山城正一郎、 石川樹、石嶺伝羽、院外 研修医3名、医学生1名、 看護師1名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(44歳 男性 発熱、倦怠 感、下痢)	群星沖縄プロジェクト	2018年9月6日	兼元萌実、普久原亜紀、 山城正一郎、院外研修医 3名、看護師8名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(61歳 女性 心窩部痛、 嘔吐)	群星沖縄プロジェクト	2018年9月19日	山城正一郎、勝連伸一郎、 普久原亜紀、山城謙人、 院外研修医2名、看護師 5名
群星沖縄臨床研修センター 名誉センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討(70歳 男性 発熱、両大 腿部の痛み)	群星沖縄プロジェクト	2018年10月4日	普久原亜紀、勝連伸一郎、 兼元萌実、山城正一郎、 山城謙人、看護師3名
ミシガン大学総合内科助教授 Dr.Sarah【University of Michigan-Ann Arbor, Ann Arbor, Michigan Associate Program Director, Internal Medicine Residency Program, University of Michigan, Ann Arbor, MI. Doctoring Faculty, University of Michigan, Ann Arbor, MI.】 による教育回診	症例検討(48歳 女性 意識障害)	群星沖縄プロジェクト	2018年10月23 日	東江拓海、勝連伸一郎、 兼元萌実、普久原亜紀、 平良志子、山城謙人、院 外研修医1名、看護師6 名、薬剤師1名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討(74歳 男性 意識障害)	群星沖縄プロジェクト	2018年11月1日	勝連伸一郎、兼元萌実、 普久原亜紀、山城正一郎、 石川樹、嘉陽安美子、医 学生3名、看護師2名

教育回診・講演会名	内容（主訴）	主催	実施日	参加者
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討（31 歳 女性 右半身麻痺）	群星沖縄プロジェクト	2018 年 11 月 29 日	兼元萌実、勝連伸一郎、山城正一郎、石川樹、石嶺伝羽、嘉陽安美子、医学生 7 名、看護師 4 名
福井大学医学部附属病院 地域医療推進講座教授 兼 群星沖縄臨床研修センター副センター長 寺澤秀一先生による ER 教育回診	症例検討（58 歳 男性 数ヵ月前からの体重減少、突然の嘔吐、呼吸苦）	群星沖縄プロジェクト	2018 年 12 月 7 日	東江拓海、勝連伸一郎、兼元萌実、普久原亜紀、山城正一郎、石嶺伝羽、平良志子、山城謙人、院外研修医 1 名、三戸正人先生、医学生 6 名、看護師 7 名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討（34 歳 女性 頭痛、嘔気、舌の痛み）	群星沖縄プロジェクト	2018 年 12 月 20 日	普久原亜紀、兼元萌実、東江拓海、石嶺伝羽、平良志子、医学生 1 名、看護師 1 名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討（49 歳 男性 右足痛〔右大腿〕、歩行困難）	群星沖縄プロジェクト	2019 年 1 月 17 日	山城正一郎、東江拓海、普久原亜紀、医学生 4 名、看護師 3 名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討（88 歳 女性 嘔吐、右側腹部痛）	群星沖縄プロジェクト	2019 年 1 月 31 日	勝連伸一郎、東江拓海、兼元萌実、普久原亜紀、山城正一郎、嘉陽安美子、医学生 4 名、看護師 2 名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討（40 歳 女性 嘔吐、回転性めまい、左下肢）	群星沖縄プロジェクト	2019 年 2 月 7 日	兼元萌実、勝連伸一郎、普久原亜紀、石川樹、平良志子、院外研修医 1 名、佐藤直行先生、医学生 4 名、看護師 1 名
ミシガン大学総合内科教授 Dr.Flanders【Subspecialties:Internal Medicine General Internal Medicine, Hospital Medicine Hospitalist】による教育回診	症例検討（90 歳 女性 ふらつき、気分不良、吐気）	群星沖縄プロジェクト	2019 年 2 月 26 日	山城正一郎、東江拓海、勝連伸一郎、兼元萌実、普久原亜紀、石川樹、平良志子、院外研修医 1 名、医学生 3 名、看護師 2 名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討（70 歳 男性 両下肢疼痛 歩行困難）	群星沖縄プロジェクト	2019 年 3 月 7 日	普久原亜紀、兼元萌実、山城正一郎、嘉陽安美子、山城謙人、院外研修医 1 名、医学生 2 名、看護師 1 名
群星沖縄臨床研修センター センター長 徳田安春先生による教育回診	症例検討（75 歳 男性 発熱、悪寒 戦慄、腰痛）	群星沖縄プロジェクト	2019 年 3 月 20 日	東江拓海、勝連伸一郎、兼元萌実、普久原亜紀、山城正一郎、石嶺伝羽、嘉陽安美子、山城謙人、金尾亮（中徳 2）、看護師 2 名

外部講師による研修会・講演会

教育回診・講演会名	内容（主訴）	主催	実施日	参加者
福井大学医学部附属病院総合診療部 教授 林寛之先生による講演会	「頭痛のたね も といねた」	ハートライフ病院	2018 年 7 月 5 日	参加者 102 名【院内職員（研修医含む）78 名、院外 24 名】
洛和会丸太町病院救急・総合診療科 部長 上田剛士先生による講演会	「文献の探し方、 読み方、整理の仕方」	ハートライフ病院	2018 年 10 月 19 日	参加者 54 名【院内職員（研修医含む）31 名、院外 23 名】

研修医学会発表

2 年目研修医 (14 期生)

学会名 (開催場所)	日時	タイトル	発表者と研究者
第 321 回日本内科学会九州地方会 (福岡)	2018 年 5 月 18 日 ～ 19 日	経食道心エコーで肺内シャントが疑われた脳脂肪塞栓症の一例	嘉陽安美子、仲村義一、金城太貴、三戸正人、秋元芳典、與座一
第 21 回日本臨床救急医学会総会・学術総会	2018 年 6 月 1 日～ 2 日	木製の箸が肋骨を貫通し、外傷性気胸に至った一例	平良志子、三戸正人、銘苅正
第 105 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 (福岡)	2018 年 6 月 8 日～ 9 日	出血性十二指腸潰瘍の経過観察中に偶然見つかった胃石症の一例	石嶺伝羽、折田均、佐久川廣、宮城純、仲本学、柴田大介、仲舩拓、林貴徳
第 105 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 (福岡)	2018 年 6 月 8 日～ 9 日	巨大腹腔内リンパ節転移を伴った下部食道癌の一例	嘉陽安美子、奥島憲彦、仲本正哉、国吉史雄、西垣大志、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、西原実、田中健児(那覇内視鏡クリニック)
第 125 回沖縄県医師会医学会総会 (研修医部門推薦)	2018 年 6 月 10 日	胸痛を呈さない大動脈解離に合併した急性期脳梗塞の一例	石川樹、仲村義一、金城太貴、三戸正人、秋元芳典、與座一
第 125 回沖縄県医師会医学会総会	2018 年 6 月 10 日	肺多発結節影を認めた MTX 関連リンパ増殖性疾患の 1 例	山城謙人、普天間光彦、新垣珠代
第 124 回日本循環器学会九州地方会 (鹿児島)	2018 年 6 月 30 日	PCI 後に認めた原因不明の腎出血の一例	山城謙人、仲村義一、秋元芳典、與座一、三戸正人、金城太貴
第 80 回日本臨床外科学会総会 (東京)	2018 年 11 月 21 日～ 23	上行結腸癌術後に生じた乳糜胸の 1 例	石嶺伝羽、宮平工、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、西原実、嵩原裕夫、奥島憲彦
第 126 回沖縄県医師会医学会総会 (研修医部門推薦)	2018 年 12 月 9 日	切除不能進行胃癌に対して集学的治療を施行した一例	石嶺伝羽、宮平工、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、西原実、嵩原裕夫、奥島憲彦

1 年目研修医 (15 期)

学会名 (開催場所)	日時	タイトル	発表者と研究者
第 125 回日本循環器学会九州地方会 (福岡)	2018 年 11 月 30 日～ 12 月 1 日	心肺蘇生後の多発肋骨骨折および肺挫傷に対し APRV モードによる人工呼吸管理が有効であった一症例	山城正一郎、秋元芳典、與座一、三戸正人、仲村義一、金城太貴
第 126 回沖縄県医師会医学会総会	2018 年 12 月 9 日	診断に 10 年を要した胸痛を主訴とした食道アカラシアの 1 例	兼元萌実、奥島憲彦、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、西原実、嵩原裕夫
第 18 回日本病院総合診療医学会学術総会	2019 年 2 月 15 日 ～ 16 日	超高齢者の心原性ショックへの積極的治療が予後を改善したと考えられた一例	勝連伸一郎、三戸正人

※各科より初期研修医のみ再掲。後期研修医の実績については、各診療科ページをご覧ください。

医師卒後臨床研修 第 14 期生（平成 29 年 4 月 1 日～）

（左より）

石川 樹（琉球大学卒）
平良 志子（琉球大学卒）
嘉陽 安美子（琉球大学卒）
山城 謙人（琉球大学卒）
石嶺 伝羽（琉球大学卒）



医師卒後臨床研修 第 15 期生（平成 30 年 4 月 1 日～）

（左より）

兼元 萌実（琉球大学卒）
普久原 亜紀（琉球大学卒）
勝連 伸一郎（琉球大学卒）
東江 拓海（琉球大学卒）
山城 正一郎（琉球大学卒）

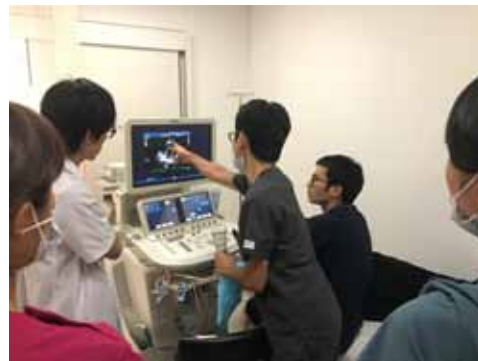


研修風景

Dr.Flanders 教育回診



エコー勉強会



カテーテル研修



モーニングレクチャー



平成 30 年度第 1 回教育回診



第 14 期修了式



各科概要・実績

総合内科

総合内科は平成 30 年 1 月に開設され、外来および入院診療を行っています。医師 1 人体制ではありませんが、感染症全般、閉塞性肺疾患、心不全、電解質異常、腎不全、脳梗塞、リウマチ膠原病、消化管出血、膵炎など幅広い疾患を診療しています。精査や全身管理の依頼など、院内各科からのコンサルトにも対応しています。初期研修医の教育も日々行っています。4 つの委員会に所属しており、ICT、AST、Polypharmacy 対策委員会（今年度当科で立ち上げ）、研修管理委員会で活動しています。

当科の医師が増えれば入院の受け皿として貢献できるようになり、臓器別診療科の先生方の負担を軽減させることができます。今後は院内外での研修医教育を行いながら、医師確保に努めたいと考えています。

医師プロフィール

（平成 31 年 3 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定
	佐藤 直行	総合内科、Hospital medicine、感染症、リウマチ膠原病、医学教育	日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター POCUS(Point Of Care Ultrasound) コースインストラクター 米国内科学会員 医学博士

検査・治療件数

- 入院症例数 : 21 例（当科への転入 4 例、他科への転科 2 例）
- 平均年齢 : 90 歳（施設入所者 52%）
- 平均在院日数 : 11.7 日（検査入院なし）
- 外来コンサルト : 11 件
- 病棟コンサルト : 15 件

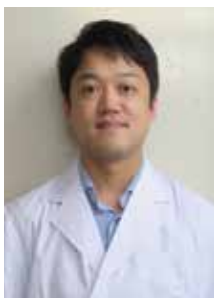
主な経歴疾患

循環器	うっ血性心不全、高血圧
呼吸器	気管支喘息発作、COPD 急性増悪、CO ₂ ナルコーシス、閉塞性肺炎（肺癌）
消化器	消化管出血（上下部）、ウイルス性腸炎、虚血性腸炎、重症急性膵炎、大腸癌
感染症	細菌性肺炎、誤嚥性肺炎、腎盂腎炎、敗血症、感染性心内膜炎、椎間板炎 / 椎体炎、腸腰筋膿瘍、硬膜外膿瘍、肝膿瘍、皮膚軟部組織感染症、インフルエンザウイルス、伝染性単核球症、ウイルス性肋軟骨炎、パルボウイルス感染症、無菌性髄膜炎、細菌性眼内炎
腎臓	急性腎不全、高ナトリウム血症、低ナトリウム血症、SIAD、低カリウム血症、高カリウム血症、慢性腎不全
内分泌	糖尿病、脂質異常症、相対的副腎不全
神経	脳梗塞、痙攣重積発作、Guillain-Barré 症候群
リウマチ性疾患	痛風、偽痛風、関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、成人 Still 病、IgA 血管炎、Sjögren 症候群、特発性ぶどう膜炎

その他業績

- ・ 医学書院 週刊医学界新聞 連載「スマートなケア移行で行こう」に執筆。
(第 3305 号 / 2019 年 1 月 14 日 / 第 3 回 / カルテ記載によるケア移行)

年度総括



総合内科
佐藤 直行

平成 30 年度後半からの立ち上げだったため実績としては少ないですが、コンサルトの数など徐々に増えており、貢献させていただけるようになってきているかと思います。高齢の患者さんが多く、polypharmacy の問題を抱えている方が多いです。入院時主病名だけでなく、入院を契機に薬剤整理や合併症の評価などを行い、長期的な予後を改善させられるように努めています。在院日数も適正な期間を心がけ、特に入院に伴う合併症（せん妄、転倒、廃用など）が予想される患者さんについては早期退院できるよう注意しています。院内活動としては、3 ヶ月のうちに 4 つの委員会に属するようになり、今後さらに院内全体の医療の質の改善や仕組みの改善に関わっていくことになります。

立ち上げ当初から様々な方々の手厚いサポートもあり、ご迷惑はおかけしましたが順調に業務を進めることができました。特に主病棟となる 6 階病棟のスタッフには、新しい診療科のサポートだけでなく多様な疾患への対応もしていただき非常に心強かったです。当科としては現在主な対応診療科がない領域（感染症、電解質、腎不全、神経疾患、リウマチ膠原病、重症患者管理など）に対応できる場面が多く、診療面で貢献できていると考えています。感染症のマニュアルや ICU のマニュアルなどの整備も少しずつ進めているところです。来年度はより幅広く貢献できるように努めていきたいと思っています。

病院という組織の改善についても視野を向けています。一部の外注検査を院内検査に変更したり、指示伝達の流れを円滑にできるようにしたり、業務負担軽減や作業の効率化も意識しています。また、最近重要視されているケア移行 (Transition of Care) や多職種連携も意識し、直接のコミュニケーションやカルテ記載を通じた情報共有も心がけています。情報共有の効果もあり、病棟看護師やリハビリスタッフとの知識共有を行う機会も増えています。

他職種以上に研修医への教育も行っています。来年度は内科の中で唯一、新 1 年目研修医が通年して当科をローテーションすることになっています（全員が希望）。また、新 2 年目研修医 2 名も当科での研修を予定しています。研修医には医学的な知識だけではなく、上記のような視点も指導していきます。当院が所属する群星沖縄研修病院群の全体オリエンテーションで、当院として初めて教育講演を行うなど、院外での研修医教育にも関わることになっています。

来年度は米国での短期研修も予定しており、海外の知見も院内へ還元していく予定です。教育を通じて院内職種全体のスキルアップや院外からの人材確保に努め、患者さんによりよい医療を提供できるよう、医療の質の改善に尽力していきたいと考えています。

呼吸器内科

呼吸器内科は現在、医師 2 名体制で毎日の外来診療と入院診療を行っています。対象となる疾患は肺炎、気管支炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、気管支拡張症、慢性呼吸不全、間質性肺炎、気胸、肺癌、縦隔腫瘍等と多岐に渡っており、他疾患を合併した患者さんも多く診療しています。当科のスケジュールとしては、金曜日の午後 1 時より 7 階病棟で呼吸器内科回診を行っており、医師に加え、研修医・病棟師長・病棟リーダー・薬剤師・リハビリ・MSW・MC と一緒に部屋を回診しています。各部署と回診する事により共通した患者認識を持ち、より良いグループ診療が出来るように目指しています。また、画像カンファレンスとして月曜日の 13 時から胸写カンファレンスを行い、水曜日 17 時から放射線科との合同画像カンファレンスを行う事で胸写や胸部 CT の読影力向上に努めています。火曜日の午後は気管支鏡検査を施行し、呼吸器疾患の診断率向上に努めています。水曜日の午後は医師・看護師・リハビリ・臨床工学士等の各職種と連携した RST ラウンドを行っています。

医師プロフィール

(平成 30 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
呼吸器内科部長 7 階病棟医長 <専門外来>睡眠 時無呼吸症候群 (SAS) 外来	普天間 光彦	肺炎、気管支喘息、肺気腫、肺癌、肺結核	日本呼吸器学会インфекションコントロールドクター
	新垣 珠代	呼吸器内科一般	

検査・治療件数

検査・治療	件数
気管支鏡検査	52

検査・治療	件数
睡眠時無呼吸外来のべ患者数	1,010 名

年度総括



呼吸器内科部長
普天間 光彦

平成 30 年度は年間 795 名ほどの入院患者の診療を行い、52 名の気管支鏡検査を実施しました。学会活動としては呼吸器学会に参加して見聞を広め、県医学会や日本内科学会九州地方会で演題発表を行いました。また、呼吸気同好会や胸部レントゲン勉強会等の県内での研究会へ参加し他医療機関との連携や診療の向上に努めています。教育活動として初期研修医の指導、学生への指導も積極的に行っており、ほとんどの初期研修医は当科での研修を修了しています。来年度は学会参加や県内の研究会等の院外活動をさらに活発にしていく予定です。

循環器内科

循環器内科は、現在 5 名の医師が循環器全般の診療を行なっております。高血圧、脂質異常症、動脈硬化症による心筋梗塞、狭心症、閉塞性動脈硬化症に対する予防と侵襲的な治療や心不全に対する予防と治療、徐脈性不整脈に対するペースメーカー治療等を行っています。また、頻脈性不整脈に対する治療として薬物治療に加えカテーテルアブレーションも施行できるようになりました。静脈血栓症などに対する処置も行っており、循環器が扱う疾患のほとんどは対処可能です。

医師が増えた事により救急の体制も整い、緊急でのカテーテル治療や体外循環等も導入可能で、致死性の心室細動に対する V-AECMO の導入などで救命できる患者さんも増えております。

今後は機器の充実も行い、より重症な患者さんの救命に貢献できる様に努力したいと考えています。

医師プロフィール

(平成 30 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
循環器内科部長	與座 一	一般循環器内科	
循環器内科副部長	秋元 芳典	一般循環器内科、動脈硬化症	日本循環器学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本医師会認定産業医 日本内科学会指導医
救急総合診療部副部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、地域医療、スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医
循環器内科医長	仲村 義一	一般循環器内科	日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会認定内科医
	金城 太貴	不整脈、一般循環器、総合内科、集中治療	日本内科学会認定内科医
<専門外来>不整脈外来	石垣 清子 (非常勤)		

検査・治療・手術件数

検査件数一覧

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
ペースメーカークリニック患者数	226	221	222	255	308	311

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
冠動脈 CT	467	508	515	443	450	371
トレッドミル	69	82	52	36	48	52
ホルター心電図	187	232	236	203	225	206
心筋シンチ	106	140	110	57	59	74
経胸壁心エコー	2,778	2,796	2,605	2,516	2,508	2,800
経食道心エコー	22	24	28	29	48	54

治療件数一覧

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
経皮的冠血行再建術 (PCI)	125	158	116	127	133	125
ペースメーカー植込み術	21	9	25	21	26	20
電池交換	5	2	2	3	2	7

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
一時的ペースメーカー	10	9	16	11	9	15
IABP	10	9	6	9	9	11
PCPS	4	2	6	8	4	8
下大静脈フィルター	0	7	2	2	2	1
末梢血管拡張術 (PPI)	7	17	57	103	116	110
カテーテルアブレーション						10

研究業績

学会発表

タイトル	学会名	開催地	日時	発表者と研究者
経食道心エコーで肺内シャントが疑われた脳脂肪塞栓症の一例	第 321 回日本内科学会九州地方会	福岡県	2018 年 5 月 18 日～19 日	嘉陽安美子、仲村義一、金城太貴、三戸正人、秋元芳典、與座一
胸痛を呈さない大動脈解離に合併した急性期脳梗塞の一例	第 125 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2018 年 6 月 10 日	石川樹、仲村義一、金城太貴、三戸正人、秋元芳典、與座一
肺多発結節影を認めた MTX 関連リンパ増殖性疾患の 1 例	第 125 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2018 年 6 月 10 日	山城謙人、普天間光彦、新垣珠代
PCI 後に認めた原因不明の腎出血の一例	第 124 回日本循環器学会九州地方会	鹿児島県	2018 年 6 月 30 日	山城謙人、仲村義一、秋元芳典、與座一、三戸正人、金城太貴
低左心機能による末梢循環不全が原因で急性動脈閉塞様症状を呈し保存的治療により軽快した一例	第 27 回日本心血管インターベンション治療学会 (CVIT) 九州・沖縄地方会	福岡県	2018 年 9 月 14 日	仲村義一、秋元芳典、金城太貴、三戸正人、與座一
心肺蘇生後の多発肋骨骨折および肺挫傷に対し APRV モードによる人工呼吸管理が有効であった一症例	第 125 回日本循環器学会九州地方会	福岡県	2018 年 11 月 30 日～12 月 1 日	山城正一郎、秋元芳典、與座一、三戸正人、仲村義一、金城太貴

年度総括



循環器内科副部長
秋元 芳典

平成 30 年度は、與座一、秋元芳典、三戸正人、仲村義一、金城太貴の 5 名で診療を行っています。ここ数年の動向を見ていますと、急性心筋梗塞や狭心症にて経皮的冠動脈形成術 (PCI) を受ける患者さんは横ばいの状態です。周りに同治療を行う施設があることや、最近のステント、バルーンの開発で再狭窄がほとんど見られなくなりました。また、薬剤の進歩やエビデンスの蓄積もあり、二次予防が確立されてきたこともあります。

そんな中で今後治療として増えることが期待できるものの中にカテーテルアブレーションがあります。PSVT と言われる上室性の不整脈に加え、心房細動のアブレーションが盛んに施行されるようになりました。治療法も確立されてきており、安全に治療ができるようになっております。今後、期待できる治療法と考えます。また、閉塞性動脈硬化症による下肢動脈の狭窄や閉塞に対する経皮的動脈形成術も増えております。下肢動脈の治療については仲村先生を中心に研修に行っていただき治療を行っております。足の救済は予後に関わることであり、形成外科の先生とともに協力しながらさらに治療を進めて行きたいと思えます。

今後、高齢化が進むにつれて心不全が増えると考えられています。また、糖尿病も増えており色々な病気を持った心不全患者さんが増加します。薬剤の進化もあり治療方法が増えていますが、それ以上に心不全に対してはリハビリテーションが重要と考えております。スタッフの充実や教育の成果もあり、現在当院の心臓リハビリテーションに通う患者さんが増えております。それに伴い再入院は減っているデータもあります。今後はさらにリハビリや患者さんの背景を考えた治療を行い、患者さんの ADL を考えた治療を行って行きたいと考えております。

消化器内科

消化器内科が扱う臓器は幅広く、腹部の臓器のほとんど（腎臓、副腎など一部臓器を除く）が守備範囲となります。そのため対象となる患者は多く多岐にわたります。また、人間は精神的ストレスが掛ると身体的には消化管に影響が出る事が多く、心身医療とも密接な関わりがあります。さらにはメタボリックシンドロームと関連する消化器疾患もあり、おそらく病院を受診する患者さんのかなりの部分を消化器系の疾患が占めているものと思われます。

医師プロフィール

（平成 30 年 9 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定
副院長 内科部長	佐久川 廣	肝炎、肝硬変、肝癌、B型およびC型慢性肝炎の治療	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 日本感染症学会インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本肝臓学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
消化器内科部長 5 階病棟医長	宮城 純	上部・下部消化管疾患の診断・治療	日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器がん検診学会認定医、日本内科学会認定内科医、日本内科学会指導医
内視鏡センター長 ＜専門外来＞胸やけ外来	折田 均	胸やけ外来（機能的消化管疾患）、胃癌・大腸癌の内視鏡的治療	日本消化器内視鏡学会指導医、日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会指導医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本内科学会指導医
内視鏡センター副 センター長	仲本 学	消化管内視鏡診断・治療（ESD）	日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医、日本消化器病学会指導医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本消化器がん検診学会認定医、日本がん治療認定医機構認定医、日本内科学会指導医
消化器内科医長	柴田 大介	肝癌の治療、肝・胆道系疾患の治療	日本内科学会認定内科医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医
	小橋川 ちはる	消化管疾患の診断・治療	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本消化器がん検診学会認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医
	仲舛 拓	消化器内科全般	日本内科学会認定内科医
	林 貴徳	消化器内科全般	日本内科学会認定内科医

検査・治療・手術件数

1. 検査内視鏡実績

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
胃内視鏡	8,439	8,947	9,586	9,971	10,316	10,932
大腸内視鏡	2,663	2,860	3,052	3,020	2,969	2,938
ERCP	140	161	134	115	122	145

※外科症例を含みます。

2. 治療内視鏡実績

上部消化管 (内訳)	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
EMR	20	18	4	11	11	6
ESD	14	22	27	27	17	13
EVL	28	25	23	53	53	23
EIS	9	8	10	11	11	6
止血術	42	45	44	45	43	22
焼灼術	48	41	43	43	42	13
異物摘出術	10	12	16	10	6	13
下部消化管 (内訳)	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
EMR	280	331	355	409	310	319
ESD				9	3	5
止血術	11	11	23	18	17	27

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
長期寛解後に急性増悪した自己免疫性肝炎の1例	第111回日本消化器病学会九州支部例会	福岡県	2018/6/8	仲舩拓、佐久川廣、折田均、宮城純、仲本学、柴田大介、小橋川ちはる(ハートライフ病院)、青山肇(琉球大学附属病院)
当院で経験した急性E型肝炎の一例	第125回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2018/6/10	林貴徳、仲舩拓、小橋川ちはる、柴田大介、仲本学、宮城純、折田均、佐久川廣(ハートライフ病院)、青山肇(琉球大学医学部附属病院)
乳糜腹水に対してオクトレオチドが有効であった1症例	第126回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2018/12/9	柴田大介、林貴徳、仲舩拓、仲本学、折田均、宮城純、佐久川廣

年度総括



消化器内科部長
宮城 純

上部消化管内視鏡検査件数は徐々に増加してきており、平成 29 年度には 1 万件を突破し、10,316 件でした。平成 30 年度は更に 10,932 件に増加しました。平成 30 年度には内視鏡室の拡張を行いました。これまで上部消化管内視鏡検査は 5 診体制でしたが、令和元年 6 月から 6 診体制を開始します。今後も増加が見込まれます。

下部消化管内視鏡検査は徐々に増加していましたが平成 27 年度に 3,000 件を突破した後は頭打ちとなっています。残念ながら平成 29 年度、平成 30 年度とも 3,000 件を下回りました。平成 28 年度からは「大腸がん早期発見プロジェクト」も開始していますが、下部消化管内視鏡検査の件数が増えていないことからまだ「大腸がん早期発見プロジェクト」の効果は表れていないと思われます。今後さらに啓蒙が必要です。

令和元年度目標

- ・ 消化器疾患の診断能・治療技術の更なる向上を目指します。
- ・ 消化器病内科関連専門医、内視鏡専門医の確保を目指します。
- ・ 消化器内科志望の後期研修医の確保を目指します。
- ・ 近隣の病院、医院等からの紹介患者の積極的な受け入れ。
- ・ 外科とも緊密に連携し診断・治療を行います。
- ・ 外科とも連携し、近隣の病院、医院等との症例検討会等を継続します。
- ・ 消化器病関連の学会や研究会に更に活発に参加及び発表します。
- ・ 長期の目標として、胃検診の全件を内視鏡で行える体制を目指します。

肝臓内科

肝臓内科は肝臓の病気、さらに当院では胆道、膵臓疾患の検査治療を担当しています。具体的にはC型肝炎、B型肝炎などのウイルス性肝炎、自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎などの自己免疫に関与した肝炎、さらに近年増加傾向にあるメタボリックシンドロームの肝臓への表現型である非アルコール性脂肪肝炎（NASH）、またアルコール性肝障害といった生活習慣に起因した肝障害も肝臓内科で診療しています。また肝臓癌の治療である経皮的ラジオ波焼灼術、肝硬変の様々な合併症（肝性腹水、食道胃静脈瘤、特発性細菌性腹膜炎等）の治療も当科で行っています。胆道、膵臓疾患としては総胆管結石、胆道・膵臓腫瘍による閉塞性黄疸に対する内視鏡的治療も当科で行っています。

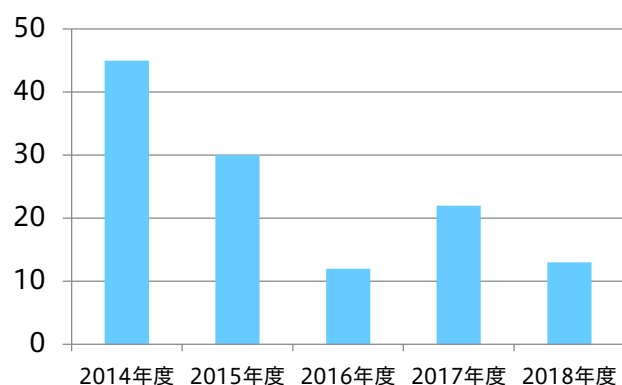
医師プロフィール

（平成30年9月現在）

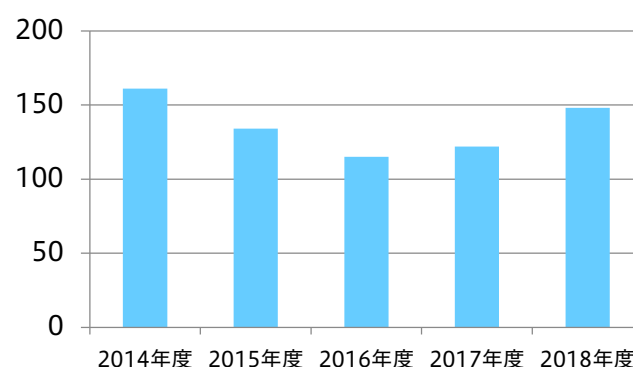
役職	氏名	専門分野	学会認定
副院長 内科部長	佐久川 廣	肝炎、肝硬変、肝癌、B型およびC型慢性肝炎の治療	日本肝臓学会指導医 日本感染症学会指導医 日本感染症学会インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本肝臓学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会指導医
消化器内科医長	柴田 大介	肝癌の治療、肝・胆道系疾患の治療	日本内科学会認定内科医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医

検査・治療件数

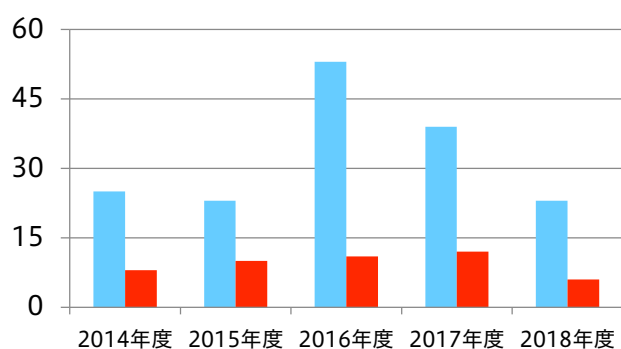
経皮的ラジオ波術症例数の推移



内視鏡的胆管膵管造影（ERCP）の推移



食道静脈瘤に対する予防的内視鏡的結紮術（EVL）、硬化療法（EIS）の推移



年度総括



消化器内科医長
柴田大介

昨年度より肝細胞癌に対する経皮的ラジオ波焼灼術は減少しました。これはC型肝炎に起因した肝細胞癌が減少傾向にあるためと思われます。しかし今後はNASH 肝硬変やアルコール性肝硬変に起因した肝細胞癌は相対的に増加することが予想されます。今後も早期発見・早期治療を目指し診療していきたいと思えます。

胆道膵臓疾患に関する内視鏡的検査治療は昨年よりも増加傾向にありました。時に膵炎等の重篤な合併症が起こる検査治療であり今後も安全に細心の注意を払い行っていきたいと思えます。また本年度は膵管狭窄例に対し内視鏡的に主膵管にドレナージチューブを一晩留置し膵液を採取する検査を積極的に行ってきました。今後も膵癌の早期発見に努めていきたいと考えています。

血液内科

血液内科は造血器腫瘍や貧血性疾患、血友病を除く出血・血栓性疾患などほとんどの血液疾患の診療を行っています。本年度のスタッフは宮城 敬、狩俣 かおり、大瀨 昌代、山入端 敦の4人です。同種造血幹細胞移植は主に宮城、山入端、狩俣が行い、ドナーの診療は狩俣、大瀨が担当しています。当院の特徴としては、完全無菌室を10床有し、血縁者間・非血縁者間の造血幹細胞移植（骨髄移植、臍帯血移植、末梢血幹細胞移植）を行っています。沖縄県内の血液内科で造血幹細胞移植を行っているのは琉球大学附属病院と当院のみで、沖縄県の造血器移植医療、血液診療を支えているという自負があります。週1回、琉球大学保健学科の福島卓也先生も参加してグループカンファレンスを行い、最善の診断・治療ができるよう心がけています。

医師プロフィール

(平成30年9月現在)

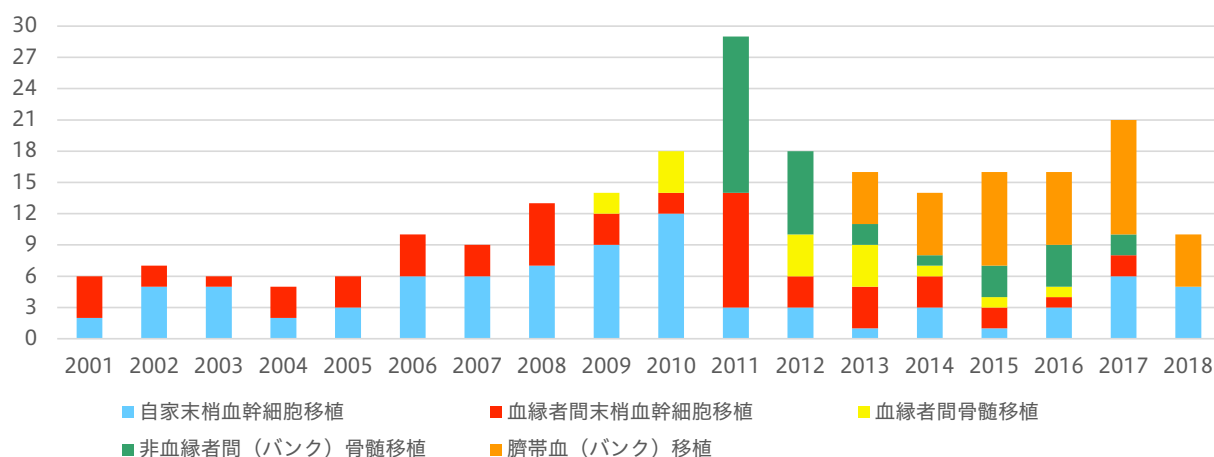
役職	氏名	専門分野	学会認定
血液内科部長 6階病棟医長	宮城 敬	一般血液内科	日本血液学会指導医 日本血液学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医
血液内科副部長	山入端 敦	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会指導医
血液内科医長	狩俣 かおり	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医
	大瀨 昌代	一般血液内科	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医

検査・治療・手術件数

骨髄移植術実施一覧

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
自家末梢血幹細胞移植	1	3	7	3	6	5
同種血縁者間末梢血幹細胞移植	4	3	2	1	2	0
同種血縁者間骨髄移植	4	1	1	1	0	0
非血縁者間骨髄移植（骨髄バンク）	2	1	3	4	2	0
臍帯血移植（臍帯血バンク）	5	6	8	7	11	5
計	16	14	21	16	21	10

ハートライフ病院の造血幹細胞移植数(年次推移)



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
HIV陰性 Primary Effusion Lymphoma の1例	第 323 回日本内科学会九州地方会	鹿児島県	2018 年 11 月 18 日	宮城敬、山入端敦、大濱昌代、狩俣かおり(ハートライフ病院血液内科)、玉城智子(琉球大学腫瘍病理)、加留部謙之輔(琉球大学細胞病理)、佐久川廣(ハートライフ病院内科)
Primary effusion lymphoma(PEL)-like lymphoma の一例	第 126 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2018 年 12 月 9 日	宮城敬、山入端敦、大濱昌代、狩俣かおり(ハートライフ病院血液内科)、玉城智子(琉球大学腫瘍病理)、加留部謙之輔(琉球大学細胞病理)、三戸正人(ハートライフ病院内科)
同種造血幹細胞移植を施行した t(16;21)(p11.2;q22) を伴う急性骨髄性白血病の2例	第 41 回日本造血細胞移植学会	大阪府	2019 年 3 月 9 日	山入端敦、大濱昌代、狩俣かおり、宮城敬(ハートライフ病院)、内原潤之助(那覇市立病院血液内科)、平安山英穂(浜の町病院血液内科)
同種造血幹細胞移植後の再発時にネフローゼ症候群を発症したフィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病	第 41 回日本造血細胞移植学会	大阪府	2019 年 3 月 9 日	宮城敬、山入端敦、大濱昌代、狩俣かおり

年度総括


血液内科部長
宮城 敬

当科はおもに成人対象の造血幹細胞移植を行っており、骨髄バンク・さい帯血バンクの認定施設です。疾患特性から平均入院患者数、延べ入院患者数が多く、在院日数が高い傾向は変わらず、医師の負担が懸念されるところです。継続できる医療、安全で質の高い医療を提供できるような人、システムの環境づくりに努力する所存です。今後ともご協力、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

内科年度総括



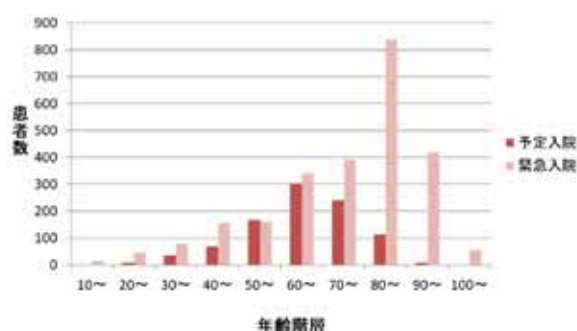
内科部長・副院長
佐久川 廣

2018年度の内科外来延患者数は39,189名で、昨年度と比較して557名増加(1.4%の増加)しました。入院患者数に関しては、新規入院患者数が月平均319.1名で、2018年度の目標であった325名を下回り、また、前年(319.3名)と比較して0.2名の僅かな減少となりました。しかしながら、平均在院日数が短くなった(2017年度13.9日→2018年度13.4日)ため、病床利用数は平均で137.8と前年(142.7)に比較して減少となりました。また、2018年度の内科の病床利用数の目標は142であったことより、それを下回る(達成率97%)結果となりました。

当院は救急医療で社会医療法人と認定されており、救急医療の充実が重要と認識されています。2018年度の救急車搬入件数は病院全体で2,763件であり、そのうち81%が内科症例でした。また、救急搬入での入院患者数は1,248名(救急搬入での入院率:45.2%)で、そのうち71.2%が内科症例でした。

DPCデータを基に2018年度の内科退院患者数を年齢階層別に分けて、緊急入院(救急搬送入院を含む)と予定入院患者数を比較しますと、緊急入院は高齢者の占める割合が高いことが分かります。グラフからも明らかなように、80歳以上の患者数が多く、緊急入院患者数全体の52.5%を占めます(図1)。一方、予定入院は60～79歳の年齢層に多く、87%は80歳未満です。また、80歳以上の患者さんの平均の日当額は4万円代前半で、70歳代以下の年齢層の平均日当額と比較すると、1万円以上低下します。日当額の低い患者さんは、必ずしも専門的医療の必要性がない患者さんが多く含まれます。沖縄県の高齢化に伴い80歳以上の救急受診患者が増加していくと予想されます。今後はこのような高齢の患者さんを地域全体でどのようにケアしていくか、他施設や地域の在宅診療の担当医との連携が重要になると思われます。

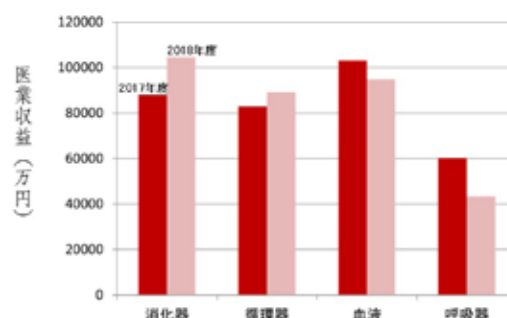
図1: 年齢階層別退院患者数(内科、予定入院と緊急入院)



2018年度の入院と外来を合わせた内科の収益が約33.9億でした。病院全体の入院・外来総収益(約83.3億)の40.7%であることを考慮すると高収益部門と評価できます。しかしながら、医薬収益と最終利益は必ずしも比例しないことより、原価計算により利益の評価が必要になります。今後は収益を上げながら、医薬品や医療材料のコストを抑えて、より高い利益を目指す必要があります。

内科の診療グループ別には、消化器内科は医師数増加もあり2017年度と比較して、約1.7億円の増収となりました。また、循環器内科は、医師数は昨年同様ですが、約0.6億の増収となりました。一方、呼吸器内科は、メンバーが3名から2名に減少したことが大きく影響し約1.7億の減収になりました。血液内科は0.8億の減収でした(図2)。医師数の増加、減少は収益に大きな影響を及ぼすことより、今後は現在の医師数を最低でも確保しながら、若手を中心に常勤医を増やすことが最重要課題です。

図2: 内科各診療グループ別
医薬収益(2017年度と2018年度の比較)



小児科

当院小児科では二次病院として紹介患者を中心に診療を行い、外来部門であるハートライフクリニックからの入院を含め、病院小児科常勤医として 3 名の医師が感染症などの一般的な疾患、予防接種、小児の手術の術前診、術後管理を行っています。また、当院で出生する新生児の管理や 1 ヶ月健診を行っています。

また二次医療機関としてだけでなく、中城村や西原町、与那原町などの近隣市町村の乳幼児健診や西原小学校と中城小学校の校医や保育園の園医の活動を通して地域の小児の健康管理への貢献も目標として活動しています。

平成 27 年 4 月から一年間、あいち小児医療総合センターアレルギー科で研修してきました、崎原徹裕医師が平成 28 年 4 月から小児アレルギー外来を開設し診療を開始しました。小児の食物アレルギーの診断・治療を中心に行っており、ほかにも薬剤アレルギーの診断や、看護師や栄養士と共にアトピー性皮膚炎等のスキンケアや食事療法指導なども行っています。毎週金曜には入院による食物負荷試験を行っています。

医師プロフィール

(平成 30 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
小児科部長	国島知子	一般小児科	日本小児科学会指導医 日本小児科学会専門医 地域総合小児医療認定医
小児科医長	崎原徹裕	一般小児科、小児アレルギー	日本小児科学会指導医 日本小児科学会専門医
	川満 豊	一般小児科	日本小児科学会専門医

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
乳児におけるゆで卵白経口負荷試験の安全性の検討	第 67 回日本アレルギー学会学術大会	千葉県	2018 年 6 月 23 日	崎原徹裕、川満豊、国島知子
食物アレルギー診療における抗原特異的 IgE 抗体価の限界と Prediction model の有用性の検討	第 35 回日本小児臨床アレルギー学会	福岡県	2018 年 7 月 29 日	崎原徹裕、川満豊、国島知子
牛肉特異的 IgE 抗体価陰性で経口負荷試験中に上気道閉塞症状を認めた牛肉アレルギーの 1 例	第 92 回沖縄小児科学会	沖縄県	2018 年 9 月 9 日	崎原徹裕、川満豊、国島知子
卵白感作陽性の乳児における加熱全卵 0.2 g 摂取の安全性の検討	第 55 回日本小児アレルギー学会	岡山県	2018 年 10 月 21 日	崎原徹裕、川満豊、国島知子
乳児期における卵白経口負荷試験の有用性と安全性についての検討	第 93 回沖縄小児科学会	沖縄県	2018 年 12 月 23 日	金城優美、崎原徹裕、川満豊、国島知子

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
0 歳児における 20 分ゆで卵白経口負荷試験の安全性の検討	日本小児アレルギー学会誌	2019 ; 33:106-116	崎原徹裕、川満豊

年度総括



小児科部長
国島 知子

新生児を除いた小児科の総入院患者数は、在院日数の短さや治癒退院率の高さを維持しながら、今年度は674名でした。入院患者の38%は紹介患者で、73%は3歳未満の小児が占めています。感染性疾患が60%と大半を占めていますが、アレルギー外来開設の影響でアレルギー性疾患の割合が29%と高くなってきています。

また、本年度当院での全出生児の586名の出生時診察と退院時診察を行っており、産科医からの要請に応じて分娩の立ち会いや、24時間オンコール体制ではありますが、産科医からの要請時に新生児蘇生を行っております。新生児室での病児管理も行っており平成30年度は239名を管理しました。

外来に関しては、クリニックと病院小児科の役割分担を明確にし、クリニック小児科は急性期患者を、病院小児科は慢性患者の定期フォローを行っており、平成30年度のクリニック小児科の外来患者数は7,509名、病院小児科の外来患者数は6,085名でかりゆし会の小児科としての外来患者数は13,594名となっています。

心療内科

当科は医師一名体制で、専属スタッフの配置はありません。そのため、待ち時間が長くなることもありご迷惑をおかけすることもしばしばです。また外来診療のほか、身体疾患のため入院中の方のメンタルヘルストラブルの対応や相談なども行っています。なお、当科での入院治療はやっておりません。

よく言われる心療内科と精神科の違いですが、精神科は精神疾患の治療をする科で、心療内科は自律神経の治療を専門とする科ということになります。

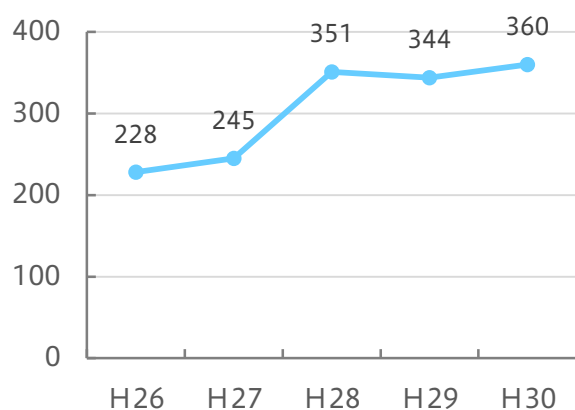
自律神経の機能がうまく調整できなくなる理由は、老化や体質、ホルモン機能のほか、ストレスや過労などさまざまです。うつ病などの精神疾患や認知症が原因のこともあります。そのため、厳密にわけることが難しい分野でもあります。検査しても病気じゃないといわれたけど体調が悪いというかたは、自律神経の治療を受けることで楽になることがあるかもしれません。

医師プロフィール

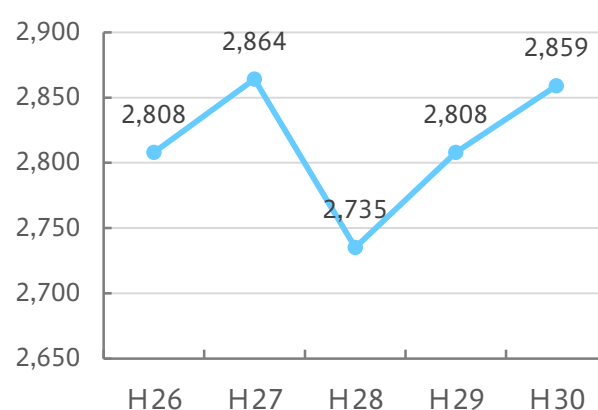
(平成 30 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定など
心療内科医長	菅野 善一郎	リエゾン精神医学・心身医療	精神保健指定医 日本精神神経学会専門医 日本精神神経学会指導医

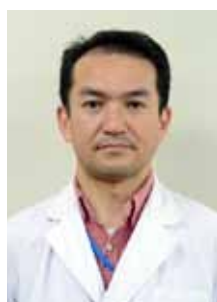
心療内科への院内コンサルト件数



外来患者数推移



年度総括



心療内科
菅野 善一郎

心療内科を立ち上げて 9 年が経ちました。これまで、外来診療および他科と連携した診療を続けていましたが、院内・院外ともに紹介をいただくことが増え、それなりに役立っているようで嬉しく思っています。

認知症やせん妄への対応も増えており、高齢化社会での精神科医療のニーズを実感しております。

外科

医師プロフィール

(平成 30 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
院長	奥島 憲彦	消化器外科、食道外科、食道癌の内視鏡的治療、食道アカラシアの POEM 治療	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器外科学会専門医
外科系統括部長 外来診療部長 地域医療連携部長	西原 実	一般消化器外科、肝胆膵外科、内視鏡外科、抗がん剤治療、ヘルニア	日本外科学会指導医 日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器外科学会専門医
外科部長	宮平 工	胃癌・大腸癌に対する手術治療、抗がん剤治療、各種消化器疾患に対する腹腔鏡手術	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
消化器外科部長 4 階病棟医長	花城 直次	一般外科、腹腔鏡下大腸切除術	日本外科学会認定医 日本外科学会専門医
ヘルニアセンター 長	高原 裕夫	小児・成人の鼠径ヘルニア、腹壁ヘルニア（癒痕ヘルニア・臍ヘルニア）	日本内視鏡外科学会技術認定医 日本小児外科学会専門医 日本小児外科学会指導医 日本外科学会指導医 日本外科学会専門医
大腸・肛門外科副 部長	阿嘉 裕之	肛門科・消化器外科、各種肛門疾患（痔核・痔瘻・裂肛・直腸脱・尖圭コンジロームなど）、便通異常などに対して注射療法	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本外科学会認定登録医
乳腺外科副部長	野村 寛徳	乳癌、甲状腺外科、一般外科	日本外科学会専門医 日本乳癌学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 検診乳腺エコー読影認定医
	国吉 史雄	一般外科	
	仲本 正哉	一般外科	
	仲栄真 盛保 (非常勤)	血管外科	
	永野 貴昭 (非常勤)	心臓血管外科	
	久田 正昭 (非常勤)	一般・小児外科	
	梁 英樹 (非常勤)	膵・胆道外科、消化器外科全般	

検査・治療・手術実績

術式別一覧

手技	件数
肺	
胸腔鏡下手術	1
食 道	
POEM 手術	7
食道癌 ESD	3
食道悪性腫瘍手術	3
甲状腺	
甲状腺良性腫瘍手術	8
甲状腺悪性腫瘍手術	6
乳腺	
乳腺悪性腫瘍切除術	56
乳腺良性腫瘍切除術	1
乳腺腫瘍摘出術	27
胃	
腹腔鏡下胃切除術（悪性）	4
胃悪性腫瘍手術（開腹）	6
胃全摘術（悪性）	4
胃腸吻合術	4
胃・十二指腸縫合術（大網充填術又は被覆術）	
胆嚢・胆管	
腹腔鏡下胆嚢摘出術	114
開腹胆嚢摘出術	3
胆管悪性腫瘍手術	2
肝 臓	
肝切除術	1
脾 臓	
脾頭部十二指腸腫瘍切除術	2
脾頭部全摘術	1
脾全摘術	1
小 腸	
小腸切除術（悪性）	2
小腸切除術（悪性以外）	7
小腸瘻造設術	1
腸閉塞症手術	4
虫 垂	
腹腔鏡下虫垂切除術	49
結 腸	
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	28
開腹結腸悪性腫瘍切除術	17
腹腔鏡下結腸良性腫瘍切除術	5
開腹結腸切除術（良性）	3
直 腸	
腹腔鏡下直腸悪性腫瘍切除術	4
開腹直腸悪性腫瘍切除術	5
経肛門直腸腫瘍摘出術	3
直腸ポリプ切除術	1
直腸脱手術	2
人工肛門造設術・人工肛門閉鎖術	15

手技	件数
肛 門	
痔核硬化療法	65
痔核根治手術	9
痔瘻根治手術	13
肛門形成手術	1
肛門尖圭コンジローマ	1
肛門皮膚剥離切除術	1
毛巣洞手術	2
膿皮症	2
ヘルニア	
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（成人）	121
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（小児）	54
鼠径ヘルニア手術	
臍ヘルニア手術（成人）	7
臍ヘルニア手術（小児）	9
腹壁瘢痕ヘルニア手術	11
半月状ヘルニア	1
停留精巣固定術	3
鼠径管開放術	1
胃 瘻	
胃瘻造設術	39
その他部位	
気管切開術	1
大網、腸間膜、後腹膜手術	2
リンパ節生検	14
リンパ節郭清術	1
体表の手術（外来ナート含む）	181
CV ポート	36
腹腔静脈シャントバブル挿入術	2
腹腔鏡下尿管膜切除術	1
急性汎発性腹膜炎手術	9
試験開腹術	3
後腹膜悪性腫瘍手術	2
腹壁瘻手術	1
その他	10
総合計	1,003

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院における大腸癌手術症例の短期成績	第 118 回日本外科学会定期学術集会	東京都	2018 年 4 月 6 日	宮平工、国吉史雄、西垣大志、阿嘉裕之、花城直次、西原実、梁英樹、奥島憲彦
「これでいいのか? LPEC 法」-LPEC 法で変わる小児の鼠径ヘルニア学-	第 55 回日本小児外科学会学術集会	新潟県	2018 年 5 月 30 日	嵩原裕夫
食道アカラシアに対する POEM 手術の治療成績と課題	第 105 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡県	2018 年 6 月 8 日	奥島憲彦、仲本正哉、西垣大志、花城直次、宮平工
メッケル憩室による絞扼性イレウスの 1 例	第 125 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2018 年 6 月 10 日	国吉史雄、仲本正哉、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、西原実、奥島憲彦
鏡視下胃内手術の工夫 胃粘膜下腫瘍の 1 切除例				宮平工、仲本正哉、国吉史雄、阿嘉裕之、花城直次、西原実、奥島憲彦
初回到 POEM を施行できなかった 2 例の食道アカラシアの検討	第 72 回 日本食道学会学術集会	栃木県	2018 年 6 月 28 日	奥島憲彦、仲本正哉、西垣大志、花城直次、宮平工
食道 Zenker 憩室の一切切除				仲本正哉、奥島憲彦、西垣大志、花城直次、宮平工
超高齢者 (85 歳以上) の外鼠径ヘルニアに対する LPEC 法の成績	第 17 回 LPEC 研究会	北海道	2018 年 6 月 28 日	嵩原裕夫、西原実、国吉史雄、仲本正哉、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、奥島憲彦
Advance LPEC needle による成人外鼠径ヘルニア閉鎖法				嵩原裕夫、西原実、国吉史雄、仲本正哉、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、奥島憲彦
前立腺癌術後の鼠径ヘルニアには LPEC 変法が有効である	第 16 回日本ヘルニア学会学術集会	北海道	2018 年 6 月 29 日	西原実、嵩原裕夫、国吉史雄、仲本正哉、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、奥島憲彦
AYA 世代、前立腺がん術後および超高齢者鼠径ヘルニアへの LPEC 法の適応拡大			2018 年 6 月 30 日	嵩原裕夫、西原実、国吉史雄、西垣大志、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、奥島憲彦
denovo ヘルニアは成人だけではない				嵩原裕夫、西原実、国吉史雄、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、奥島憲彦
片側性の成人外鼠径ヘルニア (ヘルニア分類 I -1 または I -2) における細径デバイスを用いた LPEC および LPEC 変法の検討	7 t h Reduced Po r t Surgery Forum	北海道	2018 年 8 月 3 日	西原実、嵩原裕夫、国吉史雄、仲本正哉、花城直次、宮平工、奥島憲彦
精索静脈瘤に対する Needlescopic surgery				仲本正哉、嵩原裕夫、西原実、国吉史雄、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、奥島憲彦 (外科)、嘉川春生 (泌尿器科)
超高齢者 (85 歳以上) の外鼠径ヘルニアに対する細径デバイス・2 ポートによる LPEC 法の成績				嵩原裕夫、西原実、国吉史雄、阿嘉裕之、仲本正哉、花城直次、宮平工、奥島憲彦
巨大肝細胞癌虫垂転移の一例	第 23 回日本外科病理学会学術集会	神奈川県	2018 年 10 月 27 日	西原実、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、奥島憲彦、嵩原裕夫
食道アカラシアに対する POEM 手術の治療成績	第 26 回日本消化器関連学会週間 JDDW 2018 KOBE	兵庫県	2018 年 11 月 2 日	奥島憲彦、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、西原実
後期高齢者に対する鼠径ヘルニア手術における問題点の検討	第 80 回日本臨床外科学会総会	東京都	2018 年 11 月 23 日	西原実、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、奥島憲彦、嵩原裕夫
当院における 85 歳以上の外鼠径ヘルニアに対する LPEC 法の検討				花城直次、嵩原裕夫、仲本正哉、国吉史雄、阿嘉裕之、宮平工、西原実、奥島憲彦

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
有症状巨大肝嚢胞に対する腹腔鏡手術の有用性	第 31 回日本内視鏡外科学会総会	福岡県	2018 年 12 月 6 日	宮平工、国吉史雄、花城直次、西原実、嵩原裕夫
腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術時に発見された無症状の対側外鼠径ヘルニアをどうするか			2018 年 12 月 8 日	西原実、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、奥島憲彦、嵩原裕夫
ESD を行った食道癌 72 例の治療成績の検討	第 126 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2018 年 12 月 9 日	奥島憲彦、兼元萌美、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、西原実、嵩原裕夫
虫垂転移をきたした肝細胞癌の 1 例				西原実、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、嵩原裕夫、奥島憲彦
肛門括約筋形成手術の 1 例				阿嘉裕之、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳
食道アカラシアに対する POEM 手術の治療成績	第 50 回東京女子医科大学病院 消化器病センター例会	東京都	2019 年 1 月 19 日	奥島憲彦、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、西原実
十二指腸 GIST の 1 切除例				国吉史雄、梁英樹（至誠会第二病院）、仲本正哉、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、西原実、奥島憲彦
巨大臍ヘルニア非還納生(卵巣・子宮) 鼠径ヘルニアを合併した生後 51 日目・女児に対する LPEC 法	第 6 回沖縄ヘルニア研究会	沖縄県	2019 年 2 月 23 日	仲本正哉、嵩原裕夫、西原実、国吉史雄、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、奥島憲彦
denovo 型鼠径ヘルニアに対する CRD-TAPP 法				仲本正哉、嵩原裕夫、西原実、国吉史雄、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、奥島憲彦
前立腺癌術後の鼠径ヘルニアには LPEC 変法が有効である				西原実、仲本正哉、国吉史雄、嵩原裕夫
特別講演 「LPEC 誕生秘話」	第 4 回関西小児内視鏡外科研究会	大阪府	2019 年 3 月 2 日	嵩原裕夫
腹腔鏡下胆嚢摘出時の胆管損傷で胆管狭窄を来し、開腹胆管十二指腸吻合を施行した一例	第 55 回日本腹部救急医学会総会	宮城県	2019 年 3 月 8 日	宮平工、仲本正哉、国吉史雄、花城直次、西原実、奥島憲彦
胃瘻チューブ自己抜去後の再挿入時に誤挿入し				宮平工、仲本正哉、国吉史雄、花城直次、西原実、奥島憲彦
TAPP の遂行が困難となり Advanced LPEC で対応した 1 例	第 5 回ラパヘルエクスパートミーティング	東京都	2019 年 3 月 9 日	西原実、国吉史雄、仲本正哉、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、奥島憲彦、嵩原裕夫

論文著書

論題名	雑誌名	掲載・年・号・頁	著者
【腹部ヘルニア手術のすべて】特殊な鼠径部ヘルニア手術 小児の特殊な鼠径部ヘルニアに対する腹腔鏡手術 (LPEC 法)	手術 (0037-4423)	72 巻 7 号 Page1061-1070(2018.06)	嵩原 裕夫、西原 実、花城 直次、国吉 史雄
腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術時に発見された対側外鼠径ヘルニアに対する LPEC の評価	沖縄医学会雑誌 (0911-5897)	56 巻 4 号 Page41-43(2018.05)	西原 実、国吉 史雄、西垣 大志、野村 寛徳、阿嘉 裕之、宮平 工、花城 直次、梁 英樹、奥島 憲彦、嵩原 裕夫

年度総括



外科部長
宮平 工

平成 30 年度は 院長の奥島 憲彦（食道）、ヘルニアセンター長の嵩原 裕夫（ヘルニア）、外科系統括部長の西原 実（肝胆膵・ヘルニア）、外科部長の宮平 工（胃・大腸）、消化器外科部長の花城 直次（胃・大腸）、大腸肛門科副部長 阿嘉 裕之（大腸・肛門）、乳腺外科副部長の野村 寛徳、国吉 史雄、仲本 正哉（一般外科）の 9 名の常勤医と、非常勤の仲栄真 盛保（血管）、永野 貴昭（心臓、大血管）、久田 正昭（一般、小児外科）、梁 英樹（肝胆膵）の各先生方のご尽力を頂き、運営してまいりました。（カッコ内は専門領域）

手術件数は 1,003 件（外来小手術も含む）と初めて 1,000 件突破を達成し、前年より 27 件の増加でした。琉球大学からの派遣医が 1 名減員となりましたが、新たに仲本 正哉が新専門医制度のもと当院で修行することとなり、結果的には昨年も同様な人員で、診療にあたっています。術式別に比較すると乳腺、甲状腺、虫垂炎、ヘルニアなどは増加傾向でした。ヘルニアセンター長の嵩原 裕夫 医師のご尽力で、ヘルニア症例数が年々増加しています。

外科は手術だけでなく、消化器がん、乳がんの化学療法も担当しています。初期研修医の指導はもちろん、琉球大学医学部学生の臨床実習も受け入れており、外科の魅力を伝えることで、外科医減少の歯止めに微力ながらも貢献できればと考えています。臨床や教育の合間には県内外での学会発表や論文投稿も積極的に行っています。さらに指導医クラスの医師は緩和ケアチーム、感染対策チーム、NST、クリニカルパス委員会などの中心メンバーとして病院全体の診療を影から支えています。

今後もより安全で質の高い医療を目指すだけでなく、最新の医療も提供すべく邁進してまいります。皆様方のますますのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

整形外科

スタッフは、松元悟・渡慶次学・新垣和伸・琉球大学からのローテーター川越得弘・上原史成の 5 人です。琉球大学整形外科講座より、木曜日は関節リウマチ・金曜日は関節外科非常勤医師の応援を得ています。また、水曜日はじのん整形外科の新垣薫先生に股関節専門外来および手術指導など御協力いただいています。パークレーじのん整形外科院長新城宏隆先生には週 1 日膝関節手術を後執刀いただいています。松元悟は関節疾患を中心に外来を行い、運動器疾患の県民への啓蒙活動にも努めています。渡慶次学と川越得弘は手の外科を担当し、上肢外傷・末梢神経絞扼障害等の手術を行っています。新垣和伸と上原史成は膝関節を担当し、関節鏡を用いた前十字靱帯再建・半月板縫合等の手術を行っています。

医師プロフィール

(平成 30 年 9 月現在)

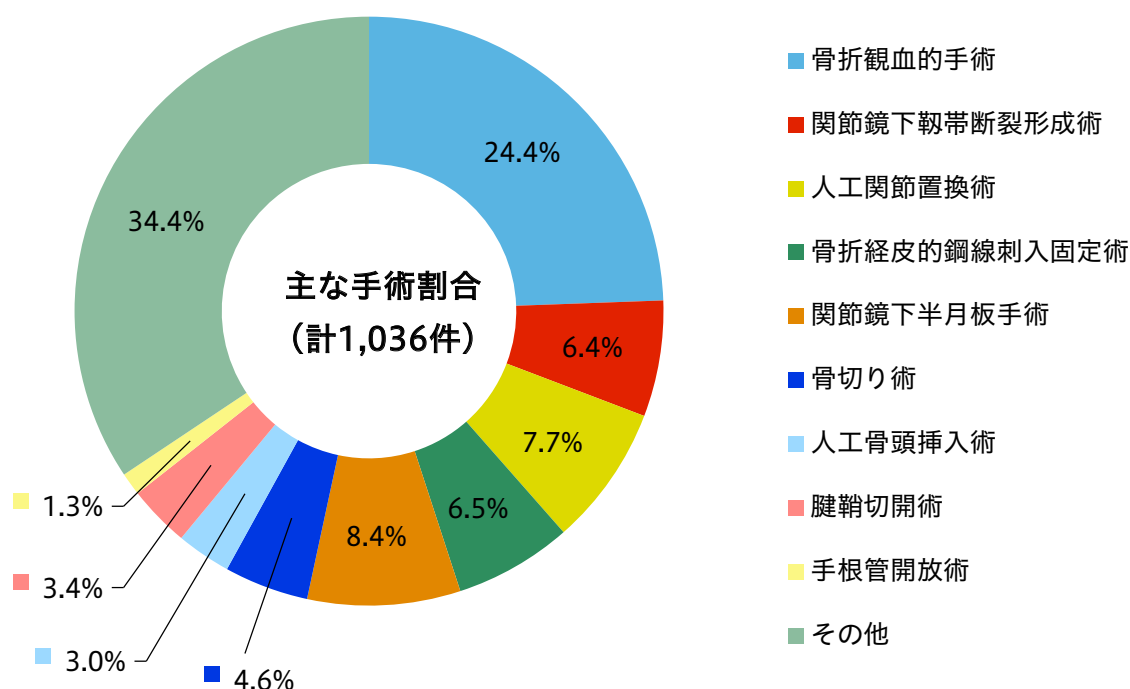
役職	氏名	専門分野	学会認定
副院長	松元 悟	一般整形外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本医師会認定健康スポーツ医
整形外科部長	渡慶次 学	手外科	日本整形外科学会専門医 日本手外科学会認定手外科専門医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
膝関節外科部長 <専門外来>スポーツ関節鏡センター	新垣 和伸	関節外科(膝関節)	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本体育協会公認スポーツドクター
整形外科医長	川越 得弘	手外科	日本整形外科学会専門医
	上原 史成	関節外科(膝関節)	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本整形外科学会認定スポーツ医
<専門外来>膝関節スポーツ外来	松田英敏	関節外科(膝関節)	日本整形外科学会専門医
<専門外来>股関節外来	新垣 薫	関節外科(股関節)	日本整形外科学会専門医
関節リウマチ	親川 知	リウマチ	日本整形外科学会専門医 日本リウマチ学会専門医

検査・治療・手術件数

主な手術一覧

部位・行為	件数
骨折観血の手術	253
関節鏡下靱帯断裂形成術	66
人工関節置換術	80
骨折経皮的鋼線刺入固定術	67
関節鏡下半月板手術	87

部位・行為	件数
骨切り術	48
人工骨頭挿入術	31
腱鞘切開術	35
手根管開放術	13
その他	356
総計	1,036



年度総括



整形外科部長
渡慶次 学

2018年度はスポーツ関節鏡センター（膝関節外科）が近隣住民に認知され、地域連携医からの紹介も多くなり新規入院患者数・手術件数ともに増加しました。手術内訳では関節外科が増加し、四肢軟部腫瘍・手外科・骨折は昨年度と変化はありませんでした。

2019年度は膝前十字靱帯再建術・半月板縫合術等のスポーツ外傷治療に加え変形性膝関節症患者に対して適切な手術（骨切り術・人工膝関節置換術）を行うことで、より満足いただける医療を目指していく予定です。今後も安全で健全な診療を継続していけるよう努力致します。

形成外科

当科は、2011 年 4 月に非常勤として診療を開始し、2014 年 4 月から常勤となり 5 年目を迎えました。当科の特徴は、県内に少ない形成外科専門施設として、下肢難治性皮膚潰瘍、皮膚軟部組織腫瘍摘出術、巻き爪などの爪のトラブル、眼瞼下垂症やわきが、包茎、刺青切除などの美容的手術のみならず、癌切除後の再建手術や四肢のリンパ浮腫、下肢静脈瘤、重度顔面外傷、重症熱傷などオールラウンドに対応できるように心がけていることです。12 月には、足の潰瘍をはじめとした治りにくい傷に対して専門的なチーム医療をもって取り組むために、ミレニアメディカル株式会社と提携し準備が始まりました。来年度早々に「足と傷の外来」を立ち上げてどの施設でも難渋している症例を積極的に受け入れて「歩行をまもる」ことを目標としております。

本年度は、下肢静脈瘤に対するレーザー（高周波）を用いた血管内焼灼術、美容レーザー治療設備を整え治療を開始しましたが、今後ますます発展させて形成外科治療で県民に広く貢献して参りたいと考えておりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

施設認定など

日本形成外科学会専門医研修認定施設（施設番号 18-8077-000）

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定エキスパンダー実地施設（二次再建）（実地施設認定番号第 H10414 号）

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会認定インプラント実地施設（一次二期再建・二次再建）（実地施設認定番号第 H10414 号）

日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設（認定番号第 NS-17003 号）

下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設（登録番号 H00789）

医師プロフィール

（平成 30 年 4 月現在）

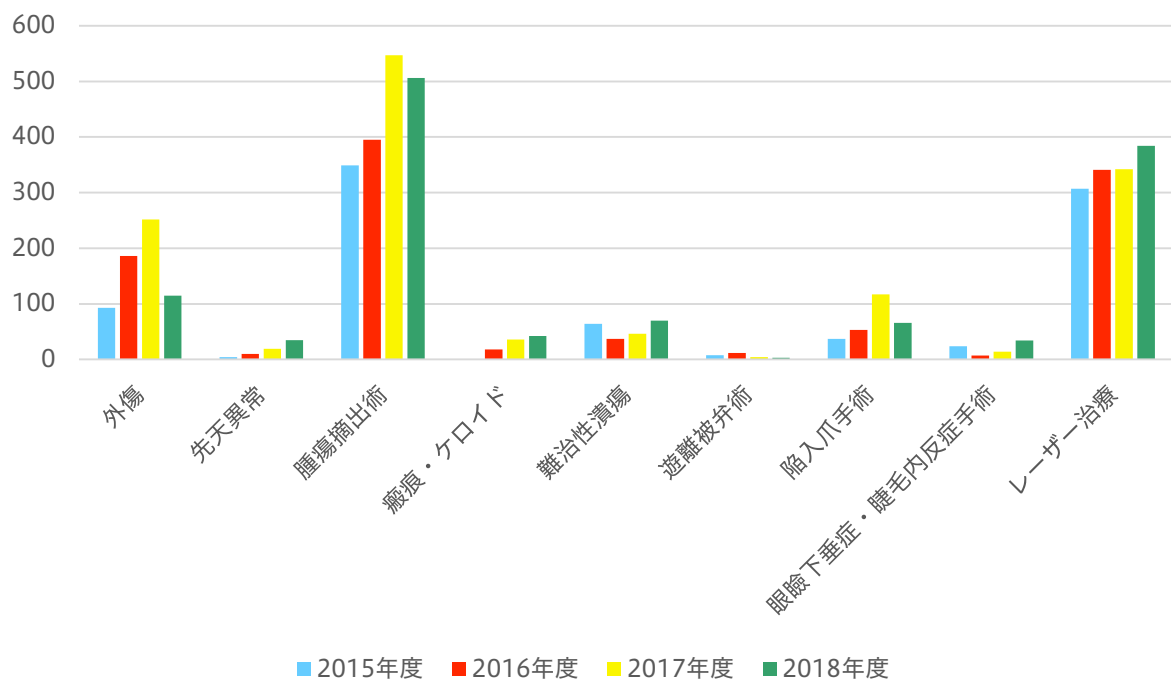
役職	氏名	専門分野	学会認定
形成外科部長	東盛貴光	創傷外科、フットケア（下肢難治性皮膚潰瘍に対する治療）、美容外科、レーザー治療、広範囲重症熱傷、マイクロサージャリーを用いた頭頸部がん術後の再建・乳がん術後の乳房再建、下肢静脈瘤	日本形成外科学会専門医 日本熱傷学会専門医 日本レーザー医学会専門医 日本レーザー医学会指導医 日本創傷外科学会専門医
医師	矢後 博基	形成外科一般、創傷外科、マイクロサージャリー	
非常勤	栗原 沙織	形成外科一般、皮膚悪性腫瘍、下肢潰瘍	

検査・治療・手術件数

検査・治療実績

	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度
外傷	10	93	186	252	115
先天異常		4	10	19	35
腫瘍摘出術	148	349	395	547	506
瘢痕・ケロイド			18	36	42
難治性潰瘍		64	37	46	70
遊離被弁術		8	12	4	3
陥入爪手術	58	37	53	117	66
眼瞼下垂症・睫毛内反症手術	24	24	7	14	34
レーザー治療		307	341	342	384
合計	240	886	1,059	1,377	1,255

研究業績



学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
切断指再接着術後壊死症例に対する残存微小骨延長の治療経験	第 61 回日本形成外科学会総会・学術総会	福岡県	2018 年 4 月 12 日	東盛貴光 (ハートライフ病院) 櫻井裕之 (東京女子医大病院)
当科における間欠的灌流治療併用陰圧閉鎖療法 (NPWTi-d) の治療経験	第 15 回日本褥瘡学会九州沖縄地方会	熊本県	2018 年 4 月 21 日	東盛貴光、石川昂央
下肢血流障害を合併した熱傷症例の経験	第 44 回日本熱傷学会総会学術集会	東京都	2018 年 5 月 17 日	矢後博基 (ハートライフ病院)、立津朝成、寺田義之、浅見崇、猪原康司、森岡康祐 (鹿児島市立病院)、仲沢弘明 (日本大学医学部附属板橋病院)、櫻井裕之 (東京女子医科大学)
当科で経験した足底胼胝感染に対して外科的治療を行った 5 例	第 125 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2018 年 6 月 10 日	東盛貴光
関節拘縮により生じた褥瘡潰瘍に対する腱切離術の治療経験	第 10 回日本創傷外科学会総会・学術集会	埼玉県	2018 年 7 月 5 日	東盛貴光
当科における足底鶏眼に対する外科的治療の検討	第 7 回日本下肢救済・足病学会九州沖縄地方会	佐賀県	2018 年 10 月 20 日	東盛貴光

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
皮膚還流圧 (SPP) と経皮的酸素分圧 (TcPO ₂) の透析中の経時的変化 - 透析患者の測定時期に対する一考察 -	第 27 回日本形成外科学会基礎学術集会	東京都	2018 年 10 月 18 日	東盛貴光 (ハートライフ病院) 櫻井裕之 (東京女子医科大学形成外科)
Maggot 治療が奏功した重症下肢虚血による難治性皮膚潰瘍の 1 例	第 126 回沖縄県医師会学会	沖縄県	2018 年 12 月 9 日	東盛貴光、矢後博基

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
母趾に生じた筋上皮腫の 1 例	日本形成外科学会雑誌	日本形成外科学会雑誌 39 巻 .p24-29, 2019	石川昂央、東盛貴光

次年度目標

- ・ 手術件数増
- ・ レーザー設備充実
- ・ 創傷ケア (フットケア) 外来設立
- ・ 学会発表 (2 回 / 年以上)
- ・ 論文執筆 (1 編 / 年以上)

年度総括



形成外科
東盛 貴光

常勤となり大きな問題もなく 5 年目を終えました。これまでは各前年度を大きく上回る入院患者数、外来患者数、そして手術件数増でしたが、今年度は若干減少に転じました。しかしながら、常勤医数が 3 名から 2 名へ減少した事を考えれば、ほぼ現状維持を保つことができました。特に下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術や、血管腫 (赤アザ) を対象とした国内最新の保険適応レーザー治療 (V ビーム 2) を開始いたしました。

当科としての学会発表を 7 回行い、研究論文を 1 編執筆しました。また、初期研修医は院内から 4 名、他院 (山口大学附属病院を含め) から 2 名が研修されました。これまで当院で研修を受けた 3 名の医師が、当科の連携施設である東京の大学病院で形成外科後期研修医 (専攻医) として研修を行っており、関連施設で奮闘しております。貴重な形成外科専門医となって当院に戻り県民に貢献する日がすぐ近くまで来ています。

来年度は、足と傷の外来を立ち上げることであり、治りにくい傷に対して多職種でかかわることで治療から生活指導、歩行指導、リハビリ、装具作成、予防手術まで、県内一の外来を目指します。ますます手術実績、研究業績を上げていきたいと思っておりますので、今後とも、御指導の程、よろしくお願いいたします。

脳神経外科

脳外科 2 人体制（脳外科専門医 2 名）で主に脳卒中、外傷を中心に診療しております。

発症早期の脳梗塞に対しては t-PA、血管内血栓除去術を行い患者さんの日常生活が保てるように努めております。脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血に対しては低侵襲な血管内治療を first choice としております。また、脳内出血に対しても神経内視鏡手術を導入して侵襲の少ない手術が可能となりました。今後も安全、安心の医療を提供できるようにスタッフと協力していく所存です。

医師プロフィール

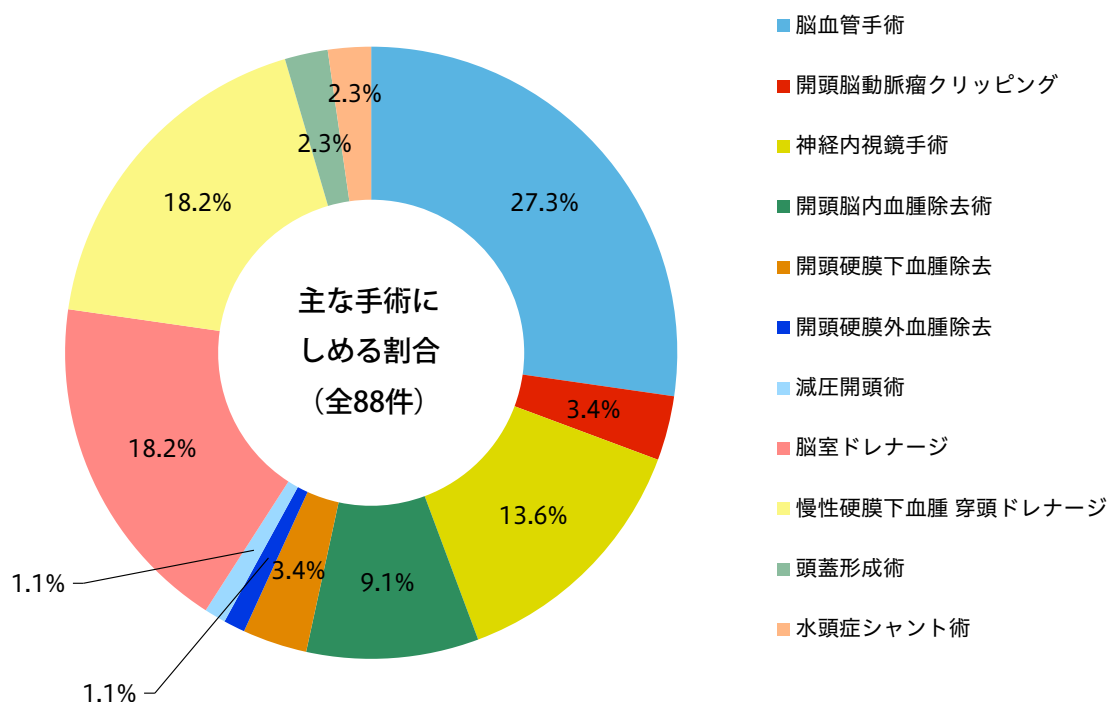
（平成 30 年 9 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
脳神経外科部長	末吉健次	脳外科一般	日本脳神経外科学会専門医
脳神経外科副部長 3 階病棟医長	上笹 航	脳血管障害、血管内治療	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医

検査・治療・手術件数

名称	件数
脳血管手術 ・脳動脈瘤コイル塞栓術 15 ・頸動脈ステント術 7 ・血栓回収術 2	24
開頭脳動脈瘤クリッピング	3
神経内視鏡手術 ・脳内血腫除去術 5 ・第 3 脳室底開放術 7	12
開頭脳内血腫除去術	8
開頭硬膜下血腫除去	3
開頭硬膜外血腫除去	1

名称	件数
減圧開頭術	1
脳室ドレナージ	16
慢性硬膜下血腫 穿頭ドレナージ	16
頭蓋形成術	2
水頭症シャント術	2
総数	88



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
神経内視鏡的第3脳室底開窓術の有用性	第125回沖縄県医師会医学 会総会集会	沖縄県	2018年6月10日	上笹航、末吉健次
IC-PC 再発動脈瘤に対し、Pcom に近位部マーカのみを確認しな がらステントを留置しTステントで 治療した一例	第34回日本脳神経血管内 治療学会学術総会	宮城県	2018年11月22日	上笹航（ハートライフ病院）、 與那覇博克（那覇市立病院）

年度総括



脳神経外科部長
末吉 健次

今年度は脳動脈瘤治療に対する脳血管内治療の割合、脳出血に対する神経内視鏡手術の割合がそれぞれ増加して、低侵襲治療がなされている結果となりました。特に早期脳梗塞に対してのt-PA、カテーテル血栓回収術等の治療も ER スタッフ、放射線科と協力してより迅速にできるようになりました。今後も地域医療に貢献できるように努めていく所存です。

眼 科

当科の特徴は、前眼部（角膜・結膜）疾患に力を入れて診療を行っていることで、外来では一般的な眼科診療はもとより、アトピー性角結膜炎や春季カタルといった重症アレルギー性疾患や、細菌・真菌性角膜炎などの前眼部感染症の症例経験も豊富です。また円錐角膜や角膜移植後に用いる特殊なハードコンタクトレンズ処方も行っています（注：通常のコンタクトレンズは取り扱っておりません）。

その他、糖尿病性網膜症などの網膜疾患や、緑内障に対する治療も行っています。緑内障や網膜疾患に関しては、必要に応じて琉大附属病院の専門外来と連携しており、患者さんにとって最適な医療を提供できるよう工夫しています。

手術は、白内障手術や翼状片手術をはじめ、年間約 30 件の角膜移植手術を行っており、表層角膜移植や角膜内皮移植といった角膜部分移植（パーツ移植）は、県内では当科のみが行っています。当科での手術は白内障や翼状片手術も含め、基本的に入院手術となりますが、それにより病院スタッフによるしっかりとした周術期の管理を行うことが可能です。近隣の眼科クリニックからも多数の患者さんをご紹介いただいております、皆様に安心して手術を受けていただけるものと思っています。

医師プロフィール

（平成 30 年 9 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
眼科部長	親川 格	一般眼科・角膜移植（移植、特に角膜内皮移植）	日本眼科学会専門医 AMO Advanced Femtosecond Laser iEK certification
	山崎梨沙	一般眼科・角膜疾患	日本眼科学会専門医 医学博士

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
真菌性角膜潰瘍・穿孔の保存的治療後にデスメ膜剥離を生じた 1 例	第 88 回九州眼科学会	長崎県	2018 年 5 月 24 日	親川格
水疱性角膜症眼への白内障手術（術式、トリプルか二期的か？）	第 33 回 JSCRS 学術総会	東京都	2018 年 7 月 1 日	親川格
UPREGULATION OF ENDOPLASMIC RETICULUM STRESS(ER STRESS) IN HUMAN IPSC DERIVED CORNEAL ENDOTHELIAL CELLS FROM PATIENTS WITH FUCHS ENDOTHELIAL CORNEAL DYSTROPHY	ISSCR 2018	Australia	2018 年 6 月 20 日	山崎梨沙
DMEK における移植片の偏位方向と角膜内皮細胞密度の検討	第 72 回日本臨床眼科学会	東京都	2018 年 10 月 11 日	親川格（ハートライフ病院）、湯田健太郎、加藤直子、清水俊輝、松澤亜紀子、湯田兼次、林孝彦（琉球大学・横浜南共済病院・横浜市大・きくな湯田眼科・埼玉医大・聖マリ医大・自治医大）

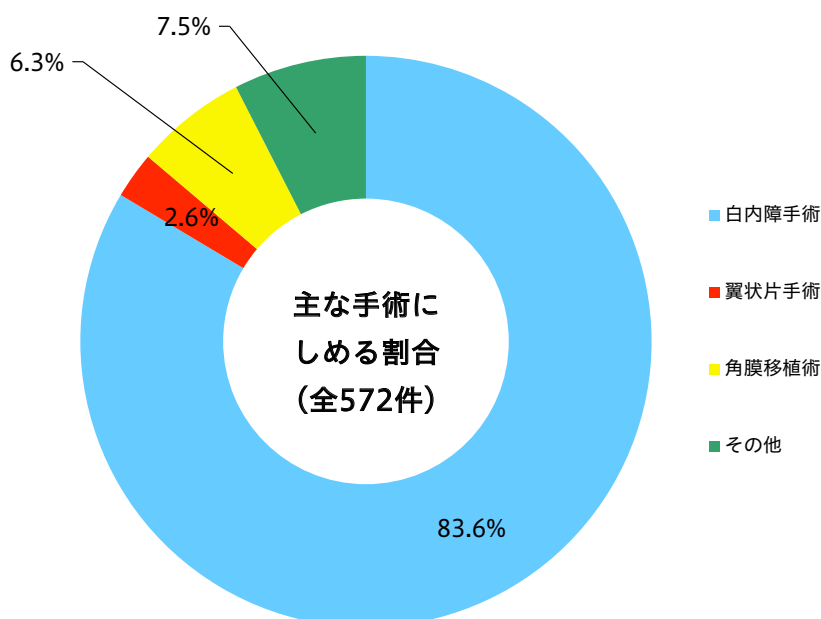
論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者等
Outcomes of DMEK for vitrectomized eyes with sutured posterior chamber IOL.	J Ophthalmology	2018 Apr 11; 2018: 3127126	Yamada N, Hayashi T, Oyakawa I, et al.
DMEK using OVDs for eyes with laser iridotomy-induced corneal endothelial decompensation: analysis of 11 eyes.	Medicine (Baltimore)	2018 Jun; 97(26):e11245	Hayashi T, Oyakawa I, Kato N
Short axial length and iris damage are associated with iris posterior synechiae after DMEK in Asian eyes.	Cornea	2018 Nov; 37(11):1355-9.	Shimizu T, Hayashi T, Oyakawa I, et al.
Evaluation of anterior and posterior corneal irregularity after DMEK.	Cornea	2018 Nov; 37(11):1360-5.	Oyakawa I, Hayashi T, Kato N, et al.

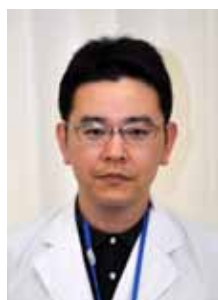
検査・治療・手術件数

手術件数一覧

名称	件数
白内障手術	478
翼状片手術	15
角膜移植術	36
その他	43
合計	572



年度総括


眼科部長
親川 格

平成 25 年度より、角膜内皮移植術を導入することができ、より専門性を活かした眼科診療が可能になっています。

近隣の眼科クリニックを中心として沖縄県全域の眼科施設から多くの紹介患者さんの診療・治療をさせて頂いているため、今年度は年間手術総数 572 件、角膜移植 36 件の治療を行う事ができました。また、患者さんの負担軽減のため手術待機期間を 2 ヶ月以内に短縮することができております。外来での待ち時間は依然として長く、待ち時間の短縮は今後の大きな課題と考えています。

現在、常勤医 2 名体制で、さらなる眼科診療のクオリティー向上を目標に掲げ、外来での待ち時間対策にも取り組んで参ります。

これからも患者さん一人一人に最も適した、質の高い医療を提供できるよう、スタッフ一同精進していきと考えています。

耳鼻咽喉科

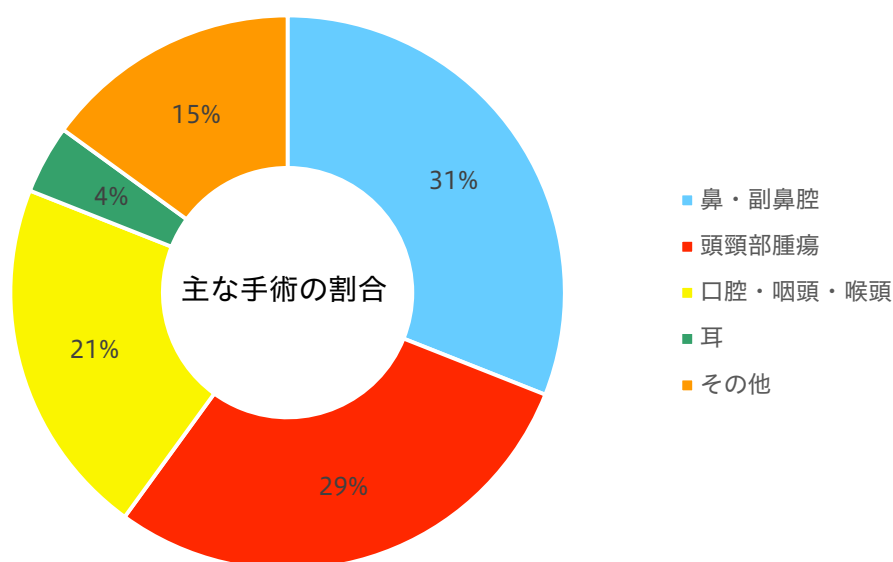
耳鼻咽喉科は文字どおり、耳や鼻、咽頭、咽喉の手術、頭頸部腫瘍などを扱っている診療科ですが、その範囲は広く、のどの先の気管や食道の病気や機能異常も取り扱います。

医師プロフィール

(平成 30 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
	比嘉麻乃		日本耳鼻咽喉科学会専門医 日本耳鼻咽喉科学会耳鼻咽喉科専門研修暫定 指導医

診療実績



年度総括



耳鼻咽喉科
比嘉 麻乃

平成 30 年度の手術件数は 48 件となり、昨年度に比べわずかですが件数が増えました。現在は鼻・副鼻腔疾患や頭頸部良性腫瘍に対する手術症例が多い傾向にありますが、各領域ともより多くの症例に対応できるよう努めます。

平成 30 年度は、嚥下チーム（医師・言語聴覚士・看護師・栄養士・歯科衛生士）を立ち上げ、嚥下障害患者の回診などチームでの活動を開始いたしました。

当科はこれまでのように大学病院医師と連携し診療を行ってまいります。一般外来のほか専門外来（頭頸部腫瘍、鼻科、音声・嚥下障害など）を設けております。また、地域医療支援病院として、他院ならびに他科の先生方からも患者さんをご紹介いただけるよう病診連携の維持を継続いたします。できるだけわかりやすい説明を心がけ、それぞれの患者さんに合った医療を提供できることをモットーにし、本年度も入院患者数・手術症例数の増加を目指し、引き続き努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

泌尿器科

当科は、平成 8 年度から琉球大学泌尿器科からの常勤医 1 人体制でスタートし、平成 20 年 4 月からは常勤医 2 人体制になりました。しかしながら大学の医局員不足の影響から平成 26 年 4 月からは 1 人体制で診療を継続していました。平成 28 年度は再び 2 人体制になりましたが、平成 29 年度と平成 30 年度は常勤医 1 人体制で診療にあたりました。

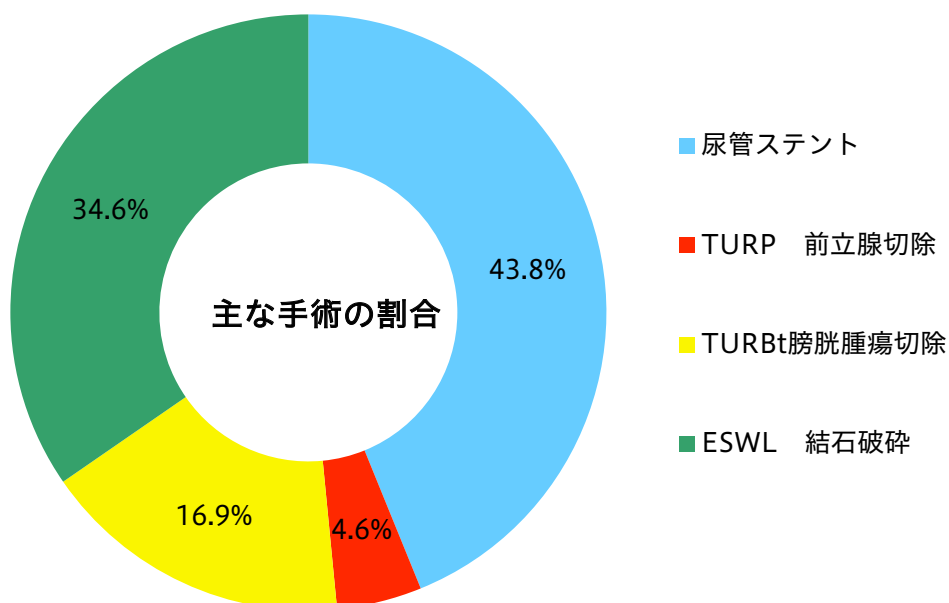
当科の特徴としては診療圏が広いことがあげられます。北中城村、宜野湾市、中城村、西原町、与那原町、南城市、那覇市の一部、浦添市の一部をカバーしています。人口で約 20 万人です。この広い地域で泌尿器科は琉大病院以外、当院と与那原中央病院のみとなっています。病診連携の浸透でクリニックや施設からの紹介の増加とともに、患者さんが年を追うごとに増加しています。特に PSA 検査が普及し、平成 30 年度は前立腺生検を 50 例施行し 40 例が前立腺癌の診断でした。前立腺全摘術は琉大病院や中部徳洲会病院へ紹介し、放射線治療は琉大病院、南部徳洲会病院、県立南部医療センター等に依頼しています。ホルモン療法の患者さんは約 100 人に達しています。手術では結石性腎盂腎炎等に対する尿管ステント留置術、経尿道的膀胱腫瘍切除手術、経尿道的前立腺切除術等施行しています。尿路結石治療では、平成 27 年度 6 月から ESWL が再稼働可能となり年間平均 30 例ほどの破碎治療施行を施行しております。琉大泌尿器科からは月、金、土午前の外来の応援を頂きました。

医師プロフィール

(平成 30 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医 日本泌尿器科学会専門医
	宮里 実(非常勤)		
	木村 隆(非常勤)		
	仲西 昌太郎(非常勤)		
	芦刈 明日香(非常勤)		

検査・治療・手術件数



年度総括



泌尿器科部長
嘉川 春生

本年度も引き続き、外来患者さんが増加傾向にあり、それに伴い待ち時間対策が必要です。

平成 24 年 12 月から外来に軟性膀胱鏡が導入され痛みの少ない膀胱鏡検査が可能となりました。検査数は年間 100 例以上で、平成 30 年度末までに 500 例以上施行しています。

入院に関しては、手術件数は減少しています。また前立腺全摘術等は琉大や中部徳洲会病院に紹介しています。ESWL による結石治療は 30 年度は新規 30 人でした。

平成 30 年度は常勤医 1 人の診療体制でした。

次年度目標

1. 常勤医 2 人体制による診療
2. 琉大泌尿器科との連携の継続
3. 待ち時間対策
4. 検査日の拡充
5. ESWL の継続と症例数の増加

産婦人科

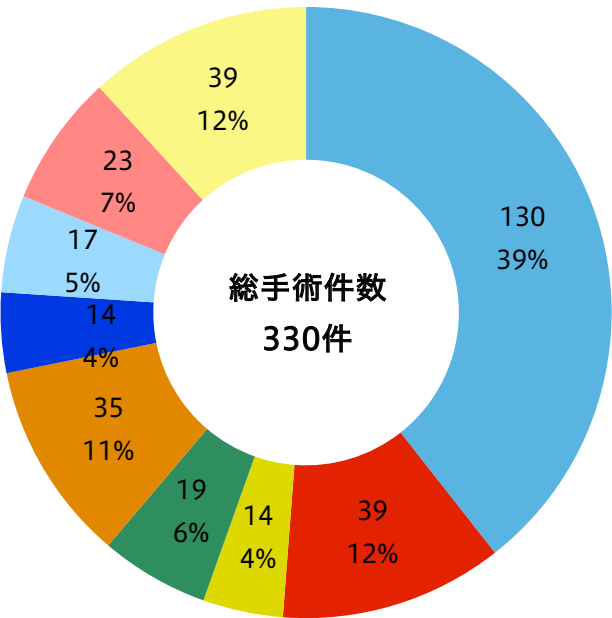
常勤医師 5 名、助産師 23 名、看護師 11 名、看護助手 3 名、医療事務 1 名の体制でした。産科領域では 35 週以降の分娩、無痛分娩、婦人科領域では良性、悪性腫瘍の開腹、経膈、腹腔鏡手術 / 化学療法や緩和医療、不妊内分泌ホルモン療法、更年期の薬物療法等を行い、放射線及び体外受精以外の治療を幅広く行なっています。

医師プロフィール

(平成 30 年 12 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
産婦人科センター長 婦人科部長	武田 理	産婦人科全般、婦人科腫瘍、腹腔鏡下手術	日本産婦人科学会専門医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本産婦人科学会指導医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍指導医 日本女性医学学会女性ヘルスケア専門医
産科部長	大西 勉	産婦人科全般	日本産婦人科学会専門医 母体保護法指定医
産婦人科医長	堀本 直幹	一般産婦人科	
	喜久本 藍	一般産婦人科	
	上原 博香	一般産婦人科	日本産婦人科学会専攻医
	宮崎 優樹	一般産婦人科	日本産婦人科学会専攻医

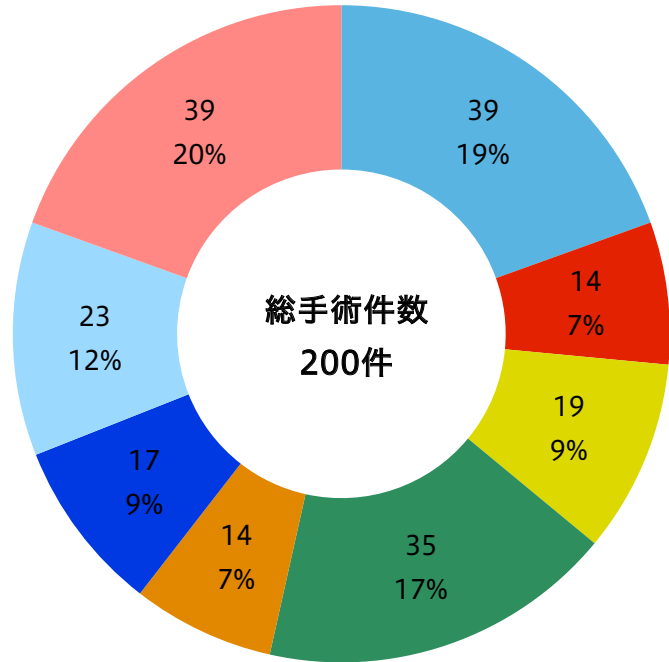
産婦人科統計



- 帝王切開
- 開腹子宮手術
- 開腹付属器手術
- 子宮付属器悪性腫瘍
- 腹腔鏡下手術
- 子宮鏡
- 経膈子宮手術
- 腰麻下経膈
- 静麻麻酔下手術

■総分娩件：586

婦人科部門



- 開腹子宮手術
- 開腹付属器手術
- 子宮付属器悪性腫瘍
- 腹腔鏡下手術
- 子宮鏡
- 経膈子宮手術
- 腰麻下経膈
- 静麻麻酔下手術

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
卵巣類内膜境界悪性腫瘍の一例	第70回日本産婦人科学会	宮城県	2018年5月13日	武田理、上原博香、喜久本藍、大西勉
結腸から発生し捻転を起こした parasitic myoma の1例	第60回日本婦人科腫瘍学会 学術講演会	京都府	2018年9月13日	武田理、上原博香、喜久本藍、大西勉（ハートライフ病院）、青山肇（琉球大学附属病院）
卵巣癌・子宮体癌の重複癌の1例	第47回沖縄産科婦人科学会 学術集会	沖縄県	2018年9月30日	武田理、宮崎優樹、上原博香、喜久本藍、大西勉、青山肇
虫垂炎合併症妊娠の一例	第126回沖縄県医師会 医学会総会	沖縄県	2018年12月9日	宮崎優樹、武田理、上原博香、喜久本藍、大西勉
子宮腺筋症から発生したと考えられた子宮内膜異型増殖症の1例	第40回日本エンドメトリオシス学会	東京都	2019年1月19日	武田理、宮崎優樹、上原博香、喜久本藍、大西勉（ハートライフ病院）、玉城智子、青山肇（琉球大学医学部腫瘍病理）
タモキシフェン内服中に発症した子宮体がんの1例	第48回沖縄産科婦人科学会 学術集会	沖縄県	2019年3月23日	上原博香、武田理、宮崎優樹、喜久本藍、堀本直幹、大西勉、青山肇

院内講演会

名称	年月日	演者
卵巣腫瘍	2018年7月12日	武田理

年度総括



産婦人科
センター長
武田 理

分娩数は586件で過去最高を記録しました。新病棟の知名度や周辺産科施設の閉鎖などが要因と考えられ、来年度もかなりの分娩数が予想されます。

同様に増加の予想されるハイリスク妊婦や分娩中の事故等に対し十分な体制作り（医師、病棟スタッフの補充と母体胎児の急変時に迅速な対応）の構築を最優先で行っていく必要があります。

婦人科手術件数も増加傾向にありますが、内視鏡手術件数の増加を最優先課題としてスキル向上を目指します。

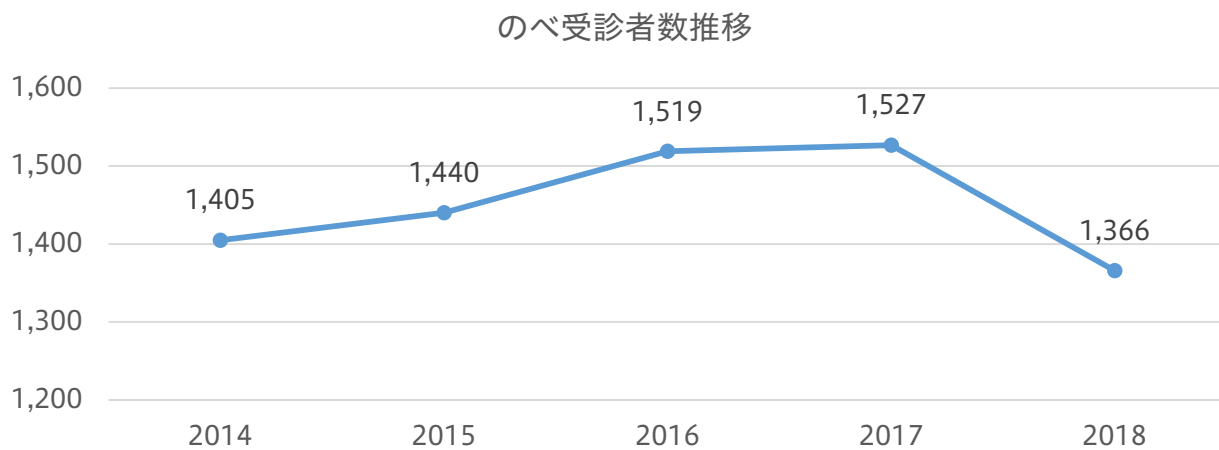
よろしくご協力の程お願い致します。

皮膚科

皮膚科は、毎週火曜日と木曜日の午後の外来診療を行っています。

診療は琉球大学医学部附属病院の皮膚科医師が非常勤で対応しております。

診療実績



放射線科

放射線科の診療はCT、MRI、RI（ラジオアイソトープ）、マンモグラフィー、IVR（血管内治療）の適用判断、検査内容の指示、診断、読影が主な業務内容になっております。画像のみを扱う画像診断と画像支援で治療を行うIVRに大きく分かれます。IVRには肝動脈化学塞栓療法などの待機的治療から、出血に対する血管塞栓術など緊急を要する治療も他科と連携しながら行っています。さらに外科、内科とのカンファレンスを行います。夜間、休日の遠隔診断も受け付けています。

医師プロフィール

（平成30年9月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
放射線科部長	高良 誠	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医 日本医学放射線学会専門医 検診マンモグラフィ読影認定医
	東江 ゆりか	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医、 日本核医学会核医学専門医、日本 核医学会 PET 核医学認定医、検診 マンモグラフィ読影認定医

研究業績

学会発表

演題名	学会名	発表年月日	発表者、研究者
全大腸内視鏡検査挿入困難例に対する大腸CT（CT colonography）の検討	第126回沖縄県医師会医学学会総会	2018年12月9日	高良誠、東江ゆりか

各種検査・治療件数と推移一覧

医療技術部 放射線科のページに業務実績を掲載しております。

年度総括



放射線科部長
高良 誠

平成30年度は3.0テスラMRIが導入されました。従来機種より高磁場で画質が向上しています。さらにガントリーが大きく、圧迫感が少ない、体の大きな患者さんも検査できる、などのメリットがあります。またMRIが二台体制になったことにより、予約が取りやすくなっています。読影件数も増加しています。CT、マンモグラフィーの読影件数も年々増加してきています。IVRは昨年度減少しています。例年多かったTACEの件数が減少したためです。ただその他の手技に関しては例年どおりで、緊急性の高い止血術も昨年度は6件行っています。

平成30年度は常勤二名体制で、ダブルチェック体制、カンファレンス、研修医教育、至急読影など、放射線科業務に対応しました。翌診療日までの読影加算2の規定もクリアーしています。今後とも放射線科医、放射線技師、検査技師が連携して取り組んでいきます。また、夜間、休日の検査で判断に迷う症例では遠隔読影の依頼もお受けしています。

近年、RIの検査が減少していますが、昨年度、本年度とも件数が持ち直しています。他に代用のきかない検査なのでこれからも放射線科として適応のある症例は積極的にお勧めしていくようにします。

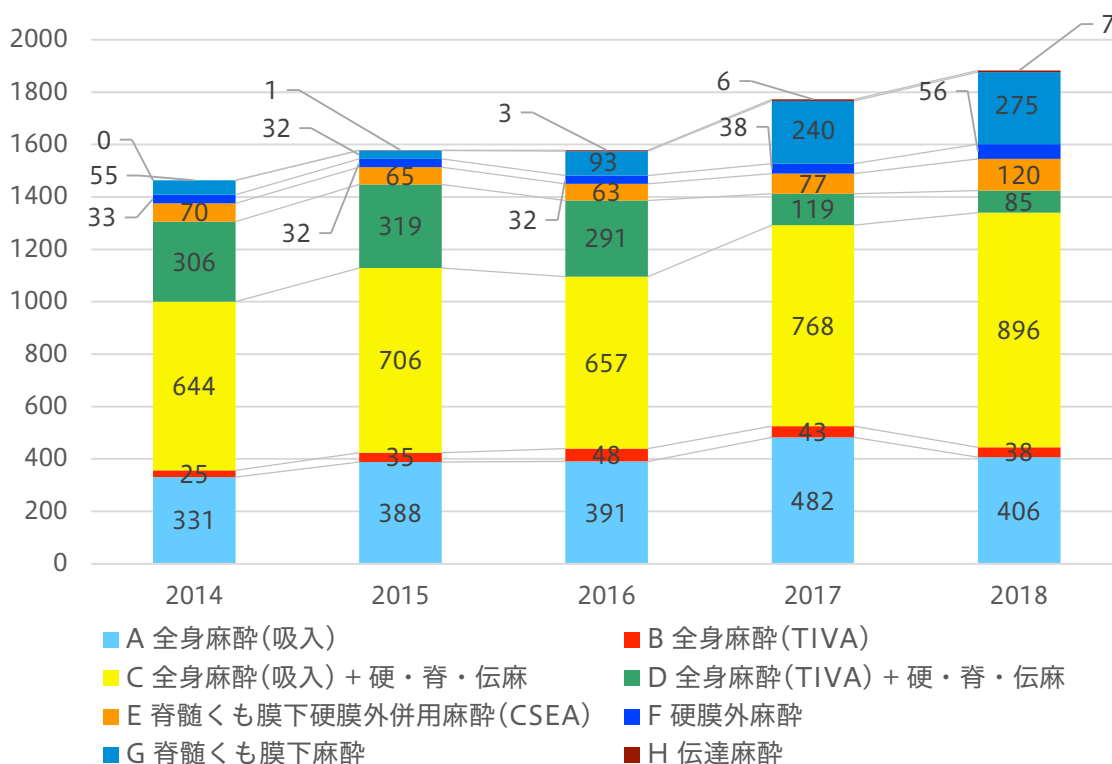
麻醉科

医師プロフィール

(平成 30 年 9 月現在)

麻醉科			
副院長 手術室部長	久場 良也	集中治療・麻醉	日本麻醉科学会指導医 日本集中治療医学会専門医 日本ペインクリニック学会認定医
麻醉科部長	島袋 泰	一般麻醉	日本麻醉科学会指導医
麻醉科副部長	釜野 武志	一般麻醉	日本麻醉科学会専門医
	嘉手苺 由梨	一般麻醉	日本麻醉科学会認定医
	高橋 有里恵	一般麻醉	日本麻醉科学会認定医
	太田 沙也加	一般麻醉	

麻醉別件数推移



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ウリナスタチンの急速投与により血圧低下をきたした症例	九州麻醉科学会第 56 回大会	沖縄県	2018 年 9 月 8 日	嘉手苺由梨、久場良也、高橋有里恵、島袋泰
エンドトキシン値の再上昇を認めたが 2 回の PMX-DHP により救命できた敗血症性ショックの 2 例	第 23 回エンドトキシン血症救命治療研究会	東京都	2019 年 1 月 25 日	久場良也、島袋 泰、釜野武志、嘉手苺 由梨、高橋 有里恵、太田 沙也加、菅谷明子
エンドトキシン値の再上昇を認めたが 2 回のエンドトキシン吸着療法が有用であった敗血症性ショックの 2 例	第 46 回日本集中治療医学会学術集会	京都府	2019 年 3 月 1 日	久場良也、島袋 泰、釜野武志、嘉手苺 由梨、高橋 有里恵、太田 沙也加、菅谷明子
せん妄予防対策としての ICU 面会時間延長の有効性について	第 46 回日本集中治療医学会学術集会	京都府	2019 年 3 月 2 日	石戸谷 也寸志、正野孝則、冨里康太、勝連 しのぶ、洲鎌正子、久場良也

論文著書

論文名	雑誌名	号	
臍帯血移植後に敗血症性ショックを合併し エンドトキシン吸着療法が有効であった急性 骨髄性白血病の1例	エンドトキシン血症救命治 療研究会誌	第22巻1号 2018:99- 103	久場 良也、島袋 泰、釜 野 武志、嘉手苺 由梨、 高橋 有里恵、太田 沙也 加

年度総括



麻酔科副部長
釜野 武志

平成30年4月から、高橋 有里恵 医師、太田 沙也加 医師の2名が加わり、久場 良也 副院長、島袋 泰 麻酔科部長、釜野、嘉手苺 由梨 医師と合わせて6人の常勤医師で麻酔科運営を行っています。手術室3床増床に伴う手術件数増加に対応できる人数に近づいたと思います。

当科の主な業務は手術麻酔で、一部集中治療室管理も行っております。外科、整形外科、産婦人科、形成外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科など各外科手術、及び内科経口内視鏡的手術の麻酔を幅広く行っております。食道アカラシアに対する経口内視鏡的手術(POEM)の麻酔管理もすでに当院ではおなじみとなった感もあります。一方100歳代の骨折手術の麻酔から乳児の腹腔鏡下単径ヘルニア手術、また帝王切開妊婦の麻酔管理まで幅広く行っていることは例年同様で、関節鏡下手術は予想通り増加、さらに脳神経外科領域の神経内視鏡下手術も始まりさらに多岐にわたる麻酔管理を行っております。集中治療室管理として、術後の呼吸管理、鎮痛管理や血液浄化の管理を中心に行っておりますが予定手術件数が多くなってくると例年通り集中治療室の対応が後手に回っている現状です。

平成30年度の麻酔管理件数は1,887件(前年6.5%増)、全身麻酔管理件数1,425件(同1.1%増)でした。今後も増加するかどうかは見通しが立たない状況です。

研究業績に挙げたとおり、副院長の久場を筆頭に可能な限り全員が各学会に参加・発表を行い、レベルの高い周術期管理を実践できるよう日々研鑽しております。また新専門医習得条件である学会参加を可能な限り全員で行うために、手術制限で各科の先生方にはご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

今後とも安全で効率的な手術室管理へのご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。



副院長
久場 良也



麻酔科部長
島袋 泰



嘉手苺 由梨



高橋 有里恵



太田 沙也加

血液浄化部

血液浄化部は、医師 3 人、夜間透析・回診に琉大から非常勤医師、正看護師 20 人、臨床工学技士 13 人、助手 2 人、医事課 1 人で診療にあたっています。平成 26 年度 6 月から菅谷医師が、平成 27 年 4 月から腎臓内科の張医師が加わり常勤 3 人体制で臨みました。平成 29 年 9 月から東館 3 階に移り、透析コンソールは 57 台全自動プライミング装置付きです。日機装社の Future Net は院内電子カルテともリンクし日常業務の効率化が進んでいます。月、水、金は夜間透析、火、木、土は午後の透析を施行しており午前とあわせて 2 クールで透析施行しています。透析の患者数は、平成 23 年の 133 人をピークに平成 27 年度は 105 人まで低下していましたが、平成 30 年度末で 131 人に増加しました。血液透析以外にも血漿交換療法、血液吸着療法、腹水濾過濃縮療法、PMX 等の血液浄化療法を施行しています。

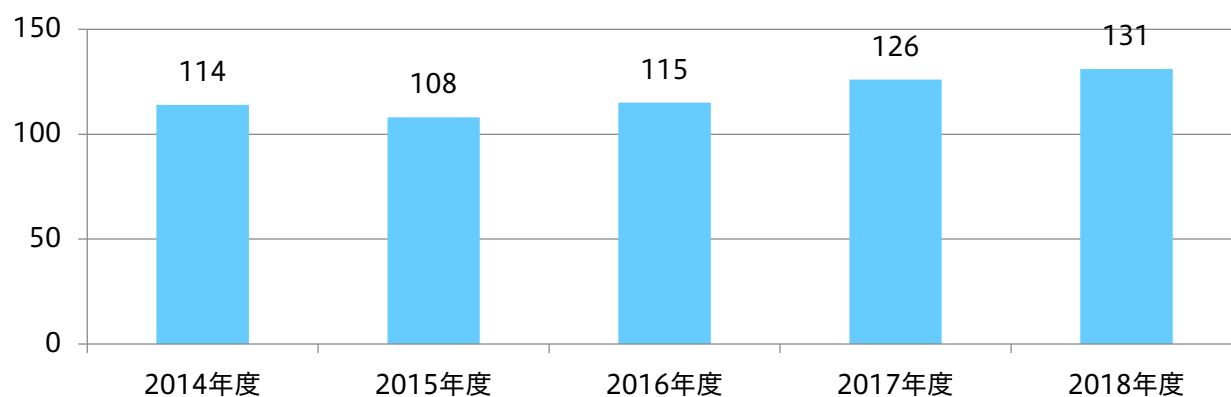
医師プロフィール

(平成 30 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川 春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本泌尿器科学会指導医 日本透析医学会認定医 日本泌尿器科学会専門医
血液浄化部医長	菅谷 明子	急性血液浄化、産業保険、外傷外科・集中治療	日本産業衛生学会専門医 産業医科大学産業医学ディプロマ 日本医師会認定産業医 日本救急医学会救急科専門医
	張 同輝	腎臓、特に慢性腎炎	日本透析医学会指導医 日本透析医学会専門医 日本腎臓学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 日本外科学会認定医 日本内科学会指導医

業務実績

透析患者数推移



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ミャンマーにおける医師サイドのニーズについての考察	第 45 回日本血液浄化技術学会学術集会	愛知県	2018 年 4 月 22 日	張同輝、菅谷明子、嘉川春生、安里哲好（ハートライフ病院）、小久保謙一（日本血液浄化技術学会国際委員会）、兵藤透、川西秀樹（NPO 法人いつでもどこでも血液透析）
どこでも血液浄化インターナショナルのミャンマーでの活動に参加して～アンメットニーズはあるか？～	第 63 回日本透析医学会学術集会	兵庫県	2018 年 6 月 29 日	張同輝（ハートライフ病院）、小久保謙一、矢部広樹、斎藤慎、宮本照彦、兵藤透、川西秀樹（NPO 法人いつでもどこでも血液透析）
胃前庭部毛細血管拡張症による貧血治療に難渋した維持透析患者の一例	第 63 回日本透析医学会学術集会	兵庫県	2018 年 6 月 29 日	張同輝、菅谷明子、嘉川春生、安里哲好
燃え尽き症候群、その後の 6 段階（続報）	第 29 回日本サイコネフロロジー研究会	東京都	2018 年 7 月 7 日	張同輝、菅谷明子、嘉川春生、安里哲好
A Case Report of Slow Low-Efficacy Daily Dialysis in Severe Hypotension with Necrotizing Fasciitis	2nd Asia Pacific AKI CRRT 2018 Taipei	台湾	2018 年 9 月 21 日	張同輝、菅谷明子、嘉川春生
自己完結できる腹膜透析外来立ち上げ	第 24 回日本腹膜透析医学会学術集会	徳島県	2018 年 10 月 7 日	張同輝、菅谷明子、嘉川春生、田下茜、佐次田桃子、山内敦子、瀬底真由美
自宅で動けなくなり救急車で来院した糖尿病高齢者の一例	第 12 回日本腎臓病薬物療法学会学術集会	静岡県	2018 年 10 月 20 日	張同輝、金城太貴、菅谷明子、嘉川春生
ミャンマーに必要な医学技術についての考察 - 徳田安春先生とのミャンマー訪問 -	第 18 回日本病院総合診療医学会学術集会	沖縄県	2019 年 2 月 14 日	張同輝、菅谷明子、嘉川春生（ハートライフ病院）、徳田安春（群星沖縄臨床研修センター）小久保謙一（NPO 法人いつでもどこでも血液浄化インターナショナル）
血小板減少精査中の認知機能低下・食思不振を伴った症例	第 18 回日本病院総合診療医学会学術集会	沖縄県	2019 年 2 月 14 日	張同輝、菅谷明子、嘉川春生（ハートライフ病院）、山本壽一（ハートライフクリニック）
パーキンソン病患者の臍胸、遷延する低ナトリウム血症・低血糖の一例	第 18 回日本病院総合診療医学会学術集会	沖縄県	2019 年 2 月 14 日	張同輝、菅谷明子、嘉川春生（ハートライフ病院）、山本壽一（ハートライフクリニック）

年度総括



血液浄化部部長
嘉川 春生

VA 委員会では臨床工学技士が中心となり、シャントトラブルに対してそれを未然に防ぐために定期的な PTA（経皮的血管拡張術）の依頼やシャント手術の依頼が行えるシステムを継続しています。これには、循環器内科、形成外科に相当のバックアップをいただき、他にも検査科、放射線科にも協力いただきました。腹膜透析外来では、琉大第 3 内科をはじめ他院での研修を経て、担当スタッフのスキルアップを図り専門外来として透析室で行っています。

次年度目標

1. 業務の整理（効率化 57 床 ワンフロアの効率的な活用）
2. 医師 3 人体制での透析管理体制の強化
3. 腎臓リハビリテーションの取り組み継続
4. 患者さんの待ち時間対策

口腔ケア科

概要・実績

口腔ケア科は現在、非常勤歯科医師 3 名・歯科衛生士 2 名体制で月曜日と木曜日の午前・午後に外来診療を行っており、診療日以外は歯科医師がいない為、歯科衛生士が病棟にて口腔ケアを行っています。平成 29 年 4 月立ち上げ当初より周術期口腔機能管理加算を策定するため主に悪性腫瘍の術前・術後、化学療法、緩和ケアの患者を対象とし、全身麻酔下の手術予定の患者の口腔ケア、動揺歯がある場合は挿管時歯牙保護の目的でマウスピースの作成を行っています。

また入院中の誤嚥性肺炎予防、義歯の調整、動揺歯の抜歯や固定など口腔内トラブルにも可能な限り対応しています。

職員数

歯科医師	3 名	歯科衛生士	2 名
メディカルクラーク	3 名	看護クラーク	1 名

医師プロフィール

(平成 30 年 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
非常勤(月曜日 午後)	加藤大貴	口腔外科一般	日本口腔外科学会専門医 日本障害者歯科学界認定医・指導医 インфекションコントロールドクター 抗菌化学療法認定歯科医師
非常勤(火曜日午後)	中村 元	口腔外科一般	
非常勤(木曜日)	野澤彩江	訪問歯科	

歯科衛生士プロフィール

(平成 30 年 月現在)

氏名	専門分野	認定
幸喜 奈緒子	歯科衛生士	口腔ケア 4 級 沖縄県歯科医師会歯周病認定 口のリハビリテーション医科歯科連携インストラクター 沖縄県歯科衛生士会学術理事
浦崎 洋子	歯科衛生士	口腔ケア 4 級 NPO 法人 口から食べる幸せを守る会 食事サポーター

診療実績

診療科別患者数

項目	累計	月平均
診療日数	96	8
延患者数	1,873	156
延患者数(一日平均)	235	20

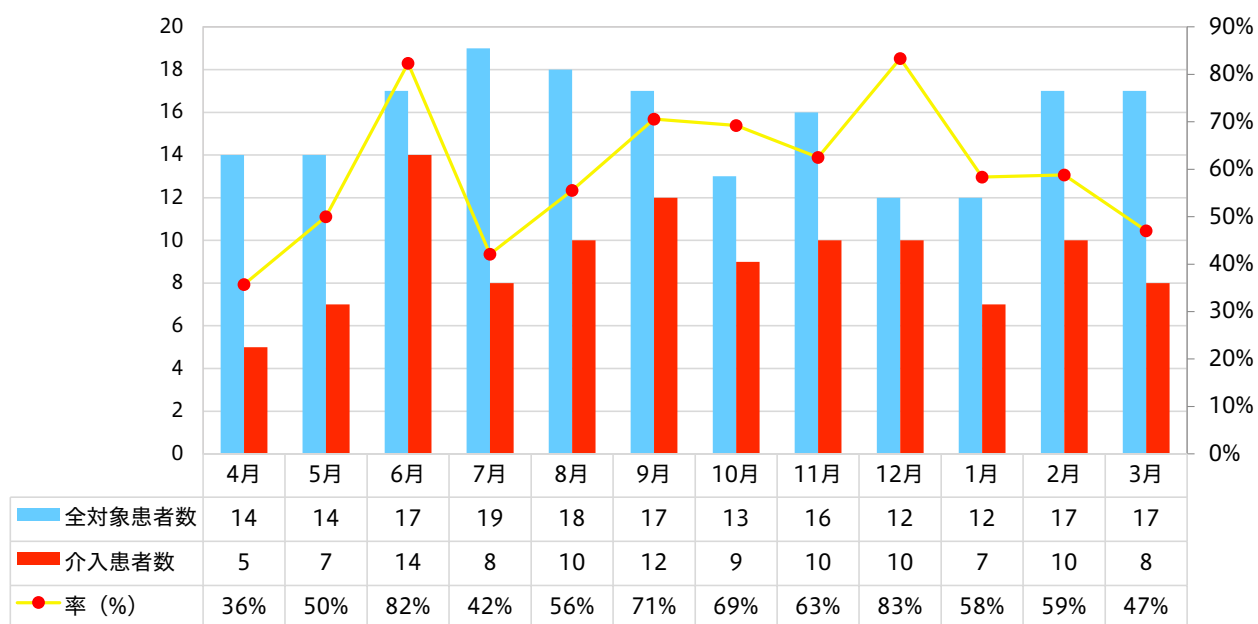
診療科別患者数

項目	累計	月平均
外科	292	24
内科	123	10
産婦人科	55	5
整形外科	133	11
形成外科	28	2

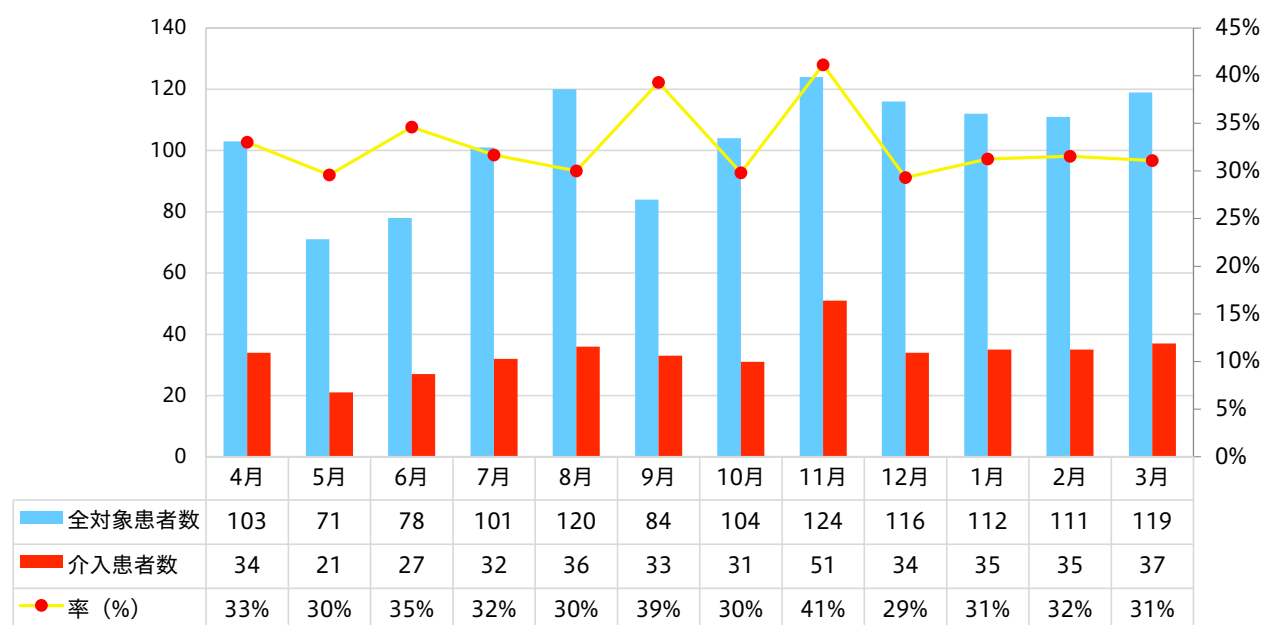
項目	累計	月平均
脳神経外科	23	2
耳鼻咽喉科	36	3
泌尿器科	25	2
眼科	14	1
その他	6	1

症例別実績

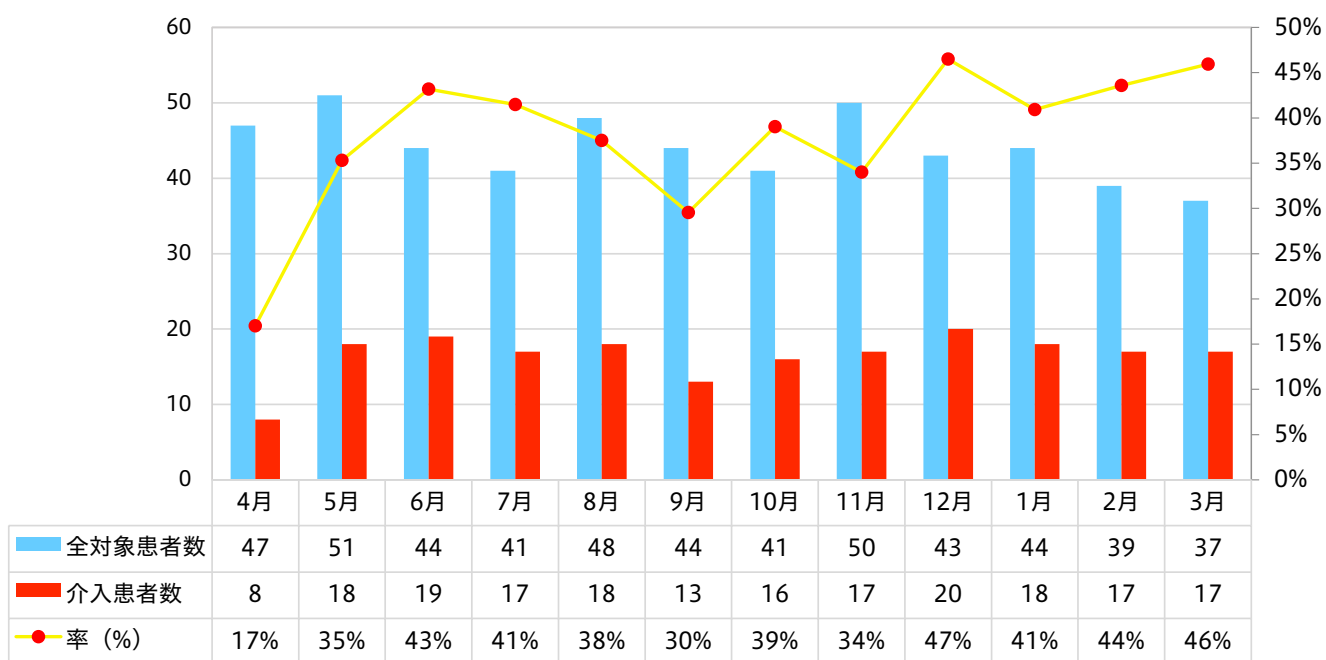
悪性腫瘍手術



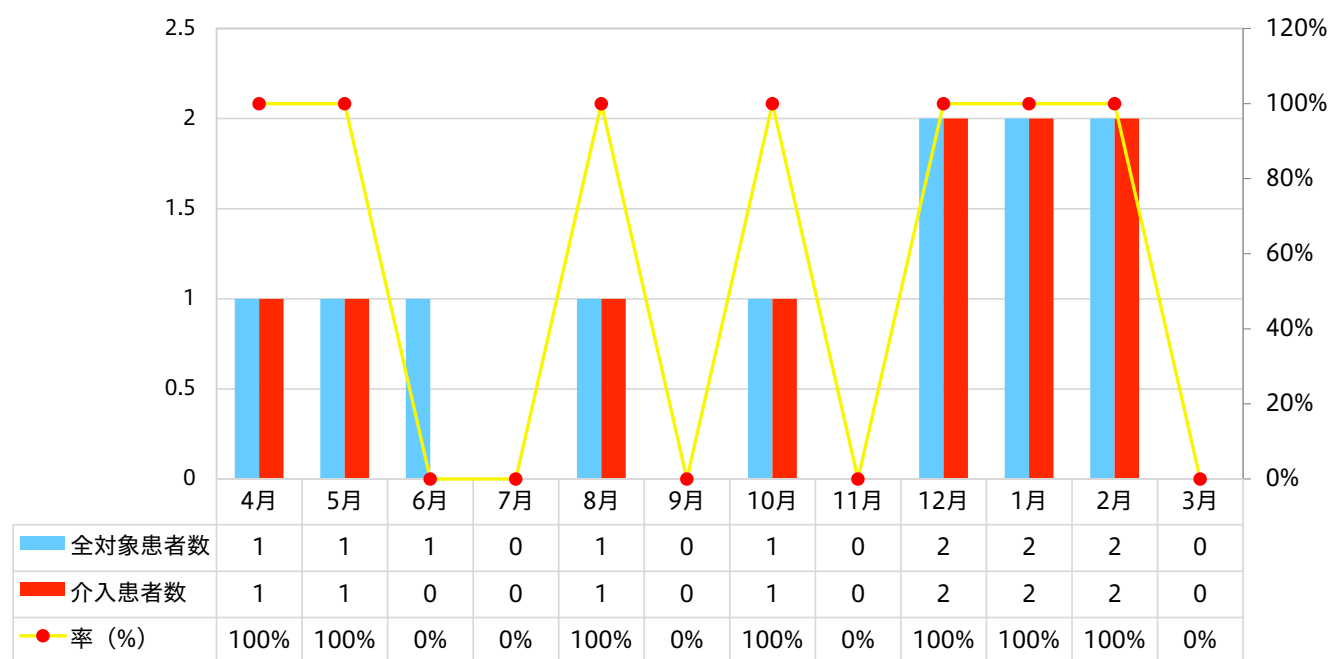
全身麻酔手術



化学療法（入院）



造血幹細胞移植



学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
がん化学療法認定看護師と協働した口腔ケアの取り組み	日本口腔ケア学会	福岡県	2018 年 4 月 29 日	幸喜奈緒子、仁村文和、野澤彩江、萩原 泉、比嘉盛敏、本田由佳理、浦崎洋子
歯科衛生士研究発表	沖縄県歯科衛生士会	沖縄県	2019 年 3 月	幸喜 奈緒子

活動実績

セミナー・勉強会での講師

名称	開催地	年月日	参加者
新人看護師基礎看護技術研修	当院	2018 年 4 月 10 日	幸喜奈緒子
ICU/ 東 2F/3F/4F 口腔ケア勉強会	当院	2018 年 5 日	浦崎洋子
摂食嚥下認定歯科衛生士セミナー	東京	2018 年 8 月、10 月	幸喜 奈緒子 認定取得

講習会参加

名称	開催地	年月日	参加者
在宅歯科人材育成支援事業研修会	沖縄県口腔保健医療センター	2018 年 7 月 28 日、 2018 年 9 月 17 日、 2018 年 11 月 23 日、 2018 年 11 月 25 日、 2019 年 3 月 21 日	浦崎洋子
沖縄口腔ケアセミナー	沖縄コンベンションセンター	2018 年 8 月 19 日	幸喜奈緒子、浦崎洋子
摂食嚥下認定歯科衛生士セミナー	東京	2018 年 8 月、10 月	幸喜奈緒子
医療従事者向け認知症対応力向上研修	当院	2018 年 9 月 10 日	幸喜奈緒子、浦崎洋子
嚥下機能評価研修会	東京	2019 年 1 月	幸喜奈緒子
沖縄県緩和ケア研修会	当院	2019 年 1 月 26 日	幸喜奈緒子、浦崎洋子
2019 医師 医療スタッフの為の 糖尿病セミナー	沖縄県	2019 年 3 月	幸喜奈緒子
沖縄呼吸セミナー	沖縄県産業支援センター	2019 年 3 月 16 日	浦崎洋子

年度総括



口腔ケア科
野澤 彩江

当科は医科からの紹介により介入可能なため、平成 29 年 4 月に開設後より各診療科からご紹介、ご依頼頂き感謝しております。

今後も看護師や ST と連携を取りながら患者さんの QOL の向上に繋がられるよう協力していきたいと考えています。

次年度の目標

平成 30 年度の 4 月より診療報酬改定により、周術期口腔機能管理の範囲が下記に広がりました。

【対象手術の例】

- ・頭頸部領域、呼吸器領域、消化器領域等の悪性腫瘍の手術
- ・心臓血管外科手術
- ・人口股関節置き換え術等の整形外科手術
- ・臓器移植手術
- ・造血幹細胞移植
- ・脳卒中に対する手術
- ・75 歳以上の全身麻酔手術

介入率と周術期口腔機能管理策定率の向上を目標としています。

救急総合診療部

「ちゃんと助ける救急室」「地域に開かれた救急室」「専門診療科との高度な連携を取る救急室」「充実した研修のできる救急室」を目標に業務の改善を図っています。本年度は、救急室増築工事の完成やラピッド型ドクターカーの導入など、今後の発展の基礎ができた年でした。

研究業績

学会発表

今年度も医師の発学会表だけでなく、看護師の学会で発表を行いました。次年度には ER- Aide として採用した救命士が臨床救急学会に演題を提出する予定です。

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
救急隊の自主性に任せた心電図伝送システム導入後の変化	第 21 回日本臨床救急医学会	愛知県	2018 年 5 月 31 日	三戸正人
沖縄県での 12 誘導心電図伝送実施の現状と課題	第 21 回日本臨床救急医学会	愛知県	2018 年 5 月 31 日	三戸正人
ドクターカー導入により ER 看護師の意識は向上する	第 46 回日本救急医学会総会	神奈川県	2018 年 11 月 21 日	三戸正人

※医師以外の実績については各部署のページをご覧ください。

医師プロフィール

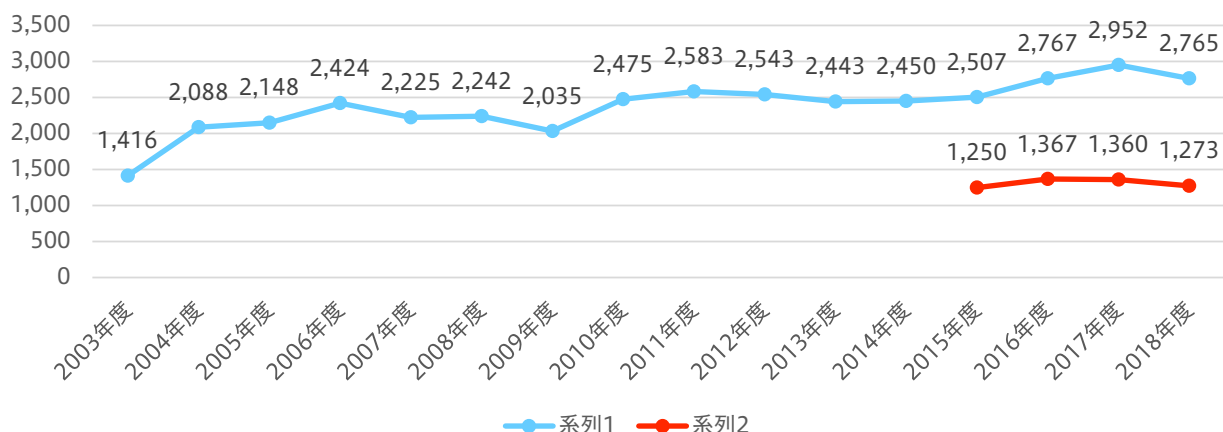
今年度は医師の体制に変化はありません。

(2018 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
救急総合診療部長	銘苅 正	一般外科、外傷外科	日本医師会認定産業医
救急総合診療部副部長 循環器内科医長	三戸 正人	循環器救急、地域医療、 スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会総合内科専門医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本 DMAT インストラクター 統括 DMAT 登録者 JMECC インストラクター ICLS インストラクター MCLS インストラクター 日本心臓核医学会評議員 心臓リハビリテーション指導士

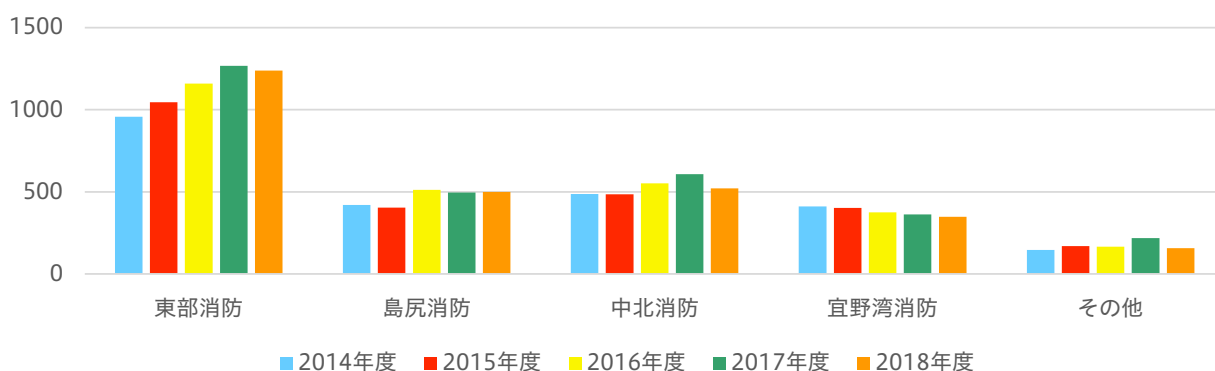
実績

救急搬送受け入れ患者の推移



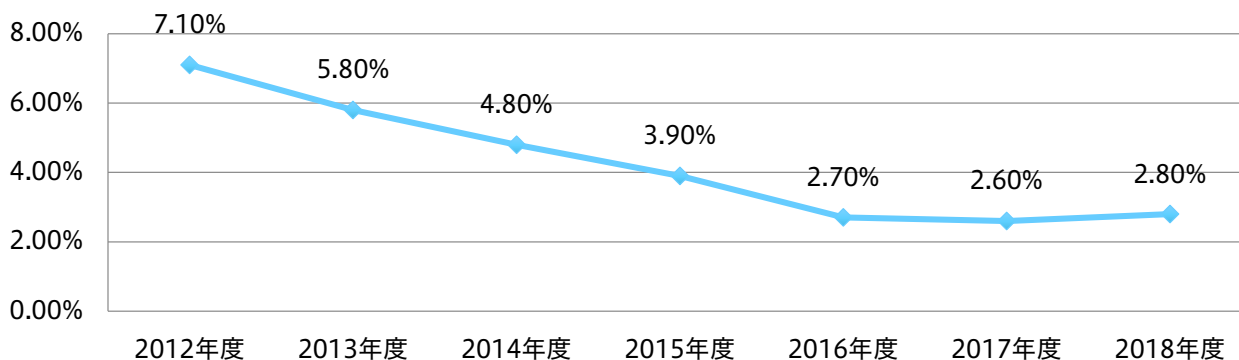
救急搬送患者数は5年ぶりに救急車搬送数が減少し、2016年度とほぼ同数でした。減少した原因として、増築工事中の診療スペースの減少や電気工事などのために診療制限などがあったことが考えられます。

消防署別搬送数



消防署別の分析は、各消防の統計が出ていないのでこれから行いますが、琉大救急部が指導部の強化を測り、救急受け入れに積極的傾向が出てきていることが、要因の一つとして考えられます。

不応受率



救急車の断り件数・不応受率は低下傾向にあります。受け入れ規則はほとんど守られており、当直を担当してくれている他科の先生方の協力の賜物です。

その他の実績

DMAT 隊の訓練・教育には積極的に参加しています。三戸先生のインストラクターとしての他県を含む出張件数も増加しています。

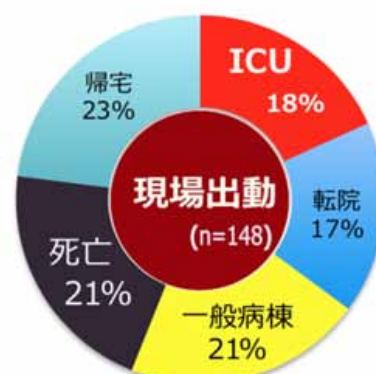
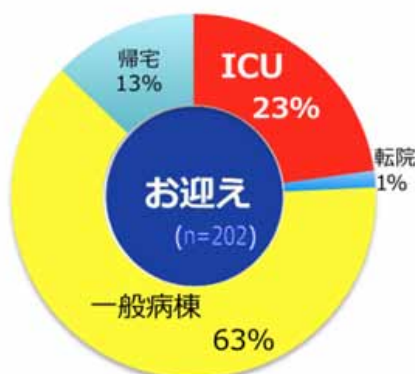
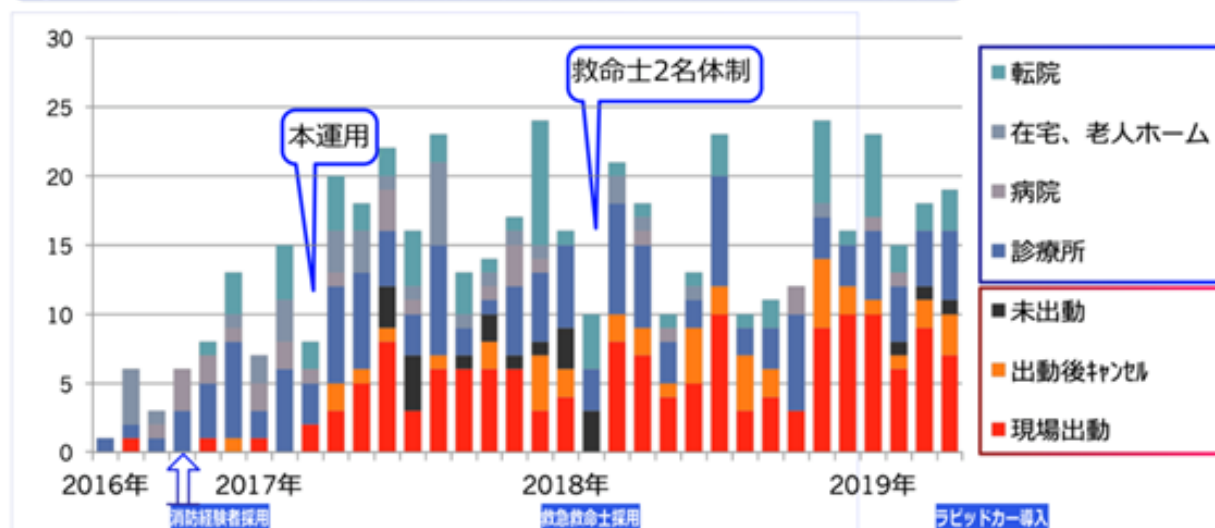
昨年度より近隣消防と協定を結び、消防指令からの直接的なドクターカー出動要請が来るようになりました。ラピッド型ドクターカーの導入で、より機動力が向上しました。

救命救急士資格を持つ職員を 2 名確保し、多発交通事故現場や大規模産業事故現場などにも出動しています。出動後のキャンセルもありますが、地域の救急診療レベルの向上のためには、致し方のないコストと考えています。

近隣クリニックからの搬送依頼も増加していますが、特定のクリニックに偏る傾向があり、もっとひろく地域の先生方に認知していただけるよう努力が必要と感じています。地域担当の西原副院長にも協力をお願いし、救急車型ドクターカーによる「お迎え」業務のご理解をいただけるよう努めます。

2018 年度には、救急室の大幅な拡張・改装工事が行われました。広さはこれまでの 3 倍近くになり、県内有数の施設となりました。

Fig1. ドクターカー導入後の院内・院外の体制整備と活動件数の推移



来年度の目標

教育用のシュミレーションルームが新設されました。Off the Job トレーニングの強化に努めます。また、救急部だけでなく多科のトレーニングにも活用してもらうよう、準備を進めています。

年度総括



救急総合診療部長
銘苅 正

1：診療体制

救急車の受け入れが、5年ぶりに減少し、2016年度とほぼ同数でした。各専門科との協力体制も安定したものになっており、断り率がかなり低い水準に抑えることができました。

2：地域支援

地域消防指令から直接ドクターカーの出動要請を受ける協定が4月から稼働しています。ラピッドカーの導入により、これまでの救急車型ドクターカーを「お迎え」業務に活用しています。

3：専門診療科との連携

専門診療科との連携を今後も深めていく方針です。2019年度は、専門科の医師にお願いして、救急マニュアルの適宜改定を予定しています。

4：研修・教育

今年度も救急室で研修した研修医には、救急や循環器の学会にいくつかの演題を出すことができました。これは副部長の三戸先生の頑張りが大きいところです。

救急や総合診療の専門家に講演をお願いしました。2019年度も積極的に魅力的な講師をお呼びして、講演会を計画したいと思います。

当院で行っている救急隊との症例検討会は、院外からの関心も高く評価されています。研修医の教育や学会発表の訓練の場としても有効と感じています。

当院の初期研修医の中から、救急医療を希望する者が出るように努力します。その一環として、2年目研修医のJATEC受講を積極的に進めていきたいと思っています。また、循環器内科や形成外科が行っているオフザジョブトレーニングに救急室のシュミレーションルームを利用してもらい、積極的に活用したいと考えています。

メディカルクラーク

職員数

総数

21 名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	5

認定・資格名	人数
医師事務作業補助技能認定資格	18

運営方針

1. 医師の業務軽減を図る
2. 他職種との協働によるチーム医療を目指す
3. スキルの向上に努める

平成 30 年度業務計画

1. 業務量の偏りをなくし、残業時間を減らす
2. 入退院支援センター等、他職種と連携して、医師事務として許可された業務の範囲内で協力していく

業務実績

文書作成

名称	H28	H29	H30
一般診断書	416	436	504
生命保険文書	1,856	2,125	1,966
介護主治医意見書	462	451	433
傷病手当金請求書	377	436	480
医療要否意見書	611	642	708
特定疾患調査票	285	280	292
身障 / 年金診断書	276	279	237
自賠責診断書	1,118	1,108	929
その他	1,543	1,652	1,912
合計	6,944	7,409	7,461

名称	H28	H29	H30
退院サマリー	827	829	645
高額コメント	115	152	185
NCD (外科手術症例登録)	916	958	1,002

統計業務

- ・ 日本胸部外科学会食道分野学術調査
- ・ 日本内視鏡外科学会症例報告
- ・ 日本外科学会指定施設年次報告
- ・ 日本ヘルニア学会症例報告
- ・ 日本血液学会疾患登録
- ・ 日本短期滞在手術外科手術手技研究会アンケート
- ・ 日本造血細胞移植データセンター全国調査
- ・ 外科研修関連施設実績報告（琉大・東京女子医大）

活動実績

研修会・セミナー参加など

名称	開催地	年月日	参加者
第 60 回全日本病院学会 in 東京	東京	2018 年 10 月 5 日	1 名
日本医師事務作業補助研究会 第 3 回沖縄地方会	沖縄県	2018 年 10 月 27 日	8 名
第 5 回沖縄乳がん学校	沖縄県	2019 年 1 月 19 日	3 名
人が辞めない・人が育つアドラー式 1on1 の極意	沖縄県	2019 年 1 月 7 日	2 名
日本医師事務作業補助研究会 第 4 回沖縄地方会	沖縄県	2019 年 1 月 30 日	5 名
第 16 回日本乳癌学会 九州地方会	沖縄県	2019 年 3 月 2 日	2 名

医局総括



循環器内科副部長
兼 医局長
秋元 芳典

日々の診療に関してはプライマリーケアから専門的な医療までエビデンスに基づき、患者さんに寄り添った医療に取り組んできました。

第一、第三木曜には、夕方に医局会を開催し、医局員の団結を深めています。

学術的領域では年間 2 ～ 6 回の学会への発表・参加、県内・県外の講演会参加等で知識の向上を図り、ラボ実習や手術・手技見学等で技術の研鑽に励みました。また、院内での定期的な取り組みとしては、毎週水曜のジャーナルクラブ（勉強会）、火曜・木曜・金曜の朝には研修医に対するレクチャー等、大変忙しく勉強してまいりました。

医局行事としては、年に数回の歓送迎会、ビアパーティー、研修終了パーティー、忘年会等を執り行いました。

このように活気あふれる医局として自認しておりますが、次年度は更なる飛躍を目指して努力していきます。

看護部

部門紹介

職員数（平成 30 年 4 月 1 日現在）

総数	471 名	保育士	1 名
保健師	5 名	栄養士	1 名
助産師	26 名	クーク	24 名
正看護師	356 名	歯科衛生士	2 名
准看護師	13 名		
看護補助者	43 名		

認定看護師・認定看護管理者

名称	氏名
集中ケア	内間幸人
感染管理	宮城美那
	石川由希
	城間克也
慢性心不全	島袋すが子
がん化学療法	本田由佳理
乳がん看護	砂川克子
救急看護	兼本愛美
皮膚・排泄ケア	嘉数智子
緩和ケア	高宮里沙
診療看護師	諸喜田睦子
手術看護認定看護師 教育課程修了	富田賢一
医療安全管理者	安村公均
	外間真紀子
	安谷屋佳子
	屋宜鮎美

名称	氏名
認定看護管理者	仲地ますみ
認定看護管理者セカンドレベル履修	外間真紀子
	比嘉憲貴
認定看護管理者ファーストレベル履修	安谷屋佳子
	東恩名小百合
	宮城つかさ
	崎山久美
	屋宜鮎美
	米須智子
	本田由佳理
	島袋すが子
	平屋敷加代

看護部理念

わたくしたちは、患者さんの信頼に応え、感性豊かな心ふれあう看護を提供いたします。

看護部運営方針

1. 患者さんに満足していただける環境ときめ細やかな看護サービスを提供する
2. 専門職として看護の基本を大切に質の高い看護を実践する
3. 温かい心のふれあう看護ができる豊かな感性を培う
4. 地域住民のニーズに応える医療・保健・福祉を総合的にとらえ、地域医療に貢献する
5. 医療チーム内の情報交換を密にし、よいチームワークを図り、業務を円滑にする

看護体制

入院基本料 7：1 看護

勤務体制 二交替制

看護方式 PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）

【看護単位】

■一般病棟 7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科・糖尿病）

6 階病棟（血液内科：クリーンルーム 10 床）

5 階病棟（消化器内科・小児科）

4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）

3 階病棟（整形外科・脳外科・形成外科・眼科）

東 4・5 病棟（産婦人科（外来併設）・乳腺外科）

東 2 階病棟（混合病棟）

■ ICU

■外来 一般外来

救急外来

透析室

■手術室、中央材料室

■内視鏡センター

■予防医学センター

症例・研究発表・活動実績

演題・内容	主催	開催地	年月日	発表・担当者
がん化学療法認定看護師と協働した口腔ケアの取り組み	日本口腔ケア学会総会	福岡	2018 年 4 月 28 日、29 日	幸喜奈緒子 本田由佳理
救急看護セミナーファシリテーター	九州救急認定看護協会	福岡	2018 年 8 月 25 日	兼本愛美
統合失調症をもつ不安定狭心症患者への在宅療養支援の一例	日本糖尿病学会九州地方会	福岡	2018 年 10 月 12 日、13 日	堀江恭子
業務改善報告会兼院内研究発表会看護部予選会	看護部教育委員会	院内	2018 年 10 月 26 日	各看護単位
中堅看護師研修実践報告	看護部教育委員会	院内	2018 年 11 月 30 日	各看護単位の中堅看護師
2 年目症例発表	看護部教育委員会	院内	2018 年 12 月 21 日	2 年目看護師 45 名
看護体験発表会	看護部教育委員会	院内	2019 年 1 月 25 日	1 年目看護師 26 名

研修実績

研修名	主催	開催地	年月日	担当・参加者
新入職者オリエンテーション	病院	院内	2018 年 4 月 2 日～3 日	総務課、看護部
新人看護師基礎看護技術研修	看護部	院内	2018 年 4 月 4 日～4 月 13 日、17 日、20 日、27 日、5 月 15 日	比嘉憲貴、仲里寛、大城祥子、奥間有太郎、我那覇美帆
病院機能評価準備とスタッフへの周知	日総研	県内	2018 年 4 月 21 日	古波倉美登利、仲地ますみ、外間真紀子、安谷屋佳子、島袋すが子

研修名	主催	開催地	年月日	担当・参加者
プリセプター報告会	看護部院内		2018 年 4 月 27 日、5 月 28 日、6 月 25 日、7 月 30 日、8 月 27 日、12 月 17 日、2019 年 1 月 7 日	比嘉憲貴、仲里寛、大城祥子 奥間有太郎、我那覇美帆
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	県内	2018 年 5 月 9 日、16 日、23 日	新人看護師 30 人
中堅研修Ⅱ看護倫理①～③	看護部教育委員会	院内	2018 年 5 月 11 日、8 月 17 日、11 月 16 日	仲地ますみ
日本乳がん学会学術総会	日本乳がん学会	京都	2018 年 5 月 16 ～ 18 日	砂川克子
助手研修	看護部教育委員会	院内	2018 年 5 月 18 日、6 月 8 日	島袋すが子、平屋敷加代
中堅研修Ⅰ①～⑧	看護部教育委員会	院内	2018 年 5 月 24 日、6 月 21 日、7 月 26 日、8 月 23 日、9 月 27 日、10 月 25 日、11 月 30 日、12 月 13 日	宮城幸江、洲鎌正子、比嘉憲貴、 小橋川広美、安谷屋佳子
エンドオブライフケア援助者養成基礎講座	沖縄県医師会	県内	2018 年 5 月 26 日、27 日	諸喜田睦子
領域研修 (DM①②)	看護部教育委員会	院内	2018 年 6 月 1 日、10 月 17 日	堀江恭子
医療メディエーター養成研修	日本医療メディエーター協会	県内	2018 年 6 月 2 日、3 日	小渡君子、宮下遥
地域密着型病院 看護部長の病院管理研修	医療病院管理研究協会	東京	2018 年 6 月 8 日	古波倉美登利
中堅研修Ⅱ医療安全①～③	看護部教育委員会	院内	2018 年 6 月 15 日、9 月 14 日、12 月 7 日	安村公均
日本緩和医療学会学術総会	日本緩和医療学会	神戸	2018 年 6 月 15 日～17 日	高宮理沙
2018 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修	SQ 研究会	県外 県内	2018 年 6 月 24 日	外間真紀子、仲地ますみ、栗盛信子
新人看護師3か月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2018 年 6 月 29 日	比嘉憲貴、仲里寛、大城祥子、 奥間有太郎、我那覇美帆
認定看護管理者教育課程ファーストレベル	沖縄県看護協会	県内	2018 年 7 月 3 日～8 月 14 日	東恩名小百合、本田由香里、 平屋敷加代
基礎講習 認定試験	地域糖尿病療養指導士会	県内	2018 年 7 月 8 日	幸喜奈緒子
新人リフレッシュ研修	看護部教育委員会	県内	2018 年 7 月 12 日	主任会、プリセプター
中堅研修Ⅱ感染①～③	看護部教育委員会	院内	2018 年 7 月 13 日、10 月 19 日、2019 年 1 月 17 日	石川由希、宮城美那、城間克也
効果的なプレゼンテーション技法を学ぶ	沖縄県看護協会	県内	2018 年 7 月 14 日	堀江恭子、砂川克子
看護実践能力を育てる	沖縄県看護協会	県内	2018 年 7 月 19 日	比嘉憲貴
明日から使えるフィジカルアセスメント	看護部教育委員会	院内	2018 年 7 月 19 日	講師：徳田安春、受講：72 人
領域研修 (看護必要度①～③)	看護部教育委員会	院内	2018 年 7 月 20 日、11 月 9 日、2019 年 2 月 15 日	宮城つかさ
領域研修 (呼吸ケア①)	看護部教育委員会	院内	2018 年 7 月 27 日、9 月 28 日、12 月 14 日	内間幸人
急性期病院に勤める看護職に求められる退院支援調整	沖縄県看護協会	県内	2018 年 8 月 7 日	知念宏共、下地育美
2 年目研修	看護部教育委員会	院内	2018 年 8 月 10 日	比嘉憲貴、安村公均
メディカルコミュニケーションセミナー	琉球光和	県内	2018 年 8 月 16 日	宮下遥
口腔ケアセミナー	沖縄口腔ケア研究会	県内	2018 年 8 月 19 日	浦崎洋子
保健師助産師看護師実習指導者講習会	沖縄県	県内	2018 年 8 月 20 日～10 月 19 日	玉木夕菜、金城竜弥、山城奈保子
2018 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修	SQ 研究会	県内	2018 年 8 月 26 日	古波倉美登利、宮城つかさ、 島袋すが子、平屋敷加代、米須智子、 崎山久美、洲鎌正子、本田由佳里、 屋宜鮎美、比嘉憲貴
裁判例から考える看護実践と看護記録	沖縄県看護協会	県内	2018 年 8 月 29 日	安村公均、比嘉憲貴、仲地ますみ
終末期をどう支えるか	民間病院看護管理者会	県内	2018 年 8 月 31 日	外間真紀子

研修名	主催	開催地	年月日	担当・参加者
3年目研修	看護部教育委員会	院内	2018 年 9 月 7 日	比嘉憲貴、宮城つかさ、喜屋武香織
医療従事者向け認知症対応力向上研修	認知症ケア実践会	院内	2018 年 9 月 10 日	受講：82 名
明日から使えるフィジカルアセスメント	看護部教育委員会	院内	2018 年 9 月 13 日	講師：徳田安春、受講：48 人
領域研修（慢性心不全看護①～③）	看護部教育委員会	院内	2018 年 9 月 14 日、10 月 5 日、11 月 2 日	島袋すが子
コンチネンス初級セミナー	日本コンチネンス協会沖縄県支部	県内	2018 年 9 月 15 日、16 日、10 月 6 日、7 日、11 月 4 日	宮城久美子、與那嶺美咲、宮里 誠、松田沙衣可
新人看護師 6 か月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2018 年 9 月 21 日	比嘉憲貴、仲里寛、大城祥子、奥間有太郎、我那覇美帆
看護における機能連携	医療・病院管理研究協会	東京	2018 年 9 月 22 日	外間真紀子
師長・主任合同研修	看護部	院内	2018 年 10 月 2 日、3 月 19 日	古波倉美登利、仲地ますみ、外間真紀子
看護師特定行為研修と認定看護師制度の再構築につて	沖縄県看護協会	県内	2018 年 10 月 8 日	比嘉憲貴、仲地ますみ、諸喜田睦子、堀江恭子、砂川克子、城間克也
プリセプター研修（上半期）	看護部教育委員会	院内	2018 年 10 月 12 日	比嘉憲貴、仲里寛、大城祥子、奥間有太郎、我那覇美帆
領域研修（化学療法①②）	看護部教育委員会	院内	2018 年 10 月 12 日、11 月 17 日	本田由佳理
日本救急看護学会学術総会参加	日本救急看護学会	和歌山	2018 年 10 月 19 日、20 日	兼本愛美
認定看護管理者教育課程 セカンドレベル	沖縄県看護協会	県内	2018 年 10 月 23 日～12 月 14 日	外間真紀子、比嘉憲貴
看護管理セミナー	全国公私病院連盟	東京	2018 年 10 月 31 日	古波倉美登利
看護師特定行為研修指導者養成講習会	琉球大学医学部付属病院	県内	2018 年 11 月 4 日	諸喜田睦子
領域研修（救急看護① a ～②）	看護部教育委員会	院内	2018 年 11 月 7 日、12 月 5 日、2019 年 1 月 9 日、2 月 6 日	兼本愛美
領域研修（皮フ・排泄ケア①②）	看護部教育委員会	院内	2018 年 11 月 22 日、2019 年 2 月 1 日	嘉数智子
新人看護職員研修実地指導者研修	沖縄県看護協会	県内	2018 年 11 月 27 日～29 日	安里紀子、喜友名佳子
領域研修（乳がん看護）	看護部教育委員会	院内	2018 年 11 月 30 日	砂川克子
摂食・嚥下障害のある患者の看護	沖縄県看護協会	県内	2018 年 12 月 4 日	山城敏裕
2 年目症例発表会	看護部教育委員会	院内	2018 年 12 月 21 日	比嘉憲貴、安村公均
シミュレーション教育の指導法の基本	沖縄の看護実践力をはぐくむ研究会	県内	2018 年 12 月 24 日	諸喜田睦子
医療安全管理者養成研修	沖縄県看護協会	県内	2019 年 1 月 18 日～25 日	安谷屋佳子、屋宜鮎美
1 年目体験発表会	看護部教育委員会	院内	2019 年 1 月 25 日	比嘉憲貴、仲里寛、大城祥子、奥間有太郎、我那覇美帆
適時調査・改定対応セミナー	上尾中央医科グループ	鹿児島	2019 年 2 月 1 日	古波倉美登利
新人看護職員研修教育担当者研修	沖縄県看護協会	県内	2019 年 2 月 1 日～5 日	呉屋友美
プリセプター研修（31 年度向）	看護部教育委員会	院内	2019 年 2 月 8 日	比嘉憲貴、仲里寛、大城祥子、奥間有太郎、呉屋友美
プリセプター研修（下半期）	看護部教育委員会	院内	2019 年 2 月 22 日	比嘉憲貴、仲里寛、大城祥子、奥間有太郎、我那覇美帆
沖縄呼吸ケアセミナー	沖縄呼吸ケア研究会	県内	2019 年 3 月 16 日	浦崎洋子
1 年目フォローアップ研修・修了式	看護部教育委員会	院内	2019 年 3 月 22 日	比嘉憲貴、仲里寛、大城祥子、奥間有太郎、我那覇美帆

各部署概要・実績

外来

外来師長 安谷屋 佳子

職員数

総数 43 名

看護師 26 名

准看護師 1 名

看護補助者 3 名

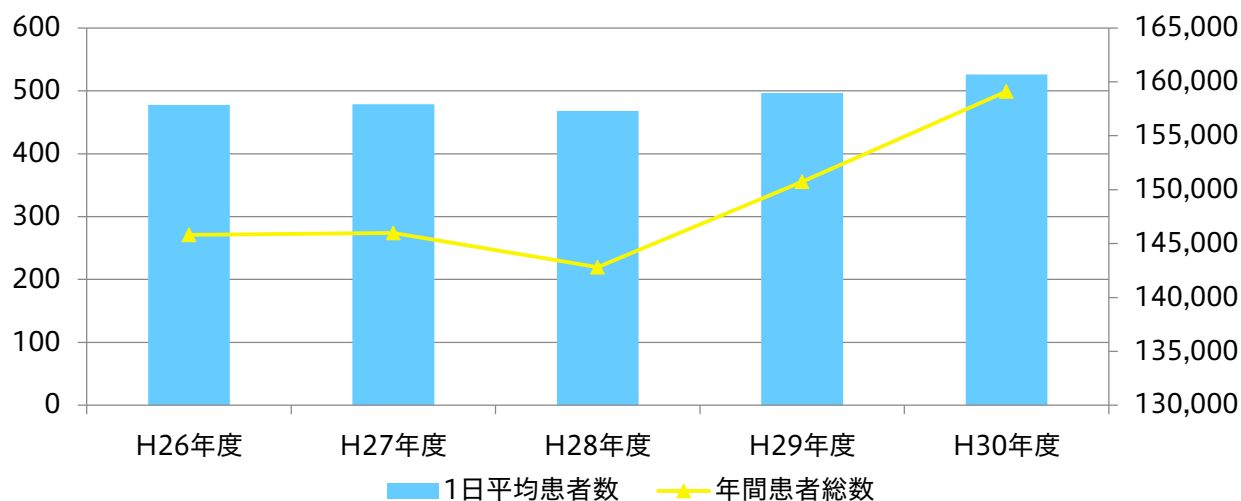
クラーク 13 名

資格・認定など

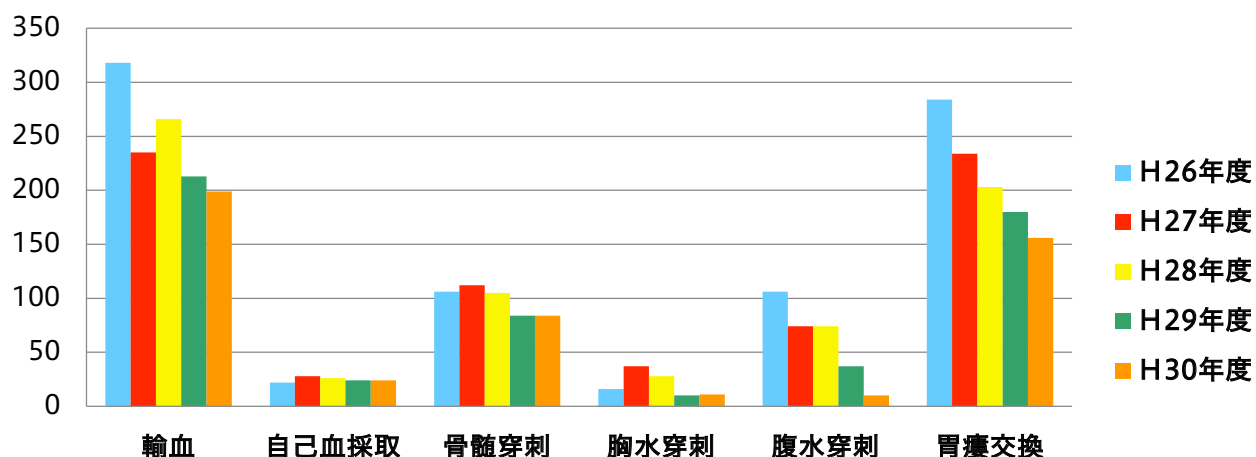
名称	人数
リンパ浮腫複合的治療技術者	1 名
乳がん認定看護師	1 名
慢性心不全認定看護師	1 名
排尿自立指導料該当研修修了者	1 名
ELNEC-J 指導資格者	1 名

業務実績

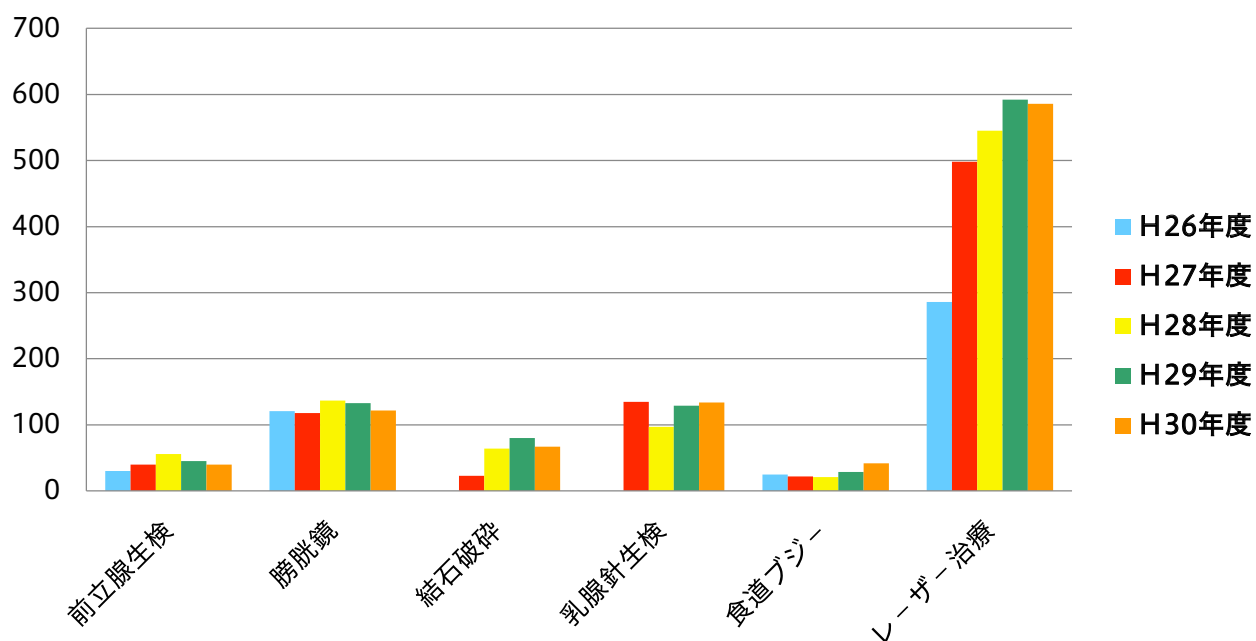
年間外来患者数と 1 日平均患者数



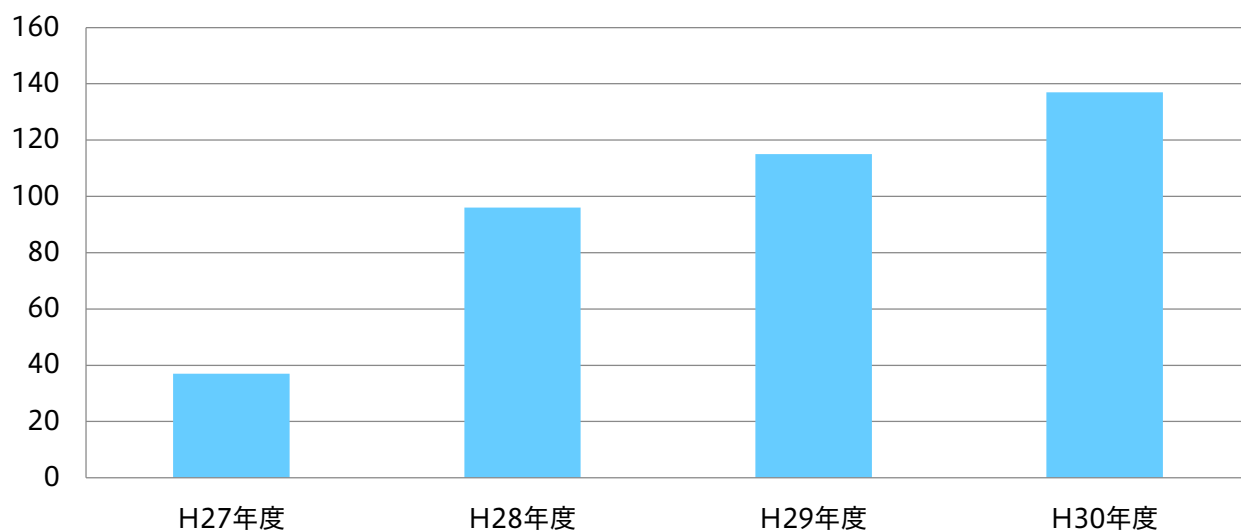
外来で行われる主な処置件数の推移



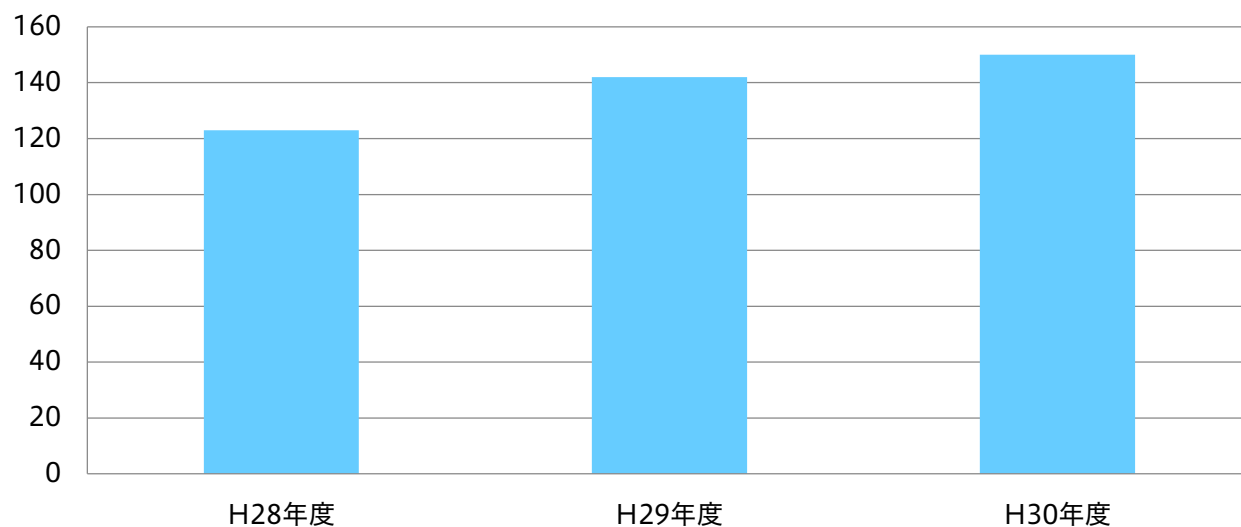
外来で行われる検査・治療件数の推移



リンパ浮腫外来患者数



無呼吸外来患者数



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
診療報酬・介護報酬改定説明会	看護協会	南風原町	2018年4月6日	安谷屋佳子
フレッシュマン研修	看護協会	南風原町	2018年4月16日	溝畑遙
病院機能評価	日総研	産業センター	2018年4月28日	安谷屋佳子
日本老年泌尿器科学会		福井県	2018年5月11日	新垣薫
アメリカと日本における助産師活動	米国看護協会		2018年5月25日	新垣薫
医療安全の動向と法的責任	看護協会	南風原町	2018年5月30日	安谷屋佳子
沖縄排尿機能学会	大鵬薬品	沖縄県	2018年6月1日	新垣薫
リンパ浮腫(講師)	宮良クリニック	浦添市	2018年6月19日	新垣薫
外来向上をめざした業務改善とスタッフ教育	日総研	沖縄県	2018年6月30日	安谷屋佳子
外来看護～時代を超えて求められる患者支援～	看護協会	南風原町	2018年7月7日	金城こずえ、大滝正美
漢方とEMB	琉大病院	沖縄県	2018年7月18日	新垣薫
コンパテックスストーリーセミナー	コンパテックス	沖縄県	2018年7月28日	玉城秀美、大滝正美
第35回日本小児臨床アレルギー学会		福岡県	2018年7月28日	玉那覇久美子
裁判例から考えられる看護実践と記録	看護協会	南風原町	2018年8月18日	安谷屋佳子
認知症対応向上研修		院内	2018年9月10日	山内美咲(他8名)
日本排尿機能学会		愛知県	2018年9月27日	新垣薫
WLBシンポジウムと働き方改革	看護協会	南風原町	2018年10月16日	安谷屋佳子
沖縄県排尿機能研究会	ヒサミツ	沖縄県	2018年11月3日	新垣薫
リンパ浮腫講習会	那覇市立病院	那覇市	2018年11月11日	新垣薫
フィジカルアセスメント	看護協会	南風原町	2018年11月29日	志喜屋幸子、羽鳥恵
フィジカルアセスメント	看護協会	南風原町	2018年11月30日	仲田ひろ子、島袋貴代
医療安全管理者養成研修	看護協会	南風原町	2019年1月18日～25日	安谷屋佳子
フットケア	看護協会	南風原町	2019年1月29日	大滝正美、島袋貴代

年度総括

外来部門を増築・移転し約 2 年が経過しました。それに伴い患者数が増加し、昨年度と比較すると 1 日平均患者数が 130 人増となり多忙を極めた 1 年でした。その内容を分析すると紹介状持参なしの初診時保険外併用療養費算定患者数の増加、慢性疾患患者の増加にあることが判明したため、他職種と連携しポスター掲示、患者さんへチラシ配布を行うなど患者へかかりつけ医の普及活動に力を入れました。しかし、交通の不便さから通院しやすい診療所が少ないこと、通いながれた病院で規模の大きさにも魅力を感じる等を理由に逆紹介を渋る傾向があり、平成 30 年度は目標としている逆紹介率 70%を超える月が 4 月、5 月、12 月という状況でした。来年度も引き続き地域支援病院としての役割を担うと共に専門外来が特化できる体制作りをしていく必要があります。

また、これからの地域包括ケアシステム構築に向け、入院から退院まで一貫した支援が行えることを目標にあげ、自部署では入退院支援委員会参加を積極的に行い担当看護師を 1 名配置しました。連携のとり方や情報共有の方法等の具体策を見出していく課題は残りますが、体制を整えることができたことは成果の一つです。

外来部門では受付窓口にクラークを配置しており、患者さんが来院してから診察に至るまでに看護師がファーストコンタクトをとれるところが少なく、患者の状態把握が困難な状況が発生するなど組織全体で対応するシステム作りを行う必要がありました。そこで個々のスキルアップ、急変時の対応強化を目標にあげ救急委員を中心に勉強会、研修参加、BLS 訓練、他部署と 2 度のシミュレーション実施など積極的な活動を行いました。シミュレーションを行ったことにより急変時の実際の場面でスムーズな連携、対応ができ良い結果へつながりました。またシミュレーションの内容を分析することで他部署と連携した急変時の対応システム構築ができ大きな成果を挙げることができました。

救急外来

救急外来師長 内間 幸人

職員数

総数 23 名
 正看護師 21 名
 救命士 2 名

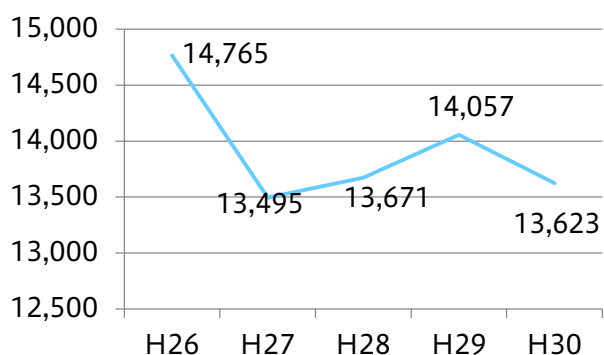
認定・資格など

名称	氏名
特定看護師	兼本愛美
集中ケア認定看護師	内間幸人
救急看護認定看護師	兼本愛美
AHA BLS インストラクタ	内間幸人
	兼本愛美
	知花満津子
	有銘千佳
	恒富加奈
ICLS インストラクタ	兼本愛美

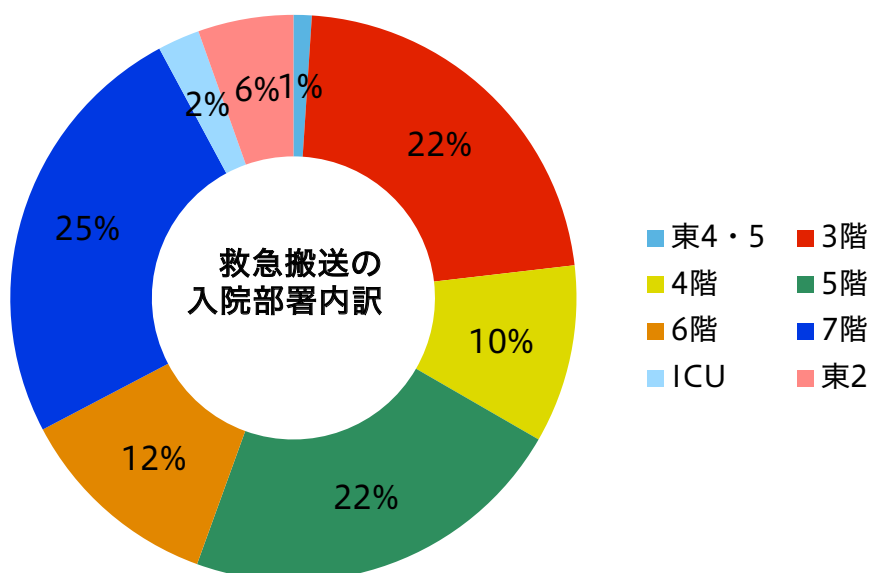
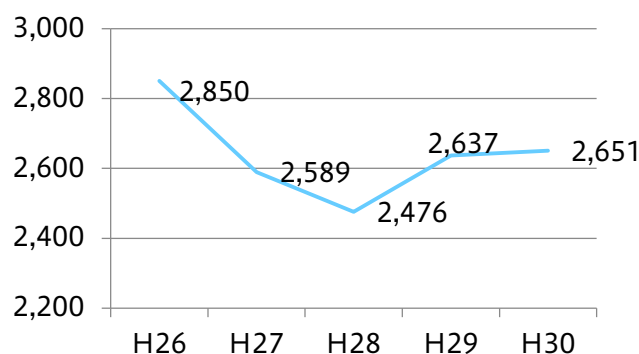
名称	氏名
MCLS インストラクタ	山田義長
JPTEC インストラクタ	兼本愛美
	兼次翔太
	大宜見宗史
DMAT 隊員	兼本愛美
	山田義長

業務実績

救急受付患者年次推移



救急受付患者の入院数年次推移



活動実績

研修実績

研修名	開催地	開催日	参加者
第 17 回 MCLS 標準コース	県内	2018 年 6 月 23 日	森元一晟
第 17 回 MCLS 標準コース	県内	2018 年 6 月 23 日	知花満津子
第 18 回 MCLS 標準コース	県内	2018 年 6 月 24 日	恒富加奈
第 54 回 JPTEC プロバイダーコース	県内	2018 年 7 月 14 日	森元一晟
第 54 回 JPTEC プロバイダーコース	県内	2018 年 7 月 14 日	平田美加
第 54 回 JPTEC プロバイダーコース	県内	2018 年 7 月 14 日	諸見里佳奈
第 20 回日本救急看護学術集会参加	県外	2018 年 10 月 19・20 日	兼本愛美
MCLS-CBRNE 第 2 回沖縄コース	県内	2018 年 10 月 21 日	山田義長
AHA BLS プロバイダーコース	県内	2018 年 10 月 24 日	照屋杏奈
日本感染管理ベストプラクティス	県内	2018 年 11 月 30 日	恒富加奈
ITLS アクセスコース	県内	2018 年 12 月 9 日	兼本愛美
第 20 回 MCLS 沖縄標準コース	県内	2019 年 2 月 24 日	篠原花織
第 20 回 MCLS 沖縄標準コース	県内	2019 年 2 月 24 日	新垣仕言
第 59 回 JPTEC プロバイダーコース	県内	2019 年 3 月 9 日	新垣仕言
第 59 回 JPTEC プロバイダーコース	県内	2019 年 3 月 9 日	宮里伸也

その他

研修名	開催日	担当者
沖縄県喀痰吸引等指導者講習会	2019 年 2 月 14 日	兼本愛美

年度総括

インシデント・アクシデント件数が159件と前年度より若干増加しました。内訳はレベル0と1が約77%を占め、3b以上のアクシデントはありませんでした。スタッフの医療安全の意識の醸成に向けて、毎朝の申し送りの際に、インシデント・アクシデント内容を報告し、情報共有に努めた。また、インシデント・アクシデント発生時には勤務者で状況を振り返り、対応策を立案することで再発防止に努めるよう取り組みました。これを継続し、スタッフの安全意識の醸成とアクシデント発生防止に繋がりたいと思います。

救急看護認定看護師が日本看護協会の看護師特定行為研修を受講し修了しました。この事で、看護の質向上や検査・診断・治療のプロセスで医師と共働し、より質の高い医療の提供に繋がる事が期待されています。また、DMAT隊員として看護師が1名増員となりました。病院前救護活動においては、スキルを高めることを目標に掲げ、外傷関連コースに5名受講、災害関連コースに5名受講し、部署内で伝達講習会を開催しました。これらは、スキルアップは勿論の事、スタッフのモチベーションの維持・向上にも繋がるため、今後も継続していきたいと思います。

救急搬送件数においては、過去最多を更新した前年度に比べ約200件弱の減少でした。ドクターカーの本格稼働により近隣の開業医との連携を広げていく事で今後の件数増加にも繋がりたいです。不応受率も2.8%で前年度に比べ0.2%増加しましたが、低値を維持できました。これまで同様、毎月の委員会で不応受事例の理由や受け入れ体制についての検討会を継続し、不応受率の低値を維持していきたいと思います。

今年度は、ドクターカー業務の本格運用を開始しました。重傷症例や特殊症例では、医師や看護師、ER Aideで検証し、今後の活動に繋がられるよう努めました。また、今年度は2ヶ所の所轄消防との合同訓練も実施しました。今後も症例の検証やスタッフのスキルアップのための講習会の受講、症例検討会、救急隊との合同訓練などを今後も継続し、更なる連携強化に努め、安全かつ効率的なドクターカー業務に繋がりたいと思います。

ドクターカー業務の本格稼働やアンギオ室増設などにより多職種での連携・協力は必須となります。今後も日々の業務での連携・協力を図りながら救急医療ニーズに対応出来るよう努めていきます。

人工透析室

人工透析室師長 宮城 幸江

職員数

総数 22 名

正看護師 20 名

看護補助者 2 名

認定・資格取得状況

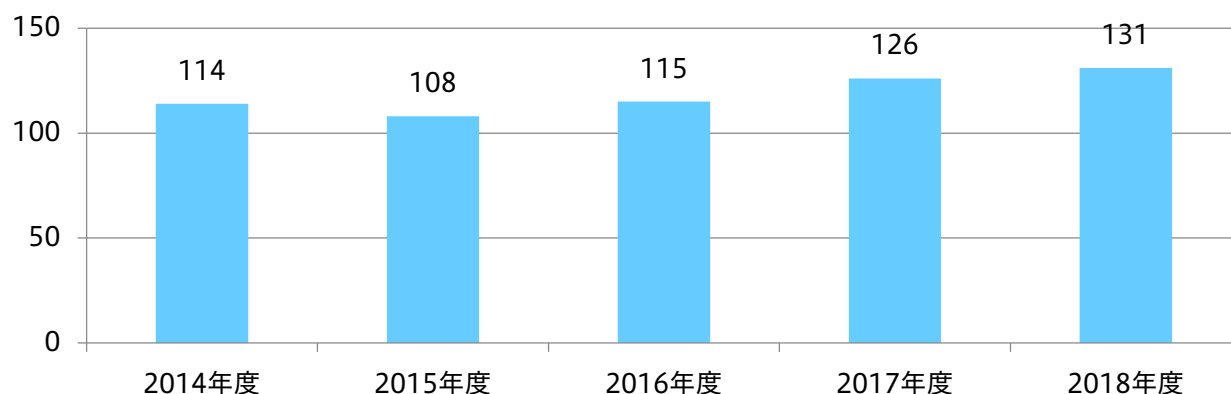
氏名	認定・資格・終了
宮城 幸江	透析技術認定士 フットケア指導士
瀬底 真由美	透析技術認定士 フットケア指導士研修了
田下 茜	透析技術認定士 CAPD 認定指導看護師
赤嶺 美智江	透析技術認定士

氏名	認定・資格・終了
新里 恭子	透析技術認定士
伊保 和加子	透析技術認定士
呉屋 久子	透析技術認定士
上原 千晶	フットケア指導士研修了
米須 真由美	透析技術認定士
竹本 健太	日本 DMAT 隊員

業務実績

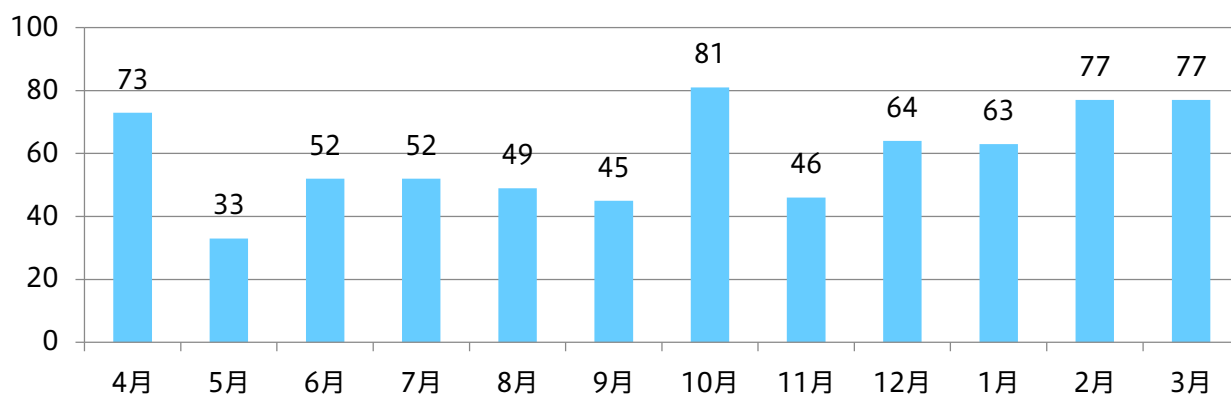
- ・ 新規導入患者数 9 名
- ・ 血液透析患者数 131 名
- ・ 腹膜透析患者数 3 名（内 1 名は血液透析併用）

患者数推移



下肢末梢動脈疾患指導管理

（フットチェック）712 件（月平均 59 件）



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
透析室における急変時への取り組みとその成果	第 63 回日本透析医学会学術集会、総会	神戸	2018 年 6 月 29 日	瀬底 真由美、大工夏希
バッグ交換やカテーテルのトラブルを繰り返す患者の要因分析	第 51 回九州人工透析研究会総会	鹿児島	2018 年 12 月 1 日	田下 茜、新垣 直樹
新規腹膜透析外来開設への取り組み	テルモ	沖縄	2018 年 12 月 8 日	田下 茜
沖縄県人工透析研究会（座長）	沖縄県人工透析研究会	宜野湾	2018 年 3 月 8 日	田下 茜

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
平成 30 年度 診療報酬改訂説明	看護協会	南風原	2018 年 4 月 13 日	宮城 幸江
透析患者の CKD-MBD 管理について	協和発酵キリン株式会社	那覇	2018 年 5 月 31 日	赤嶺美智江、米須真由美
第 11 回フットケア指導士認定セミナー	日本フットケア研究会	東京	2018 年 6 月 10 日	瀬底真由美、上原千晶、与那覇直子
第 13 回 PD セミナー in 沖縄	琉球大学医学部 附属病院血液浄 化療法部	南風原	2018 年 8 月 5 日	久場和子、平良美幸、田下茜、宮城幸江
沖縄県臨床腎懇話会特別講演会	沖縄県臨床腎懇話会	那覇	2018 年 8 月 9 日	赤嶺美智江
新おきなわ ICLS	沖縄県医師会	西原	2018 年 10 月 7 日	瀬底 真由美
看護サービス提供論	看護協会	南風原	2018 年 12 月 13 日	宮城幸江
沖縄県腎不全看護研究会	沖縄県腎不全看護研究会	宜野湾	2019 年 2 月 7 日	赤嶺美智江、米須真由美
ワールドカフェ	看護協会	南風原	2019 年 2 月 22 日	宮城幸江
沖縄県人工透析研究会	沖縄県人工透析研究会	宜野湾	2019 年 3 月 8 日	赤嶺美智江、田下茜、宮城幸江
沖縄県看護連盟・看護連盟合同研修	看護協会・連盟	南風原	2019 年 3 月 23 日	宮城幸江、赤嶺美智江

年度総括

平成 30 年度 病棟目標

1、安全な医療の提供

インシデント総数 36 件、チューブ・ライン 6 件、皮膚剥離 6 件、患者誤認 0 件。

2、専門的ケア、サービスの提供（フットケア、バスキュラアクセスの管理）

個別性のバスキュラアクセス評価を行い、狭窄・血流不良時はマニュアルに沿って、循環器受診、シャント PTA へと繋げたことでシャント閉塞患者が減少することで患者の負担が軽減されました。

フットケアの取り組みとして、フットケアチームを中心にスタッフへ勉強会を実施し、リスク分類を行い、年間目標のフットチェック月 50 件を達成する事ができました。トラブル時はマニュアルに沿って形成外科、皮膚科へコンサルトと繋げる事ができました。また、患者さんとそのご家族への教育指導として「生涯自分の足で歩こう」をテーマに足の観察の方法などについてのパンフレット作成、掲示を行いました。専門的知識・技術の習得、資格認定習得に向けて研修会参加し 1 名がフットケア指導士を取得しました。東館へ移転後、ベッド増床に伴い患者数 134（腹膜透析 3 名含む）名に増加。現在、午前透析満床に伴い、午後透析への患者受け入れに向けて総務課（患者送迎）と送迎ルートの見直しを行いました。

手術室・中央材料室

手術室・中央材料室師長 東恩納 小百合

職員数

総数 25 名

正看護師 20 名

准看護師 1 名

看護補助者 3 名

メディカルクラーク 1 名

認定・資格取得状況

氏 名	認定・資格・修了
大城 美那	感染管理認定資格 2016 年 重症度・医療・看護必要度評価者 院内指導者研修
富田 賢一	周術期管理チーム認定看護師 看護師教育課程「手術看護分野」講習終了
呉屋 真由美	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者
久手堅 緑	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者 普通第一種圧力容器取扱作業主任者
米田 梓	特定化学物質四アルキル鉛等作業主任者 普通第一種圧力容器取扱作業主任者
東恩納 小百合	認定看護管理者教育課程7ア-スト研修終了 2016 年 重症度・医療・看護必要度評価者 院内指導者研修
豊永 涼子	日本消化器内視鏡学会、消化器内視鏡技師
池根 悠太	呼吸療法士

業務実績

手術総件数 3,263 件

(うち全身麻酔下手術 1,427 件)

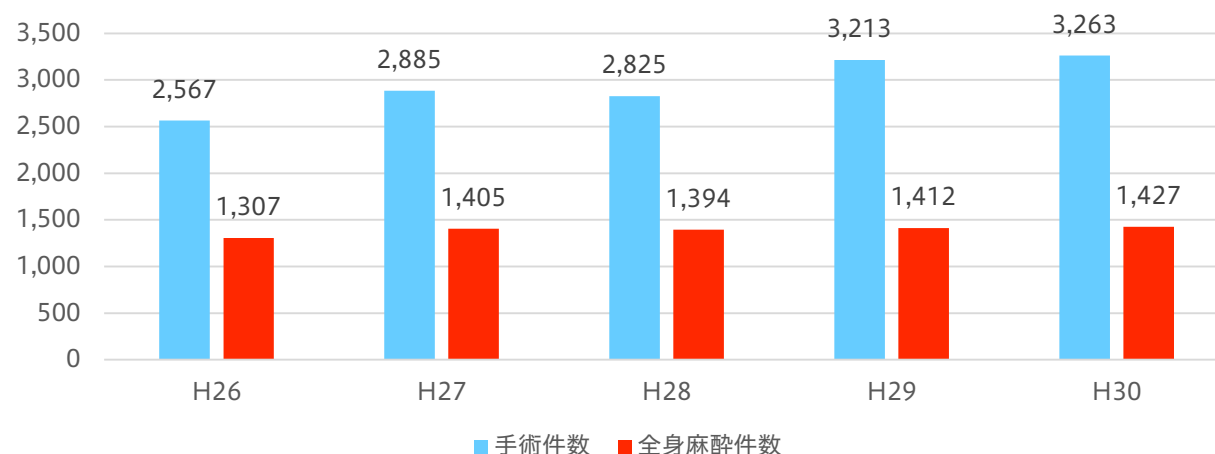
月平均手術件数

272 件

1 日平均手術件数

14 件 (最大 23 件)

手術実績推移



活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
診療報酬介護報酬改定説明会	沖縄県看護協会	南風原	2018 年 4 月 6 日	東恩納小百合
講演会	沖縄MOF研究会	那覇市	2018 年 4 月 28 日	米田梓
リフレッシュマン研修	沖縄看護協会	南風原	2018 年 5 月 9 日・ 5 月 16 日	仲宗根さくら・玉城和香菜
日本手術看護学会九州地区沖縄分会 総会	沖縄県分会	浦添市	2018 年 6 月 2 日	東恩納小百合・宮城美那・ 久志周子・久手堅緑・仲 嶺千絵・米田梓・宜保真 理・富田暁美・古内正輝・ 内間亜綾・長嶺厚子・呉 屋真由美
AO法勉強会	琉球大学整形外科	西原町	2018 年 6 月 9 日	長嶺厚子・内間亜綾・上 原直樹・古内正輝
沖縄県看護協会職能集会	沖縄県看護協会	南風原	2018 年 6 月 16 日	上原直樹
沖縄県看護協会総会	沖縄県看護協会	南風原	2018 年 6 月 16 日	東恩納小百合
感染管理ベストプラクティス 沖縄ワークショップ	沖縄県感染管理認定看護師 会・日本感染管理ベストプラク ティス“Saizen”研究会	南風原町	2018 年 6 月 22 日	宮城美那
平成 30 年度通常総会	沖縄県看護協会	南風原	2018 年 6 月 30 日	神里歩
ファーストレベル研修	沖縄県看護協会	南風原	2018 年 7 月 3 日～ 8 月 16 日	東恩納小百合
中央材料室手術室感染管理医療安全 セミナー	ジョンソンエンドジョンソン	那覇市	2018 年 7 月 14 日	宮城美那・久手堅緑・名 嘉眞明菜・仲宗根さくら・ 神里歩
准看護師のための交流会	沖縄看護協会	南風原	2018 年 8 月 17 日	久手堅緑
裁判例から考える看護実践と看護記録	沖縄看護協会	南風原	2018 年 8 月 18 日	東恩納小百合・宮城美那
感染管理ベストプラクティス 沖縄ワークショップ	沖縄県感染管理認定看護師 会・日本感染管理ベストプラク ティス	那覇市	2018 年 8 月 24 日	宮城美那
体位シミュレーション	沖縄県分会	沖縄市	2018 年 10 月 26 日	東恩納小百合・呉屋真由 美・宜保真理・名嘉眞明菜・ 古内正輝・長嶺厚子・神 里歩・富田暁美
感染管理ベストプラクティス 沖縄ワークショップ	沖縄県感染管理認定看護師 会・日本感染管理ベストプラク ティス	那覇市	2018 年 11 月 30 日	宮城美那
沖縄県分会 in 北部	沖縄県分会	名護市	2019 年 1 月 26 日	東恩納小百合・呉屋真由 美・大城美那・古内正輝・ 米田梓・久志周子・富田 暁美
日本手術室学会九州地区沖縄県分会 看護研究発表	沖縄県分会	中城村	2019 年 3 月 2 日	東恩納小百合・米田梓・ 久手堅緑・富田暁美・久 志周子・長嶺厚子・神里歩・ 名嘉眞明菜・豊永涼子

年度総括

平成 30 年度の手術室目標は、1. 安全 2. 手術件数の増加 3. コスト削減 4. 人材育成をあげました。

1. 安全

0 レベルのインシデント報告を推奨し、徹底した 5 R やタイムアウトを厳守することで誤薬、患者誤認、手術部位誤認 0 件という結果となりました。さらに、連絡・報告・相談の強化を図ることで、情報の共有により事故発生の予防に努めています。

2. 手術件数の増加

手術件数は平成 29 年度 3,214 件、平成 30 年度 3,271 件とわずかではありますが、前年度と比較し、増加しています。また、平成 30 年度 11 月には 317 件 / 月と過去最多の手術件数となりました。また、手術件数増加を目標に今年度 4 月から手術室は 5 室から 8 室へ増室しました。しかし、現在のところマンパワー不足もあって全室稼働には至っておりません。そのため、増えた部屋を有効に活用し、手術と手術の間のタイムロス（退室待ち、清掃、次症例準備）を解決しスムーズな入退室を図りました。その結果、予定時間内に手術が行えることによって、時間外緊急手術へ対応出来る件数も増えてきました。また、手術件数の増加を見込んで、前年度より開始した入退室方法の見直しも、さらに時間短縮へと繋がったと考えます。

3. コスト削減

手術室で使用する診療材料は数千種類と言われ、在庫の把握や医師の移動や手術の傾向によって定数の見直しが課題となっています。そこで、管財課による棚卸により現状の把握、また、期限や定数の管理、診療科側との調整を行いコスト削減を行っている最中です。

4. 人材育成

9 つの科（外科、整形、婦人科、耳鼻科、泌尿器、脳外、眼科、形成外科、消化器内科）の術式に対応できるオールマイティ看護師の人材育成に取り組んでいる最中です。毎月 1 回勉強会を開催することにより知識・技術の向上に努めております。また、日本手術看護学会九州地区沖縄県分会に参加することで県内各施設の情報共有や情報交換により、手術室看護の楽しさを見出しモチベーションの向上にも繋がっています。また、職場風土として「風通しのよい職場環境づくり」を心掛け、コミュニケーションを大事にしています。今後もコミュニケーションを軸に、現場に沿った医療安全の対策を講じ、安全・安楽な手術室看護が提供できるよう取り組んでいきたいと思ひます。

ICU

ICU 師長 洲鎌 正子

職員数

総数 22 名

正看護師 21 名

看護補助者 1 名

認定・資格取得状況

認定資格者	
呼吸療法士認定	洲鎌正子、阿部誠、富里康太・石戸谷也寸志、山城奈保子、森下佳美
臨床工学技士	阿部誠
沖縄県保健師・助産師・看護師実習指導者講習会修了	山城奈保子

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 21.4 名

病床利用数 4.1 床

在院日数 9.8 日

その他の ICU の業務実績は患者統計のページをご覧ください。

平成 30 年度目標

1) 安全な医療の提供

- ・インシデント件数 20 件 / 年以下 (0 件 / 月)
- ・患者誤認 0 件 / 年 ・内服・点滴関連 0 件

2) PNS 看護方式の向上

- ・夜勤のタイムアウトの構築
- ・チェックリスト用いて個人のスキル UP
- ・プロジェクトチーム活動の継続・勉強会 2 回 / 月

3) 病院機能評価に向けて

- ・マニュアルの整理

4) 患者サービスの向上

- ・接遇クレーム 0 件 / 年 ・感染対策の強化 (ICU 伝播 0 件 / 年)

5) 人材育成

6) 病棟稼働率

3 指標

病床利用数・6 床 新規入院患者数・35 名 在室日数・5.2

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
せん妄予防対策としての ICU 面会時間延長の有効性について	日本集中治療学会	京都	2019 年 3 月 1 日～3 日	石戸谷也寸志、正野貴則

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
AHABLS プロバイダーコース	日本 ACLS 協会	沖縄	2018 年 4 月 28 日	正野貴則・アーノルド寿々奈
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	沖縄	2018 年 5 月 23 日	新垣美久
看護研究	沖縄県看護協会	沖縄	2018 年 5 月 26 日	池根悠太
認知症ケア役立つタクティカルケア	沖縄県看護協会	沖縄	2018 年 5 月 29 日	山城奈保子
医療安全の動向と法的責任	看護協会	沖縄	2018 年 5 月 30 日	富里康太
感染管理ベストプラクティス	沖縄県感染管理認定看護師会	沖縄	2018 年 6 月 22 日	玉城玲奈
看護職と倫理（管理者編）	看護協会	沖縄	2018 年 7 月 1 日	洲鎌正子
看護職と倫理	沖縄県看護協会	沖縄	2018 年 7 月 4 日	洲鎌正子
効果的なプレゼンテーション	沖縄県看護協会	沖縄	2018 年 7 月 14 日	正野貴則
看護実践能力を育てる	沖縄県看護協会	沖縄	2018 年 7 月 19 日	山城奈保子
災害看護の備え	沖縄県看護協会	沖縄	2018 年 7 月 28 日	勝連しのぶ 池根 祐太 洲鎌正子
看護必要度	日本総合研究所	大阪	2018 年 7 月 28 日	伊藤諒
リーダーシップ研修	沖縄県看護協会	沖縄	2018 年 7 月 31 日	玉木紀光
感染管理ベストプラクティス	沖縄県感染管理認定看護師会	沖縄	2018 年 8 月 24 日	玉城玲奈
18 重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者 研修	日本看護マネージメント学会	沖縄	2018 年 8 月 26 日	洲鎌正子
災害看護（管理者）	沖縄県看護協会	沖縄	2018 年 9 月 6 日・7 日	洲鎌正子 勝連しのぶ
クリテカルシミュレーション	沖縄クリテカル研究会	沖縄	2018 年 10 月 27 日	平川陽稀
JPTEC プロバイダーコース	JPTEC 協議会	沖縄	2018 年 12 月 8 日	仲村和士
RRS		沖縄	2019 年 1 月 26 日	洲鎌正子・アーノルド寿々奈
FCCS プロバイダーコース	日本集中治療教育	沖縄	2019 年 2 月 9・10 日	富里康太

年度総括

ICU は、急性機能障害に陥った患者さんの早期回復を目的に、全身管理を集中的に行なう部署です。平成 30 年度は、「安全な医療」「看護方式向上」「病院機能評価に向けて」「人材育成」「患者サービス」「病棟稼働率」の 6 つを目標掲げて取り組みました。

病棟稼働率は目標に届きませんでした。また、特殊治療動向より重症患者さんの減少が見られます。現在は、機械や技術の進歩により、低侵襲の手術増加傾向により、高侵襲手術後の患者さんの入室患者の減少傾向があります。又、慢性疾患急性増悪による入院減少が見られます。地域や医療施設での患者教育・指導、かかりつけ医との連携により、重篤化する前に適切な治療が行われている事も要因の一つと考えられます。

集中治療において、早期経腸栄養開始・早期リハビリテーションの実施は、在室日数短縮・人工呼吸期間・死亡率低下・呼吸機能・ADL 低下予防や合併症に有用とされています。入室患者の高齢化に伴い、せん

妄が発症するリスクが高くなります。発症する事によって、在院日数増加・全身状態の重篤化、患者の予後に影響を与えます。せん妄の予防・早期発見・早期離脱を、目指して、アセスメントツール使用、取り組みを行なっています。今後も、多職種と連携を行ない継続して質の高い医療、看護ケアを提供していきます。

安全管理では 35 件のインシデント発生がありました。部署の特徴としてドレーン、薬剤投与ライン関連のトラブルが多数占めています。部署全体で情報共有を行ない要因分析、対策を実施し安全な医療提供出来るように取り組んでいます。

人材育成や専門教育においては、部署の勉強会・院外セミナーなど、個々にて、積極的な参加があり、専門的な知識習得、学習意欲の向上が見られます。その一方で、ICU 経験年数の短いスタッフが多い為、勉強会を継続しました。勉強会の方法として参加型からスタッフ主催の勉強会も取り入れる事により、個々のスキルアップ、安全で質の高い看護を提供していきます。

今後、クリティカルケア認定看護師受講予定スタッフのスキル習得に向けて、研修・部署異動を実施し、3 年後の認定看護師育成目標に取り組んでいきます

東館 4・5 階病棟（産科・婦人科・女性混合）、産婦人科外来

東館 4・5 階病棟師長 平屋敷 加代

職員数

総数 36 名

助産師 18 名

正看護師 13 名

准看護師 1 名

看護補助者 3 名

クラーク 1 名

認定・資格など

氏名	取得資格
平屋敷加代	臨床指導者講習終了 管理者研修ファーストレベル終了 アドバンス助産師 看護必要度研修終了
原順子	アドバンス助産師
具志堅理沙	アドバンス助産師
仲宗根裕子	アドバンス助産師
江島純子	マタニティヨガ
榮奈々子	臨床指導者講習終了 アドバンス助産師
金城嘉奈子	アドバンス助産師
新城真鶴	アドバンス助産師
成田明日香	緩和ケア
東初美	緩和ケア
大田ちひろ	マタニティヨガ
長嶺明子	マタニティヨガ

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 109.8 名

病床利用数 23.2 床

在院日数 5.8 日

延べ患者数

1,276 人 / 月

52.3 人 / 日

分娩件数

587 件

研究業績

発表

演題	学会名	開催地	発表年月日	発表者
クリティカルパス大会	看護部教育委員	当院	2018 年度 7 月 20 日	仲宗根裕子
看護研究発表予選会	看護部教育委員	当院	2018 年度 10 月 26 日	川崎綾乃
中堅研修 1- ⑦	看護部教育委員	当院	2018 年度 11 月 30 日	山内芳

演題	学会名	開催地	発表年月日	発表者
2 年目症例報告会	看護部教育委員	当院	2018 年 12 月 21 日	伊佐朋子、松間貴世、外間椎都、奥田美奈子
1 年目症例報告会	看護部教育委員	当院	2019 年 1 月 25 日	仲井間梨理、下地夕希

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
診療報酬改定研修	日本看護協会	沖縄県看護協会	2018 年 4 月 6 日	平屋敷加代
就職説明会	琉球新報	コンベンションセンター	2018 年 4 月 7 日	平屋敷加代
別科実習調整会議	県立看護大別科	県立看護大学	2018 年 4 月 25 日	川崎綾乃
ティーチングアシスタント	那覇看護専門学校	那覇看護専門学校	2018 年 5 月 1 日	松間貴世
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2018 年 5 月 16 日	仲井間梨理
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2018 年 5 月 23 日	下地夕希
ティーチングアシスタント	那覇看護専門学校	那覇看護専門学校	2018 年 5 月 24 日	松間貴世
特定妊婦連携会議	西原町要対協	西原町役場	2018 年 6 月 14 日	平屋敷加代
沖縄県看護協会総会	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2018 年 6 月 16 日	平屋敷加代
南部管轄連携会議	南部保健所	南部保健所	2018 年 6 月 25 日	平屋敷加代
看護連盟総会			2018 年 6 月 30 日	宮里夏樹
浦看カフェ	浦添看護学校	浦添看護学校	2018 年 6 月 30 日	下地夕希
認定看護管理者ファーストレベル	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2018 年 7 月 3 日～8 月 14 日	平屋敷加代
リフレッシュ研修	看護部教育委員	県総合運動公園	2018 年 7 月 12 日	仲井間梨理、下地夕希、狩俣愛
県立看護大 助産メンター会議	県立看護大学	県立看護大学	2018 年 7 月 12 日	川崎綾乃
ポリナビワークショップ			2018 年 7 月 17 日	
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	日本看護協会	沖縄県看護協会	2018 年 8 月 14 日、15 日	本村いづみ
里帰りトレーニング	那覇看護専門学校	那覇看護専門学校	2018 年 8 月 15 日	仲井間梨理
看護必要度研修	沖縄県看護協会	沖縄県看護協会	2018 年 8 月 26 日	平屋敷加代
県立看護大 助産実習報告会	県立看護大学	県立看護大学	2018 年 9 月 27 日	川崎綾乃
看護連盟 リーダー研修	看護連盟	ハーバービューホテル	2018 年 10 月 27 日	宮里夏樹
いいお産の日	沖縄県助産師会	沖縄こどもの国	2018 年 11 月 9 日	伊佐朋子、松間貴代、新城真鶴、
沖縄県看護大助産別科事例発表	沖縄県看護大助産別科	沖縄県立看護大学	2019 年 3 月 4 日	具志堅理沙
宜野湾市近隣産科連絡会		宜野湾保健所	2019 年 3 月 5 日	諸喜田睦子
沖縄県看護大助産別科実習連絡会	沖縄県看護大助産別科	沖縄県立看護大学	2019 年 3 月 26 日	具志堅理沙

年度総括

平成 30 年度は下記の 5 つを病棟目標としてあげました。

1. 安全な医療：インシデントの共有と速やかな問題分析と対策、患者誤認 0 件、コミュニケーションエラーをなくす。
2. 人材の育成：新人の育成 リーダー Ns の育成 各セクション業務が支障なく行えるスタッフの育成
3. 私たちが目指す周産期看護：
 - ・ 外来業務の充実 助産外来の拡大 外来病棟間の連携
 - ・ 安全なお産
 - ・ 安心な育児へつなげる 保健指導の充実 退院後の健診
4. 継続した看護：外来から入院、退院から外来への連携
5. 接遇：あいさつ、笑顔、丁寧な言葉使い

東館 4・5 階病棟は、5 階が産科病棟として分娩・産褥期・新生児を扱い、4 階では婦人科疾患、乳線外科なども含めた女性混合病棟。そして産婦人科外来です。平成 30 年度は病棟が移転してからの新年度でした。分娩件数が前年度より 171 件増加し、それに伴い外来での健診や保健指導も急増しました。安全なお産と安心な育児を目標に、外来からの保健指導、分娩中・産褥のケア、更には退院後のフォローまで、これまでのケアの質を保つためチームで補完してきました。しかし、患者の増加に反比例し、スタッフの産休などで、補完しきれない状況も発生しています。

母子健康包括事業からの産後健診についても、平成 31 年度より各市町村によって開始になることへの準備段階で、実践まで至ることが出来ませんでした。そこで、新たな取り組みとして、病棟目標ごとでチームを分け、それぞれで問題点、改善の余地があることを話し合い、業務改善を行っています。また、医師とのコミュニケーションエラーをなくすため、カンファレンスなどで治療方針を話し合い、スタッフへの周知と、必要な勉強会を行いました。新たに産婦人科医の総回診を始めました。

人材育成については新人 3 名入職のうち、年度内までに 2 名が退職となり、今後の課題となりました。今後さらに分娩件数の増加が見込まれ、外来業務の拡大が予測されます。より安全なお産、安心な育児につなげられるよう取り組んでいきます。

3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科・形成外科）

3 階病棟師長 屋宜 鮎美

職員数

総数 41 名

正看護師 35 名

看護補助者 5 名

認定・資格など

氏名	認定・資格・終了
屋宜鮎美	医療安全管理者 認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講終了 実習指導者研修受講修了 病院看護師のための認知症対応力向上研修会修了 認知症ケア加算Ⅱ対象 新人看護職員研修実施指導者研修 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修終了
奥間有太郎	実習指導者研修受講修了 新人職員研修実施指導者研修受講修了証習得 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
大見謝奈々	病院看護師のための認知症対応力向上研修会修了 認知症ケア加算Ⅱ対象
宮里誠	下部尿路機能障害の治療とケア研修修了
嘉数勇人	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修終了 認知症ケア加算Ⅱ対象
松村優美	新人職員研修実施指導者研修受講修了証
福末直史	呼吸療法士認定
比嘉由布香	日本糖尿病療養指導士認定

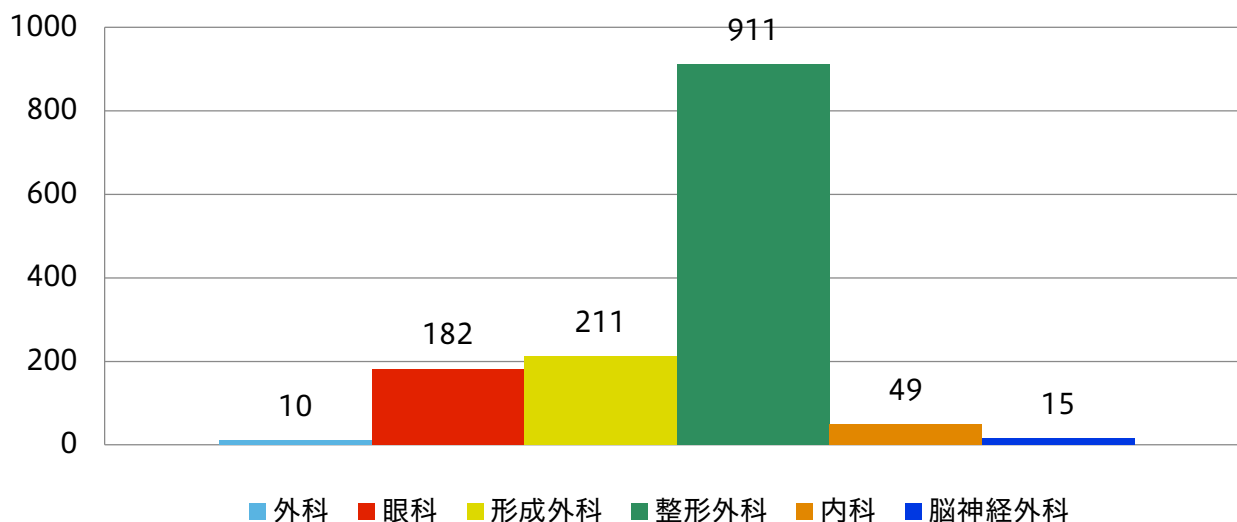
月平均入院患者状況

新規入院患者数 114.2 名

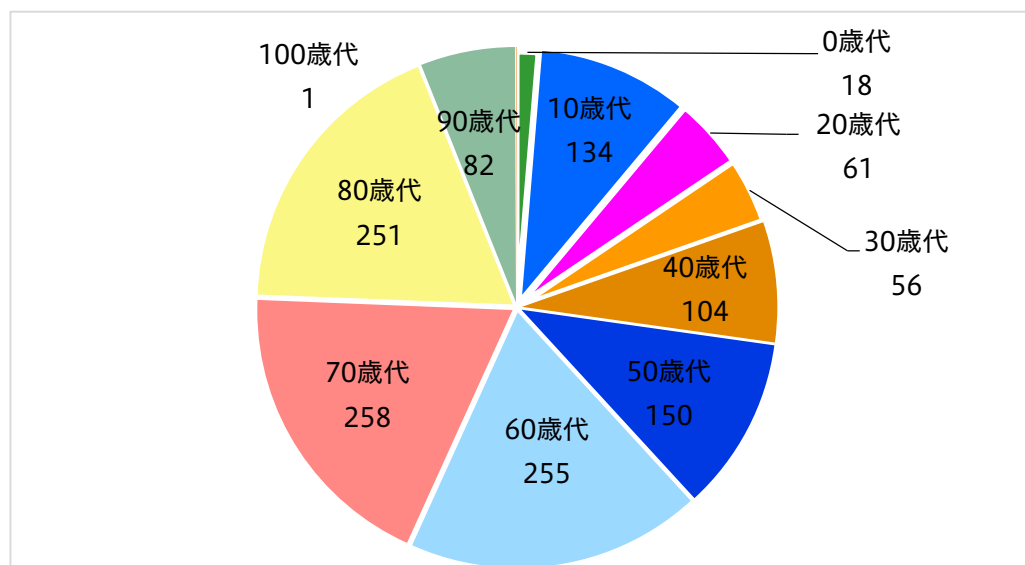
在院日数 13.4 日

病床利用数 52.3 床

診療科別手術件数



入院患者年齢分布



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
穿頭ドレナージ術後の統一したドレーン固定方法の実践	日本脳神経看護研究学会	宮城県	2018/10/13	大見謝奈々・永村麻衣子・嘉数勇人

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
H30 年度 診療報酬・介護報酬改定説明	看護協会	南風原町	2018 年 4 月 13 日	屋宜鮎美
認知症・緩和ケアに役立つタクティールケア	看護協会	南風原町	2018 年 5 月 29 日	永村麻衣子・城間一輝
地域包括ケアシステム構築にむけた取り組み	看護協会	南風原町	2018 年 7 月 5 日	奥間有太郎・大見謝奈々
糖尿病医療学から学ぶ事例検討会	中部地区医師会糖尿病ネットワーク	院外	2018 年 9 月 19 日	比嘉由布香
日本コンチネンズ協会 沖縄県支部コンチネンズ初級セミナープログラム	日本コンチネンズ協会	院外	2018 年 9 月 15 日～16 日、2018 年 10 月 6 日～7 日、2018 年 11 月 4 日	宮里誠
認知症ケアの実際	看護協会	南風原町	2018 年 10 月 10 日	東江隼人
リーダーシップ研修Ⅰ～チーム力を高めるリーダーシップを学ぼう～	看護協会	南風原町	2018 年 10 月 5 日	前田力・比嘉由布香
高次脳機能障害を持つ患者の看護	看護協会	南風原町	2018 年 10 月 18 日	渡口純
重症度・医療・看護必要度 評価者 院内指導者研修	看護協会	南風原町	2018 年 8 月 26 日	屋宜鮎美
認知症高齢者の看護実践に必要な知識 認知症ケア加算Ⅱ対象	看護協会	南風原町	2018 年 8 月 14 日～15 日	嘉数勇人
不隠患者への看護介入とチームアプローチ	看護協会	南風原町	2019 年 1 月 12 日	松村優美
現場で役立つ看護職のための栄養ケアのポイント	看護協会	南風原町	2019 年 1 月 16 日	金城実花
医療現場における苦情対応の基本的な考え方	看護協会	南風原町	2019 年 1 月 18 日	大見謝奈々
医療安全管理者養成研修	看護協会	南風原町	2010 年 1 月 18 日～25 日	屋宜鮎美

年度総括

3 階病棟は混合病棟でありそれぞれの診療科の専門的知識が求められます。正確な知識や技術を身に付け、患者さんとその家族を尊重した看護の実践を目標としてきました。取り組みとして、部署特有の疾患や周術期の看護、また経験年数別の勉強会を積極的に開催する事ができました。そして、呼吸療法士、糖尿病指導士と 2 人のスペシャリストも誕生しました。これからは、スタッフがさらに知識を向上させ、看護ケアの実践に活かす事ができるようにしていきます。

医療安全に関しては、安全ポスターを作成し安全行動の意識づけに取り組みました。しかし、下半期にインシデント件数が増加しており、新人看護師の一人立ちやひとりで行なう業務が拡大し、多重業務や行動の確認不足が要因と考えられます。よって、マニュアル遵守の徹底、業務改善にもさらに取り組む必要があります。0、1 レベルのインシデントレポート報告を増やし、スタッフ全員で安全意識づけの強化を図っていきます。

入院患者の特徴として、ADL の変化に伴い退院支援が必要となります。そのため定期的な多職種カンファレンスを実施し、多方向からのアセスメントによって、患者が安心して退院できるよう関わっています。3 指標目標を念頭におきながらも、多職種連携し患者が納得できる退院支援を心がけています。

外科病棟であり手術件数も増加しています。病床も 56 床と多く多忙ではありますが、スタッフ同士のコミュニケーションも良好であり、いつも協力しながら業務できる風土は継続していきます。ワークライフバランスを考慮し、希望の休みが取得できる勤務体制を整えることも継続していきたいと思います。

東 2 階病棟（旧 3 階新病棟）

東館 2 階病棟師長 宮城 つかさ

職員数

総数 19 名

正看護師 17 名

看護補助者 2 名

認定・資格など

氏名	認定・資格・終了
石川由希	感染管理認定資格 呼吸療法認定資格
仲眞菜都美	認知症加算Ⅱ対象研修終了証習得
宮里伸也	認知症加算Ⅱ対象研修終了証習得 呼吸療法認定資格
安次嶺徹	認知症加算Ⅱ対象研修終了証習得
與那嶺史子	呼吸療法認定資格
山城敏裕	呼吸療法認定資格
宮城つかさ	認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修終了証 新人看護職員研修実施指導者研修終了証 2018 年重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修終了証

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 34.3 名

在院日数 8.5 日

病床利用数 6.5 床

在宅復帰率 90.1%

重症度・医療・看護必要度 82.4%

活動実績

研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
診療情報改訂説明会	看護協会	南風原町	2018 年 4 月 13 日	宮城 つかさ
日本感染管理 ベストプラクティスセミナー	日本感染管理ベ ストプラクティス研究会	大阪	2018 年 5 月 12 日	石川 由希
フレッシュマン研修	看護協会	南風原町	2018 年 5 月 23 日	具志亮太
看護協会総会	看護協会	南風原町	2018 年 6 月 16 日	宮城 つかさ
沖縄県看護連盟総会	看護協会	南風原町	2018 年 6 月 30 日	宮城 つかさ
訪問看護の基礎	看護協会	南風原町	2018 年 7 月 12 日	宮里 奈央
効果的なプレゼンテーション技法を学ば う	看護協会	南風原町	2018 年 7 月 14 日	石川 由希
リーダーシップ研修	看護協会	南風原町	2018 年 7 月 30 日	宮里 奈央
重症度・医療・看護必要度評価者院内指 導者研修	看護協会	南風原町	2018 年 8 月 26 日	宮城 つかさ
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	看護協会	南風原町	2018 年 8 月 14 日～ 15 日	仲眞 菜都美
沖縄県認知症ケア対応向上研修	沖縄県 認知症ケア実践研究会	中城村	2018 年 9 月 10 日	宮里 伸也
心不全看護	看護協会	南風原町	2018 年 10 月 25 日	ウイルソンゆう子
JSEPTIC 看護部セミナー	JPEPTIC 看護部会	那覇市	2018 年 10 月 13 日	石川由希
フィジカルアセスメント	看護協会	南風原町	2018 年 11 月 29 日	城間ほたる
フィジカルアセスメント	看護協会	南風原町	2018 年 11 月 30 日	嘉数明果音
摂食嚥下・嚥下障害のある患者の看護	看護協会	南風原町	2018 年 12 月 4 日	山城 敏裕

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
精神科障害をもつ患者の退院支援と地域ネットワーク	看護協会	南風原町	2018 年 12 月 6 日	宮里奈央
人工呼吸器管理の基礎と患者ケア	看護協会	南風原町	2018 年 12 月 13 日	城間ほたる
不穏患者への看護介入	看護協会	南風原町	2019 年 1 月 12 日	仲真菜都美
現場で役立つ栄養ケアのポイント	看護協会	南風原町	2019 年 1 月 16 日	山城敏裕 嘉数明果音
感染管理認定看護師の為にディベロップメント	HAICS	東京	2019 年 1 月 12 日 ～ 13 日	石川由希
院内急変を未然に防ぐ	日本医療マネージメント学術集会	那覇市	2019 年 1 月 26 日	安次嶺徹
沖縄県看護職員認知症対応向上研修	沖縄県認知症介護指導者会	那覇市	2019 年 2 月 5 日 ～ 7 日	安次嶺徹

年度総括

2018 年度の病棟目標は、1. 安全な医療の提供（トラブル件数 30 件以下）2・人材育成 3・カンファレンスの充実を目標にしました。

安全に関しては、トラブル件数 30 件以下を目標にしていたのですが、45 件の報告があり、そのうち 0 ～ 1 レベルの報告が 20 件でした。0 ～ 1 レベルの報告が増えてきており、安全に対する意識が高まったと考えられます。

人材育成に関しては、新人・中途入職の方向けに、教育委員が中心にミニ勉強会を 6 回程開催しました。次年度は、スタッフ持ち回りで勉強会ができる様に教育委員を中心に取り組んでいきます。

カンファレンスの充実に関しては、入院時にカンファレンス日をホワイトボードに記入し、朝にリーダーが、本日のカンファレンス患者を伝え、状況をみて声掛けし継続して行う事ができました。又、入院時の患者情報をワードパレットを作成し、患者の普段の日常生活状況が分かるように取り組みました。患者の入院前の情報がわかり、退院支援カンファレンスが取り組みやすくなったと考えられます。

東 2 階病棟の特徴として、ICU の隣にある混合病棟で、満床時は ICU から患者が転床してくる部署です。色々な科の患者が入院してくる中でもスタッフが協力して看護ケアに取り組めた 1 年でした。

4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）

4 階病棟師長 米須 智子

職員数

総数 38 名

正看護師 34 名

准看護師 1 名

看護補助者 2 名

クラーク 1 名

認定・資格取得など

氏 名	認定・資格・修了
高宮 里沙	緩和ケア認定看護師取得
米須 智子	実習指導者研修終了、 認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修終了、 18 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修終了
半嶺 梢	実習指導者研修終了
與那覇 亜紀子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修終了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修終了
新里 紗希果	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修終了 重症度、医療・看護必要度評価者院内指導研修終了 呼吸療法認定士
末吉彩夏	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修終了
与那嶺美咲	下部尿路機能障害の治療とケア研修終了
平良勇	日本ストマリハビリテーション学会周手術期ストマ研修終了

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 131.8 名

病床利用数 46.3 床

在院日数 10.5 日

退院後訪問実績

2018 年度 10 件（前年度比プラス 4 件）

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
診療報酬改定について	看護協会	南風原町	2018 年 4 月 6 日	米須智子
フレッシュマン研修	看護協会	南風原町	2018 年 5 月 9 日、 5 月 16 日、5 月 23 日	名嘉真幸子、山城綾乃、 長堂美鈴
エンドオブライフケア助・看護師養成基礎講座	エンドオブライフケア協会	南風原町	2018 年 5 月 26 日 ～27 日	上原沙織
ストマケアの実践	コンパテックジャパン	那覇市	2018 年 5 月 26 日	宮城辰吏、宇久田莉未 菜、名嘉真幸子
認知症高齢者の看護実践に必要な知識	日本看護協会	南風原町	2018 年 8 月 17 日	末吉彩夏
終末期をどう迎えるか	看護協会	院外	2018 年 8 月 31 日	上原沙織

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
18 重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修	看護協会	南風原町	2018 年 8 月 26 日	米須智子
消化器外科（治療と看護）	医学の友社	県外	2018 年 9 月 10 日	米須智子、名嘉眞幸子
日本コンチネンス協会 沖縄県支部コンチネンス 初級セミナープログラム	日本コンチネンス協会	院外	2018 年 9 月 15 日～ 16 日、10 月 6 日～ 7 日、11 月 4 日	与那嶺美咲
ストマケア	看護協会	院外	2018 年 11 月 14 日	名嘉眞幸子
看護サービスにおける経済性	看護協会	南風原町	2018 年 12 月 8 日	米須智子
医療現場における苦情対応の 基本的な考え方	看護協会	南風原町		

年度総括

2018 年度目標を 1. 安全、2. 人材育成、3. PNS 確立として部署運営を行ってきました。方針としては①患者さんを第一に考える事が出来る。②出会う人を「大切な人」と思い行動することができる。として病棟の育成を行なっています。今年度は教育担当スタッフの活動により医師からの病棟勉強会を継続的に行なえた事、中堅研修での取り組みにより多職種カンファレンスが充実した事が人材育成に繋がっていると考えます。カンファレンスをする事で患者さんの見方が育ち、新しい知識を習得でき、個人の体験をチームが共有することでチーム全体の技術水準の向上に繋がったと実感できました。多職種カンファレンスにより高齢の患者さんが手術後、早期に元の生活に戻る事ができました。高齢化社会に伴い、外科的手術を行う患者層も高くなり個々に合わせた看護が重要になっています。次年度も多職種カンファレンスを継続し患者の早期退院につなげていきたいと思ひます。

また、当病棟はがんの患者さんが入院しています。急性期と終末期が混在しているなかスタッフは終末期看護に対して「多忙業務の中、終末期患者へ十分なケアが提供できない。患者・家族への配慮ができない」などのジレンマを抱えていました。2017 年度に、緩和認定看護師が誕生し当病棟所属で活動を行なっています。緩和認定看護師からの勉強会とその認定看護師の患者さんとの関わりの中から、スタッフは終末期患者への声掛けの方法を学ぶことが出来ています。カンファレンスの中からは、終末期患者さんの要望に応えられるよう個性にあった看護をおこない患者・家族の喜びから看護のやりがいに繋がっています。看護師離職率も 2017 年度と比較して 45% 減となっています。多重業務で日々多忙の中でも看護のやりがいを見だし働きがいのある病棟作りを意識していきたいと思ひます。

5 階病棟（消化器内科・小児科）

5 階病棟師長 崎山 久美

職員数

総数 41 名

正看護師 33 名

看護補助者 6 名

准看護師 2 名

認定・資格取得など

氏名	認定・資格・終了
崎山久美	認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講終了
大城祥子	実習指導者研修受講修了 新人職員研修実施指導者研修受講修了証習得
知念晶子	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修終了 認知症ケア加算Ⅱ対象
富里理恵	認知症高齢者の看護実践に必要な知識研修終了 認知症ケア加算Ⅱ対象
金城竜弥	実習指導者研修受講修了
知念晶子	重症度・医療看護必要度指導者研修受講修了証習得
我謝要子	重症度・医療看護必要度指導者研修受講修了証

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 172.3 名

病床利用率 47.6 床

在院日数 8.2 日

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
H30 年度 診療報酬・介護報酬改定説明	看護協会	南風原町	2018 年 4 月 13 日	崎山久美
認知症・緩和ケアに役立つタクティールケア	看護協会	南風原町	2018 年 5 月 29 日	池村智子
日本アレルギー学会	日本アレルギー学会	県外	2018 年 7 月 28 日・29 日	平出彩夏
終末期をどう迎えるか	看護協会	南風原町	2018 年 8 月 31 日	東江舞子
18 重症度・医療・看護必要度評価者院内指導者研修	看護協会	南風原町	2018 年 8 月 26 日	崎山久美
糖尿病医療学から学ぶ事例検討会	中部地区医師会糖尿病ネットワーク	院外	2018 年 9 月 19 日	富原今日子
日本医療マネジメント学会	日本マネジメント学会	大浜病院	2019 年 1 月 26 日	崎山久美・金城竜弥・照喜名朝郁・港川誉志也

年度総括

5 階病棟は、消化器内科と小児科の混合病棟です。内視鏡治療技術が発達し、胃がんも早期に発見できれば 1 週間程の入院期間で治療し退院できます。その他、大腸ポリープ切除術や肝生検など短期滞在の入院も多く、加えて小児の入院患者の入院期間は 5 日前後と短いため、病棟平均在院日数は 8.0 日となっています。新規入院患者数は 172.3 人 / 月と目標より 101% の達成率となり、今年度も入退院の激しい一年となりました。

部署の特徴として、消化器疾患以外の肺炎や尿路感染症などで入院してくる高齢者も多く入院します。0 歳から 100 歳以上まで、対象とする年齢層は幅広く、各発達段階に応じた治療や看護の専門性が求められます。近年、高齢者や認知症を有している患者さんの割合が多くなっています。

介護の場面で起こるスキンケアの発生率が増加傾向にある現状から、今年度はスキンケアを予防する取り組みをスタッフが主体となって取り組みました。部署で発生しているスキンケアの発生要因を分析し、皮膚の仕組みからスキンケアの実際・安全な体位変換・移乗方法などの勉強会を行いました。又、入院時評価～ケア方法の選択・実施までマニュアルを作成し実践しました。スキンケアに対するスタッフの意識が高くなり、取り組み開始後、車椅子移乗時に発生するスキンケアの件数が減少しています。次年度も継続して実践していきたいと思います。

その他、入院時から退院を見据えたチーム医療を実践できるよう、多職種による退院支援カンファレンスを開始しました。入退院が激しく忙しいからこそ、ひとりひとりの患者さんについて多職種で話し合い、情報を共有することが重要です。カンファレンスの方法に関して検討していく必要がありますが、次年度は退院支援看護師を配置し、入院早期から介入していけるよう取り組んでいきたいと思います。

6 階病棟（血液内科・腎臓内科）

6 階病棟師長 本田 由佳理

職員数

総数 40 名

正看護師 35 名

准看護師 1 名

看護補助者 4 名

認定・資格取得など

氏名	取得資格など
本田 由佳理	がん化学療法看護認定看護師 沖縄県緩和ケア研修修了 認定看護管理者教育課程ファースト研修終了
金城 隆也	学会認定アフェーシスナース 重症度・医療・看護必要度研修修了 認知症ケア加算2対応研修修了 平成 25 年度同種造血細胞移植後フォローアップのための看護師研修会
呉屋 友美	呼吸療法認定士 沖縄県緩和ケア研修修了
山城 由衣	認知症ケア加算対応研修修了 呼吸療法認定士研修終了
知念 真名美	呼吸療法士認定士
平良 ゆかり	沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会受講
玉木 夕菜	沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会受講
宮里 瀬奈	呼吸療法士認定士
宮城 杏子	沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会受講
外間 勝貴	沖縄県緩和ケア研修修了

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 68.5 名

在院日数 18.6 日

病床利用数 41.8 床

化学療法件数

約 700 件

末梢血幹細胞移植（自家移植）

4 件

骨髄移植件数 造血幹細胞移植（臍帯血）

6 件

造血幹細胞採取（同種移植）

8 件

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
化学療法認定看護師と共働した口腔ケア	日本口腔ケア学会学術集会	福岡	2018 年 4 月 28 日	幸喜奈緒子、本田由佳理

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
フレッシュマン研修	沖縄看護協会	沖縄看護協会	2018 年 5 月 9 日、16 日、23 日	山城初音、島袋美帆、内間千春、安里美姫
認定看護管理者教育課程	沖縄看護協会	沖縄看護協会	2018 年 7 月 3 日、8 月 14 日	本田由佳理
認知症高齢者の看護実践に必要な研修「認知症ケア加算 2」対応研修	沖縄看護協会	沖縄看護協会	2018 年 7 月 30 日	金城隆也
新人看護職員研修 実施指導者研修	沖縄看護協会	沖縄看護協会	2018 年 11 月 27 日～29 日	安里紀子
フィジカルアセスメント	沖縄看護協会	沖縄看護協会	2018 年 11 月 29 日～30 日	與那嶺果林、島袋麻衣
リーダーシップ研修	沖縄看護協会	沖縄看護協会	2018 年 12 月 7 日	呉屋友美
新人看護職研修 教育担当研修	沖縄看護協会	沖縄看護協会	2019 年 2 月 1 日～5 日	呉屋友美

年度総括

血液内科病棟では、血液疾患患者の他、骨髄移植やドナー採取など施行しており長期入院患者が年々増えています。病状の進行と共に治療の効果なく急変する場合も少なくありません。私たち看護師は急変時の対応を念頭にできるだけ患者に寄り添いながら安全な安心してもらえるようなケアが提供できるよう日々努力しています。

平成 30 年度の病棟看護目標は安全意識の向上と教育・業務改善・感染対策に取り組んできました。安全意識の向上の中で PNS の質の向上を重要視し、中堅研修でもテーマとなって取り組んだこともあり教育の視点からも PNS の基礎知識を理解しパートナーシップマインドを大切にすることを理解できてきました。また担当ルームの固定化を変更し、各ウィングの業務の進め方も工夫するようになっていきます。しかし、パートナーとのコミュニケーション不足によるインシデントや機能別の動きが負担となることも問題として出てきており、振り返りながら課題と見直しを継続していく必要があります。

教育の視点では、個々のスキルアップで研修会など参加していますが、部署への伝達が出来ていないため情報共有不足の課題があります。また新人教育では、プリセプターへの負担が強くなり管理者のサポートが不足していました。その結果 2 人の退職や異動という結果となり、大きな課題があると同時に、1 年間の研修を終えた新人の自信を持った前向きな成長も見られています。

看護師は退職や移動によりマンパワー不足で遅出のフリー業務が無くなり、リーダーや個々の業務負担が増え、コストの削減ができていません。今後、業務の見直しや助手との連携を図り、少しずつ改善していきたいと考えています。

7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科）

7 階病棟師長 島袋 すが子

職員数

総数 39 名

正看護師 32 名

准看護師 1 名

看護補助者 6 名

認定・資格等

氏名	認定・資格・修了
島袋すが子	慢性心不全認定看護師 認定看護管理者ファーストレベル修了 2018 年重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了
花城優子	2016 年重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修修了
伊佐友美	第 5 回院内緩和ケア研修会 2017 修了証書取得
宮城久美子	下部尿路機能障害の治療とケア研修修了 11386 コンチネンスセミナー初級コース課程修了証取得
當眞さゆり	栄養サポートチーム専門療法士認定証取得 認知症対応力向上研修修了証書取得
東江幸恵	第 4 回院内緩和ケア研修会 2016 修了証書取得
宮城秀成	リハビリ緩和加算研修修了 第 2 回院内緩和ケア研修会 2014 修了証書取得
宮城梨乃	認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了 新人看護職員研修実地指導者研修修了
水谷深雪	呼吸療法認定士
松原賛美	BLS 修了証 (AHA)
浦崎奈々瀬	第 64 回新おきなわ ICLS コース受講修了証取得
城間ゆずき	第 63 回新おきなわ ICLS コース受講修了証取得 認知症ケア加算Ⅱ対応研修修了
松田沙衣可	コンチネンスセミナー初級コース課程修了証取得
宮城穂	認知症対応力向上研修修了証書取得

業務実績

月平均入院患者状況

新規入院患者数 96 名

病床利用数 49 床

在院日数 14 日

重症度・医療・看護必要度

41%

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
診療報酬改定説明会	看護協会	南風原町	2018 年 4 月 6 日	島袋すが子
フレッシュマン研修	看護協会	南風原町	2018 年 5 月 9 日、5 月 16 日、5 月 23 日	谷香奈、平良末子 赤嶺健太、仲里理恵、山城真紀

研修名	主催	開催地	開催年月日	参加者
効果的なプレゼンテーション技法を学ぶ	看護協会	南風原町	2018 年 7 月 14 日	松原賛美
看護実践能力を育てる	看護協会	南風原町	2018 年 7 月 19 日	島袋すが子
リーダーシップⅡ	看護協会	南風原町	2018 年 7 月 31 日	上原慎
リーダーシップⅠ	看護協会	南風原町	2018 年 10 月 15 日	奈良成明、宮城梨乃
心不全看護	看護協会	南風原町	2018 年 10 月 25 日	宮城久美子、宮城梨乃、島袋すが子
入退院支援看護師研修	沖縄県 MSW 協会	浦添市	2019 年 3 月 2 日、3 日	松川光代

年度総括

7 階病棟は、肺炎で入院する患者が最も多く、2 番目に心不全が続きます。32%を両疾患で占め、次いで、喘息や心筋梗塞、心臓カテーテル検査・治療、肺癌の化学療法、COPD などがあげられます。平成 29 年度から始めたアブレーション治療は順調に件数を増やし、平成 30 年度は前年度の倍数に上がります。酸素療法やモニタリング、循環器ハイリスク薬の使用など看護ケア度が高いだけでなく、60 歳以上が 85%を占め認知症が多く、介護度が高いのも特徴のひとつです。

2018 年度の病棟目標は、入院患者の特徴とスタッフの強み・弱みを分析し設定しました。

1. 安全

- ①患者誤認防止
- ②転倒防止

2. 患者サービス向上

- ①患者ファーストケアの実践
- ②コミュニケーションの強化

3. スタッフ教育

- ①呼吸器・循環器プロジェクトチームの稼働
- ② PNS 実践

安全面では、患者誤認防止手順の徹底を図り、配膳間違いを含む患者誤認が減少できました。高齢者に多い転倒は、環境整備、抑制の検討、部署全体で情報共有を図り、3 レベルを前年度の半数以下に抑えることができました。患者サービス向上に向けて、接遇 10 カ条を掲げ、業務中心ではなく患者中心のケアが実践できるよう取り組みました。スタッフ教育では、プロジェクトチームを発足、循環器チームが救急外来の協力を得て、心臓カテーテル検査手順の標準化に向け見直す事ができました。又、呼吸器チームは退院後訪問指導に向けて業務改善に取り組み、HOT 患者を中心に前年度の倍以上の患者に対し訪問指導で介入する事ができました。肺癌患者に対しては、化学療法手順を作成し、薬剤師を含む多職種で安全に関わる事が可能になりました。財務の視点では、病床利用数は目標達成できましたが、ICU・HCU からの転床が多く新規入院患者が目標を下回りました。しかし、心不全患者の心臓リハビリテーション外来通院患者数と退院後訪問指導件数は目標をクリアする事ができました。

内視鏡センター

内視鏡センター師長代行 喜屋武 香織

職員数

総数 19 名（看護部所属）

看護師 13 名

助手 3 名

准看護師 3 名

認定・資格など

氏 名	認定・資格・修了
喜屋武 香織	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
渡久山 すえの	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
上江洲 さやか	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅱ
大城 敦	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
宮城 愛子	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
入与那国 好美	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
照屋 あづさ	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅱ
兼本 春奈	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ
伊佐 杏澄	日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡技師Ⅰ

業務実績

上部内視鏡検査

ERCP

10,932 件

145 件

大腸内視鏡検査

気管支鏡

2,938 件

52 件

詳細な検査・治療実績は「内視鏡センター」をご覧ください。

研究業績

院内研究発表会

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
上部内視鏡検査における咽頭麻酔法の工夫	院内研究発表会	当院	2018 年 10 月 26 日	大城 敦

活動実績

院内・院外研修実績

名称	主催	開催地	開催年月日	参加者
APC	MK 物産	当院	2018 年 4 月 8 日	喜屋武、渡久山、國仲、大城、照屋、宮城、松本、坂元

名称	主催	開催地	開催年月日	参加者
内視鏡自動洗浄装置&スケルトンスコープ	オリンパス	当院	2018 年 5 月 23 日	喜屋武、渡久山、上江洲、大城、前田、兼本、伊佐、宮城、足立、西改、松本、坂元、小嶺、幸地
内視鏡リカパリー急変	入与那国 伊佐	当院	2018 年 6 月 27 日	喜屋武、渡久山、國仲、上江洲、大城、入与那国、照屋、兼本、伊佐、宮城、足立、西改、松本、坂元
モビプレップ勉強会	EA ファーマー	当院	2018 年 7 月 3 日	喜屋武、渡久山、上江洲、前田、入与那国、照屋、兼本、伊佐、宮城、宮里、足立、西改、松本、坂元、小嶺、幸地
超音波内視鏡勉強会	オリンパス	当院	2018 年 8 月 21 日	喜屋武、渡久山、上江洲、大城、前田、照屋、兼本、伊佐、宮城、宮里、足立、西改、松本、坂元
潰瘍性大腸炎について	Dr 折田	当院	2018 年 9 月 20 日	渡久山、上江洲、大城、入与那国、照屋、兼本、伊佐、宮城、宮里、足立、西改、松本、坂元、
緩下剤について	薬局	当院	2018 年 10 月 23 日	喜屋武、渡久山、上江洲、大城、入与那国、照屋、伊佐、宮城、宮里、足立、西改、松本、坂元
大腸内視鏡検査時の腹部圧迫について	Dr 宮里	当院	2018 年 11 月 28 日	喜屋武、渡久山、上江洲、大城、前田、入与那国、照屋、兼本、伊佐、宮里、足立、西改、松本、坂元
ERCP スコープ洗浄方法	オリンパス	当院	2018 年 12 月 6 日	渡久山、前田、入与那国、照屋、兼本、宮里、足立、西改、松本、坂元、小嶺、幸地
救急領域（挿管介助・BLS）伝達講習	足立	当院	2018 年 12 月 21 日	上江洲、前田、入与那国、照屋、兼本、伊佐、宮城、宮里、足立、西改、松本
逆流性食道炎 バレット食道癌	Dr 仲本	当院	2018 年 12 月 27 日	喜屋武、渡久山、上江洲、大城、入与那国、照屋、兼本、伊佐、宮里、足立、松本
ERCP 処置具の勉強会	オリンパス	当院	2019 年 1 月 30 日	喜屋武、渡久山、上江洲、前田、入与那国、照屋、兼本、伊佐、宮里、足立、西改、坂元
ゼメックスクラッシャーカテーテル	MK 物産	当院	2019 年 2 月 5 日	喜屋武、渡久山、上江洲、大城、前田、入与那国、兼本、伊佐、宮里、足立、西改、松本、坂元
中堅Ⅱ 感染伝達講習	入与那国	当院	2019 年 2 月 15 日	喜屋武、渡久山、上江洲、大城、前田、入与那国、照屋、兼本、伊佐、宮里、足立、西改、普天間、松本、坂元、竹本

年度総括

1. 検査件数目標 上部 10,000 件、下部 3,000 件

⇒実績として上部 10,932 件、下部 2,938 件で上部は目標達成、下部は 62 件減少しました。

2. 検査終了時間 上部 12 : 15、下部 16 : 15

⇒実績 上部達成率 89%、下部達成率 87%

年明けに増改築が終了し、西ウィングと東ウィングに分かれて新たな運用となり、慣れない環境で多忙ながら業務整理を行い進めてきました。検査件数増加する中で、前年度と比較し目標達成率が向上しました。その理由として PNS でお互いの業務を補完し、目標を意識した行動が目標達成率の向上に繋がったと評価しています。

3. 機器管理の徹底

⇒故障件数 14 件（前年度比 7 件増）

検査件数増加で使用頻度、使用年数に伴い故障率も高くなります。故障発生時には、分析を行い、機器取扱いや点検方法の勉強会を開催し、周知しました。次年度は、故障件数減少に向けて取り組んでいきます。

4. 感染管理

今年は空調の変化に伴い、濃度判定回数が大幅に上回り、濃度が保たれているか培養検査を実施、結果基準値濃度を下回った箇所もありましたが、人体に影響するものではないとの判定でした。その後は回数を決め毎回培養検査に提出し、濃度が基準値をクリアしているかのチェックを継続しています。次年度は、洗浄機も新機種になる為、濃度チェックの取り決めを行い、感染に対する意識を強く心がけたいと思います。

5. 安全管理

インシデント 0 件の目標に対して 21 件あり、7 件は検査関連でした。それ以外のトラブル件数は 14 件で、0 レベルが 1 件、1 レベルが 17 件、2a レベルが 2 件、SO が 1 件でした。発生時は、分析を行い対策の立案し実施してきました。次年度は、0 レベルの報告を増やし K Y T を意識し、安全に取り組んでいきます。

6. W L B 確立

去年開催できなかった医師による勉強会が開催され、月 1 度の内視鏡技師問題の解答も継続し、今年度 4 名の内視鏡技師が誕生しました。院外研修、学会の参加は無かったので、次年度は学会発表に力を注ぎたいと思います。

次年度は、検査室 5 診体制から 6 診体制になり、検査件数も増加します。業務体制を整え安全管理を強化し、質の高い看護を提供できるように他部署とも協力しながら、スタッフ一丸となって取り組んでいきます。

看護部 年度総括



看護部長
古波倉 美登利

平成 30 年度は「安全」「患者サービスの向上」「人材育成」の 3 つの目標を柱とし 5 項目の具体的な課題を挙げ取り組みました。

財務の視点では、4 月にあった診療報酬改訂への対応として、継続した加算取得に向けた病院全体の取り組みへ参画し、看護部では重症度医療看護必要度の評価精度の質を上げ 7 対 1 入院基本料の加算取得の維持に務めました。又新たな加算取得では、入院時支援加算の取得に向け、入退院支援センター業務を拡充する取り組みを業務担当副部長を中心に行ないました。MSW や外来を含む部署間の連携強化を図り、入院前から退院後に向けた患者支援は、少しずつですが前進したように思います。年度の後半では、病棟退院支援看護師を選定し入退院支援の更なる充実を図る取り組みもスタートさせました。

顧客の視点では、今年度の大きな事業は、病院機能評価受審でした。チーム医療の関わりが重視された診療・看護のケアプロセス審査では、部署の垣根を超えて違う職種のスタッフと一丸となり取り組みました。日頃、多忙、多重な業務を遂行する上で簡素化されてきた記録を今一度見直し、業務やマニュアル等の変更や修正をするいい機会となり、職員の力の結集で乗り越えられた事だと感じています。

業務プロセスの視点では 医療安全の取り組み課題として分析、対策 実施 評価ができる安全風土の醸成を掲げ、安全担当師長や部会のメンバーを中心に取り組んでいきました。毎朝行う師長ミーティングでは、看護部内で起こったインシデントの共有のあり方を変え、報告で終わらせるのではなく要因対策に対する助言や提案等を他部署から積極的に行い安全意識の向上を目指す努力をしました。しかしヒューマンエラーに起因する内服ミスやアセスメント不足がインシデントにつながるケースは完全に防ぐことが容易でなく継続的に強化していく必要があります。H 28 年よりはじまった増改築は、内視鏡センターの改修工事を最後に 2 月に終了し設備や環境等が整備されました。工事期間中も、実績に大きな影響がなく終了をむかえられたのも該当部署のやりくりと他部署の協力があったからこそだと思います。

学習と成長の視点では、今年度、緩和ケア認定看護師と手術室看護認定看護師 2 名が新たに誕生しました。又看護管理では、セカンドレベルの研修会へ 2 名参加しました。新人の育成に関しては、今年 31 名の新卒看護師が入職しプリセプターのいき届いたサポートと本人達の頑張りが成果に結びつき 27 名が無事 1 年目の修了証書を手にすることができました。これも部署や病院スタッフ、そして何よりも患者さんやご家族の御理解、ご協力のお陰だと感謝いたします。

今後も看護理念に基づく感性豊かな心ふれあう看護を目指し邁進していけるよう安全面の強化、生活を重視したケアの提供、やりがいの感じられる職場環境づくりを心掛け努力して参ります。

医療技術部

部門紹介

医療技術部門は放射線科、臨床検査科、臨床工学科、栄養科、薬局、リハビリテーション科の6部署で構成され、チーム医療の一員として各診療科と連携し、それぞれ専門の有資格者が検査・治療及び機器管理の様々な面から診療をサポートしています。

各部署概要・実績

放射線科

放射線科技師長 石原 悟

平成30年5月に旧リハビリ室のあった本館改修部分に放射線科が移りCT装置1台の移設と3T-MRI室、一般撮影室の2室と全身用骨密度、口腔用パノラマの一体撮影室が増設されました。また、9階内視鏡センター改修に伴い新たにX線透視室を増設しX線装置が導入され、以前に放射線科受付があった場所は西館放射線科（70番）となり救急を主として一般撮影、CT検査を行っています。

今回新規に導入したX線装置はオートポジショニング機能を備え被検者のケアを行いながらリモコン操作でX線管の移動が可能となり、FPDとの組み合わせで撮影から画像描出まで安全でスピーディーに行うことが可能となりました。これにより検査時間が短縮され患者様の待ち時間対策にもつながっています。

3番撮影室には全身用骨密度装置と、口腔ケア科開設時より要望のあったパノラマ装置の設置、デンタルスポット撮影の高精細画像デジタル化を行い、更に精密な検査が行えることになりました。

年度末にはドックなどで使用する簡易型の骨密度装置を西館より移設致しました。CTに関しても5月に西館より1台のCTを移設したことで場所的にも動線がよく患者さんにも優しい設計となっています。

MRIに関しては今まで検査技師による1.5T-MRIの一台体制でありましたが平成30年5月に増設した3T-MRIを放射線科で運用開始し、当科主任技師を中心に現在3人の放射線技師と、検査技師が担当している1.5T-MRIの二台が稼働したことで、当院ではこれまでの倍の受け入れが可能となりました。

また、新たに内視鏡センターに導入された内視鏡専用X線透視装置は寝台の固定ができ、モニターも天吊りアーム式を採用したことで検査や治療がより安全で低被ばくで行えるようになりました。

人材に関しては昨年と今年度入職した技師を教育・トレーニングし当直業務が行える技師が増えたことで日直や当直者の負担の軽減につながりました。



GE社製全身骨密度装置



3T-MRI



口腔ケア・パノラマ装置

職員数

総数

20 名

職種別

診療放射線技師 19 名

助手 1 名

認定・資格

氏名	名称
宮城 竜也	基準撮影認定員
	胃がん検診専門技師
仲座 義富	アドバンス診療放射線技師
	第一種衛生管理者
	衛生工学衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
大城 盛寛	アドバンス診療放射線技師
	医用画像情報管理士
	核医学検査技能検定 3 級
与古田 拓	アドバンス診療放射線技師
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者

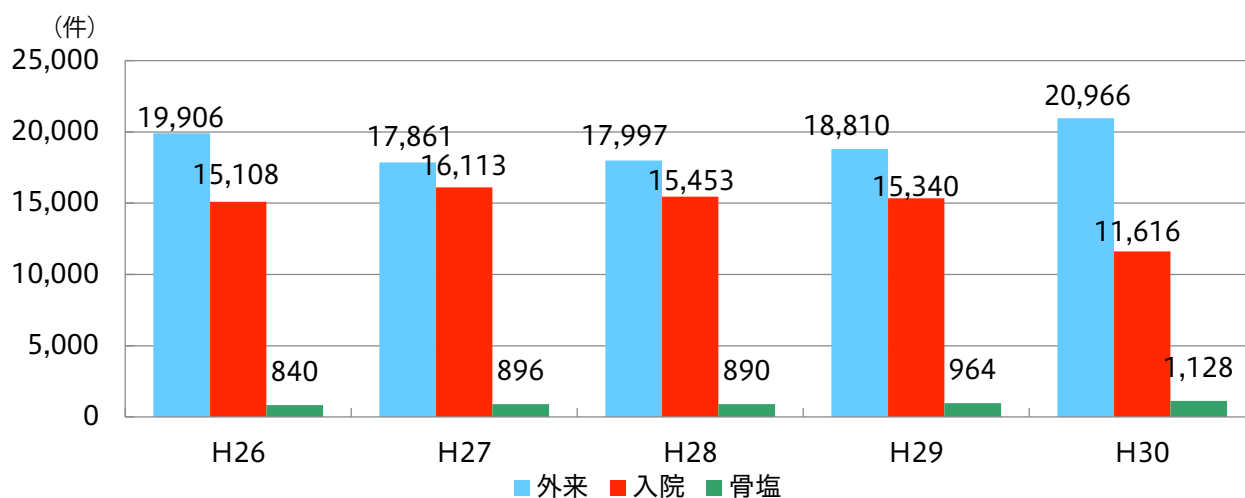
氏名	名称
松田 優二	X線CT撮影認定技師
	第一種衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
新垣 弘扇	検診マンモグラフィ認定技師
津波 麻利子	アドバンス診療放射線技師
	検診マンモグラフィ認定技師
新垣 千登勢	検診マンモグラフィ認定技師
程岡 美貴	検診マンモグラフィ認定技師
出津 利恵	検診マンモグラフィ認定技師
	X線CT撮影認定技師
宇江城 彩香	検診マンモグラフィ認定技師
島尻 豊久	胃がん検診専門技師

運営方針

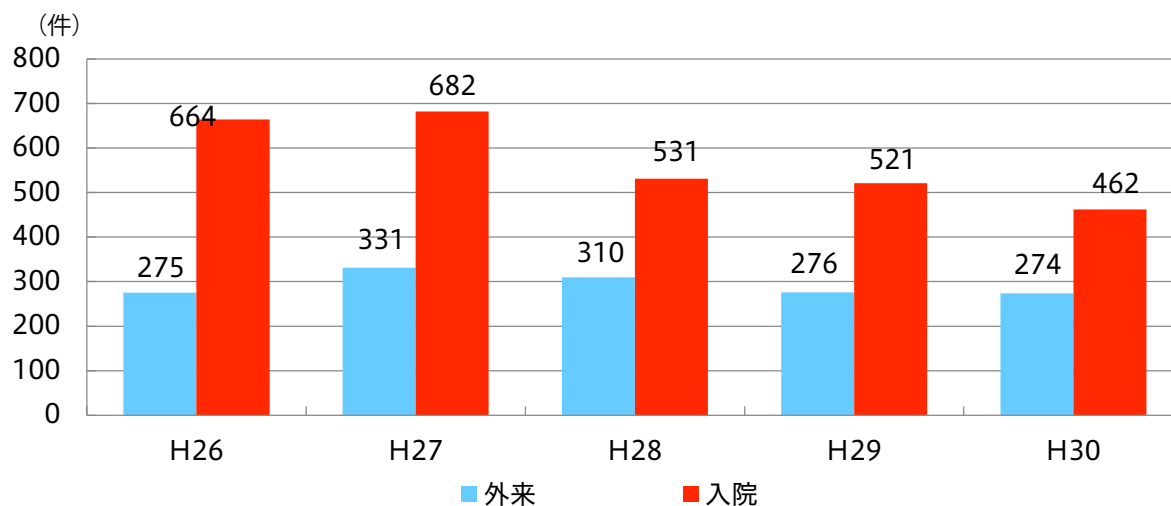
1. 患者さんの医療被ばく低減
2. 患者さんが安心して検査を受けられるためのインフォームドコンセント
3. 技師の技術向上
4. 安全な検査のための機器保守点検

検査・治療実績

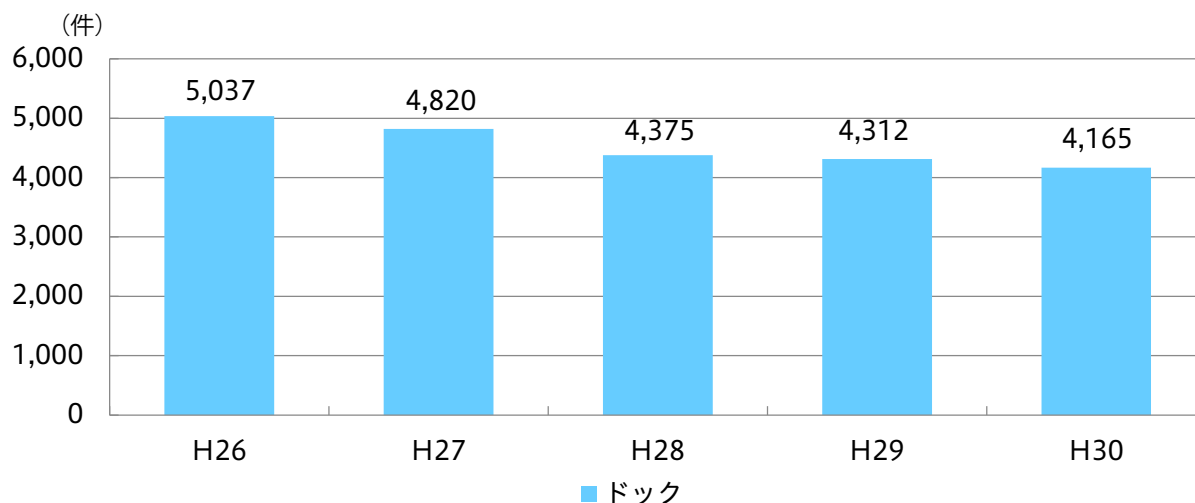
一般撮影



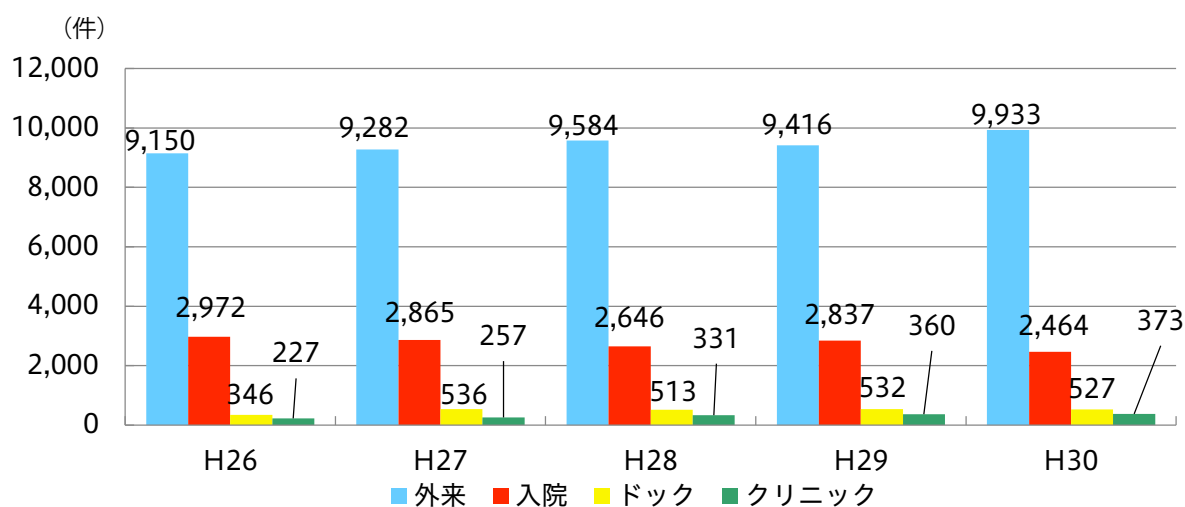
透視検査



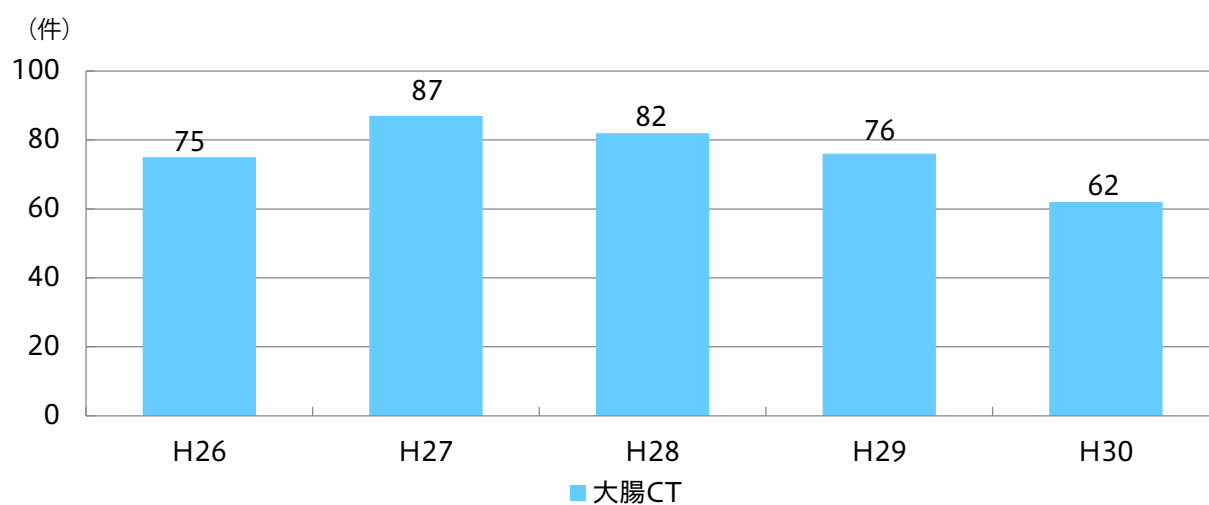
透視検査 (人間ドック)



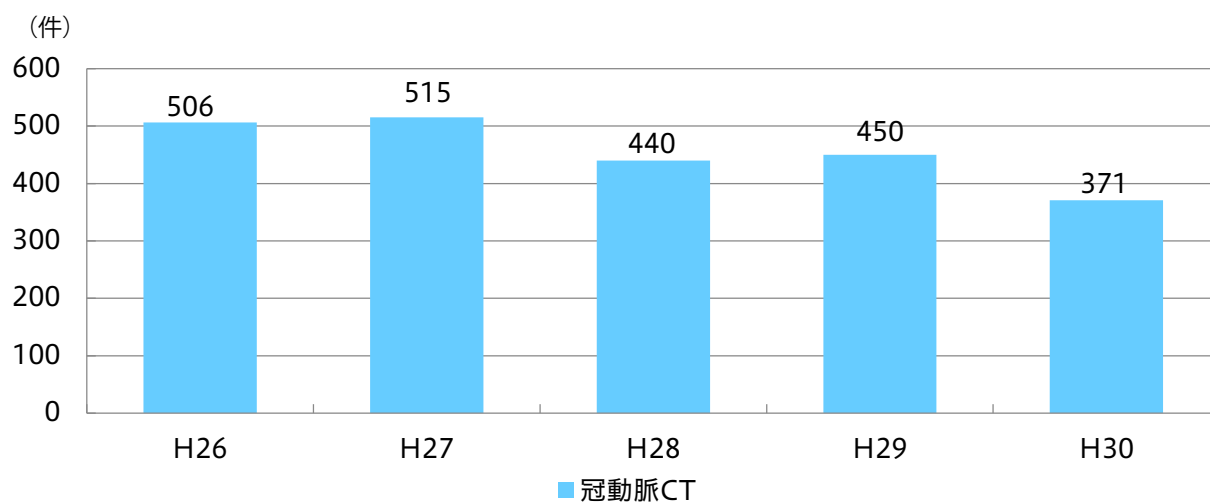
CT 検査



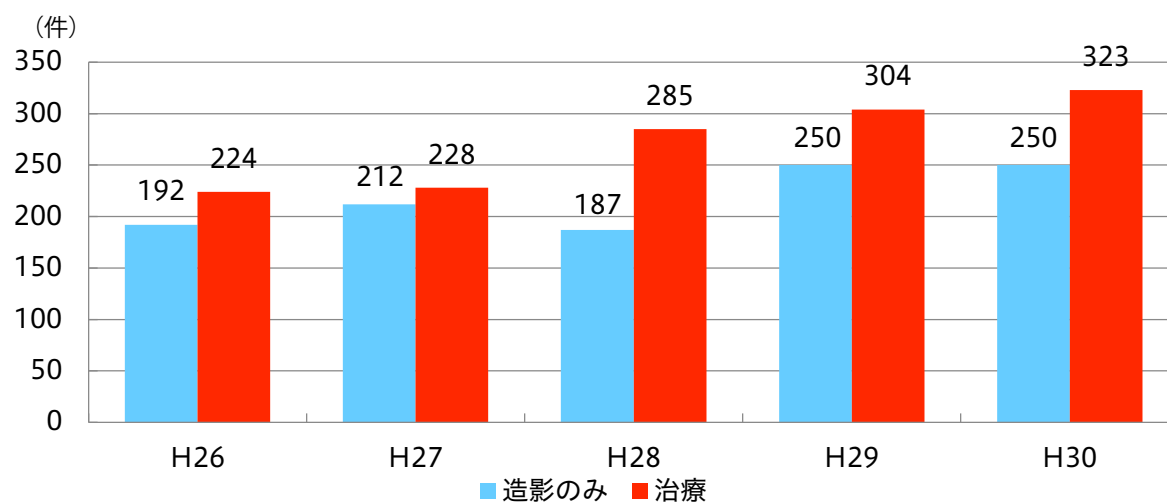
大腸 CT



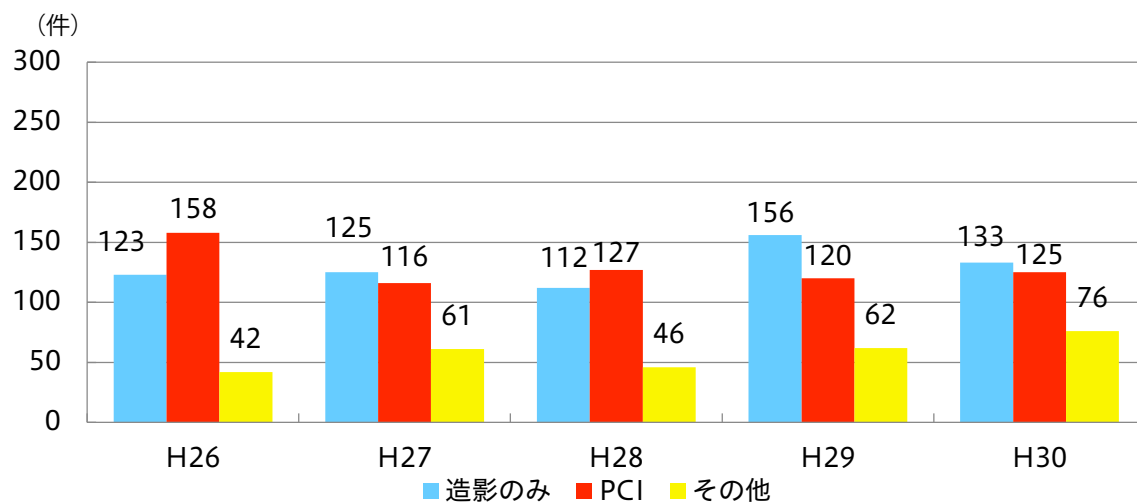
冠動脈 CT



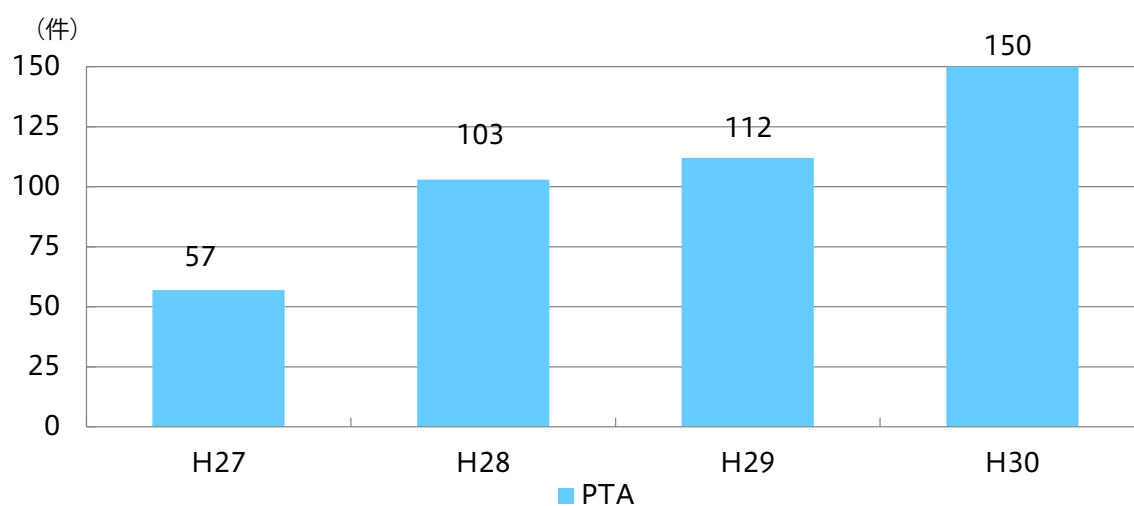
angio 総計



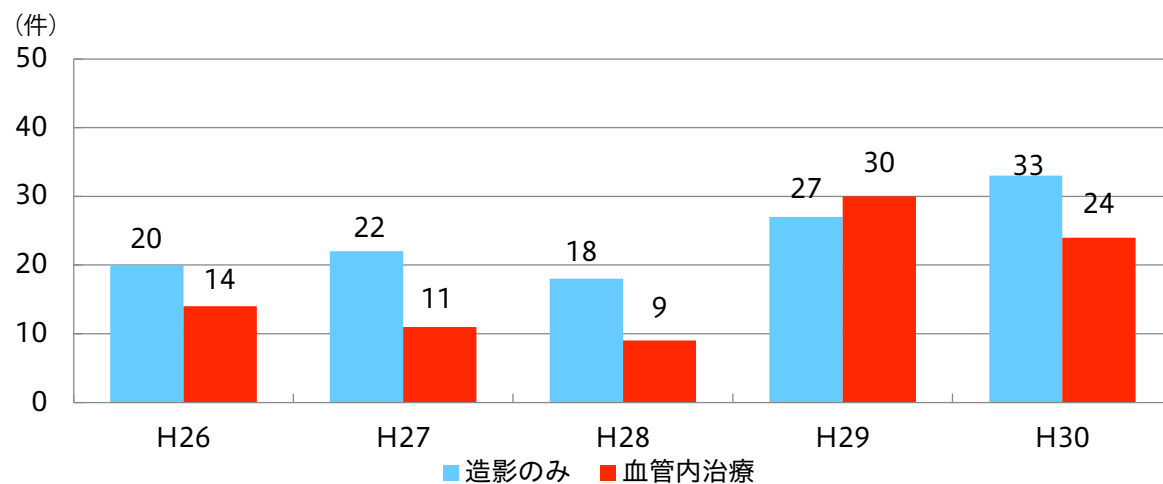
心臓カテーテル



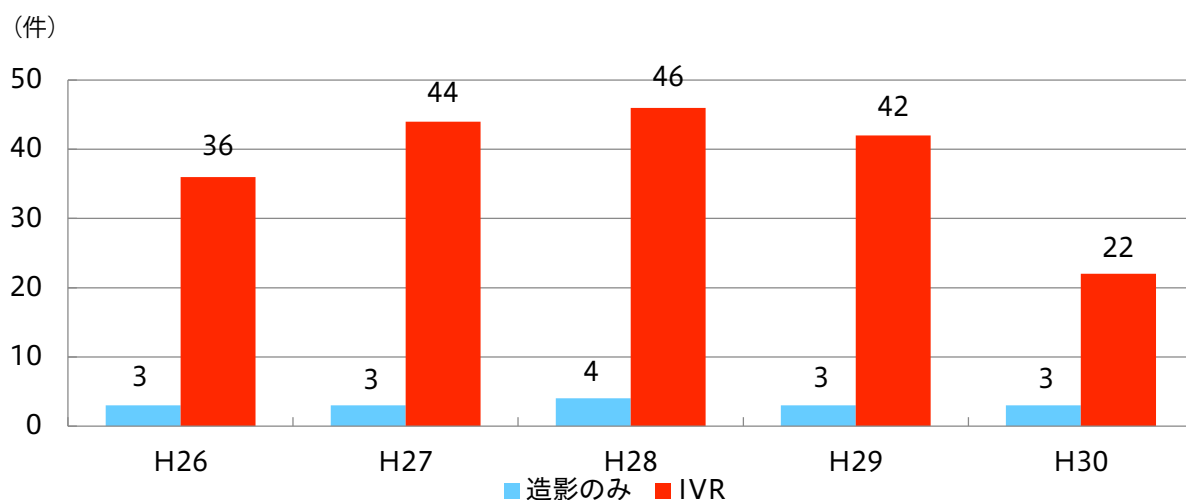
四肢 PTA



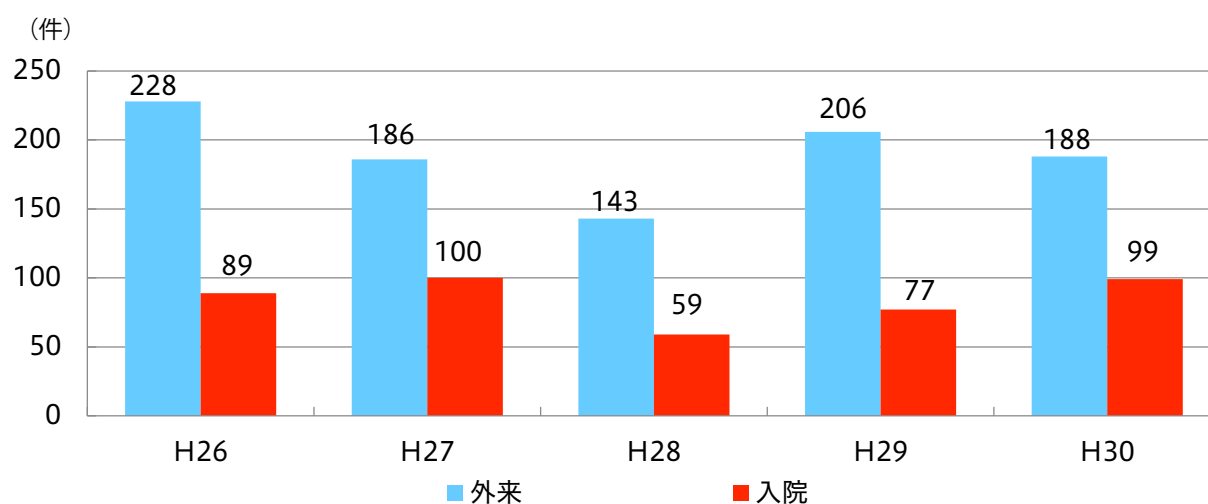
脳アンギオ



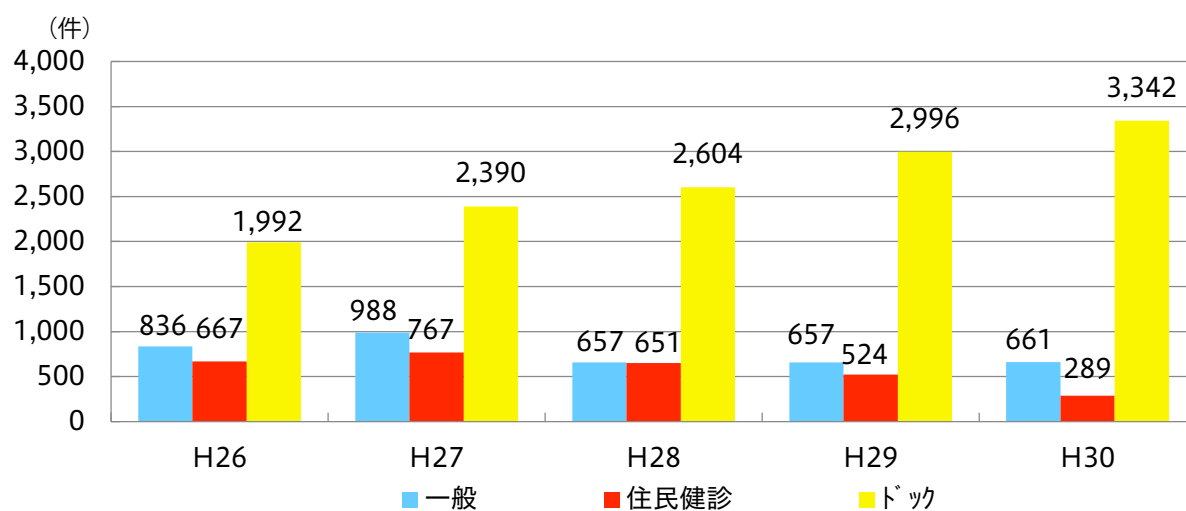
腹部アンギオ



RI 検査



マンモグラフィ検査



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者研究者
当院で行ったステレオガイド下マンモトーム生検の反省点と改善点	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	那覇市	2018 年 5 月 20 日	新垣 千登勢
ステレオガイド下マンモトーム生検結果の検討	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	那覇市	2018 年 5 月 20 日	程岡 美貴
Trauma Pan-scan 実践トレーニングについて	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	那覇市	2018 年 5 月 20 日	宮城 直哉

活動実績

院外勉強会

演題名	勉強会名	開催地	日時	発表者
マンモグラフィのポジショニングについて	乳房画像研究会	中部地区医師会健診センター	2018 年 5 月 30 日	程岡美貴
良性潰瘍について	消化管撮影研究会 銀杏会	知花クリニック	2018 年 5 月 24 日	島尻豊久
当院における I N G E N I A 3.0 の使用経験	沖縄県MRI研究会	当院	2018 年 8 月 31 日	大城盛寛
感染対策について	診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー	南部医療センター	2018 年 9 月 2 日	与古田 拡
Trauma Pan-scan 実践トレーニングについて	全日本病院学会	東京都	2018 年 10 月 6 日	宮城直哉
九州放射線医療技術学術大会	マンモグラフィ	那覇市	2018 年 11 月 10 日	程岡美貴

院内勉強会

演題名	勉強会名	開催地	日時	発表者
浜松リハビリ病院研修報告会	院内報告会	当院	2018 年 4 月 11 日	島尻豊久
MRI の検査の安全教育	院内勉強会	当院	2018 年 5 月 1 日	大城盛寛
乳癌・マンモグラフィに対するアンケートを実施して	院内研究発表医技部予選会	当院	2018 年 10 月 10 日	新垣 千登勢
胸写のみかた	慢性心不全領域別研修会	当院	2018 年 10 月 15 日	仲座義富
心不全について	医療技術部勉強会	当院	2019 年 1 月	与古田 拡

科内勉強会

演題名	開催地	日時	発表者
感染について	当院	2018 年 4 月	与古田 拡
乳がんに対するマンモグラフィの重要性～ポジショニングの改善策～	当院	2018 年 5 月	高良 由紀子
パノラマ撮影と骨密度撮影（実践）	当院	2018 年 6 月	宮城直哉
TACE と脳動脈瘤の血管内治療の流れと危険な心電図波形	当院	2018 年 7 月	久米伸明
3T-MRI について	当院	2018 年 8 月	大城盛寛
マンモグラフィの読影	当院	2018 年 10 月	津波 麻利子
胃がんの症例（進行がん）	当院	2018 年 11 月	程岡美貴
胃潰瘍粘膜領域における潰瘍のとらえ方	当院	2018 年 12 月	島尻豊久
緊急時のシミュレーションの振り返り	当院	2019 年 1 月	新垣 千登勢
Trauma Pan-scan 心電同期解離 Plan の実践練習	当院	2019 年 2 月	松田優二
CT 症例検討	当院	2019 年 3 月	出津利恵

技師業務拡大に伴う統一講習会

業務	開催地	受講者
造影剤注入後の抜針・止血	南部医療センター	出津利恵
		東金嶺 裕太郎
下部消化管検査のカテーテル挿入		宇江城 彩香
		山城 まどか

臨床検査科

臨床検査科技師長 斎藤 辰好

平成 30 年度は、① 5 年後を見据えた人材育成、②医療機器の段階的な更新、③病院規模に合わせた臨床検査業務の構築、⑤ハートライフクリニックの業務連携の充実、⑥予防医学センターとの業務連携への取り組みの 6 項を基本方針としました。

クリニックとの業務連携は順調に推移しています。技師の突発休や過大な業務量の時は、技師を融通し診療に影響しないように対応しています。予防医学センターとの業務連携も順調で、技師の相互入れ替えや業務の融合共有化を進めています。

夜間の緊急脳 MRI の撮影は当直技師の全員が実施でき、何時でも緊急対応をしています。また、放射線科とも連携し XP 当直者が緊急 MRI を施行出来るように構築中です。

日本臨床検査技師会、沖縄県医師会、臨床検査技師会、日本医師会の外部精度管理事業にも参加し良好な結果が得られました。また教育研修システムを充実させ細胞検査士、超音波検査士、血液検査技師、糖尿病療養指導士その他スキルアップの為の支援も構築しつつあります。

今後は県内外大学からの学生の長期現地実習も受け入れ教育システムを構築していく予定です。

職員数

総数

48 名

職種別

臨床検査技師	病院	35 名	視能訓練士	3 名
	予防医学センター	5 名	検査科看護師	1 名
	クリニック	1 名	事務	3 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
斎藤辰好	超音波検査士 (4 領域)
島袋泰彦	超音波検査士 (4 領域) 沖縄県地域糖尿病療養指導士 衛生管理者・衛生工学衛生管理者
仲松勝彦	超音波検査士 (1 領域) 衛生管理者
安里奈美	超音波検査士 (2 領域)
照屋祥子	超音波検査士 (2 領域) JABTS-A 認定技師
新垣和史	緊急検査士 認定血液検査技師
森山武志	二級臨床検査士 (微生物) 衛生管理者
宮城 健	二級臨床検査士 (微生物)
津波克幸	細胞検査士 国際細胞検査士 有機溶剤作業主任者 特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者

氏名	認定・資格名
照屋結	細胞検査士
武島万林	細胞検査士
北川磨亜邦	細胞検査士
金城奈津子	JABTS-B 認定技師
宮城和歌	JABTS-C 認定技師
宮平優子	二級臨床検査士 (免疫血清)
町田絵都	衛生管理者 沖縄県地域糖尿病療養指導士
上地利恵子	JABTS-C 認定技師
大城ゆかり	JABTS-C 認定技師
蔵下かおり	緊急検査士 二級臨床検査士 (免疫血清) JABTS-A 認定技師

沖縄県 臨床検査技師会 役員

	役職
斎藤 辰好	①沖縄県臨床検査技師会 理事 ②日本臨床検査技師会・九州支部 生理検査部門長
津波 克幸	①沖縄技病理細胞検査 副分野長 ②沖縄県臨床細胞学会 幹事 ③沖縄県医師会臨床検査制度管理細胞検査部門 解析委員
新垣 和史	①沖縄県臨床検査技師会 血液検査分野 副分野長
森山 武志	①沖縄県臨床検査技師会 一般検査分野 副分野長

運営方針

臨床検査は疾病の①診断、②治療方針決定、③予後の判定にかかわる重要な情報である。迅速・正確なデータの提供を心がける。

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者
TcPO2 症例検討	第 54 回沖縄臨床検査技師学会	沖縄	2018 年 5 月 27 日	田仲康彦
一般演題 座長	第 54 回沖縄県医学検査学会	沖縄	2018 年 5 月 27 日	新垣和史
末梢血好中球 FISH により初診時急性転化した CML と考えられた 1 症例	日本検査血液学会沖縄県支部第 16 回学術集会	沖縄	2018 年 11 月 24 日	新垣和史
子宮頸部細胞診でみられた血管内大細胞型 B 細胞性悪性リンパ腫の一例	第 39 回沖縄県臨床細胞学会総会・学術集会	沖縄	2019 年 2 月 23 日	津波克幸（座長）

院内研究会

名称	概要	年月日	発表者
MRCP について	ドックにて講義	2018 年 6 月 25 日	我如古 靖
心不全について	医療技術部勉強会にて発表	2018 年 8 月 1 日	島袋泰彦
検査技師の仕事	院内研究発表会 予選にて発表	2018 年 10 月 10 日	狩俣純佳

科内勉強会

名称	年月日	発表者
MRCP について	2018 年 6 月 25 日	我如古 靖
心不全について	2018 年 8 月 1 日	島袋泰彦
検査技師の仕事	2018 年 10 月 10 日	狩俣純佳
肺機能検査について	2018 年 4 月 19 日	狩俣純佳
尿検査（定性）について	2018 年 5 月 17 日	金城奈津子
FIB-4	2018 年 5 月 19 日	新里直子
MRI で可・不可の素材等	2018 年 6 月 14 日	仲松勝彦
鑑別判断の 4 つの方法	2018 年 6 月 16 日	津波克幸
当院で行われている生理機能検査	2018 年 7 月 12 日	島袋泰彦
呼吸一酸化窒素（NO）の測定検査	2018 年 8 月 16 日	安里奈美
直接クームス試験（DAT）	2018 年 9 月 22 日	大城小百合
新しいがん治療	2018 年 10 月 11 日	武島万林
抗菌薬適正使用支援チーム（AST）	2018 年 10 月 20 日	宮城 健
CBC について	2018 年 11 月 8 日	新垣和史
川崎病時の心エコー	2018 年 11 月 17 日	照屋祥子
骨密度検査について	2018 年 12 月 13 日	町田絵都
尿沈渣の異常細胞	2018 年 12 月 22 日	北川磨亜邦
当直帯の細胞診検体処理について	2019 年 1 月 17 日	諸見里真実
東館 2F カテ室の操作について	2019 年 2 月 14 日	田仲康彦

名称	年月日	発表者
腸炎（ノロ・ロタ・CD）	2019 年 2 月 23 日	新垣春香
肺に転移した前立腺癌の一例	2019 年 3 月 14 日	照屋 結
尿沈渣内部精度管理結果&顕微鏡の使い方	2019 年 3 月 23 日	津波古奈々恵

検査・治療実績

生理検査

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
心電図	502	474	492	472	525	471	538	523	464	543	538	545	6,087
CVR-R+ECG	0	1	2	0	0	2	2	1	0	0	0	1	9
マスター心電図	18	7	14	12	11	9	8	15	11	10	8	18	141
トレッドミル負荷	6	6	4	6	5	2	3	4	3	2	6	5	52
ホルター心電図	17	16	16	16	12	9	17	25	17	15	17	14	191
ABPM	0	0	1	2	2	0	3	1	1	1	3	1	15
簡易肺機能（2 項目）	68	47	69	79	82	66	74	96	71	90	83	90	915
肺機能（4 項目）	13	16	13	14	10	14	21	18	13	10	9	17	168
ABI 測定	12	24	20	9	9	16	13	21	32	24	24	39	243
サーモグラフィー	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
呼気中尿素試験	61	52	51	60	61	65	82	57	54	60	74	63	740
脳波	7	5	4	2	1	10	5	4	5	4	5	1	53
睡眠・薬物賦活脳波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
神経伝達速度（MCV）	8	5	7	4	5	5	4	3	4	3	2	2	52
聴性脳幹反応（ABR）	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	5
終夜睡眠ポリグラフ	4	4	4	2	8	3	1	3	3	5	1	2	40
心肺運動負荷試験	1	0	1	3	6	3	3	4	4	2	2	0	29
レートポテンシャル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
呼気中一酸化窒素	14	25	27	16	16	23	27	24	17	26	23	35	273
食道内圧測定	2	0	4	1	6	4	3	1	4	2	4	3	34
食道 PH モニター	0	1	3	0	3	0	2	3	0	0	2	1	15
経皮的酸素ガス分圧	2	0	2	3	0	2	1	1	2	3	1	2	19
皮膚灌流圧測定検査	5	2	0	1	1	0	1	3	3	7	9	9	41
心エコー	245	233	245	217	220	205	239	245	209	240	260	242	2,800
腹部エコー	320	377	333	346	344	315	353	297	308	310	299	311	3,913
泌尿器エコー	121	122	129	103	121	105	138	117	102	116	100	125	1,399
表在エコー	149	103	185	151	183	151	225	146	152	135	175	187	1,942
血管エコー	82	98	95	130	100	112	105	90	77	120	88	100	1,197
胎児エコー	43	37	54	41	50	37	40	57	45	63	59	54	580
経直腸エコー	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
経食道心エコー	1	6	4	5	6	9	2	6	3	7	1	4	54
ENOG	0	2	2	0	2	1	4	2	4	3	0	0	20
簡易聴力検査	13	8	9	9	11	13	35	38	15	15	14	47	227
標準聴力検査	38	58	37	48	42	46	49	37	35	57	46	43	536
ティンパノメトリー	20	22	16	30	21	27	29	30	26	36	32	35	324
アブミ骨筋反射検査	0	3	1	2	1	1	4	1	3	3	1	2	22
MRI	341	258	291	266	254	247	259	247	267	213	221	242	3,106

病理

病理・細胞検査	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
組織診	325	351	381	345	378	315	343	368	367	348	329	349	4,199
細胞診	429	397	687	591	693	570	701	667	718	596	603	610	7,262
剖検	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	5
迅速組織診	6	5	8	7	7	11	6	7	3	6	7	7	80

血液検査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨髓像	18	24	15	15	23	17	21	15	17	21	14	13	213
PBSC 製剤作製（患者数）	0	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	4
PBSC 製剤作製（作製数）	0	0	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	6
骨髓血漿除去作業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

細胞調整室（CPC）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
末梢血幹細胞処理	0	0	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0	6
骨髓液幹細胞処理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

科別実績

検体検査 (科別) 入外	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2,898	2,933	2,936	2,928	2,980	2,795	3,300	2,860	2,951	3,071	2,888	2,817	35,357
外科	609	579	648	694	662	605	632	617	633	619	562	634	7,494
整形外科	207	229	238	252	288	261	320	360	246	312	264	336	3,313
眼科	36	39	34	48	45	32	38	48	34	44	53	39	490
透析科	413	416	403	410	417	422	442	449	430	416	414	403	5,035
小児科	252	248	285	237	244	199	210	220	214	242	241	227	2,819
脳神経外科	59	58	79	99	126	79	92	90	173	87	63	70	1,075
産婦人科	563	515	547	481	518	484	570	566	591	611	574	580	6,600
耳鼻咽喉科	32	32	25	18	35	22	21	41	31	35	37	37	366
心療内科	1	0	1	4	2	3	1	2	2	2	4	5	27
泌尿器科	475	426	509	453	503	463	538	434	431	477	370	441	5,520
皮膚科	3	14	11	6	3	6	4	10	5	3	5	5	75
麻酔科	5	2	5	4	8	3	18	15	13	6	4	0	83
形成外科	83	67	55	59	62	55	78	84	59	66	111	127	906
乳腺外科	119	76	119	110	103	121	122	95	116	109	108	108	1,306
救急科	774	842	777	901	824	776	730	660	824	1,304	844	751	10,007
口腔ケア科	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	3
検診科	1,056	1,310	1,568	1,470	1,572	1,328	1,559	1,515	1,602	1,266	1,368	1,357	16,971
(ク) 糖尿病内科	1,022	1,029	1,054	1,022	1,093	862	999	954	1,007	990	972	929	11,933
(ク) 内科	499	457	472	468	467	394	409	402	431	629	556	535	5,719
(ク) 小児科	153	165	182	178	120	92	120	121	87	290	208	153	1,869
合計	9,259	9,437	9,948	9,842	10,073	9,003	10,203	9,543	9,880	10,579	9,646	9,555	116,968

病棟実績

検体検査(病棟)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ICU	139	136	222	202	187	137	263	189	279	188	145	156	2,243
東館 2 階病棟	69	68	95	102	137	112	100	53	113	104	96	70	1,119
東館 4・5 階病棟	301	309	332	299	290	286	311	330	364	373	326	306	3,827
3 階病棟	265	216	234	250	252	217	281	284	248	312	288	275	3,122
4 階病棟	374	324	354	379	392	370	366	352	360	378	335	343	4,327
5 階病棟	481	432	389	456	444	399	470	504	414	507	442	472	5,410
6 階病棟	509	490	491	541	568	542	671	520	585	569	488	455	6,429
7 階病棟	388	438	425	375	378	373	472	399	395	409	389	368	4,809
合計	2,526	2,413	2,542	2,604	2,648	2,436	2,934	2,631	2,758	2,840	2,509	2,445	31,286

臨床工学科

臨床工学科技士長 大城 安

平成 30 年度、臨床工学科は手術室業務拡充に伴い、定数 12 名から 16 名と 4 名の増員となり、新人を 3 名採用し各担当に分かれ事業推進を図りました。

代謝部門では血液内科疾患患者の末梢血幹細胞採取（PBSCT）に特殊な症例を除いては CE のみで治療に携わる事が出来る様になりました。

循環器部門では平成 30 年 8 月より脳血管造影検査（脳 Angio）、血管内治療に携わって業務拡充に繋がっております。

ME 機器管理部門での取り組みにつきましては、後に述べる業務実績内にて詳細に触れているので御参照下さい。

職員数

総数

16 名

職種別

臨床工学士 16 名

平成 30 年度技士取得ライセンス

名 称	認定資格	主 催	開催地	実施・取得年月日	氏 名
ユーザー保守点検認定証	ARROW IABP 装置 AutoCat2 シリーズ	ディー・ピーエックス 株式会社	ハートライフ病 院	2018 年 5 月 20 日	弓濱義之、平敷 幸大、仲程通孝、 外間翔吾
平成 30 年度災害派遣医療チーム 研修	災害派遣医療チーム	厚生労働省	沖縄県	2018 年 8 月 25 日	野原 剛
平成 30 年度医療安全管理者養成 研修	医療安全管理者	全日本病院協会	東京都	2018 年 9 月 17 日	野原 剛
修理の技能知識と実施要領	輸液ポンプ OT-808C	株式会社 JMS	沖縄県 三和メディカル センター	2018 年 11 月 29 日	外間翔吾

理念

臨床工学科は急性期医療としての役割を遂行する為に他部門との連携を密にし、高度な医療技術の提供および機器の保守管理を行い、安心かつ安全な医療の提供を行います。

運営方針

1. 良質な診療支援を行うため、組織、業務の改善に努める。
2. 安心・安全で信頼される診療技術の提供に努める。
3. 医療機器の医療事故防止に努める。
4. 高度医療機器の効率的運用と安全性の確保
5. 医療機器の標準化・機種統一を積極的に進める。

業務実績

【ME 機器管理実績】

1. 増改築への関わり

ME 機器管理室では、前年度から続き改修工事への協力を行いました。現場の要望とメーカーの仕様のすり合わせを行い、救急外来の生体情報モニタの設置を無事済ませることができた。

2. 生体情報モニタシステムおよび 12 誘導心電図管理システムの更新

2018 年度を最後に保守延長が不可能な生体情報モニタシステム、および、12 誘導心電図管理システムについてシステムの安全性、運用コストを加味して更新を企画し申請を行いました。2019 年度に更新となる予定です。システムサーバーおよびシステムソフトの更新についても安全性を考慮した更新計画や、現場の意見をくみ取り、運用サポートを実施することが臨床工学技士の任務となってくると考えています。

3. コスト削減への取り組み

2017 年度から継続して、臨床工学技士の視点で院内コスト削減に取り組みました。

調達改善

ジェネリックの消耗品の情報取得と性能評価→現場運用との有用性確認→使用者とのすり合わせ→採用変更提案というプロセスを臨床工学技士ならではの知識を生かして行いました。2018 年度では、管財課用度係と連携し、酸素療法に係る消耗品の変更を行いコスト削減に成功しています。その際、臨床工学技士が中心となって、使用方法の研修会を各現場で回数を多く開催し周知して、安全使用を推進する活動を行いました。

保守点検

臨床工学技士が保守点検を実施することで、メーカー作業費の削減を行った。2018 年度は新たに IABP に関して、講習会を受講しコスト削減に成功しています。

4. 生体情報モニタ安全使用のための活動

ラウンドで生体情報アラーム発生に対し、原因を確認する活動を開始した。臨床工学技士で対応可能なものはすぐに対応し、インシデントレベル 0 として報告する取り組みを開始しました。2019 年度以降に改善できるように企画していく予定です。

5. ICU・東 2 階運営委員会への参加

医療機器を多く使用する集中治療に係る ICU・東 2 階の運営に関する委員会に参画し、救急カートの見直しを行いました。また、救急対応の教育チームの訓練に参加し、不足機器や物品の確認を行い、整備を推進しました。また、老朽化した医療機器（AED、除細動器）について話し合い、更新を進めることとなり、2019 年度に申請する予定です。

6. 新しい研修の形式の提案

2018 年度は、受講状況をフォローできる短い動画を活用した e ラーニングの仕組みを看護部に企画提案しています。2019 年度は実用段階まで発展させる予定です。

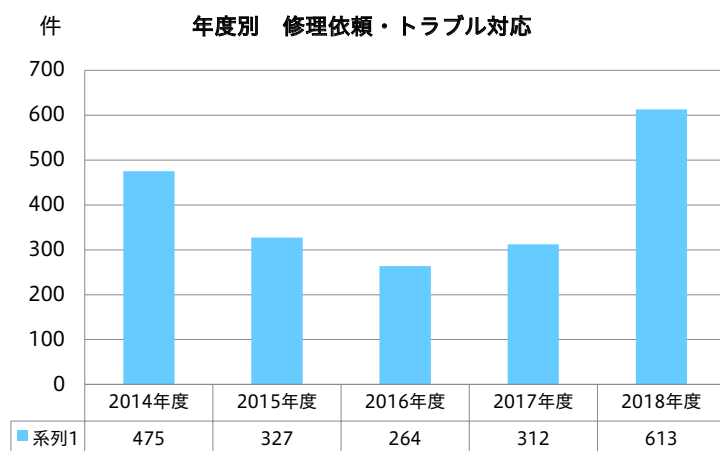
7. 人工呼吸器の安全使用と患者快適性実現のためのデバイス提案

マスク式人工呼吸器を使用している患者に対し、より不快にならず、継続して頂けるようにデバイス（マスク等）を提案しています。2018 年度は、在宅人工呼吸器を導入できるように指導を行い、納得して、在宅へ移行し、自宅でも継続できるような取り組みを開始しました。2019 年度は患者ごとの様子を見ながらより積極的な介入を行う予定です。

修理依頼・トラブル対応件数について

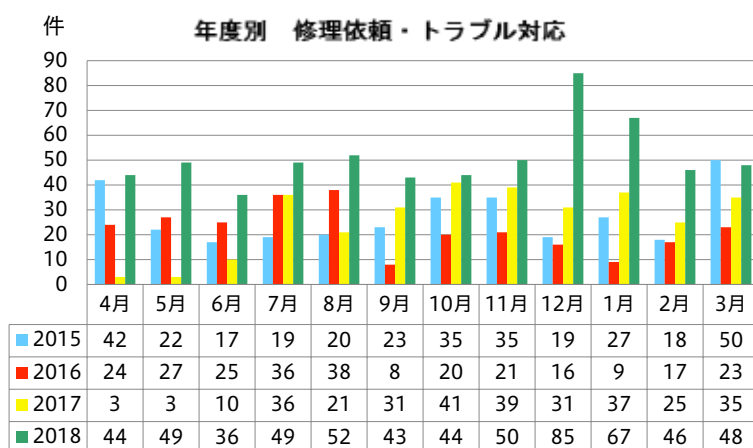
1. 年度推移

2018 年度は、管理機器の増加により問い合わせが多くなり、対応件数が増加しました。



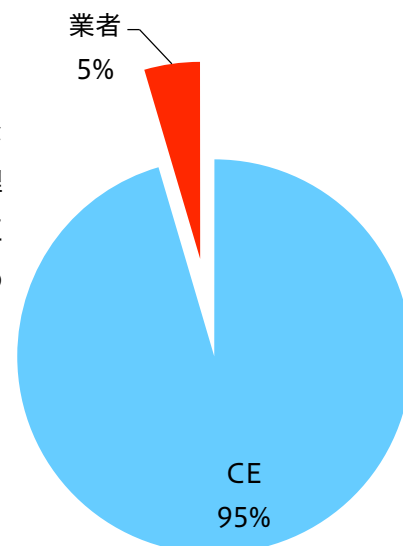
2. 月推移

月に関わらず問い合わせ件数が一定数あり、臨床工学技士の対応が必要であることがわかります。



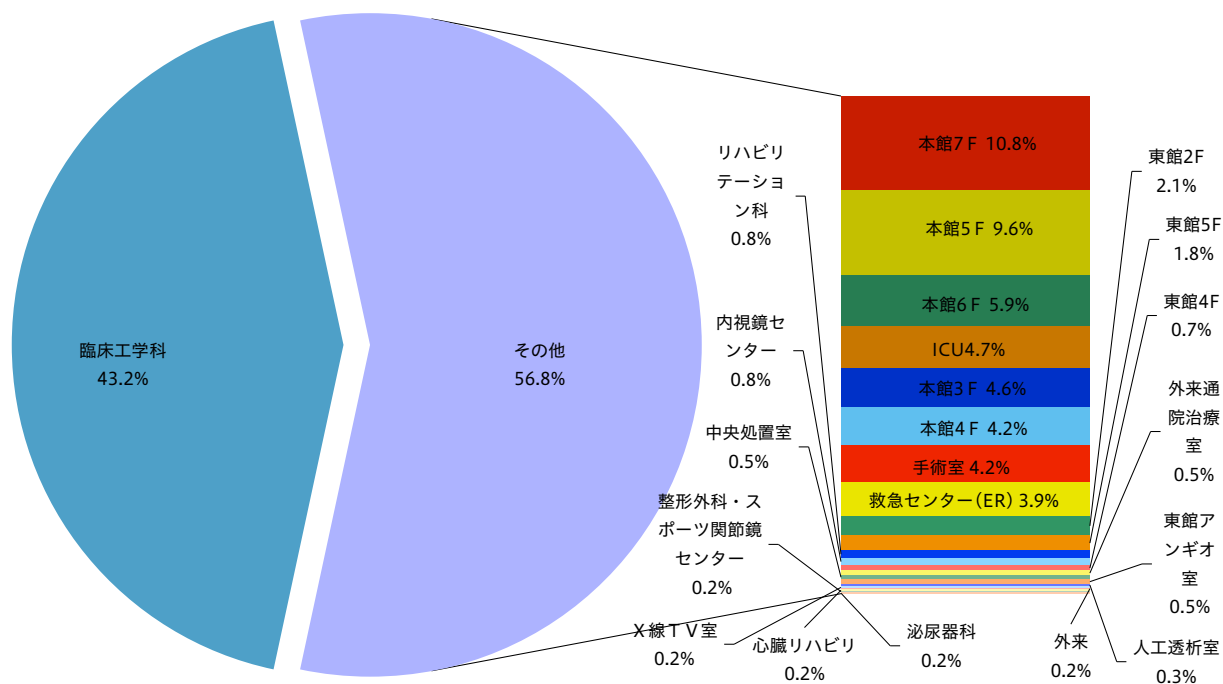
3. 対応割合

トラブル対応は、95%が臨床工学技士によって行われており、迅速な対応ができています。また、業者委託の場合にも代替えの手配から修理箇所の確認とメーカーへの情報提供、修理完了品の受け取りと納品後の正常動作確認、原因の業務をワンストップで臨床工学技士が行い、現場の負担を減らす努力をしています。



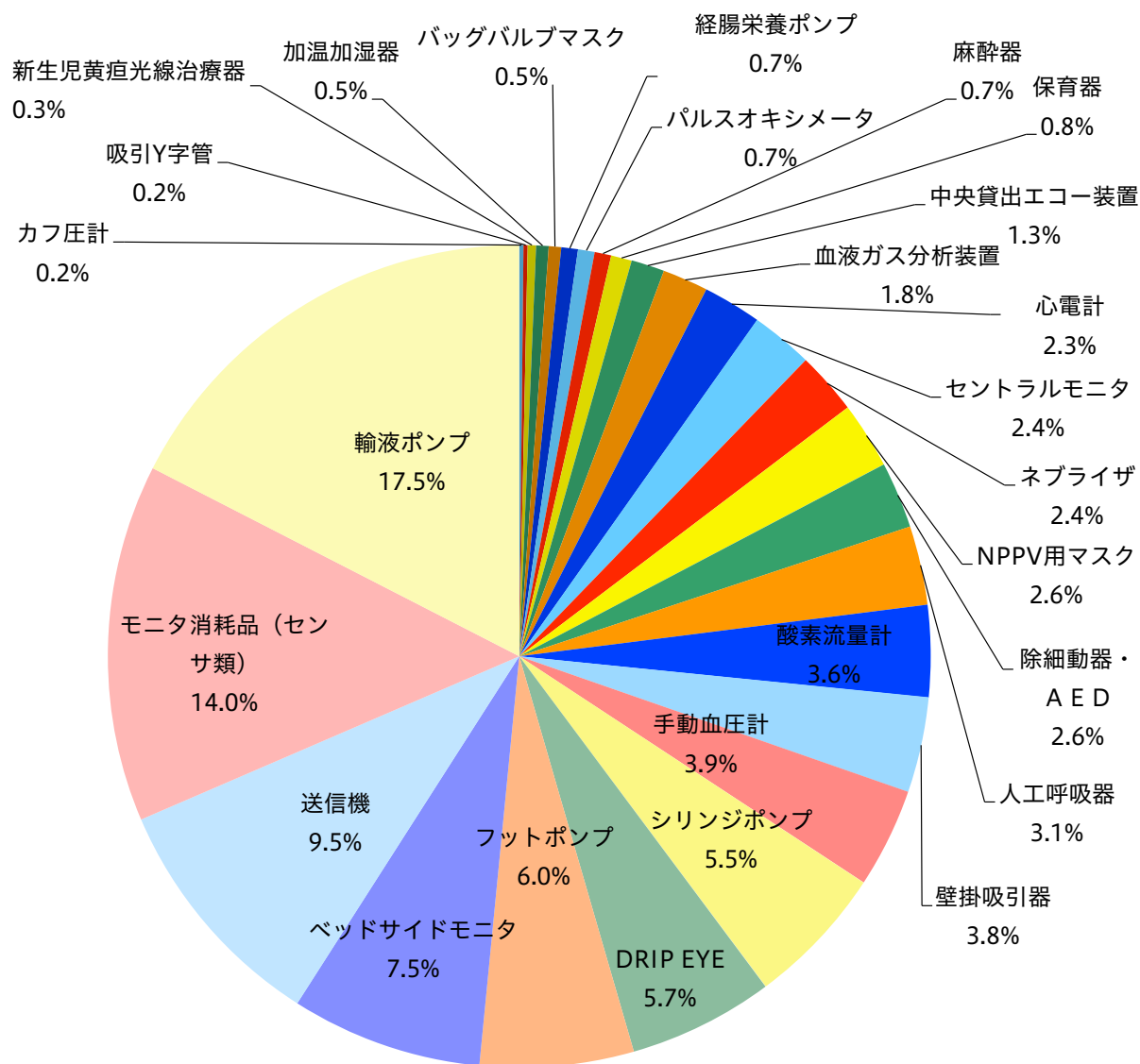
4. 発見 / 現場依頼割合

部署依頼による点検は 57%、臨床工学技士の点検により発見された割合は 43%であり、点検により未然に防げている部分もありますが、現場で発見されるケースもあります。2017 年度に生体情報モニタのケーブル類の消耗が多くあったため、毎日のラウンドで未使用のモニタに関しては、点検を実施し、患者に使用される前に発見することができています。2019 年度は生体情報モニタの定期点検を行うことを目標とします。



5. 機器別割合

2018 年度は、前年度同様、消耗品の対応が多くありました。送信機、ベッドサイドモニタの対応も多くなっており、老朽化の可能性を示唆する結果となっています。2018 年度は、手動血圧計などの簡易医療機器も C E 対応しました。



6. 日常点検集計

人工呼吸器について

点検種類	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
始業点検	551 台 / 年	301 台 / 年	364 台 / 年	541 台 / 年	520 台 / 年
終業点検	359 台 / 年	366 台 / 年	436 台 / 年	465 台 / 年	423 台 / 年
使用中点検 ラウンド点検	2576 台 / 年 1 日平均 8.2 台	2073 台 / 年 1 日平均 6.6 台	2068 台 / 年 1 日平均 6.6 台	2029 台 / 年 1 日平均 6.5 台	1732 台 / 年 1 日平均 5.6 台

ポンプについて

機種	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
輸液ポンプ	2,377 台 / 年 1 日平均 7.6 台	2,230 台 / 年 1 日平均 7.1 台	2283 台 / 年 1 日平均 7.3 台	2290 台 / 年 1 日平均 7.3 台	2047 台 / 年 1 日平均 6.6 台
シリンジポンプ	1423 台 / 年 1 日平均 4.6 台	1,385 台 / 年 1 日平均 4.4 台	1579 台 / 年 1 日平均 5.0 台	1387 台 / 年 1 日平均 4.5 台	1389 台 / 年 1 日平均 4.5 台
経腸栄養ポンプ	29 台 / 年	23 台 / 年	44 台 / 年	35 台 / 年	31 台 / 年
フットポンプ	415 台 / 年	523 台 / 年	568 台 / 年	501 台 / 年	536 台 / 年
ドリップアイ	267 台 / 年	273 台 / 年	310 台 / 年	428 台 / 年	347 台 / 年

生体情報モニタについて

生体情報モニタ点検について点検を行い、患者に使用する前に部品の消耗に気づき交換することができるようになっています。

人工呼吸器用マスクについて

2018 年度から人工呼吸器に使用するマスクの管理を開始し、コスト削減に成功しました。具体的には、看護師の業務負担軽減とマスク洗浄消毒の水準を上げ、そしてマスクの調達費用を軽減させました。下表にマスクの点検件数です。

点検種別	H30 年度
NPPV 用マスク	707 台 / 年

7. 肝腫瘍ラジオ波焼灼術 立ち会い件数の推移

年度	内科	外科	内科 (中止)	外科 (中止)	総数
H21 年度	2	0	0	0	2
H22 年度	7	4	3	0	14
H23 年度	10	2	1	0	13
H24 年度	27	1	0	1	29
H25 年度	29	1	0	2	32
H26 年度	37	7	0	0	44
H27 年度	27	12	2	0	41
H28 年度	15	6	0	1	21
H29 年度	13	2	1	0	16
H30 年度	16	0	0	0	16

在宅酸素療法対応件数

業者別対応件数

	フクダ	テイジン（南西）	オカノ	ITI	総数
H23 年度	17	11	0	0	28
H24 年度	12	11	2	0	25
H25 年度	20	8	4	0	32
H26 年度	22	16	8	0	46
H27 年度	25	16	0	0	41
H28 年度	28	22	4	0	54
H29 年度	11	14	2	0	27
H30 年度	30	35	1	2	73

対応内容別対応件数

	導入	指示変更 / 再開	中止	外泊	その他
H23 年度	27	0	1	0	0
H24 年度	23	0	0	1	1
H25 年度	17	7	1	1	5
H26 年度	27	5	1	1	12
H27 年度	27	1	0	1	12
H28 年度	35	9	3	0	8
H29 年度	21	0	0	0	6
H30 年度	45	0	5	7	16

レンタル呼吸業務

院内で不足する人工呼吸器の貸出返却の対応を引き受け対応しています。下表は年間の貸出返却対応件数を示します。マスク式人工呼吸器のレンタルが主です。

年度	NPPV (V60)	NPPV (ASV)	NHF ネーザルハイフロー
H24 年度	74	76	なし
H25 年度	58	41	11
H26 年度	106	75	18
H27 年度	79	29	4
H28 年度	116	52	4
H29 年度	100	37	8
H30 年度	156	40	6

【循環器実績】

アンギオ対応実績

月	カテーテル検査						PMI		PMC	IVCF	PPI	ABL	脳アンギオ	
	CAG	PCI	緊急	総PCI	IABP	ECMO	TPM	M/S	PM				血管造影	血管内治療
4月	14	6	6	12	0	2	0	1	23	0	12	0		
5月	11	10	4	14	0	0	2	5	10	0	11	2		
6月	13	7	7	14	4	1	0	3	25	0	10	2		
7月	10	7	1	8	0	0	2	2	18	0	5	2		
8月	10	5	3	8	1	1	2	2	17	1	13	0	1	2
9月	14	5	2	7	0	0	1	1	17	0	14	0	3	0
10月	2	7	4	11	0	0	1	3	26	0	10	2	3	3
11月	15	7	1	8	1	0	1	0	15	0	13	0	2	2
12月	8	9	5	14	1	2	1	4	24	0	19	3	2	7
1月	8	5	1	6	1	0	3	5	17	0	10	3	5	0
2月	16	7	1	8	0	0	0	1	18	0	15	2	1	4
3月	12	12	3	15	3	2	1	1	20	0	18	2	6	3
総合計	133	87	38	125	11	8	14	28	230	1	150	18	23	21

※ CAG は検査のみ、PCI+ 緊急が総 PCI 数になります。

PMI: ペースメーカ植え込み術。PMC: ペースメーカクリニック。PPI: 経皮的末梢動脈形成術。

IVCF: 下大静脈内留置フィルター。TPM: 体外式ペースメーカ

【血液浄化部実績】

出張血液浄化実績

年月	血液浄化療法										血漿浄化療法			CART	PBSC	合計
	HD (SLED 含)	HDF (SLED-f 含)	CHD	CHF	CHDF	白血球 除去療法		血液吸着		血漿 吸着 ビリル ビン 吸着	PP					
						GCAP	LCAP	PMX	DHP		PE	DFPP				
2018.4	2	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	2	0	9
5	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	6	0	9
6	6	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	14
7	3	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	13
8	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
9	2	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
10	11	0	0	0	26	0	0	2	0	0	0	0	0	3	0	42
11	9	0	0	0	19	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	32
12	10	0	0	0	26	0	8	3	0	0	0	0	0	4	0	51
2019.1	3	0	0	0	20	0	1	3	0	0	0	0	0	2	0	29
2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	7
3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	5
計	63	0	0	0	109	0	17	9	0	0	0	0	0	31	0	229

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
医薬品注入コントロールの誤使用による急速投与、投与遅延の危険性	第93回日本医療機器学会大会 大会学術集会優秀発表賞受賞	神奈川県横浜市（パシフィコ横浜）	平成30年5月31日～ 6月2日	仲松 晋也

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
医薬品注入コントロールの誤使用による急速投与、投与遅延の危険性	第 65 回沖縄県 CE 技術交流会	浦添市 ピーススク ウェア	平成 30 年 6 月 17 日	仲松晋也
ECMO における人体模型回路「Endo-Circuit」の作成	第 66 回沖縄県 CE 技術交流会	浦添市 ピーススク ウェア	平成 30 年 6 月 18 日	弓濱 義之
スタッフストレス軽減対策	第 63 回日本透析医学会学術集会・総会	兵庫県（神戸市神戸国際会議場）	2018 年 6 月 29 日～ 2018 年 7 月 1 日	平良航、大城安
指針を基にした病院内の携帯電話使用規則の見直し	第 47 回日本医療福祉設備学会	東京都有明（東京ビッグサイト）	2018 年 11 月 20、21 日	仲松晋也
エコーガイド下穿刺の実際	おきなわ Vascula Access エコーセミナー ver.1	ハートライフ病院	2019 年 2 月 17 日	大城安
エコーガイド下穿刺の実際	宮古島エコーセミナー	沖縄県立宮古病院	2019 年 2 月 24 日	大城安
大会長シンポジウム 座長	第 37 回沖縄県人工透析研究会	沖縄コンベンションセンター	2019 年 3 月 10 日	大城安

活動実績

院内外研修実績

題 目	主 催	開催地	実施年月日	参加者 (○発表者と共同研究者、◎講師・座長)
IABP Auto Cat2 メンテナンス講習会	DVX 株式会社	院内	2018 年 5 月 19 日	弓濱義之、平敷幸大、外間翔吾、仲程通孝
FFR Training Course in OKINAWA	アボットジャパン株式会社	かりゆしアーバンリゾート那覇	2018 年 6 月 1 日	弓濱義之、平敷幸大、
第 93 回日本医療機器学会	日本医療機器学会	神奈川県（パシフィコ横浜）	2018 年 6 月 1 日	仲松晋也、喜瀬拓也
第 65 回沖縄県 CE 技術交流会	沖縄県臨床工学技士会	沖縄県浦添市	2018 年 6 月 17 日	○仲松晋也、○弓濱義之、内里司、喜瀬拓也、仲程通孝、平敷幸大、安里光弥、外間翔吾、
平成 30 年度 医療安全管理者養成課程講習会	全日本病院協会・日本医療法人協会	東京都（全日本病院協会）	2018 年 6 月 23、24 日	野原剛
第 63 回日本透析医学会学術集会・総会	日本透析医学会	兵庫県（神戸国際会議場）	2018 年 6 月 29、30 日、7 月 1 日	平良航、大城安
ちゅら島レスキュー	沖縄県	沖縄県（自衛隊那覇基地）	2018 年 7 月 19 日	野原剛
平成 30 年度 医療安全管理者養成課程講習会 第 2 クール	全日本病院協会・日本医療法人協会	東京都（全日本病院協会）	2018 年 8 月 4 日	野原剛
第 40 回日本呼吸療法医学会学術集会	日本呼吸療法医学会	東京都（東京ドームホテル）	2018 年 8 月 4 日	野原剛
九州支部周術期管理チームセミナー	日本麻酔科学会	沖縄コンベンションセンター	2018 年 9 月 8 日	平敷幸大
アブレーション症例見学、操作トレーニング	心臓血管研究所	東京都	2018 年 9 月 10-12 日	平敷幸大
第 40 回日本手術医学会	日本手術医学会	沖縄県（ホテルイースト 21）	2018 年 10 月 12、13 日	平敷幸大
カテーテルアブレーション関連秋季大会 2018	日本不整脈心電学会	沖縄コンベンションセンター	2018 年 11 月 9～11 日	
平成 30 年九州・沖縄ブロック DMAT 実動訓練	日本 DMAT 事務局	宮崎県、鹿児島県	2018 年 11 月 10、11 日	野原剛
医療分野における電波の安全性等に関する説明会	総務省沖縄総合通信事務所	沖縄産業支援センター	2018 年 11 月 19 日	喜瀬拓也
第 47 回日本医療福祉設備協会	日本医療福祉設備協会	東京都（東京ビックサイト）	2018 年 11 月 20、21 日	仲松晋也

題 目	主 催	開催地	実施年月日	参加者 (○発表者と共同研究者、◎講師・座長)
2018 年度メンテナンス講習会 OT-08	株式会社 JMS	沖縄三和メディカルセンター	2018 年 11 月 29 日	
沖縄県臨床工学技士向けセミナー 臨床工学技士が行う消化器内視鏡業務とは	オリンパス株式会社	SOLA 沖縄保健医療工学院	2018 年 12 月 9 日	平敷幸大
2018 沖縄急性血液浄化学術講演会	東レ株式会社	産業支援センター	2019 年 1 月 11 日	河西規至、野原剛
第 66 回沖縄県 CE 技術交流会	一般社団法人沖縄県臨床工学技士会	SOLA 沖縄保健医療工学院	2019 年 2 月 3 日	仲松晋也
医療分野における電波の安全性等に関するセミナー勉強会	総務省沖縄総合通信事務所	院内	2019 年 2 月 23 日	仲松晋也
臨床で役に立つ CRRT 施行時のコツ	株式会社沖縄メディコ	株式会社沖縄メディコ	2019 年 2 月 16 日	河西規至
医療機器安全基礎講習会	一般社団法人沖縄県臨床工学技士会	沖縄県立中部病院	2019 年 2 月 24 日	河西規至、城間勇希
沖縄県中部医療圏における BCP の作成 ～災害時における透析業務の継続をめざして	中外製薬株式会社	うるま市(うるマルシェ)	2019 年 3 月 7 日	野原剛
第 37 回沖縄県人工透析研究会	沖縄県人工透析研究会	沖縄コンベンションセンター	2019 年 3 月 11 日	喜瀬拓也
平成 30 年度 地域防災訓練	南部徳州会病院	南部徳州会病院	2019 年 3 月 16 日	野原剛
第 33 回沖縄県呼吸ケアセミナー	特定非営利活動法人 沖縄呼吸ケアセミナー	産業支援センター	2019 年 3 月 16 日	弓濱義之、喜瀬拓也

職員向け医療機器研修

題 目	実施年月日	担当	参加人数
モニタ接続説明会	2018 年 4 月 3 日	仲松	9
除細動器説明会	2018 年 4 月 9 日	平敷	11
日本光電モニタ Swan-Ganz カテーテル使用方法説明会	2018 年 4 月 14 日	平敷	10
ASV - CSA 使用方法説明会	2018 年 4 月 16 日	田坂	22
レーザー 1470 説明会	2018 年 4 月 17 日	関崎、内田	13
Vigilance II 説明会	2018 年 4 月 27 日	蘇我	14
在宅用 NPPV 導入時説明会	2018 年 4 月 25 日	田坂	11
PCPS プライミング練習	2018 年 5 月 1 日	平敷	4
Trachseal 閉鎖式吸引カテーテル説明会	2018 年 5 月 9 日	海田	17
CG02N 使用方法説明会	2018 年 5 月 11 日	高橋	10
ドリップアイ注意喚起説明会	2018 年 5 月 11 日	仲松	21
3D モニタ、サンダービート説明会	2018 年 5 月 12 日	照屋	15
ドリップアイ注意喚起説明会	2018 年 5 月 18 日	仲松	18
ドリップアイ注意喚起説明会	2018 年 5 月 21 日	仲松	25
ドリップアイ注意喚起説明会	2018 年 5 月 22 日	仲松	20
ドリップアイ注意喚起説明会	2018 年 5 月 28 日	仲松	8
ドリップアイ注意喚起説明会	2018 年 5 月 24 日	仲松	14
AED 説明会	2018 年 6 月 11 日	平敷	27
輸液機器使用説明会	2018 年 6 月 29 日	平敷	2
在宅酸素ボンベ、同調器の使用法	2018 年 7 月 3 日	仲松	23
Rapid Point500 説明会	2018 年 7 月 6 日	仲松	15
呼吸ケア勉強会「呼吸リハについて」講義及び実技	2018 年 7 月 19 日	宮平	54
クリーンエア アストラル使用方法勉強会	2018 年 8 月 3 日	鈴木	14
フィリップス BiPAP A40 システム シルバーシリーズ 使用方法説明会	2018 年 8 月 13 日	島袋	15
RST 研修「NPPV について」	2018 年 9 月 5 日	上原	50

題 目	実施年月日	担当	参加人数
日本光電モニタ治具講習会	2018 年 9 月 14 日	西村	4
ベッドサイドモニタ導入時操作説明会	2018 年 9 月 20 日	伊波	9
	2018 年 9 月 25 日	中尾	4
CPAP 機器説明会	2018 年 10 月 2 日	平敷	20
インスリンポンプ勉強会	2018 年 11 月 8 日	藤田	14
呼吸ケア勉強会「人工呼吸器の基礎：PEEP とグラフィックモニタ」RST 主催	2018 年 11 月 16 日	弓濱	50
ECMO 勉強会	2018 年 11 月 27 日	山下	8
ECMO プライミング勉強会	2018 年 12 月 5 日	平敷	14
ECMO 勉強会	2018 年 12 月 6 日	山下	11
OT-816G ビーリツサイト説明会	2018 年 12 月 7 日	平敷	13
LEDStar 機器取り扱い説明会	2018 年 12 月 12 日	池原	3
AED 使用方法説明会	2018 年 12 月 27 日	伊波	17
NHF 使用説明会	2018 年 12 月 29 日	仲松	11
呼吸同調式レギュレータ、サンソセーバー 5 使用方法説明会	2019 年 2 月 1 日	喜瀬	11
ASV - CSA 使用方法説明会	2019 年 2 月 12 日	仲松	10
AED3000 使用方法説明会	2019 年 2 月 25 日	仲松	24
酸素マスク使用方法	2019 年 2 月 27 日	仲松	12
酸素ボンベ使用方法	2019 年 2 月 28 日	弓濱	5
酸素器具切り替え使用上の注意点説明会	2019 年 2 月 28 日	仲松	29
酸素療法器具使用上の注意点説明会	2019 年 2 月 28 日	仲松	37
酸素療法器具使用上の注意点説明会	2019 年 3 月 1 日	仲松	19
酸素器具切り替え使用上の注意点説明会	2019 年 3 月 1 日	仲松	65
酸素療法器具使用上の注意点説明会	2019 年 3 月 4 日	仲松	11
酸素療法器具使用上の注意点説明会	2019 年 3 月 5 日	仲松	10
酸素器具切り替え使用上の注意点説明会	2019 年 3 月 6 日	仲松	39
酸素デバイス使用方法説明会	2019 年 3 月 19 日	仲松	8
酸素器具切り替え使用上の注意点説明会	2019 年 3 月 20 日	仲松	6
酸素器具切り替え使用上の注意点説明会	2019 年 3 月 21 日	仲松	5
酸素器具切り替え使用上の注意点説明会	2019 年 3 月 22 日	仲松	7
フィリプス BiPAP40 導入説明会	2019 年 3 月 26 日	仲松	10
CRRT 勉強会	2019 年 3 月 27 日	内里	10
酸素器具切り替え使用上の注意点説明会	2019 年 3 月 28 日	仲松	6

栄養科

栄養科科长 真栄城 ゆかり

栄養管理においては、入退院支援の一環としてがん、誤嚥性肺炎、急性呼吸器感染症、認知症の患者を対象に栄養管理を行い一部の患者については栄養指導実施に繋げる事ができました。又、管理栄養士を各病棟担当制にし食欲不振や低栄養患者等に介入、患者の嗜好に合わせた食事を提供し摂取量 up、栄養改善に取り組みました。

給食管理においては嗜好調査のデータを参考に献立の見直しを行いました。又、調理スタッフの勤務体制や業務の見直しも行い効率化を図りました。患者からの投書やメッセージカードにお褒めの言葉を頂き高評価が得られました。

栄養士の認定資格については小児アレルギーやがん、腎疾患等、各疾患に特化した専門療法士の育成やスキルアップに繋がる様、支援体制を構築していく予定です。

職員数

総数

28 名

職種別

管理栄養士 6 名

調理師 11 名

調理補助 5 名

食器洗浄 5 名

事務 1 名

認定・資格

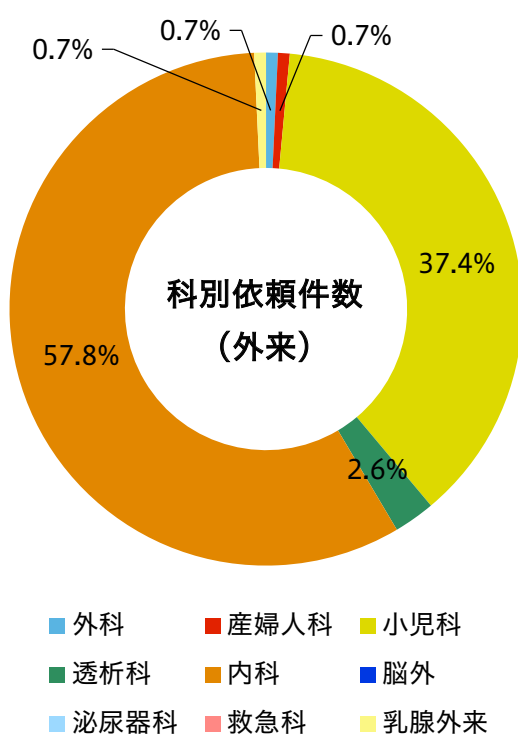
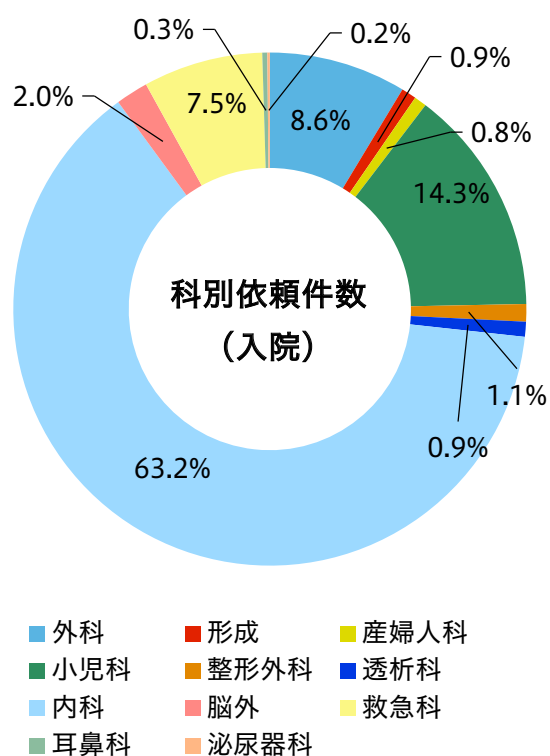
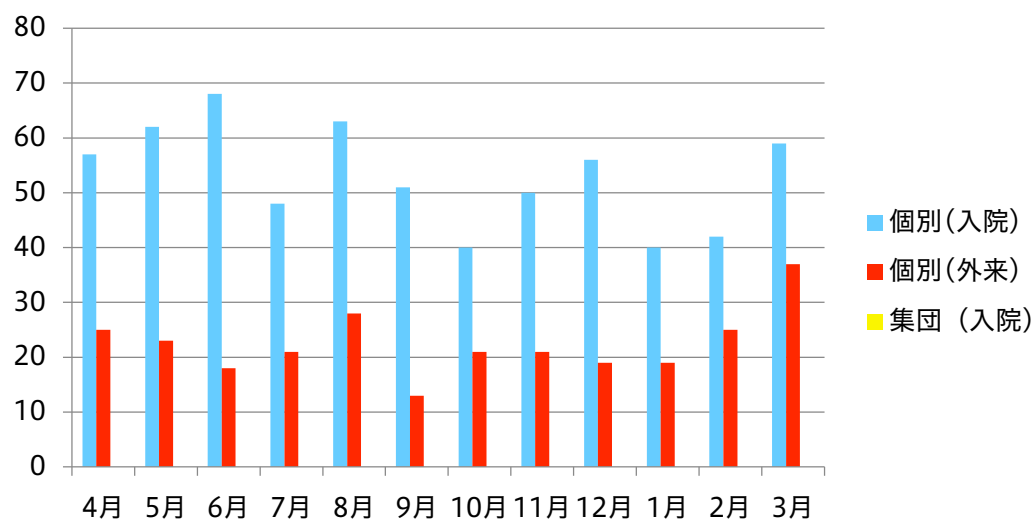
氏名	認定・資格名
久場徳子	健康運動指導士 糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療法士
真栄城ゆかり	糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療法士

氏名	認定・資格名
當眞結子	沖縄県地域糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療法士
高屋美希	沖縄県地域糖尿病療養指導士
棚原佳世	沖縄県地域糖尿病療養指導士
中村 詩	沖縄県地域糖尿病療養指導士

運営方針

- ・患者様のニーズに応える食事を提供します。
- ・衛生面かつ安全面に配慮した業務を行います。
- ・患者様の病態に応じた食事の支援をいたします。

平成 30 年度栄養指導実施件数



研究業績

研究発表 (院内)

演題名	名称	年月日	発表者と研究者
心不全の食事療法	医療技術部勉強会	2018 年 8 月 1 日	久場徳子
食事の満足度向上の為に	院内発表会	2018 年 11 月 2 日	中村詩

活動実績

科内研修

名称	実施年月日	担当
よく噛んで肥満防止	2018 年 4 月	高屋美希
食中毒	2018 年 6 月	久場徳子、比嘉
脳トレ	2018 年 8 月	真栄城ゆかり
コレステロール食べ過ぎ NG 食品	2018 年 11 月	中村詩
大量調理マニュアル改正/ワークス	2018 年 12 月	當眞結子
アレルギー食材の調理の工夫	2019 年 2 月	高屋美希、島袋

講師派遣

題名	開催地	実施年月日	参加
健康食品との付き合い方 (出前講座)	西原町	2018 年 4 月 11 日	久場徳子
心リハスタッフ勉強会	院内	2018 年 9 月 18 日	當眞結子
ポリフェノールの必要性	院内	2018 年 10 月 9 日	當眞結子
緩和勉強会	院内	2019 年 1 月 28 日	高屋美希
心リハスタッフ勉強会	院内	2019 年 3 月 19 日	高屋美希

研修受講実績

研修名	開催地	実施年月日	参加
食品科学と臨床栄養学のコラボレーション	那覇市	2018 年 4 月 20 日	當眞結子、高屋美希、久場徳子
経腸栄養管理セミナー	沖縄県医師会館	2018 年 5 月 12 日	真栄城ゆかり、久場徳子
アレルギー学会	幕張メッセ	2018 年 6 月	久場徳子
沖縄臨床栄養懇話会	沖縄県医師会館	2018 年 6 月 2 日	真栄城ゆかり、久場徳子、當眞結子
糖尿病療養指導研修会・第1回	南部医療センター	2018 年 5 月 31 日	久場徳子、當眞結子、高屋美希、中村詩
日本摂食嚥下リハビリテーション学会	仙台	2018 年 9 月 7 日～10 日	當眞結子
糖尿病療養指導研修会	県総合運動公園	2018 年 12 月 9 日	當眞結子、高屋美希
糖尿病療養指導研修会・第2回	南部医療センター	2019 年 2 月 23 日	久場徳子、當眞結子、高屋美希、中村詩
糖尿病療養指導研修会・第3回	南部医療センター	2019 年 3 月 23 日	久場徳子、當眞結子、高屋美希、中村詩
第14回 NST フォーラム	浦添市	2019 年 3 月 16 日	真栄城ゆかり、當眞結子、久場徳子
コレステロールを抑える	ハートライフクリニック	2019 年 3 月 19 日	中村詩
糖尿病セミナー	南部医療センター	2019 年 3 月 24 日	久場徳子、當眞結子、高屋美希、中村詩

イベント参加

名称	内容	開催地	年月日	参加者
糖尿病研修会	栄養指導	沖縄県総合運動公園	2018 年 12 月 9 日	當眞結子、高屋美希

薬局

薬局長 田中 健嗣

今年度は、4 月に新入職員を迎え薬剤師 14 名（欠員 3 名）で、新年度を迎えました。

昨年度に引き続き人員確保のため在職者の母校をはじめ、各大学へ積極的な PR 活動を継続しています。薬局内では少人数で運用ができる様に、業務の一時休止や内容の見直しを行いました。薬審の資料作りなど今まで一人が行ってきた業務を分散し、相互チェックが働く様にしました。そして確認作業の簡略化や日常業務の簡素化を図りました。

職員数

総数

22 名

職種別

薬 剤 師 14 名

看 護 師 1 名

薬局助手 4 名

一般事務 3 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
田中 泉	認定実務実習指導薬剤師
大関秀和	認定実務実習指導薬剤師

氏名	認定・資格名
義田育美	NST 専門療法士
津波古尚恵	糖尿病療養指導士

理念

- ・ 私たちは心と心を結ぶ信頼される医療を目指します。
- ・ 患者さんが喜ぶ医療を目指します。

運営方針

- ・ 全ての入院患者さんの状況把握と関与
- ・ 医薬品の適正使用
- ・ 「より安全な薬物療法」と「より質の高い薬物療法」

活動実績

講師・発表実績

内容	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
講師	フィジカルアセスメント研修会	沖縄県	2018 年 5 ～ 2019 年 3 月	大関秀和
講師	沖縄県緩和ケア研修	沖縄県	2019 年 1 月 26 日	田中健嗣

平成 30 年度計画及び実績

項目	目標	実績
薬剤管理指導	月間 500 件 年間 6,000 件	923 件 11,076 件
情報配信	DI ニュース 薬審結果報告 薬剤切り替え 名称変更 厚労省通知 メーカーの通知 その他	6 報 6 報 40 報 2 報 0 報 12 報 20 報
薬剤師人数	22 名体制	14 名 / 17 名枠
学会参加	4 件	沖縄県薬剤師学会大会 他
学会発表	0 題	沖縄県薬剤師学会大会
薬剤師病棟配置		複数病棟を兼任で配置（未算定）
スタッフ育成・認定専門薬剤師育成		フィジカルアセスメントのインストラクターを育成
実習・研修	薬局内勉強会 県内勉強会 県外講演会	90 件 40 件 臨床腫瘍薬学会 日本緩和医療薬学会 がん対策推進企業アクション講習会 九州大腸がんセミナー等 10 件

その他の実績

- ・ 薬剤師詰め所の資料保管庫の入れ替え
- ・ 薬局の拡張工事
- ・ 持参薬科入力の開始
- ・ 院外薬局との連絡会議の定例化
- ・ 院内 CRC の雇用
- ・ 病棟注射カートの見直し
- ・ がん認定薬剤師、認定取得へ向けての活動（単位取得・学会登録）
- ・ 術前中止薬のリニューアル
- ・ ロボピックのカセットの見直し

リハビリテーション科

リハビリテーション科療法士長 新垣 健

現在、ハートライフ病院のリハビリテーション科は脳血管疾患リハ、運動器疾患リハ、呼吸器疾患リハ、がんのリハ、心大血管リハの5つの疾患別リハの施設基準を満たしています。

当科の目標として、より専門性の高いリハビリテーションの提供を掲げ、適正人数の確保に取り組んできました。継続した計画として、がんリハ認定者を始めとする各専門分野の認定取得者増数及び心リハ体制の強化を推進しています。更に、ウィメンズ領域や形成外科分野へ職域を広げていく取り組みも継続して進めて参ります。また、リハ科内の勉強会に加え、様々な診療科の先生、他職種の講師を招いての勉強会も継続して行っており、知識や技術の向上、各職種間のスムーズな連携に繋がっています。

次年度も引き続き、専門療法士育成及び各職種間の円滑な連携の推進を図ると共に救急及び急性期リハビリテーションの充実、拡充に向けて取り組んでいきます。

職員数

総数

29 名（助手 1 名含む）

職種別

理学療法士	16 名（育休職員・契約職員含む）	言語聴覚士	5 名
作業療法士	7 名	助手	1 名

認定・資格

氏名	資格・認定資格
理学療法士	
新垣 健	がんのリハビリテーション研修終了
神里 祥子	がんのリハビリテーション研修終了
玉栄 優子	がんのリハビリテーション研修終了
金城 勝一郎	がんのリハビリテーション研修終了
波平 静香	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
知花 勝也	がんのリハビリテーション研修終了
福地 美香	呼吸療法認定士
弘岡 亮	心臓リハビリテーション指導士
長嶺 敦司	糖尿病療養指導士 健康運動指導士

氏名	資格・認定資格
作業療法士	
栄野比 智也	がんのリハビリテーション研修終了
富永 涼子	がんのリハビリテーション研修終了
宮城 奈津希	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
佐々木 正雪	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
言語聴覚士	
大城 盛彦	がんのリハビリテーション研修終了
松川 玲子	がんのリハビリテーション研修終了 高次脳機能障害認定言語聴覚士（日本言語聴覚士会認定）

理念

患者さんの目標（家庭復帰等）に向かって、機能的予後予測に即した、リハビリテーション全体をマネージメントする。

運営方針

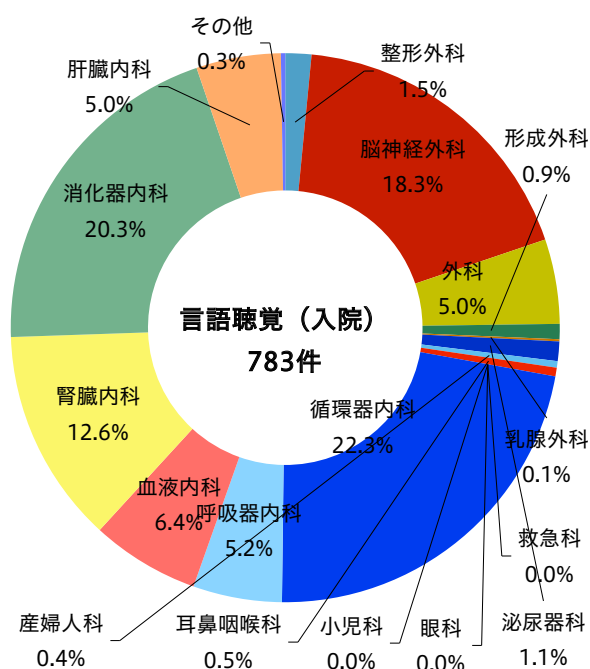
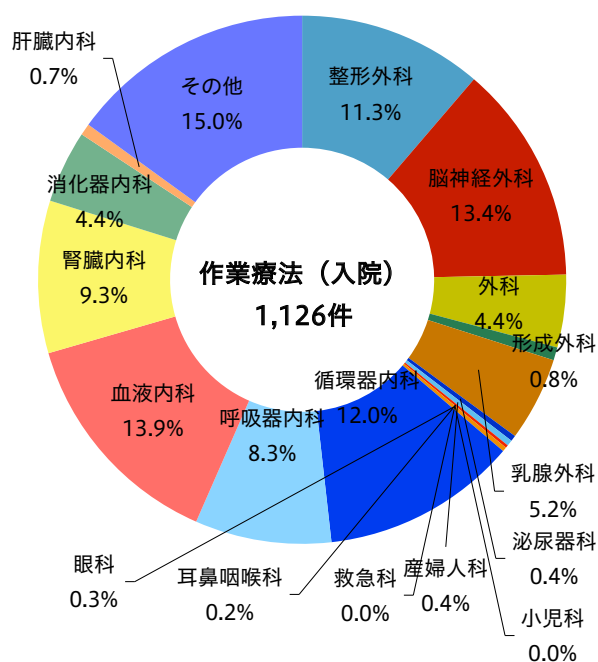
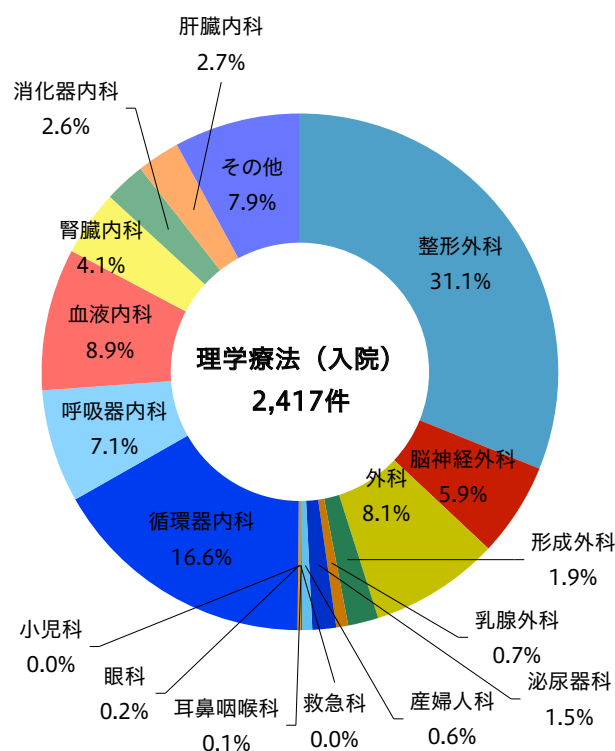
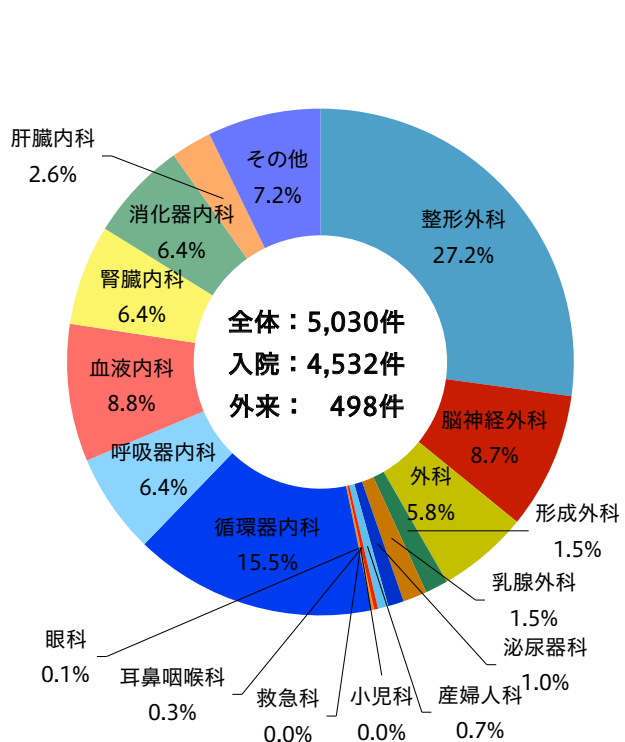
急性期病院におけるリハビリテーションを担い、その役割を明確にし、実践する。

院内外の関連職種間とのコミュニケーションや連携の強化を図る。

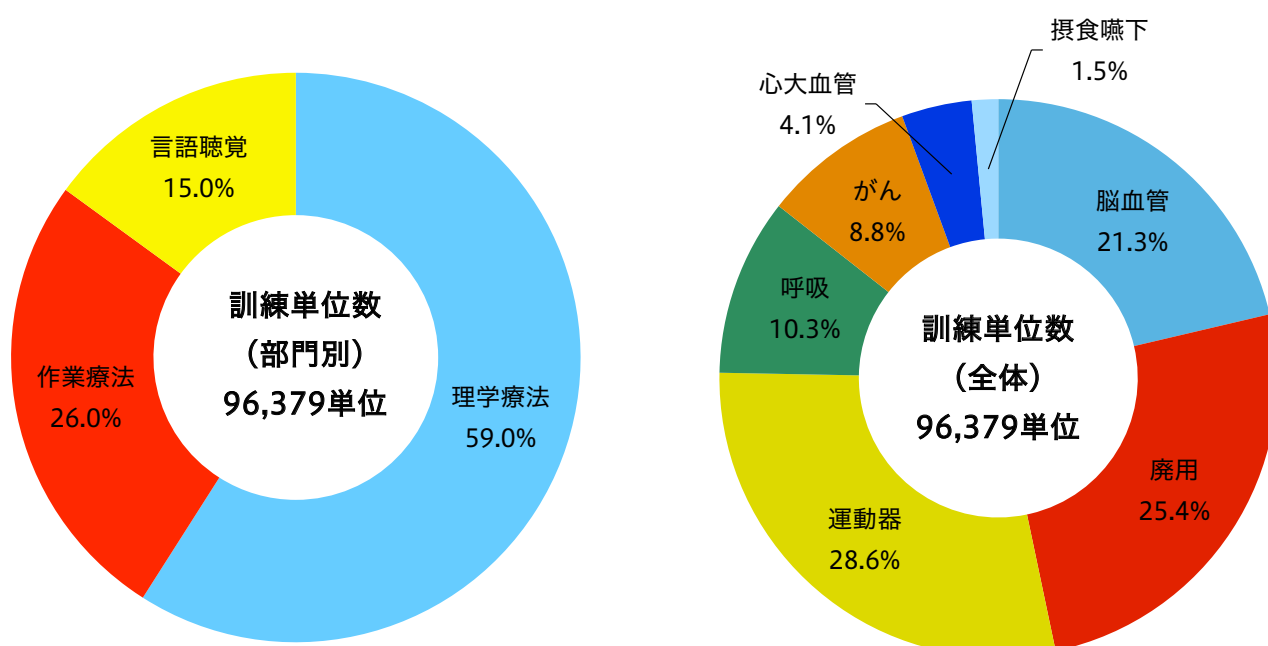
部及び個々の診療技術の向上を目指す

検査・治療実績

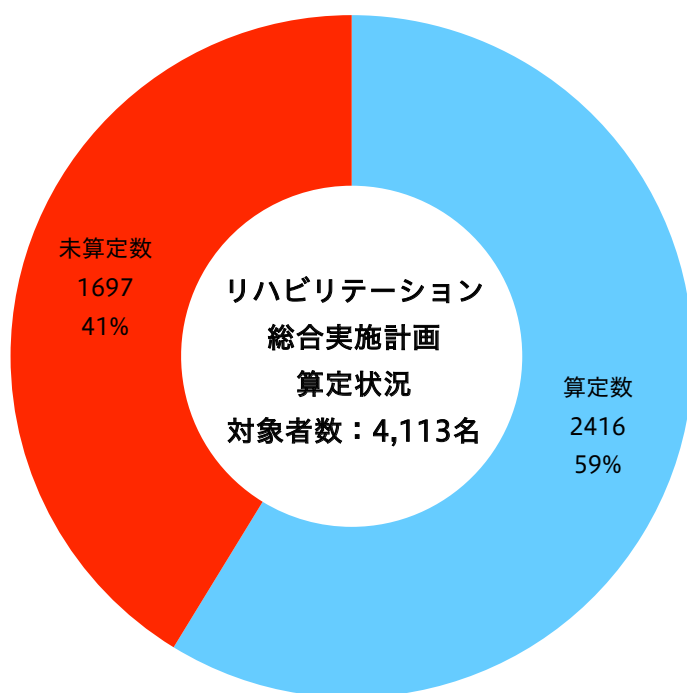
診療科別リハビリテーション処方状況



疾患別リハビリテーション実施状況



リハビリテーション総合実施計画 活動実績



算定状況	
対象患者数	4,113
算定数	2,416
未算定数	1,697
算定率	58.7%
未算定率	41.3%
算定点数	724,800
未算定点数	509,100

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院におけるフレイルを呈する心疾患患者と外来リハの継続	第 24 回日本心臓管リハビリテーション学会学術集会 in 横浜	神奈川県	2018 年 7 月 14 日	弘岡 亮
当院心臓リハビリ患者のフレイル状況と退院後の心リハ参加について	第 60 回全日本病院学会	東京都	2018 年 7 月 15 日	弘岡 亮
合併症にて長期入院となったが救肢にて退院に至った、両下肢 CLI 症例の経験と検討課題	第 10 回日本下肢救済・足病学会学術集会	北海道	2018 年 7 月 13 日	仲村和也
ハンセン病及び糖尿病を既往に持ち重度感覚障害により Chrcot foot を呈した 1 症例 (ポスター発表)	第 10 回日本下肢救済・足病学会学術集会	北海道	2018 年 7 月 14 日	新垣 健
足病変に対する当院でのアプローチ	第 7 回日本下肢救済・足病学会 九州・沖縄地方学術集会	佐賀県	2018 年 10 月 20 日	仲村和也
一般病棟における人工呼吸器離脱の関わり方	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会	千葉県	2018 年 11 月 8 日～9 日	宮城 奈津希
移植患者の緩和的リハビリテーション～ATL 再燃の症例を通して～ (ポスター発表)	日本造血幹細胞移植学会	大阪府	2019 年 3 月 8 日～9 日	玉柴優子 (発表者) 宮城 奈津希 柴野比 智也

院内研究発表会

演題名	発表年月日	発表者と研究者
摂食嚥下チームの他職種連携の取り組み	2018 年 3 月	大城盛彦

その他

名称		開催地	年月日	発表者と研究者
(講師) 下肢慢性創傷に対する理学療法～予防期、創傷治癒期、再発予防期のアプローチ～	第 26 回沖縄実践フットケア研究会実技研修会	沖縄県	2018 年 7 月 28 日	仲村和也
(講師) 浜松市リハビリテーション病院の視察報告会	新人看護研修	院内	2018 年 4 月 11 日	大城盛彦
(講師) 分娩・陣痛に対する骨盤調整 / 陣痛促進ストレッチ		沖縄県	2019 年 2 月 18 日	福地美香 久志 愛

医療技術部 年度総括



医療技術部部長
宮城 竜也

平成 30 年度はハートライフ病院として大きな改修があり、医療技術部としても大掛かりな改修、移設や機器更新、さらには人員確保と目まぐるしい 1 年となりました。

薬局は病院の規模に対し手狭なスペースでしたが、旧地域医療連携室と相談室を薬局のスペースとして活用することにより薬品管理や作業効率を上げることができました。また、壁を全て撤去することにより動線や薬剤監査の回転効率をあげています。また平成 30 年度は薬剤師定数 17 名から 22 名への増員が理事会で承認されました。今年度は 2 名の薬剤師が新規採用されています。今後は病棟薬剤師の配置、加算獲得に向け引き続き薬剤師獲得へ尽力していきたいと考えています。

外来の生理検査は西館にありましたが、平成 30 年度改修に伴い全て本館東側へ移設しています。それにより外来からの心電図、エコー、尿検査の患者さんの動線が近くなり、また放射線科と向い合せて配置しているので患者さんが迷うことなく検査を受けられようになりました。また検査科はクリニックと予防医学センターがおのおの独立した形で検査を行っていましたが、平成 30 年度より本院検査科に一元化しています。それによりスタッフの配置、ローテーションを効率化することでレベルアップにもつながると考えています。

理学療法科は今まで本館東側にありましたが平成 30 年度に西館 2 階(旧産婦人科)に移設となっています。現在は脳血管疾患リハⅠ、運動器疾患リハⅠ、呼吸器疾患リハⅠ、がんリハⅠ、心大血管リハⅠの 5 つの疾患別リハの施設基準を満たしています。今後はさらに施設基準を取得できないか、ウィンメンズの充実を図れないかを検討していきたいと考えています。また、当院は整形外科が急激に増えてきたこともあり今年度は PT2 名、OT2 名の増員も理事会で承認されています。次年度は心リハの増員にも力を入れていきたいと考えています。

平成 30 年度は調理場の床補修など大掛かりな修繕を行いました。これにより水回りがさらに清潔になり衛生面として大きな改善となっています。現在産科では専属の調理師が授乳婦食(祝い膳)を担当していますが、授乳婦から高い評価を頂いています。産科は右肩上がりが増加しているのでさらに充実を図っていききたいと考えています。ただ洗い場と調理補助が慢性的な人手不足が続いているので早急に打開策を検討したいと考えています。

平成 29 年度は今まで 8 階にあった透析室が東館 3 階へ移設となりました。今後増えつつある透析患者に対応すべく透析ベッドを全て新調し、また透析患者さんが快適に透析を行えるようソフト面の充実を図っています。また臨床工学科と電算係が中心となり無料 Wi-Fi を全館に配置し、院内のどこからでも患者さんやスタッフがインターネットを使える環境整備を行いました。病院としての全館無料 Wi-Fi 化は全国的にも珍しく総務省や県からも注目を浴びています。今後はアブレーションや手術室に精通した臨床工学技士を育成に力を入れていきたいと考えています。

放射線科では本館東側に、新たに一般撮影室を 2 室増設し、また 3T-MRI を新た

に購入し MRI 2 台体制としました。これにより待ち時間が大幅に短縮し検査効率が改善されました。また新たに腰椎股関節骨密度計測装置や口腔パノラマ撮影装置を導入し、検査のすそ野が広がっています。CT 装置も西館に 2 台ありましたが 1 台を本館東側に移設することにより、外来部門と救急部門どちらにも即対応できる体制に整えました。また 9 階内視鏡センターに新たに X 線 TV を導入しました。これにより透視下内視鏡の検査でも 1 階に内視鏡装置を下ろさず 9F で検査が完結できるようになっています。

医療安全管理室

部門紹介

医療安全管理者 安村 公均

平成 19 年に当院の医療安全部門として、組織横断的活動を行うために病院長を直属とする医療安全管理室が設置されました。統括責任者を副院長の久場とし、看護師 1 名を医療安全管理者（リスクマネジャー）として専従配置しています。また、医療安全管理室が事務局となっている医療安全管理委員会は、診療部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各部門の代表者が参加する総勢 26 名のメンバーで構成され、毎月会議を開催しています。

医療安全管理室 理念

1. 心と心を結ぶ信頼される医療を目指す
2. 医療行為は、治療を目的としたものでなければならない

医療安全管理室 運営方針

1. 医療事故防止の為に安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上を図る
2. 医療安全に関する職員への教育・研修、情報の分析、対策の立案、事故発生時の初動対応、再発防止立案、発生予防及び発生した事故の影響拡大の防止等に努める
3. 安全管理体制を組織内に根付かせ機能させる事で、医療機関における安全文化の醸成を促進する

職員数

総数

2 名

職種別

医療安全管理室	専従看護師	1 名
	専従事務	1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
安村 公均	医療安全管理者認定

活動実績

インシデント報告件数

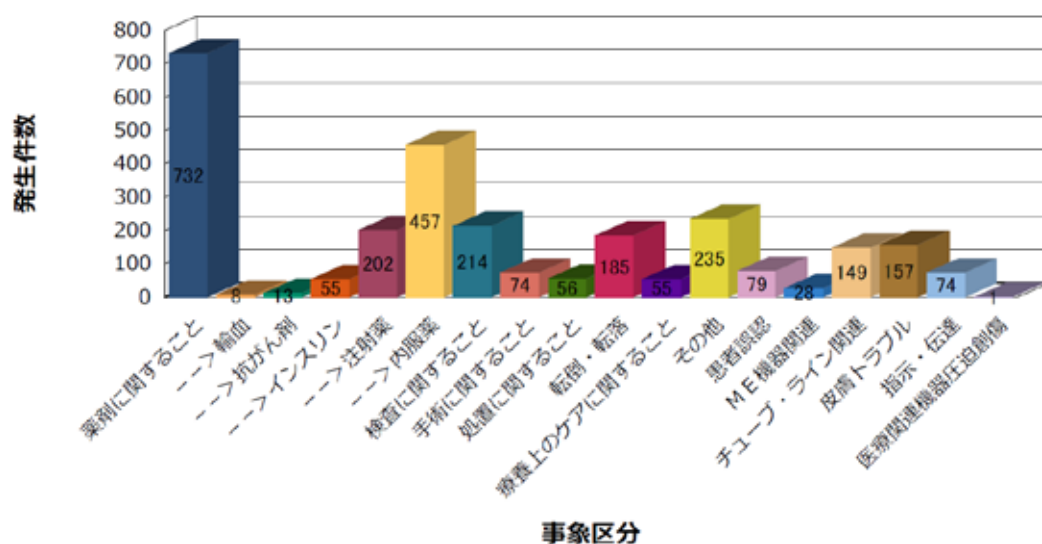
毎年、安全文化の醸成、医療事故の低減を目標に活動しています。

医療安全管理システムにより、インシデント事例の原因分析が迅速に行えるようになりました。また、新しい分析手法を導入し、必要な対策がタイムリーに検討・実施され、現場で活かされるよう働きかけています。

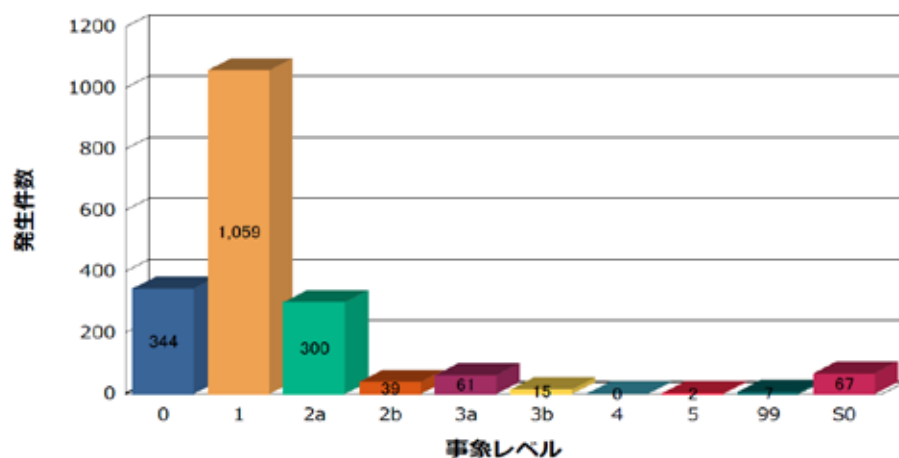
特に患者誤認防止策では、直前照合を徹底することにより医療安全活動の本質である未然防止が強化され、その結果、薬剤関連のインシデント件数も減少傾向となっています。平成 27 年 10 月より医療事故調査制度が施行され、制度の理解を行うため勉強会、講演会などを開催し事故発生時の対応マニュアルなどの作成・整備を行っています。

今後は、患者・ご家族と共に行う医療安全を強化し、安全文化の確立に努めていきます。

事象区分毎発生件数



事象レベル毎発生件数



患者影響レベル

- 0: 当該行為が患者に実施される前に気づいた。
- 1: 当該行為が実施されたが患者に変化がなかった
【すぐ気づいた為、問題にならなかった。】
- 2a: 当該行為が実施され一時的な観察が必要となった
【内部調査が必要になった】
- 2b: 当該行為が実施され検査が必要となった
【内部調査に加え患者家族の対応が発生した】
- 3a: 当該行為のため簡単な治療や処置を要した
【患者家族へ病院として謝罪や説明が必要になった】
- 3b: 当該行為のため濃厚な治療や処置を要した
【患者家族への謝罪に加え何らかの補償が必要になった】
- 4: 当該行為により障害が残った
- 5: 当該行為が死因となった
- 99: その他(原因不明)
- S0: 患者サポート

※「S0」は当院独自の基準で患者サポート委員会で検討し対応を協議しています。

研修実績

(データ作成 医療安全管理室 安村)

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
医療安全について	新入職オリエンテーション	当院	2018年4月2日	久場良也
療養環境と医療安全	看護部新入職者研修	当院	2018年4月4日	外間真紀子
医療安全管理体制相互評価者養成講習会	全日本病院協会	院外	2018年5月12日、13日	久場良也、高良誠、安村公均
看護助手研修①	看護部	当院	2018年5月18日	安村公均、島尻泰史
看護助手研修②	看護部	当院	2018年6月8日	安村公均、島尻泰史
中堅研修①	医療安全管理室	当院	2018年6月15日	安村公均、島尻泰史
医療安全倫理・モラル研修会	国際医療リスクマネジメント学会	院外	2018年6月17日	久場良也
医療事故調査制度への対応研修会	全日本病院協会	院外	2018年6月22日	久場良也、島尻泰史
医療安全管理者養成課程講習会第1クール	全日本病院協会	院外	2018年6月23日、24日	釜野武志、石原悟、野原剛、田中泉
3ヶ月フォローアップ研修	看護部	当院	2018年6月29日	安村公均、島尻泰史
ソリューション・フォーカストアプローチ研修	患者総合支援センター	当院	2018年6月30日、7月1日	島尻泰史
医療安全の外部評価	沖縄県看護協会	院外	2018年7月21日	外間真紀子、安村公均、島尻泰史
医療安全セミナー①	日本臨床医学リスクマネジメント学会	院外	2018年8月3日、4日、5日	島尻泰史
医療安全管理者養成課程講習会第2クール	全日本病院協会	院外	2018年8月3日、4日、5日	釜野武志、石原悟、野原剛、田中泉
医療安全講習会「個人情報」保護	医療安全管理室	当院	2018年8月14日	安村公均、島尻泰史
医療安全セミナー②	日本臨床医学リスクマネジメント学会	院外	2018年8月24日、25日、26日	島尻泰史
3年目看護師研修	看護部	当院	2018年9月7日	安村公均、島尻泰史
中堅研修②	医療安全管理室	当院	2018年9月14日	安村公均、島尻泰史
医療安全管理者養成課程講習会第3クール①	全日本病院協会	院外	2018年9月16日、17日	石原悟、野原剛
6ヶ月フォローアップ研修	看護部	当院	2018年9月21日	安村公均
医療安全管理者養成課程講習会第3クール②	全日本病院協会	院外	2018年10月27日、28日	釜野武志、田中泉
医療安全講習会「安全意識の醸成に向けて」	医療安全管理室	当院	2018年10月29日	久場良也
沖縄県支部学術総会	日本医療マネジメント学会	院外	2019年1月26日	安村公均、島尻泰史
看護協会安全会議	看護協会	院外	2019年2月2日	外間真紀子、安村公均、島尻泰史
日本医療安全学会学術総会	日本医療安全学会	院外	2019年2月9日、10日	安村公均、島尻泰史
医療安全講演「医療事故調査制度の実際」	外部講師	当院	2019年2月26日	久場良也、安村公均、島尻泰史
1年目フォローアップ研修	看護部	当院	2019年3月22日	安村公均、島尻泰史

医療安全管理室 年度総括



医療安全管理室
安村 公均

平成 30 年度は、①安全風土の醸成、②レベル 3 の低減、③レベル 2 以上の発生件数の抑止、④患者誤認・転倒転落事象の低減、⑤薬剤に関する事象（内服）の抑止を目標とし活動して参りました。

レベル 0 ～ 1 の報告件数を増やし、分析から対策の立案を行いました。安全風土の醸成に関しては、全部門において検証し対策する仕組みができましたが、レベル 3 以上の低減までには至りませんでした。

転倒転落防止については、評価・対策でき低減できました。しかし、報告件数増大には至らず、分析から転倒転落、皮膚トラブル、チューブ関連において患者さんの高齢化もあり、対策している中でのインシデント件数が増える結果となってしまいました。患者誤認、内服に関する事象については、低減できませんでした。

次年度の課題としては、再発防止に向けた事例分析強化と部門間連携の強化、レベル 3 以上の低減が挙げられます。この課題をふまえ、今後も教育活動を継続し、スタッフが要因となるインシデントの低減、対策評価を適正に行い有害事象の低減を目標に取り組んでいきます。

感染対策管理室

部門紹介

感染対策管理室 城間 克也

感染対策管理室は平成 20 年に院長直下の感染に関する諮問機関として設置され、専従看護師が配置されました。平成 24 年には 1 人目の感染管理認定看護師が誕生、平成 26 年には新たに感染管理認定看護師が 2 名加わりました。感染対策管理室の専従者を感染管理認定看護師 1 名が担い、手術室と病棟へ 1 名ずつ配置され認定看護師としての視点をもってそれぞれの役割を全うしています。専従看護師は病院全体に関わる感染管理業務を行い、兼任看護師は現場で看護ケアを行いながら感染対策を実践しております。感染対策教育は、全職員を対象とする講習会を年 2 回実施。他には、新人教育、研修医研修、看護部中堅研修、助手研修、部署別研修、手指衛生などを専従、兼任で分担し実施しています。

今年度からは抗菌薬適正使用支援チーム (AST) を立ち上げ、検査技師 1 名が業務専従のため感染対策管理室に配置されました。抗菌薬適正使用や耐性菌発生抑制への各取り組みを AST の中心となり活発的に活動しています。

感染対策管理室では日々病棟をラウンドし感染対策の実施状況を確認、感染対策に関する問題や課題を挙げ、必要な指導や教育、感染対策マニュアルの見直しや改訂などを通し改善活動を行っています。サーベイランスで得られた情報や結果を基に、ICT 耐性菌ラウンドや AST 抗菌薬適正使用ラウンドを実施。続けて ICT/AST ミーティングを行い現場での感染対策実践や適正な感染症診療への支援に繋がっています。

看護部、医療技術部、事務部の各部署より選出されたメンバーで構成される感染対策小委員会の企画運営を行い、全職種で感染対策に挑む体制作りとその実践を遂行しています。

感染管理対策室 理念

感染管理をとおして、患者さんが病院を信頼し、安心して質の高い医療を提供できることを目指し活動しています。

職員数

総数

3 名

職種別

専従看護師 1 名

専従検査技師 1 名

一般事務 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
城間克也	感染管理認定看護師

氏名	認定・資格名
宮城 健	二級臨床検査士 (微生物学)

活動実績

平成 30 年度の目標と実績（実績 / 目標）

MRSA 院内発生	針刺し切創・粘膜汚染	アルコール製剤使用達成度 (推奨使用量に対し)	手指衛生遵守率
43 件 / 50 件以下	26 件・4 件 / 15 件以下	72.2% / 80% 以上	71.9% / 60% 以上

主な活動

1) 職員教育

全職員対象感染対策講習会 第 1 回受講率 83.9%、第 2 回受講率 22.8%

2) 感染委員会の開催

月 1 回定例開催で 12 回の開催 緊急会議等 4 回開催

感染小委員会月 1 回定例開催で 12 回の開催(①職員の手指衛生調査②環境ラウンド、フィードバック)

3) アウトブレイク調査と対策介入

インフルエンザウイルス集団感染（法人内発生 2 事例）への対策介入

4) 職業感染予防および職員フォロー

針刺し事例 [30 件] への介入（状況調査、解決案検討と提示）針刺し後フォロー職員の対応 [3 名]

結核接触職員対応 [4 症例]（追跡フォロー対象選定、行政連携など）

職員対象緊急ワクチン接種の実施 [麻しん：接種 293 名 / 対象 382 名 風しん：接種 77 名 / 対象 115 名]

5) 厚生労働省サーベイランス (JANIS) への参加

全入院患者部門サーベイランス（耐性菌）、検査部門サーベイランスそれぞれの集計・管理・報告

6) 感染防止対策加算における連携施設との活動

加算 1 施設間の相互ラウンド、加算 1・2 施設間のカンファレンスの実施

7) 平成 30 年度診療報酬改定に伴う抗菌薬適正使用支援加算の整備と取得

抗菌薬適正使用支援チーム (AST) 発足、関連マニュアル整備と改訂

菌血症患者モニタリング / 届出抗菌薬モニタリング開始、血液培養サーベイランス（汚染率、複数セット採取率）

研修・学会参加

名称	開催地	年月日	主催	参加者
感染管理ベストプラクティス “Saizen” 研究会第 13 回セミナー	大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)	2018 年 5 月 12 日	日本感染管理ベストプラクティス “Saizen” 研究会	石川由希、照喜名朝郁
感染管理ベストプラクティス 沖縄ワークショップ (第 1 回)	沖縄県医師会館	2018 年 6 月 22 日	沖縄県感染管理認定看護師会 日本感染管理ベストプラクティス “Saizen” 研究会	城間克也、玉城玲奈、恒富加奈
沖縄県感染管理認定看護師会	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	2018 年 8 月 4 日	沖縄県感染管理認定看護師会	城間克也、石川由希、大城美那
感染管理ベストプラクティス 沖縄ワークショップ (第 2 回)	沖縄産業支援センター	2018 年 8 月 24 日	沖縄県感染管理認定看護師会 日本感染管理ベストプラクティス “Saizen” 研究会	城間克也、玉城玲奈、恒富加奈

名称	開催地	年月日	主催	参加者
感染管理認定看護師のためのキャリアディベロップメント講座（前期）	花王すみだ事業場 セミナーハウス	2018 年 9 月 22 日 ～ 23 日	HAICS 研究会	石川由希
感染管理ベストプラクティス 沖縄 ワークショップ（第 3 回）	沖縄産業支援セン ター	2018 年 11 月 30 日	沖縄県感染管理認定看護 師会 日本感染管理ベストプラク ティス“Saizen”研究会	城間克也、玉城玲奈、 恒富加奈
感染管理認定看護師のためのキャ リアディベロップメント講座（後期）	花王すみだ事業場 セミナーハウス	2019 年 1 月 12 日 ～ 13 日	HAICS 研究会	石川由希
沖縄県感染症疫学講習会	沖縄県立中部病院	2019 年 1 月 12 日	沖縄県立中部病院 感染症 内科 椎木創一	城間克也、森山武志
第 32 回沖縄県感染管理研究会	国立劇場おきなわ 小劇場	2019 年 1 月 19 日	沖縄県感染管理研究会	城間克也、石川由希
沖縄県感染管理認定看護師会	那覇市立病院	2019 年 2 月 2 日	沖縄県感染管理認定看護 師会	石川由希
第 34 回日本環境感染学会総会・ 学術集会	神戸国際展示場	2019 年 2 月 22 日 ～23 日	日本環境感染学会	城間克也
第 12 回 ICN ネットワークセミ ナー	沖縄県薬剤師会館	2019 年 3 月 9 日	ICN ネットワーク	城間克也（基調講演）

勉強会実施実績

名称	開催地	年月日	演者	対象
院内感染対策新入職オリエンテーション	当院	2018 年 4 月 3 日	普天間光彦	新入職者全員
看護部入職者研修 療養環境と感染対策、PPE 着脱、手指衛生	当院	2018 年 4 月 4 日	城間克也、大城美那、 石川由希	看護部新入職者
院内感染対策研修医オリエンテーション	当院	2018 年 4 月 6 日	城間克也	研修医 1 年目
針刺し事故の対応	当院	2018 年 4 月 9 日	城間克也	看護部新入職者
吸引の感染対策	当院	2018 年 5 月 15 日	城間克也	看護部新入職者
看護補助者研修（吸引びん洗浄）	当院	2018 年 5 月 18 日	石川由希	看護補助者
事務業における感染対策	当院	2018 年 6 月 7 日	城間克也	メディカルクラーク
マスクと手指消毒の正しい方法	当院	2018 年 6 月 27 日	城間克也	ハートライフクリ ニック全職員
実践できてる？手指衛生の正しい手順とタイミ ング	当院	2018 年 6 月 29 日	大城美那	看護部新人 3 ヶ月 フォロー
中堅研修	当院	2018 年 7 月 13 日	城間克也、大城美那、 石川由希	10 年目以上の看護 師
感染性胃腸炎	当院	2018 年 8 月 10 日	石川由希	看護部 2 年目フォ ロー
2018 年度第 1 回全職員対象感染対策講習会	当院	2018 年 8 月 15 日	普天間光彦、城間克也	全職員対象
針刺し、あなたは大丈夫？	当院	2018 年 9 月 21 日	大城美那	看護部新人 6 ヶ月 フォロー
中堅研修	当院	2018 年 10 月 19 日	城間克也、大城美那、 石川由希	10 年目以上の看護 師
2018 年度第 1 回全職員対象感染対策講習会 （追加①）	当院	2018 年 10 月 26 日	城間克也	全職員対象
災害と感染対策	地域公 民館	2018 年 11 月 4 日	城間克也	一般（自治会自主防 災）
2018 年度第 1 回全職員対象感染対策講習会 （追加②）	当院	2018 年 11 月 6 日	城間克也	全職員対象
2018 年度第 1 回全職員対象感染対策講習会 （追加③）	当院	2018 年 11 月 8 日	城間克也	全職員対象
2018 年度第 1 回全職員対象感染対策講習会 （追加④）	当院	2018 年 11 月 15 日	城間克也	全職員対象
2018 年度第 1 回全職員対象感染対策講習会 （追加⑤）	当院	2018 年 11 月 27 日	城間克也	全職員対象
2018 年度第 1 回全職員対象感染対策講習会 （追加⑥）	当院	2018 年 11 月 29 日	城間克也	全職員対象

名称	開催地	年月日	演者	対象
感染管理について	当院	2018 年 11 月 30 日	城間克也	おもと会沖縄看護専門学校統合実習
2018 年度第 1 回全職員対象感染対策講習会 (追加⑦)	当院	2018 年 12 月 5 日	城間克也	全職員対象
2018 年度第 1 回全職員対象感染対策講習会 (追加⑧)	当院	2018 年 12 月 12 日	城間克也	全職員対象
2018 年度第 1 回全職員対象感染対策講習会 (追加⑨)	当院	2018 年 12 月 18 日	城間克也	全職員対象
中堅研修	当院	2019 年 1 月 18 日	城間克也、大城美那、石川由希	10 年目以上の看護師
2018 年度第 2 回全職員対象感染対策講習会	当院	2019 年 1 月 22 日	沖縄県立中部病院 感染症内科医 成田雅先生	全職員対象
医療関連感染症	当院	2019 年 3 月 22 日	大城美那	看護部新人 1 年目 フォロー

2019 年度目標

- ・ MRSA 院内発生 50 件以下
- ・ アルコール製剤使用達成度（推奨使用量に対し） 80% 以上
- ・ 手指衛生遵守率タイミング① 80% 以上
- ・ 針刺し・切創、皮膚・粘膜汚染 15 件以下
- ・ 血培汚染率 3.0% 以下
- ・ 血液培養複数セット採取率 90% 以上

感染対策管理室 年度総括



感染対策管理室
城間 克也

今年度で3年目になる手指衛生調査はこれまで毎年目標を達成し経過しています。手指衛生の重要性の根拠として院内感染防止がありますが、そのアウトカム指標となる MRSA 院内発生数は目標設定開始6年目となる今年度初めて目標を達成出来ました。これらの成果は、ここ3年ほど強化し実施してきた職員手指衛生教育と、現場で手指衛生調査を始め指導やモデルとなるリンクスタッフの地道な活動の賜物と考えております。次のステップとして新年度活動は、手指衛生タイミング①（患者に触れる前の手指衛生）における実施遵守率の目標を掲げ（目標80%以上）、看護部を中心に部署単位で改善活動を計画・実施する予定です。

耐性菌の院内発生及びアウトブレイクは制御し経過していると評価する一方、不十分な咳エチケットや感染症有症時の就業姿勢や考えなどが関連した職員契機のインフルエンザ集団感染が法人内で2度発生しました。感染対策の知識や技術の教育も大切ですが、感染対策に対する部署風土やそれを形成する個人単位の意識などへの積極的な介入も重要であることを学べる機会となりました。「職業感染予防」「安全な医療の提供」を念頭に、職員自ら感染対策に挑むという行動変容と、その成果となる職員契機のインフルエンザ院内発生0を目指し現場介入や教育計画を実施していきます。

今年度発足した抗菌薬適正使用支援チーム（AST）は、微生物に長けた臨床検査技師の宮城が専従としてチーム立ち上げから奮起。抗菌薬適正使用支援に前施設でも携わっていた総合内科佐藤先生、中頭病院研修で抗菌薬適正使用支援を学び戻られた呼吸器内科仲吉先生という心強い二人がASTに加わり更に実のある活動を展開しています。現在は経験値を蓄え、ASTの掲げる目標達成に向け邁進している次第です。

新年度もICT・ASTの実働部隊が感染制御と抗菌薬適正使用支援という大きな役割を全うし、法人における医療の質の改善に寄与していきます。

栄養サポート室

部門紹介

栄養サポート室 當眞 結子

栄養サポート（以下 NST）とは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリなどの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い患者さんにとって最適な方法で栄養支援を行う医療チームの事を言います。

当院 NST は、平成 17 年に院長直下の委員会として発足し、同年に NST 稼働施設認定を取得しました。翌 18 年には褥瘡対策委員会と合併し NST・褥瘡対策委員会として協働で活動しています。

栄養サポート室 理念

医療チームの一員として、それぞれの専門スタッフが知識や技術を持ち合い患者さんに最適な方法で栄養支援を行う。

栄養サポート室 運営方針

入院患者さんに対し個々の栄養状態を把握し最もふさわしい栄養管理を提言することで、早期回復を助け患者さんの QOL 向上に貢献する。

職員数

総数

1 名

職種別

栄養サポート室 管理栄養士 1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
當眞結子	栄養サポートチーム専門療法士 日本静脈経腸栄養学会員

NST 回診&カンファレンスについて

NST 対象患者選択

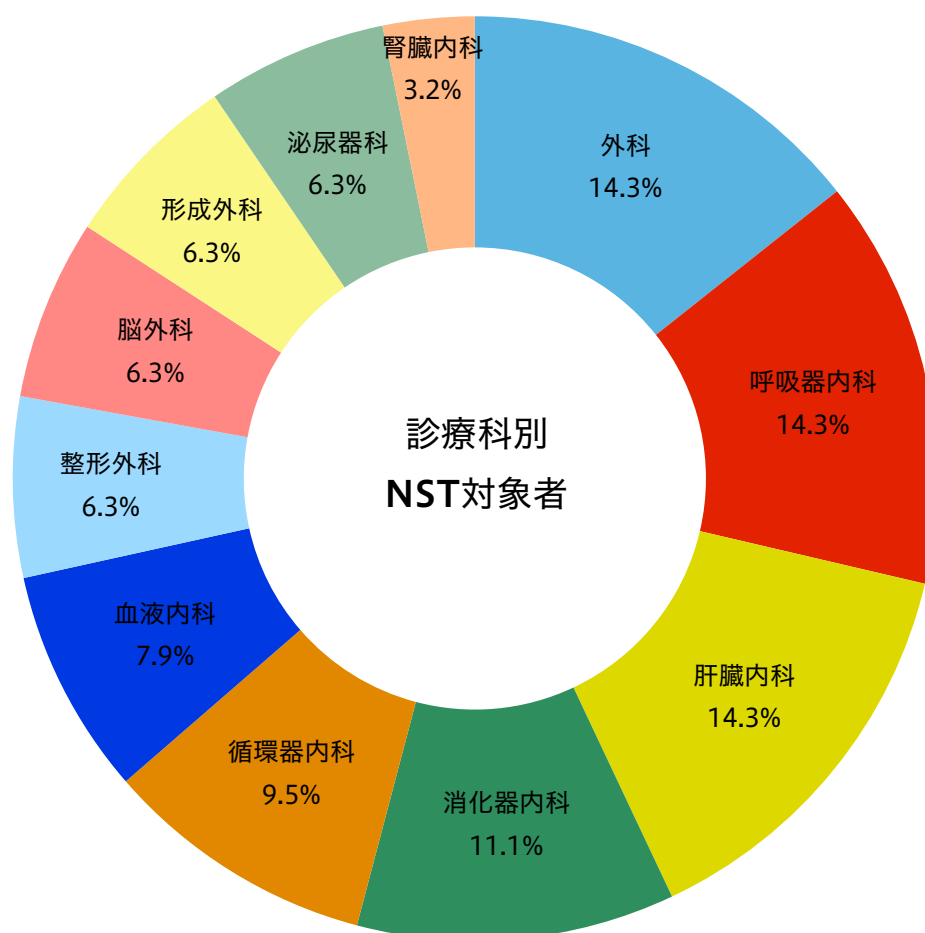
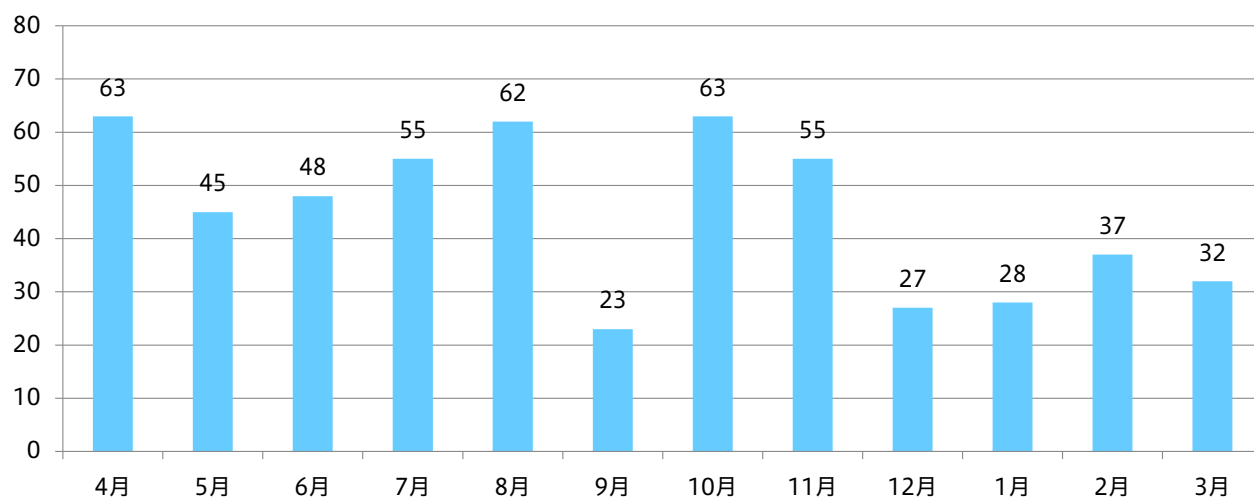
- 回診前週の採血でアルブミン値 3.0mg /dl 以下の患者
- 褥瘡を有してる
- 摂食・嚥下障害がある
- 経腸栄養中のトラブル（下痢・便秘・胃食道逆流・瘻孔トラブルなど）

NST 対象除外

- 術後の採血でアルブミン値が 3.0mg /dl 以下
- ターミナル期の患者（予後が短く介入困難）
- 化学療法中などの患者でも摂食が十分な場合

業務実績

NST 加算件数



活動実績

研修実績

研修名	主催	開催地	開催日
経腸栄養セミナー	キューピー株式会社	医師会館	2018 年 5 月 12 日
琉球摂食嚥下研究会	琉球大学医学部付属病院 耳鼻咽喉科	琉球大学	2018 年 5 月 19 日
臨床栄養懇話会	沖縄臨床栄養懇話会	医師会館	2018 年 6 月 2 日
日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	日本摂食嚥下リハビリテーション学会	仙台	2018 年 9 月 8 日
オルニュートについて	キリン	院内	2018 年 10 月 15 日
排便コントロール～便秘～	阿嘉先生（当院大腸・肛門外科）	院内	2018 年 12 月 10 日
栄養管理による感染対策	ニュートリー	院内	2019 年 1 月 21 日
NSTフォーラム	大塚製薬	浦添市	2019 年 3 月 16 日

栄養サポート室 年度総括



栄養サポート室
当眞 結子

平成 30 年度は、外科部長を栄養サポート室委員長、外科医師 1 名、消化器内科医師 1 名を副委員長とし、看護師 27 名、医療技術部 12 名で構成しています。

栄養サポート室では全入院患者さんに対し、採血結果 Alb 値 3.0g/dL 以下でカンファレンス対象者のリスト作成を行い、リンクナースは NST 回診及びカンファレンスの対象となる患者さんをリストアップし、毎週月曜日に病棟回診とカンファレンスを、毎月第 2 月曜に NST 褥瘡対策委員会を実施しています。また平成 28 年度から創傷カンファレンスへも参加しています。カンファレンスでは、適切な経腸栄養剤の選択、食事形態や食事量を検討し、主治医や病棟スタッフに対し提案・助言を行い、フィードバックを重ね栄養状態の改善に努めました。

今年度より耳鼻科医と連携し、摂食嚥下機能が低下した患者さんをサポートする嚥下チームを設立しました。毎週水曜日に病棟ラウンドとカンファレンスを行い、高齢や様々な疾病により食べる機能が低下した患者さんが「食べる楽しみ」を得られるように活動しています。

栄養管理は、すべての疾患治療の上で共通する基本的医療のひとつです。症状や疾患に対する専門的な栄養療法の知識を習得し、患者さん個々に応じた栄養管理が実施できるよう取り組んでいきたいと考えております。

栄養サポート室は、褥瘡対策委員会と協働で活動しており、平成 26 年度からは形成外科医が常勤となり、褥瘡の予防からケアに至るまで強化する事ができたと思います。

内視鏡センター

部門紹介

内視鏡センター長 折田 均

内視鏡センターは日本内視鏡学会の認定指導施設で、内視鏡センターには指導医や専門医、消化器内視鏡技師を含む看護スタッフなど 35 名が従事しています。当センターでは通常検査や予防医学センターの検査のほか、消化管出血などに対する緊急内視鏡処置も多数行っており、総胆管結石などの胆・膵の処置（ERCP 関連）や従来は外科的手術が必要だった、病変が広い早期食道がんや胃がん、大腸がんに対して、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を取り入れています。

職員数

総数 35 名

職種別

指導医	4 名	内視鏡技師 I 種	6 名
専門医	5 名	II 種	2 名
その他	7 名	看護師	8 名
		助手	3 名

担当医師

(平成 30 年 9 月時点)

	氏名	学会認定など
院長	奥島 憲彦	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本食道学会認定医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本消化器内視鏡学会専門医
副院長 内科部長	佐久川 廣	日本肝臓病学会指導医 日本感染症学会指導医 日本感染症学会インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本肝臓学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医
内視鏡センター長	折田 均	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
内視鏡センター 副センター長	仲本 学	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医

	氏名	学会認定など
予防医学センター 副センター長	宮里 稔	日本消化器内視鏡学会専門医 日本東洋医学会認定医
消化器内科部長 5 階病棟医長	宮城 純	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医
大腸・肛門外科医長	阿嘉 裕之	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本外科学会認定登録医
消化器内科医長	柴田 大介	日本内科学会認定内科医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本肝臓学会専門医
	洲鎌 理知子	日本消化器内視鏡学会専門医
	小橋川 ちはる	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医

内視鏡センター 運営方針

1. インフォームドコンセントを充実させ、受検者の満足に答える医療サービスを提供する。
2. 安全性を確保しつつより高いレベルへの診断能の向上、内視鏡治療の質の向上をめざす。
3. 消化器内視鏡指導施設として、医師及びコメディカルスタッフの指導・育成を行う。

目標

- (1) より高い診療技術の向上
- (2) 患者安全の確保
- (3) 洗浄・消毒の徹底と管理

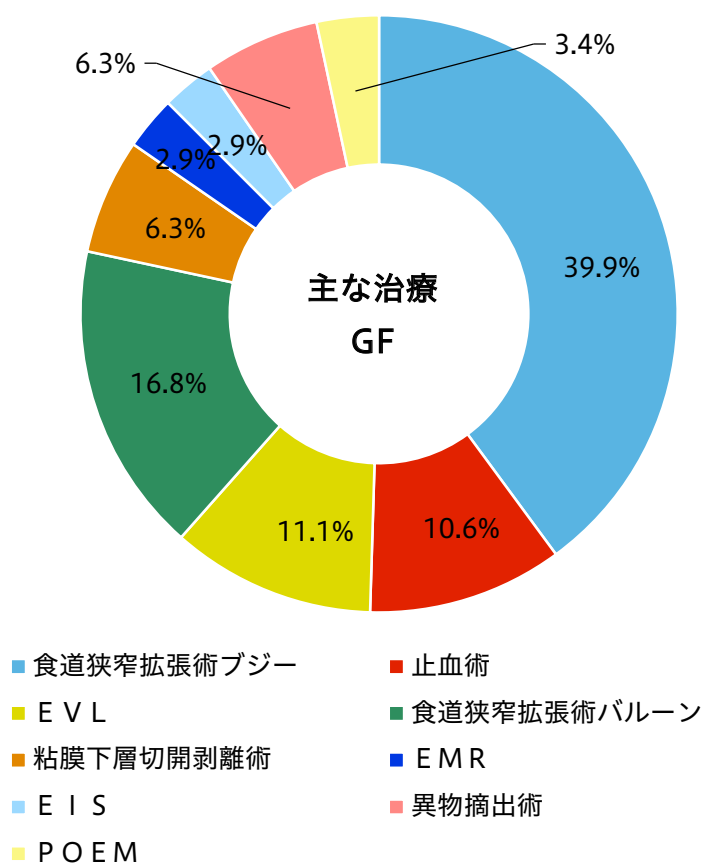
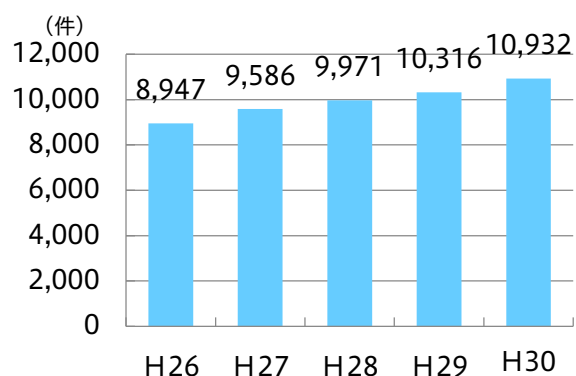
検査・治療件数

内視鏡検査及び内視鏡的治療

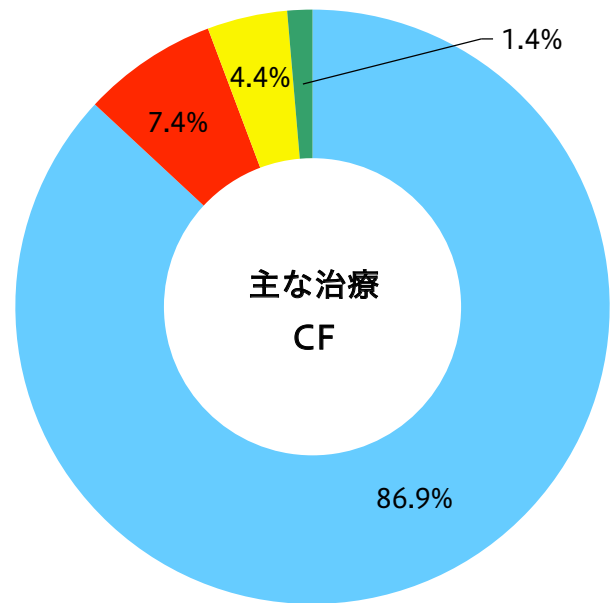
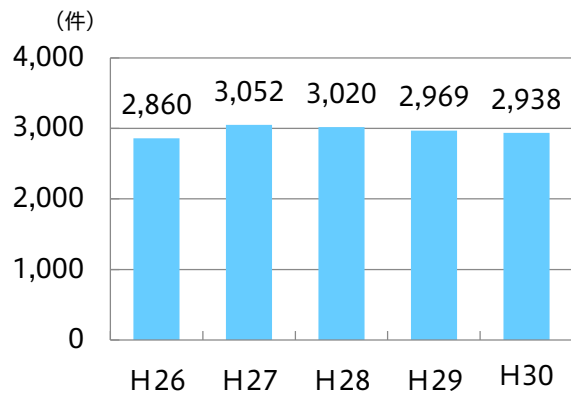
種別	合計
胃内視鏡	10,932
大腸内視鏡	2,938
ERCP	145
小腸内視鏡	3
気管支鏡	52
上部消化管（内訳）	
止血術	22
EMR	6
EVL	23
EIS	6
食道狭窄拡張術バルーン	35
食道狭窄拡張術ブジー	83
食道ステント留置術	1
焼灼術	13
異物摘出術	13
胃瘻造設術	34
粘膜下層切開剥離術	13
POEM	7
ステント	1
超音波内視鏡	15
胃・十二指腸・小腸拡張	11
整復術（胃捻転）	2

下部消化管（内訳）	
EMR	319
止血術	27
直腸狭窄拡張術	16
超音波内視鏡	3
粘膜下層切開剥離術	5
マーキング	9
イレウスチューブ挿入	6
ステント	3
整復術（腸捻転）	19
胆道・膵管（内訳）	
乳頭切開術（EST）	50
乳頭拡張術（EPBD）	23
総胆管結石砕石 / 採石術	48
経鼻胆管ドレナージ（ENBD）	6
胆管 stent	98
膵管 stent	44
超音波内視鏡	13
ENPD	7
気管支鏡（内訳）	
経気管支肺生検（TBLB）	26
肺胞洗浄（BAL）	13

GF 件数



CF 件数



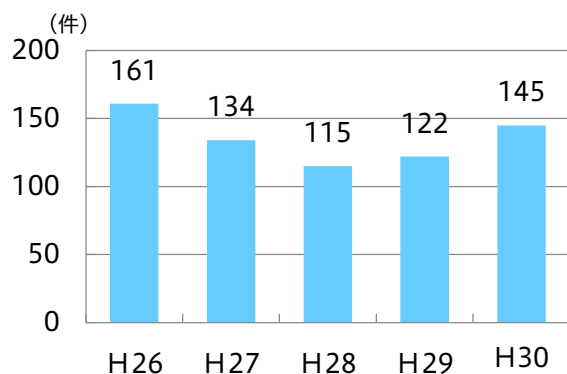
■ EMR

■ 止血術

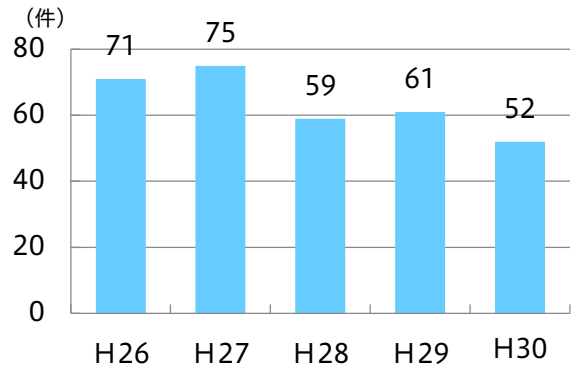
■ 直腸狭窄拡張術

■ 粘膜下層切開剥離術

ERCP 件数



BF 件数



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院における大腸癌手術症例の短期成績	第 118 回日本外科学会定期学術集会	東京都	2018 年 4 月 6 日	宮平 工、国吉史雄、西垣大志、阿嘉裕之、花城直次、西原 実、梁英 樹、奥島憲彦
食道アカラシアに対する POEM 手術の治療成績と課題	第 105 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡県	2018 年 6 月 8 日	奥島憲彦、仲本正哉、西垣大志、花城直次、宮平 工
食道アカラシアに対する POEM 手術の治療成績	第 26 回日本消化器関連学会週間 JDDW 2018 KOBE	兵庫県	2018 年 11 月 2 日	奥島憲彦、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、宮平 工、西原 実
ESD を行った食道癌 72 例の治療成績の検討	第 126 回沖縄県医師会医学学会総会	沖縄県	2018 年 12 月 9 日	奥島憲彦、兼元萌美、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、宮平 工、西原 実、嵩原裕夫

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
胃生検 Group2 にて経過観察されていた胃粘液癌の1例	第 324 回日本内科学会九州地方会	福岡県	2019 年 1 月 12 日	仲本 学、折田 均、林 貴徳、仲舩 拓、柴田大介、小橋川ちはる、宮城 純、佐久川 廣
食道アカラシアに対する POEM 手術の治療成績	第 50 回消化器病センター例会	東京都	2019 年 1 月 19 日	奥島憲彦、仲本正哉、国吉史雄、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、宮平 工、西原 実
十二指腸 GIST の 1 切除例	第 50 回消化器病センター例会	東京都	2019 年 1 月 19 日	国吉史雄、梁 英樹(至誠会第二病院)、仲本正哉、阿嘉裕之、花城直次、宮平 工、西原 実、奥島憲彦

内視鏡センター 年度総括



内視鏡センター長
折田 均

平成 30 年度の内視鏡件数は上部内視鏡検査が前年度に続き過去最高を更新しました。しかし、下部内視鏡検査は 2 年連続で前年度を若干下回りました。沖縄県の大腸がん死亡率の高さなどを考えると、下部内視鏡検査は件数を増やしていかなければなりません。前年度の体制（施設や人員）では、飛躍的に件数を増やすことは難しい状況でしたが、内視鏡センターの施設拡張工事が 2019 年 2 月に完了しましたので、今後、ハード面では検査件数を大幅に増やすことが可能となりました。一方で内視鏡医や内視鏡技師などの人員を確保し、増加する検査に対応できる体制を整える必要もあります。また、需要の多い健診部門以外にも、外来や病棟からの検査件数を増やす努力も必要です。

予防医学センター

部門紹介

予防医学センター長 謝花 隆光

予防医学センター（旧メディカルサービスセンター）は、昭和 63 年 8 月ハートライフ病院の開院時からスタートしており、当初は 1 階外来部分にありましたが平成 4 年 4 月に、本館 8 階での人間ドック・健診を開始しました。平成 28 年度より本館 8 階の改築がスタート、平成 30 年 12 月に完成し、8 階フロアが全て専用のフロアとなり、広々とした空間で快適なドック・健診を受けて頂くことができるようになりました。

スタート時の受診者数は、日帰りドックが 46 人、健診 197 人でしたが、平成 30 年度は日帰りドックが 7,658 人、2 日ドック（宿泊ドック）が 387 人、協会健診が 5,760 人、その他の健診を含めた総受診者数が 18,231 人となっております。

施設認定

- ・ 日本人間ドック学会人間ドック健診施設機能評価認定
- ・ 全日本病院学会人間ドック実施施設認定
- ・ 特定健診・特定保健指導機関認定

職員数

総数

51 名

職種別

医 師	6 名	臨床検査技師	6 名
保 健 師	5 名	一般事務	11 名
看 護 師	13 名	ク ラ ー ク	7 名
管理栄養士	1 名	助 手	2 名

医師プロフィール

（平成 30 年 9 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
予防医学センター長	謝花 隆光	内科	日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本内科学会認定内科医
予防医学センター副センター長	宮里 稔	東洋医学、消化器内科（内視鏡検査）	日本消化器内視鏡学会専門医、日本東洋医学会認定医
常勤	大城 志乃	内科	日本医師会認定産業医、日本人間ドック学会認定医、日本内科学会認定内科医、検診マンモグラフィ読影認定医
非常勤	奥島 しょう子		日本人間ドック学会人間ドック健診専門医、日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士、日本医師会認定産業医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本人間ドック学会人間ドック健診指導医

役職	氏名	専門分野	学会認定など
非常勤	金城 詩子		日本内科学会認定内科医
非常勤	松元 真紀子		

認定・資格

氏名	名称
安次富 道代	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
桃原 勝美	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
友寄 一乃	人間ドック健診情報管理指導士（ドックアドバイザー）
宮城 さおり	第1種衛生管理者免許

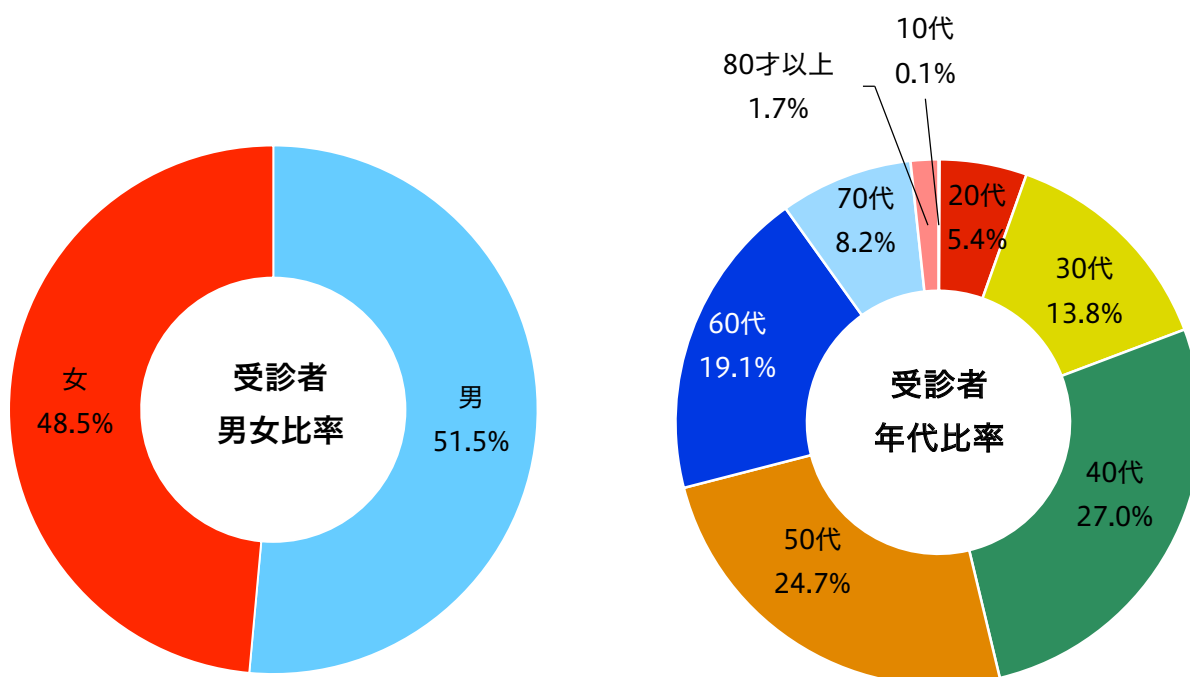
予防医学センター 理念

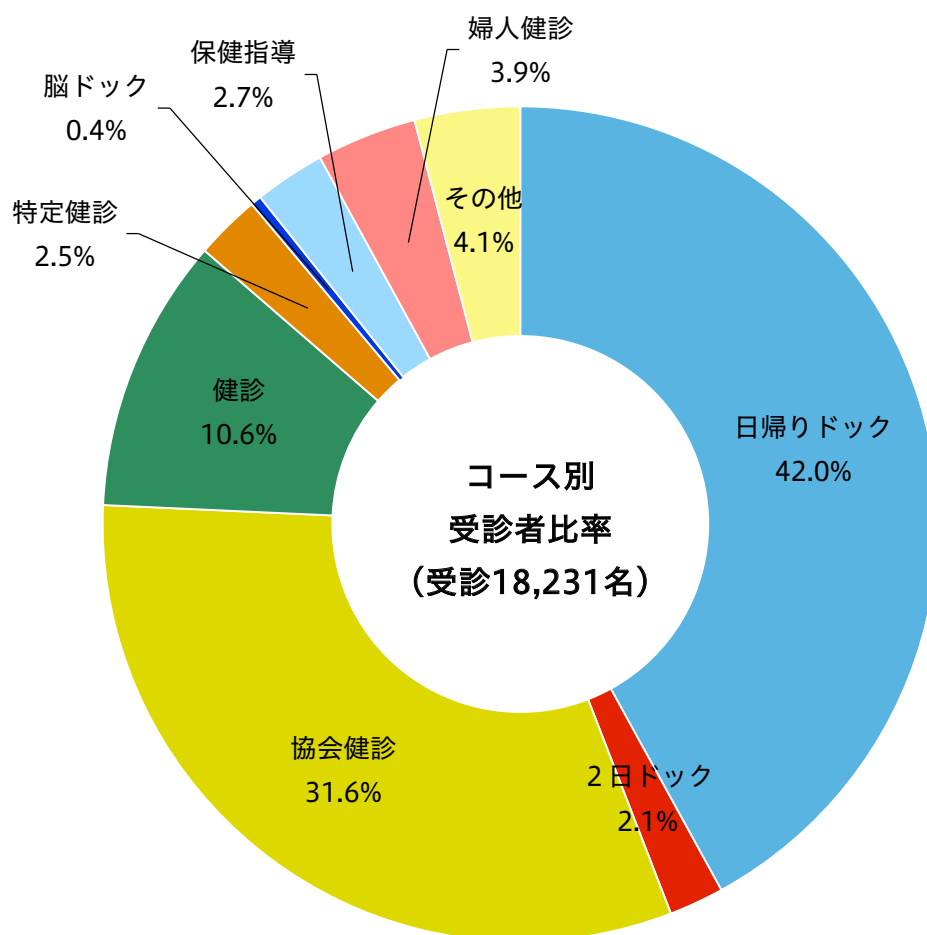
1. 受診者に満足いただけるよう、心のこもった親切・丁寧な接遇につとめます
2. 診断技術と検査の精度向上に心がけ、質の高い信頼される健診に努めます
3. 医師、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務職などスタッフ全員が相互連携協力して、最良の健診サービスに努めます
4. 受診者に満足していただけるよう、健診結果を十分に説明し、かつ事後の健康支援に努めます

予防医学センター 運営方針

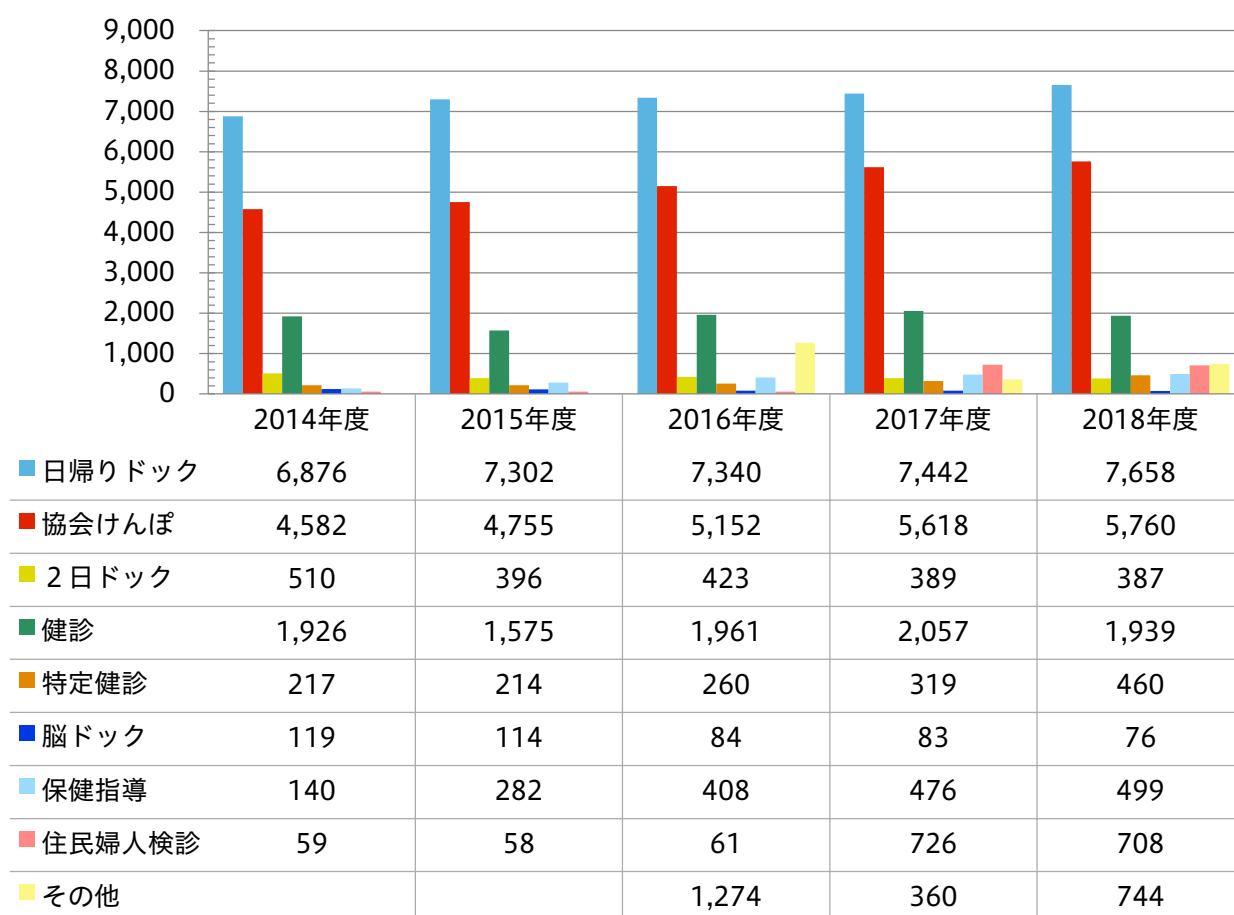
私たちは、受診者との心のふれあいを大切に信頼される予防医学をめざします。

2018 年度 ドック・健診の実績

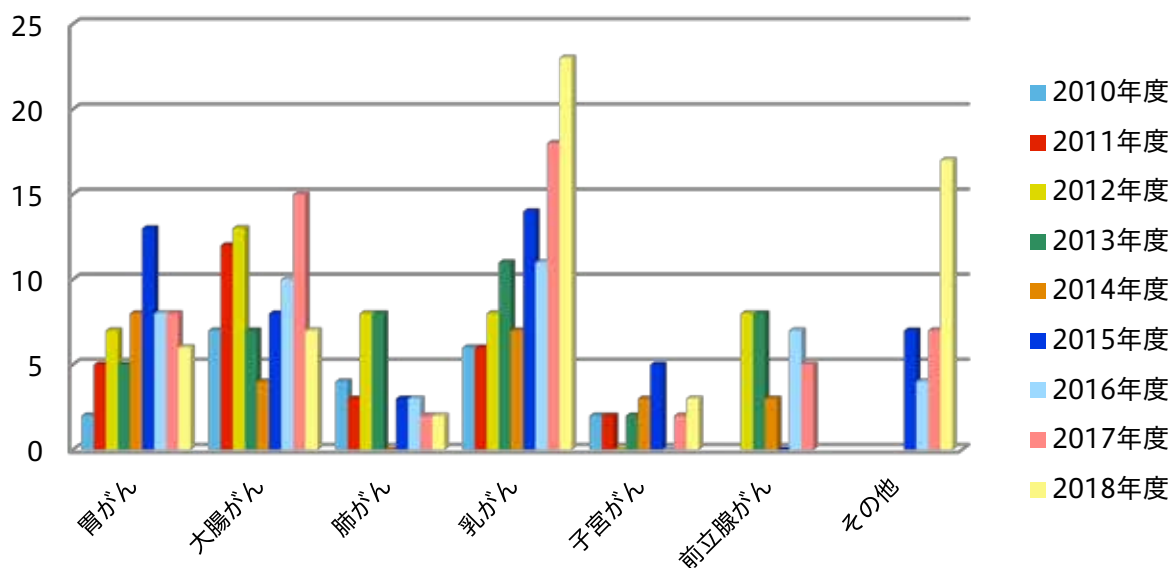




受診者数の推移



悪性腫瘍発見数



活動実績

学会発表

演題名	主催 (学会名)	場所	日時	参加者
大腸内視鏡検査前説明の工夫安心・安全な自宅飲用に向けての取り組み	第 59 回日本人間ドック学会学術大会	新潟県	2018 年 8 月 30 日～8 月 31 日	高宮
増改築に見る予防医学センターの今後について	第 60 回全日本病院学会	東京	2018 年 10 月 6 日～10 月 7 日	大城

院外勉強会

演題名	主催 (学会名)	場所	日時	参加者
精密検査施設における乳房超音波検査の工夫と装置の精度管理	宮良クリニック	てだこホール	2018 年 4 月 20 日	川上・大城・蔵下・上地
分子栄養学講演 & 糖質制限食	新垣形成外科		2018 年 6 月 10 日	友寄
大柳珠美管理栄養士監修 糖質制限和会席	新垣形成外科		2018 年 6 月 10 日	友寄
日常診療にも役立つ乳房超音波の基礎知識	宮良クリニック	沖縄県医師会館	2019 年 6 月 23 日	大城・蔵下・上地
衛生管理者等研修『動機づけ面接』	沖縄産業保健総合支援センター		2018 年 8 月 2 日	屋我
《テーマ》人が『人らしく』生きるために - 健康長寿に寄与できる人間ドックを目指して -	日本人間ドック学会学術大会	新潟県	2018 年 8 月 30 日～8 月 31 日	謝花・大城・友寄・石川・砂川
長寿菌がいのちを守る	住友生命福祉文化財団 沖縄タイムス社		2018 年 11 月 23 日	屋我・呉屋・友寄・安次富
沖縄県の現状と予防医療	住友生命福祉文化財団 沖縄タイムス社		2018 年 11 月 23 日	屋我・呉屋・友寄・安次富
人間ドック健診情報管理指導士研修会	公益社団法人人間ドック学会	東京都	2019 年 1 月 25 日～1 月 26 日	友寄

院内勉強会

演題名	講師	場所	日時	参加
乳腺勉強会	野村寛徳 (乳腺外科)	ドック内検査	2018 年 4 月 23 日	大城・蔵下・上地
乳腺勉強会	野村寛徳 (乳腺外科)	ドック内検査	2018 年 5 月 28 日	大城・蔵下・上地
医療機器研修 (AED)	平敷幸大 (臨床工学科)	ドック内	2018 年 6 月 11 日	21 人
乳腺勉強会	野村寛徳 (乳腺外科)	ドック内検査	2018 年 6 月 18 日	20 人
MRCP 勉強会	我如古靖 (臨床検査科)	ドック内	2018 年 6 月 25 日	14 人
呼吸集中によるストレス解消	謝花隆光 (予防学センター)	ドック内	2018 年 7 月 13 日	17 人
院内乳腺症例検討会			2018 年 7 月 20 日	大城・蔵下・上地
乳腺勉強会	野村寛徳 (乳腺外科)	ドック内検査	2018 年 7 月 30 日	大城・蔵下・上地
徳田安春先生の「明日から使える」フィジカルアセスメント<基礎編>	徳田安春 (ハートライフクリニック総合内科)	2F 講堂	2018 年 8 月 2 日	小橋川・高宮・呉屋
食品添加物について	謝花隆光 (予防学センター)	ドック内	2018 年 8 月 17 日	16 人
乳腺勉強会	野村寛徳 (乳腺外科)	ドック内検査	2018 年 8 月 27 日	大城・蔵下・上地
徳田安春先生の「明日から使える」フィジカルアセスメント<応用編>	徳田安春 (ハートライフクリニック総合内科)	2F 講堂	2018 年 9 月 13 日	小橋川・高宮
院内乳腺症例検討会			2018 年 9 月 7 日	大城・蔵下・上地
医療従事者向け認知症対応力向上研修		2F 講堂	2018 年 9 月 10 日	1 人
糖尿病の病態と治療	山本壽一 (ハートライフクリニック糖尿病内科)	2F 講堂	2018 年 9 月 26 日	友寄
乳腺勉強会	野村寛徳 (乳腺外科)	ドック内検査	2018 年 10 月 15 日	大城・蔵下・上地
糖尿病指導が楽しくなるかも	久高恵・山本壽一 (ハートライフクリニック)	2F 講堂	2018 年 10 月 31 日	甲斐・友寄
癌予防についてのエビデンス	謝花隆光 (予防学センター)	ドック内	2018 年 11 月 9 日	21 人
院内乳腺症例検討会			2018 年 11 月 16 日	大城・蔵下・上地
糖尿病勉強会	新垣優子・長嶺敦司・高橋紗也子 (ハートライフクリニック)	2F 講堂	2018 年 11 月 26 日	甲斐・屋我・友寄
乳腺勉強会	野村寛徳 (乳腺外科)	ドック内検査	2018 年 11 月 26 日	大城・蔵下・上地
腸内フローラ (MykinsoPro) 説明会	株式会社サイキンソー	ドック内	2018 年 12 月 18 日	16 人
動脈硬化性疾患予防の観点から	謝花隆光 (予防学センター)	ドック内	2019 年 1 月 11 日	15 人
乳腺勉強会	野村寛徳 (乳腺外科)	ドック内検査	2019 年 1 月 21 日	大城・蔵下・上地
低炭水化物食 (糖質制限食) の知見	謝花隆光 (予防学センター)	ドック内	2019 年 1 月 25 日	14 人
院内乳腺症例検討会			2019 年 2 月 8 日	大城・蔵下・上地
飲料水のお話	謝花隆光 (予防学センター)	ドック内	2019 年 3 月 8 日	16 人
院内乳腺症例検討会			2019 年 3 月 29 日	大城・蔵下・上地

予防医学センター 年度総括



予防医学センター
センター長
謝花 隆光

平成 30 年度の予防医学センターは、人間ドック・健診受診者数の増加、受診者の視点に立った業務改善やスタッフ教育の充実による健診・ドックの質の向上、オプション検査の充実はもちろんのこと、平成 28 年度から始まっているセンター改築の具体的な課題に、引き続き取り組み、諸部門の御協力のもとに平成 30 年 12 月に改築が完了しました。改築を行いながらの業務遂行でしたが、何とか業績を伸ばすことができました。

人間ドック・健診の受診者数は、平成 30 年度は 18,231 人で平成 29 年度より 761 人の増加となりました。前年度、前々年度に引き続き、消化器内科の先生方と内視鏡センターの御協力により、胃カメラ検査において、経鼻内視鏡導入および早朝検査枠設置による検査枠の拡大を図ったことが大きいと考えられます。

以前から受診者の視点にたったサービスを提供するため、投書、ゆいまーるノート（健診ドック終了後、自由に意見を記入してもらったもの）の意見、苦情、提案に対して、改善点を貼り出し受診者にフィードバックしています。

平成 27 年度より、2 日ドックの院内での宿泊が廃止となり、ホテルでの宿泊コースと自宅からの通院 2 日コースの選択となりました。現在も選択制を継続しています。

平成 30 年度は、オプション検査として脾臓 MR 検査と健康年齢が加わっています。これまでのオプション検査項目で、CT 検査や MRI 検査、乳腺エコー検査、マンモグラフィー、アレルギー検査（36 項目）などで検査数が増加しましたが、大腸カメラ検査が減少しています。血清ピロリ菌検査や琉球大学放射線科との提携による PET 検査は、引き続き選択できるようになっています。

平成 27 年 12 月より、改正労働安全衛生法により、該当する企業・事業所に対して、雇っている労働者のストレスチェックが義務化され、当院でもストレスチェックが始まりましたが、プライバシーの観点から、専門業者への委託が主流となったため、平成 29 年度から当院では、限定事業者だけにストレスチェックを行っています。

医師や看護師・保健師チーム、検査科、外部からの講師による勉強会を頻回に行い、また病院の勉強会にも積極的に参加して、スタッフ間の共有知識を増やし日常業務に役立てています。平成 30 年度は人間ドック学会学術大会で 1 題、全日本病院学会で 1 題の演題発表を行いました。

平成 30 年度も、診察や読影に御協力して下さった医局の先生方、看護部、放射線科、臨床検査科、各外来診療科、救急室、内視鏡センター、ハートライフクリニック、薬局、地域医療連携室、栄養科、食堂とまと、その他各部署の御協力に深く感謝申し上げます。

患者総合支援センター

部門紹介

患者総合支援センター長 西原 実

これまで患者さんからの相談を受ける部署はそれぞれ別々の場所で業務を行なってきました。急性期病院に必要とされる相談窓口の変遷とともに、各部署が変化を遂げたことに加え、ハード面も影響していました。しかし、院内別々の場所での活動は部署間連携に無駄な時間や行き違いが生じるといった課題があり、また、患者視点で考えた場合にも、相談窓口が別々にあることで、「どこに相談していいかわからない」という課題があげられていました。

ハートライフ病院の増改築により、地域医療連携室を正面玄関近くへ移動することが元々決定していたため、その時期に合わせ、上記の課題解決のため患者相談の窓口一本化を決定しました。2018（平成 30）年 1 月に入退院支援センター委員会（仮称）WG を発足し、患者さんの入院前から退院後の療養環境まで見据えた支援をスムーズに行うため、部署間の連携を強化し業務の効率化を行なうことも目的とし、県内外の病院視察を重ね、当院における部署構築と具体的な業務体制の検討を行ないました。そして、患者及び地域の連携機関からわかりやすく相談しやすい名称として「患者総合支援センター」に決定し、2018（平成 30）年 4 月 1 日、患者総合支援センター（地域医療連携室・医療福祉相談室・入退院支援室・がん相談支援室・患者サポート相談窓口）を開設しました。

開設後には、①患者にとって良質な入退院支援の流れになっているか、②スタッフのためになっているか、③持続できる取り組みかを目的に患者総合支援センター委員会と会議名を変更し、業務改善に取り組んでいます。

職員数

総数

19 名

職種別

医師 1 名

入退院調整看護師 1 名

一般事務 6 名

看護師 4 名

医療ソーシャルワーカー 6 名

クラーク 1 名

認定・資格

認定・資格名	人数
社会福祉士	6
精神保健福祉士	1
介護支援専門員	3
医療福祉連携士	1

基本理念

私たちは、安全で信頼される医療を地域に提供します。

顔が見える地域連携と入退院調整、相談支援を目指します。

方針

1. 患者、家族、連携先各機関、院内各部署、院外連携機関との連携体制を構築する。
2. 地域包括ケアを見据え、地域医療・介護連携を推進する。
3. 入院前から入院中、退院後の地域生活を見据えて援助する。

目的

1. 患者を中心として、地域社会、連携先各機関と「かりゆし会」とのスムーズな連携を図る。
2. 入院決定時から多職種で連携し、入退院に関連した患者サービスを向上させ、安全・安楽な入院生活を送る為の支援体制を構築する。
3. 社会資源の活用ができ、退院後も安全で安心な環境を整備する。

地域医療連携室

2018 年度目標

- ①社会医療法人としての役割強化
夜間・休日の救急車受入れ件数 年間 1,700 件以上
僻地医療の検討と取り組み
- ②地域医療支援病院としての役割強化
承認条件：紹介率 60% 以上 逆紹介率 40% 以上
目 標：紹介率 80% 以上 逆紹介率 73% 以上
- ③新規入院患者数の目標：月平均 740 人以上
- ④病床利用率 92.5% の達成
- ⑤平均在院日数の短縮 目標：11.7 日以内

業務内容

- ・紹介患者および逆紹介患者に関する調整業務
- ・各医療機関への広報活動に関する業務
- ・勉強会・講演会・市民公開講座に関する業務
- ・院内各部署、院外関連機関とのより良い連携体制の構築

業務実績

市民公開講座

	日付	演題	講演担当者	時間	参加人数
第1回	2018 年 4 月 21 日	変形性膝関節症～保存的治療から手術的治療まで～	膝関節外科部長 新垣 和伸	12:30 ～ 13:30	70
第2回	2018 年 11 月 17 日	変形性膝関節症～保存的治療から手術的治療まで～	膝関節外科部長 新垣 和伸	15:00 ～ 16:20	67
参加者合計					137

出前健康講話

	日付	演 題	依 頼 元	講演担当医師	時 間	参加人数
第 1 回	2018 年 4 月 11 日	肥満と健康	小波津団地自治会	管理栄養士 瑞慶覧 真実	10:30 ～ 11:30	14 名
第 2 回	2018 年 7 月 19 日	健康食品との付き合い方	掛保久自治会	管理栄養士 久場 徳子	10:30 ～ 11:00	13 名
第 3 回	2018 年 8 月 16 日	簡単ヘアゴムエクササイズ	西原町小橋川自治会	理学療法士 長嶺 敦司	14:00 ～ 15:00	20 名
第 4 回	2018 年 10 月 11 日	正しい薬の飲み方・使い方	小波津自治会	薬剤師 仲村 典華	14:00 ～ 15:00	17 名
第 5 回	2018 年 12 月 13 日	運動療法で糖尿病予防	小波津自治会	理学療法士 長嶺 敦司	14:00 ～ 15:10	22 名

症例検討会・勉強会

	開催年月日	担当科	開催場所	症例件数	院外参加者	院内参加者	参加者合計
1	2018 年 5 月 24 日 (木) 19:00 ～ 21:00	消化器	講堂	3	5	15	20
2	2018 年 6 月 27 日 (水) 18:00 ～ 20:00	救急	講堂	3	61	42	103
3	2018 年 7 月 12 日 (木) 18:00 ～ 19:00	医療連携講演会	当院	2	4	17	21
4	2018 年 7 月 26 日 (木) 19:00 ～ 21:00	消化器	講堂	4	3	26	29
5	2018 年 8 月 21 日 (火) 19:15 ～ 21:00	中部地区医師会 (消化器)	講堂	2	6	6	12
6	2018 年 9 月 27 日 (木) 19:00 ～ 21:00	消化器	講堂	4	4	31	35
7	2018 年 11 月 7 日 (水) 18:00 ～ 20:00	救急	講堂	4	71	43	114
8	2018 年 11 月 29 日 (木) 19:00 ～ 20:00	消化器	講堂	3	3	17	20
9	2019 年 1 月 31 日 (木) 19:00 ～ 20:00	消化器	講堂	2	1	22	23
10	2019 年 2 月 20 日 (水) 18:30 ～ 20:00	血液内科	講堂		3	27	30
11	2019 年 2 月 22 日 (金) 19:00 ～ 20:15	糖尿病	講堂		9	20	29
12	2019 年 2 月 27 日 (水) 19:00 ～ 20:16	救急	講堂	3	66	36	102
13	2019 年 3 月 27 日 (水) 18:00 ～ 19:00	医療連携講演会	講堂		3	22	25
14	2019 年 3 月 29 日 (金) 18:00 ～ 19:00	医療連携講演会	講堂		2	24	26
合計				30	241	348	589

2018 年度総括

今年度は、職員の退職などで人員不足のため登録医訪問や市民公開講座・出前健康講話がほとんど開催できなかったもので、次年度は地域連携体制のさらなる構築に取り組んでいきます。

2019 年度目標

①地域医療支援病院としての役割強化

目 標 : 紹介率 80% 以上 逆紹介率 73% 以上

②新規紹介患者への取り組みの更なる強化

登録医療機関の新規開拓 (24 件 / 年)

登録医訪問 (60 件 / 年)

③社会医療法人としての役割強化

夜間・休日の救急車受入れ件数 年間 1,700 件以上

入退院支援室

2018 年度目標

- 1 患者満足度向上（多職種支援）
- 2 安全な支援の提供
- 3 職員の負担軽減

入退院支援室業務内容

- ・入院に関わる、検査・手術・治療・入院生活について説明
- ・入院に必要な書類の作成・説明
- ・外来、救急外来と連携し、入院時に必要な情報を入院病棟へ伝達、必要事項の記録
- ・入退院支援チーム会議、患者カンファレンスへの参加
- ・患者・家族の心理的支援

業務実績

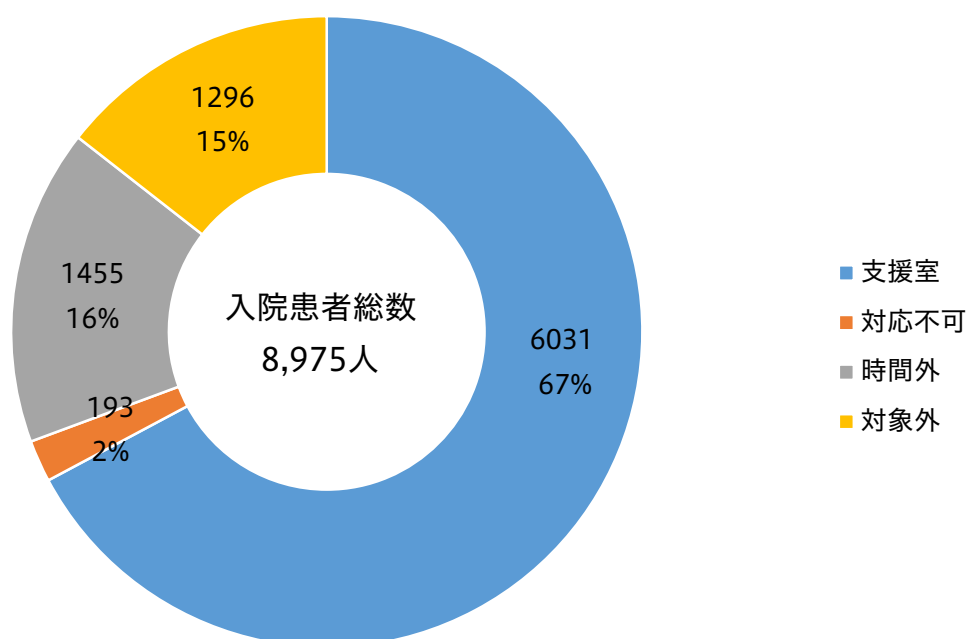
2018 年度の活動

年月日	名称
4 月	患者総合支援センター理念・方針の決定 入退院支援加算の届出 薬剤師が入院前から介入し服薬指導開始（平日は毎日実施）
5 月	入院患者情報共有システム運用開始 入院支援室でスクリーニングした退院困難な患者を「外来入院予約台帳」を活用し 外来・支援室・病棟・MSW 間で情報共有 文書管理情報共有システム運用開始 入院時に必要な書類の取得状況を病棟・支援室・情報管理室で一元化 支援室対応時間拡大（土曜日 9:00～13:00） 31 年度の取り組み「入退院支援看護師の病棟配置」へ向けて取り組み開始 週 1 回「介護保険」「看護施設」「訪問看護」退院支援に関する勉強会
6 月	本館 3 階・4 階・5 階病棟から入院患者情報共有システムを活用して入退院支援開始
8 月	本館（3 階・4 階・5 階・6 階・7 階）全病棟で入院患者情報共有システムを活用して入退院支援開始 薬剤部・栄養科・リハビリ・医事課・支援室・口腔ケア科が入院前より入院患者情報共有システムを活用しての入退院支援への参加
9 月	（新）診療計画書の切り替え運用開始 支援室でマニュアル作成・未記載時の対応・指導開始
11 月	「外来入院予約台帳」システムを活用し入院時支援加算の算定患者を判別 医事課も入院患者情報共有システムを活用し多職種で情報共有
2 月	入退院支援看護師・病棟配置プロジェクトチーム立ち上げ（月 2 回委員会開催）

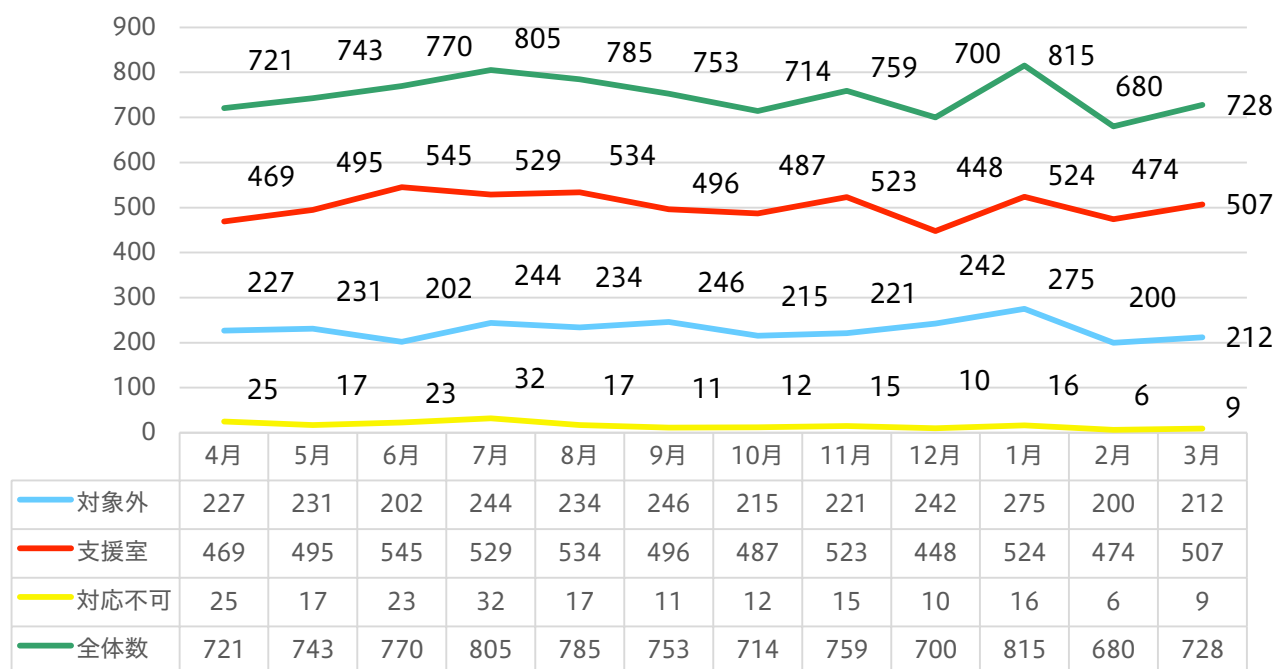
講演会

年月日	演題	講師
	患者総合支援センター主催講演会 岡山県南西部地域における医療・看護連携	倉敷中央病院 副院長 黒瀬 正子 先生

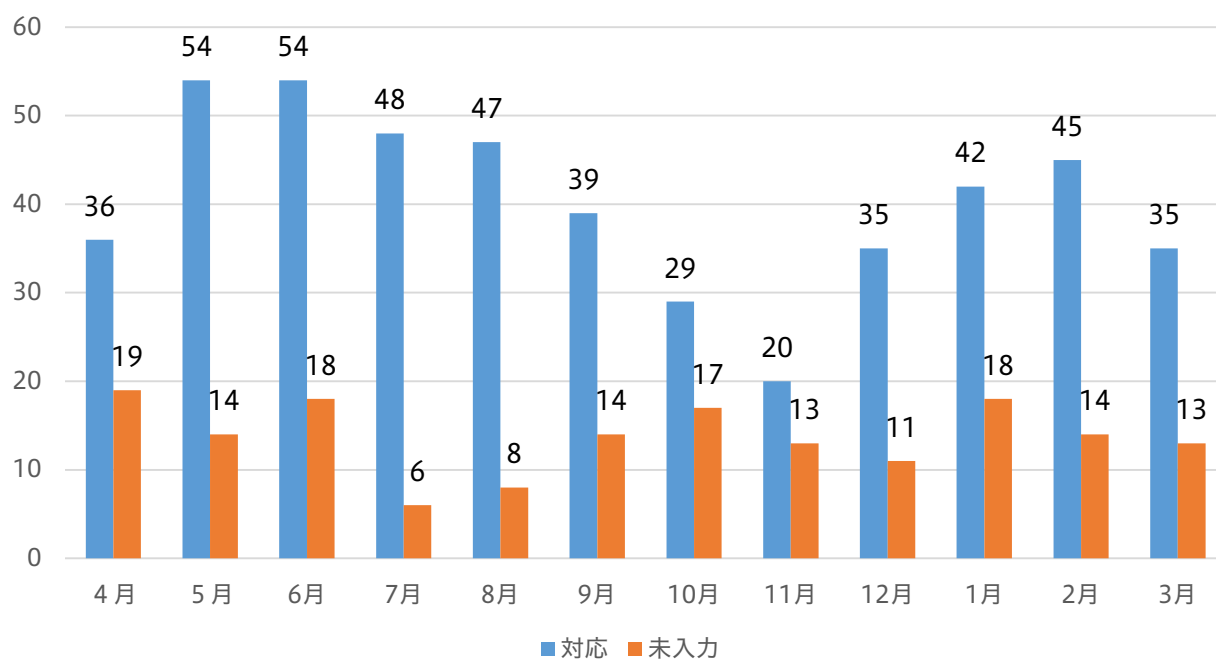
平成 30 年度入退院支援室対応割合



平成 30 年度入退院支援室患者対応数推移



2018 年度入院診療計画書対応依頼件数



2018 年度総括

今年度、当院の役割機能、現状を院内多職種が共有・連携する事で院外・地域との顔の見える連携を目的として、患者総合支援センターを設立しました。入院支援に関しては患者支援、連携体制は構築できました。次年度は、退院支援を新たに取り組んでいきます。

2019 年度の取り組み

- ①各部署へ入退院支援看護師を配置し、急性期の看護部門が積極的に地域と連携
- ②急性期病院として安全で患者の状態に合った入院病床の確保
- ③各診療科・各部門と連携し、入院期間・病床利用を意識したベットコントロール
- ④診療報酬加算取得可能分野の算定率向上

医療福祉相談室

2018 年度目標

- ①地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み
 - ・ 院内の入退院支援システムの構築と強化、多職種連携の強化
 - ・ 周辺地域の行政、介護サービス事業所、医療機関との協議と連携
 - ・ 在宅医療介護連携の推進への協力と連携
- ②長期入院患者への退院支援
- ③新ソーシャルワークデータシステム（MANBO）による業務評価と分析
- ④入退院支援関連加算の算定
 - ・ 入退院支援加算：160 件 / 月
 - ・ 介護支援連携指導料：35 件 / 月
 - ・ 退院時共同指導料：4 件 / 月
- ⑤医療ソーシャルワーカーの質の担保
- ⑥血液内科移植サポートスタッフの質の担保

業務実績

地域包括ケアに関する外部会議等

名称	開催年月日
中部地区医師会広域連合区在宅医療・介護連携推進会議	通年
南部地区医師会在宅医療介護連携推進事業における医療介護入退院連携強化に関する検討会議	2018 年 9 月 20 日
西原町高齢者虐待防止対策協議会	通年
西原町高齢者虐待防止対策協議会実務者会議	通年
中部地区連携研究会	通年
中部保健所管内における救急告示病院と精神科医療機関との連絡会議	2018 年 10 月 16 日
入退院支援連携デザイン事業事例検討に関する意見交換会	通年
南城市介護保険関係者研修会・交流会	2018 年 11 月 30 日
おきなわ脳卒中地域連携委員会総会	通年

学会発表

学会名 / 演題名	開催地	開催年月日	発表者
日本医療ソーシャルワーク学会 / 急性期病院 MSW にとって必要な業務報告とデータ分析について考える	鹿児島県	2018 年 9 月 15 日～ 9 月 16 日	望月

院内研究発表等

学会名 / 演題名	開催地	開催年月日	発表者
院内研究発表 / 地域の中でハートライフ病院が果たすべき役割とは～退院支援の視点から～		2018 年 11 月 2 日	高澤

実習生受け入れ

名称	受け入れ期間
沖縄国際大学社会福祉士相談援助実習	平成 30 年 8 月 6 日～ 9 月 5 日

職能団体に関する活動

名称	開催年月日
九州 MSW 協議会おきなわ大会実行委員会	通年
めだかの学校（新人 MSW の勉強会）	通年
めだかの放課後（中堅 MSW の勉強会）	通年
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会	通年

血液内科移植サポートスタッフ業務

名称	開催地	開催年月日	担当者
レシピエントへの移植サポート業務対応		通年	西田
血縁ドナー対応		通年	西田
院外からの術前健診、術後健診の調整、対応		通年	西田
臍帯血運搬費用関連		通年	西田
HCTC 認定講習Ⅱ	東京都	2018 年 11 月 23 日～ 24 日	西田

その他

名称	開催年月日	担当者
おきなわ多発性骨髄腫患者会	通年	
部署企画 院内研修会（ソリューション・フォーカストアプローチ）	2018 年 7 月 1 日	
介護支援専門員資格取得		川満

2018 年度総括

地域医療支援病院の医療ソーシャルワーカーの役割として地域包括ケアシステム構築に向けた地域との連携は不可欠となっており、1 年を通し、各事業所との個別協議だけでなく、虐待防止対策会議や、中部及び南部地区医師会の在宅医療介護連携推進会議、及び中部地区連携研究会などへ積極的に参画してきました。

また、院内の入退院支援システム構築に向け、医療ソーシャルワーカー主体であった退院支援から入退院支援室と協働する入退院支援の体制作りを開始しました。診療報酬における加算算定向上にも取り組み、入退院支援加算 185 件 / 月、介護支援連携指導 40 件 / 月、退院時共同指導 4 件 / 月の実績は全て目標達成となっています。

医療ソーシャルワーカーの質の担保として、関連資格（介護支援専門員・社会福祉士実習指導者）の取得、職能団体主催の研修会参加や学会発表（MANBO による業務評価と分析）を行ないました。

血液内科移植サポートスタッフの質の担保として、HCTC の資格取得に向けた研修会・学会への参加を行ないました。

2019 年度目標**①地域包括ケアシステム構築に向けた取り組み**

- ・ 院内の入退院支援システムの構築と強化、多職種連携の強化
- ・ 周辺地域の行政、介護サービス事業所、医療機関との協議と連携
- ・ 在宅医療介護連携の推進への協力と連携

②新ソーシャルワークデータベースシステム（MANBO）による業務評価と分析

③入退院支援関連加算の算定

- ・入退院支援加算：170 件 / 月
- ・介護支援連携指導料：37 件 / 月
- ・退院時共同指導料：4 件 / 月

④医療ソーシャルワーカーの質の担保

⑤血液内科移植サポートスタッフの質の担保

がん相談支援室

業務内容

がんについての治療や療養生活、社会復帰に伴う疑問や不安を看護師や、医療ソーシャルワーカーが対応しています。

「がん相談支援室」にご相談が出来る事の例

- ・がんについて知りたい
- ・セカンドオピニオンを受けたい
- ・患者会や家族会を探したい
- ・治療に関わる費用を知りたい
- ・治療や副作用について相談したい
- ・痛みや辛さについて相談したい
- ・地域で利用できる制度やサービスを知りたい
- ・治療と仕事の両立について相談したい

2018 年度総括

がんの治療では、入院や定期的な通院、自宅療養が必要となる為、仕事や家事、社会活動に影響が及びます。また、治療費や介護保険、福祉サービスに関する内容の相談が多く日々対応しています。 今後も「がん相談支援室」では患者さん、ご家族、地域の方々の様々な相談に対応します。

患者サポート窓口

業務内容

治療や療養上の不安、不明点を解消し、安心して医療が受けられるよう相談窓口を開設しています。

「患者サポート窓口」のご相談事例

- ・お困りのことがあるとき
- ・誰に尋ねればいいのか分からないとき
- ・当院の対応で不快な思いをされたとき

2018 年度総括

患者サポート相談窓口の運営に関するカンファレンスを多職種で週 1 回開催しています。また、患者支援に関わる取組みについても評価を行い定期的に見直しをしています。医療安全委員会や投書委員会との連携も図っています。

サポート相談窓口、各部門で対応した患者等の相談件数は 30 年度（ 61 ）件

今年度、来院患者のイートインスペースの設置、手術待合室の照明・壁紙の張り替や環境調整を患者家族の要望を取り入れ改善を行いました。

各部門へもフィードバックをしており、今後も患者さんやそのご家族の様々な相談に対応します。

法人事務局

ハートライフ病院 経営企画室・法人事務局 経営企画室

事務副部長 安里 竜

当課は、現在・過去・未来の3つのステージで法人運営の課題を発見し、それに取り組み、必要な準備を進める部署です。各種診療支援・経営支援の分析、事業計画の取りまとめ、医療制度に関する情報収集、新規事業の企画等を主な業務としています。経営企画室の配下に、IT・システム業務を行うための電算係と、内外への広報・広告を行うための広報係が包括され、業務の幅がとても広い特徴があります。

総数

9名

職種別

企画室	事務職 3名	安里 竜、稲福 怜美奈、栗盛 信子
電算係	事務職 4名	宮城 克己、高橋 慎二、前原 純樹、安里 健二
広報係	事務職 2名	知念 政治、仲田 尚正

運営方針（2017年4月1日更新）

1. 新規事業への早期取組

- a. 新規事業の経営企画面での関与
- b. 診療体制の活性化
- c. 研究体制の活性化（臨床倫理・治験体制の強化）

2. 診療支援・経営支援のための情報収集と分析

- a. 診療実績と収支構造の把握と分析
 - ① DPC データの積極活用
 - ② 原価計算・管理会計の導入
 - ③ ベンチマーク
- b. 診療マーケティング分析体制の構築
 - ① 事業拡大に向けた広報・地域医療連携への活用
- c. 医療制度改革の方向性の把握と分析
 - ① 診療報酬改定
 - ② 介護報酬改定
 - ③ 病床機能分化（病床機能報告制度・地域医療構想・地域包括ケア）
- d. 上記取組の現場と経営層への積極的なフィードバック

3. 業務体制の強化

- a. 経営感覚と現場感覚の両立
- b. 配下部署の教育体制の強化

企画室の行動指針（2017 年 4 月 3 日設立）

1. 業務支援・経営支援のための情報収集・分析・提案

単に情報をあつめるだけではなく、分析し、戦略構築と企画提案につなげる

2. 経営層と運営層への積極的なフィードバック

情報を視える化し、適時のフィードバックを通して、時機を見逃さない

3. 法人理念と事業計画を基軸にする

いかなる場合でも過去・現在・未来を俯瞰し、法人理念と事業計画に沿って今やるべきことを判断し、ニーズの掘り起こしとそれに答える企画提案を実現することで、顧客に貢献する

4. コスト意識を持つ

1 円を積み上げる努力（現場の汗）、1 円を使う責任（重み）を忘れない

5. 現場へ足を運び、現場力を身につけること

経営活動の力点・支点・作用点はいずれもすべて現場に存在するので、現場へと積極的に足を運び、現場のニーズや課題を引き出すコミュニケーションを怠らない

6. 企画室の顧客は「地域社会」と「法人（各施設、部署、職員、患者と利用者）」

患者さんや利用者、その家族、地域住民、連携機関、行政はもちろんのこと、法人内の各施設、部署、職員もすべて「顧客」として接する

活動報告

※企画室・経営企画室の主担当分のうち、一部実績を抜粋 ※配下部署はその項を参照

名称	開催地	開催時期	参加者
電子カルテユーザ会システム管理者部会役員会（参加）	富山県	2018 年 5 月	SS システム部会役員
事業計画説明会	ハートライフ病院	2018 年 6 月	病院役職者
電子カルテユーザ会（座長）	大阪府	2018 年 8 月	SS ユーザ
中部地区地域医療対策会議（公的病院等 2025 プラン公開）	県内	2018 年 9 月	中部医療圏病院関係者
MDV 沖縄地区勉強会	那覇市立病院	2018 年 9 月	MDV ユーザ
電子カルテユーザ会システム管理者部会役員会（参加）	大阪府	2019 年 1 月	SS システム部会役員

学会・講習会・報告会等実績

名称	部門	開催時期	参加者
算定率向上ワーキンググループ（薬剤管理指導料）	薬局	月 1 回定例	WG メンバー
算定率向上ワーキンググループ（入院食事指導料）	栄養科	月 1 回定例	WG メンバー
算定率向上ワーキンググループ（退院支援加算）	地域医療連携室	月 1 回定例	WG メンバー
算定率向上ワーキンググループ（救急医療管理加算）	救急外来	月 1 回定例	WG メンバー
算定率向上ワーキンググループ（周術期口腔機能管理加算）	口腔ケア科	月 1 回定例	WG メンバー
認知症ケア加算 WG	看護部	2018 年上半期	WG メンバー
患者総合支援センター委員会事務局（入院時支援）	患者総合支援センター	2018 年上半期	委員会メンバー
病院機能評価受審準備委員会事務局（統括）	共通	通年	
足と傷のセンター委員会事務局	形成外科	通年	

名称	部門	開催時期	参加者
事業継続計画（BCP）策定事務局	災害対策委員会	年 3 回	
事業継続計画マネジメント会議事務局	共通	2018 年下半期	
時間外出入口準備事務局	共通	2018 年下半期	
ハイケアユニット検討事務局	共通	2018 年下半期	
地域災害拠点病院設備整備事業事務局（補助事業）	共通	通年	
NBC 災害・化学テロ対策設備整備事業事務局（補助事業）	共通	通年	
日本乳癌学会関連施設認定事務局（新規）	乳腺外科	通年	
臍帯血移植施設認定事務局（更新）	血液内科	通年	
非血縁者間骨髓移植・採取施設認定事務局（更新）	血液内科	通年	
非血縁者間造血幹細胞移植施設・診療科認定事務局（更新）	血液内科	通年	

年度総括

2018 度は、ハートライフ病院開設 30 周年記念事業、事業継続計画（BCP）の策定と病院機能評価の更新など、法人をあげてのイベントが盛りだくさんで、諸々の締め切りに追われながら奔走しました。

年度初めには、2018 年診療報酬改定で注目を浴びた入院時支援加算の算定体制の構築にあたりました。関係する他職種が一同して、入院前に患者さんの状態のスクリーニングにあたる取り組みです。どの部署も仕事量が増える取り組みですので、①患者さんの安心安全な療養生活に繋がるか、②職員の業務負担軽減に繋がるか、③継続できる取り組みか、の 3 点を柱に据えてワーキンググループに臨んだことを鮮明に覚えています。併行して、認知症ケア加算の算定体制の構築のため、3 階病棟の屋宜師長のサポートにあたりました。高齢化に伴い、病棟でも増加している認知症に対するケアの質向上のために屋宜師長が力を振るってくれました。認知症薬の運用面で心療内科の菅野先生のお力添えも頂きました。

認知症と同じく、高齢化に伴って増えてくるのが足病です。形成外科の東盛先生と、皮膚、排泄ケア認定看護師の嘉数看護師や関係職種のスタッフと共に、足病の専門診療で有名な大分岡病院を見学したのが 3 年前になります。その後、当院でも形成外科の治療メニューとして足病に取り組んでおりましたが、より質の向上を目指して、コンサルティング業者の力を借りて「足と傷のセンター」として専門外来枠を作る事業計画の立案にあたりました。栗盛さんが WG の立ち上げに奔走したのを覚えています。当院の形成外科・看護スタッフは行動力も優秀で、診療部分の段取りは完全にお任せ状態にすることができています（すごく助かっています）。マニアックな部類の診療ですので、今後、エンドユーザ（患者さん）への直接的な広報より、登録医や周辺介護施設への広報が必要だろうと感じています。「足と傷のセンター」は、2019 年 5 月下旬に開設することが決まっています。

上半期の残りの時間は、大規模地震などを想定した事業継続計画（BCP）の策定にあたりました。当院は本島中南部東海岸の急性期医療・二次救急を担うポジションに位置しますので、災害時に病院機能を維持するための体制について整理し、見直しができる体制などを定義しました。今後は訓練を重ねて、計画の改良に努力したいと思います。

地域包括ケア・病床機能分化という医療施策を議論していくうえで、当院を含む公的医療機関は、10 年先までを見据えた計画書（公的医療機関等 2025 プラン）を策定しています。2018 年 9 月に、中部地区の医療関係者が集まる場で、当院の担う役割について説明しました。今後、2025 年に向けて、中部圏域の全ての医療機関が担う役割について合議することとなっています。機能分化が進むと市場にも何らか

の変化があらわれてくるでしょうから、当院が選ばれる病院になるように、理事や病院長の向いている方向を、全力で後押ししたいと思います。

下半期に入り、日本乳がん学会関連施設認定事務局、災害拠点病院設備整備事業（補助金事業）事務局や病院機能評価受審準備事務局の統括としての活動にあたりながら、ハイケアユニット（HCU）の開設について、実現の可否について検討を重ねました。重点的にケアが必要なハイケアユニット対象患者さんが一般病棟に入院されています。ICU の施設基準上、「重症に転帰しそう」というだけで患者さんを ICU で診ることが難しくなっているため、より重点的にケアすることが可能な HCU の開設が喫緊の課題でした。当院では、6 年前から継続している病院増改築で HCU の整備を見越していましたので、手術室と ICU のすぐ隣に HCU の施設基準を満たす病棟を整備しました。2019 年上半期の届出に向けて、全部門の協力のもと、プロジェクトが進行しています。

MDV の EVE・MedicalCode を活用した各種加算の算定率向上の取組も安定して、2018 年度には 1 億 3 千万円の収益に繋がる取組に成長し、対前年比で 960 万円の増収につながりました。特に、薬局の精力的な取組の成果として、薬剤管理指導料の算定件数は前年比 44% アップと飛躍的に増加しました。県内の同規模病院の中でもっとも薬剤師数が少ないなか、このような成果が出せたのは素晴らしいことだと思います。

昨年度に開設した口腔ケア科も軌道に乗り、2019 年度には週 3 日間の診察日となって、パノラマ撮影機も稼働しました。下半期に入ってから口腔ケア科の外来診療単価も目標に達していますが、周術期口腔機能管理の算定率が目標に達していませんので、今後も質の向上の指標として、算定率を上げる努力を継続したいと思います。

新卒採用から経営企画室に入職し、3 年弱修行してきた稻福さんが、周りの要望もあって 2019 年 3 月からメディカルクラーク室へ異動となりました。経営企画室には必然的に、院内で誰もやったことがない未踏の事案に取り組む厳しい場面に出会い、苦労されたかと思います。その経験を発揮して、異動先でも医師事務作業補助者として活躍して欲しいと思います。

電算係

係長 宮城 克己

認定・資格

認定・資格名	認定・資格名
第二種情報処理技術者	日本商工会議所簿記検定試験 2 級
システムアドミニストレータ	Cisco certified network associate
第一級陸上特殊無線技士	Cisco certified network professional(BSCI)
デジタル第一種工事担当者	Cisco certified network professional(BCMSN)
ソフトウェア開発技術者	Microsoft certified professional(70-270)
医療情報技師	

運営方針

IT への理解力と応用力を身に着け、院内の IT 環境の充実に努める

1. 院内ネットワークの有効活用
2. 電子カルテ・部門システムの理解と磨き上げ
3. スキルの向上
 - a) プログラミング、ドキュメント化技術の向上
 - b) 病院業務への理解を深め、業務効率の向上に努める

活動報告

- ・ ネットワーク障害対応
- ・ 改修工事に伴う、ネットワーク敷設とIT機器の移設
- ・ インターネットスポットのパスワード管理
- ・ 電子カルテ用ウィルスチェックソフトのライセンス更新
- ・ 電子カルテ定期サービスパック適用
- ・ 平成31年度医療改定、介護システム改定対応
- ・ 院内カメラシステム構築(救急外来)
- ・ 患者待ち時間調査結果集計
- ・ 電子カルテサーバー保守契約更新
- ・ クリニカルパス大会サポート
- ・ 緩和ケアサポート
- ・ IT推進委員会の開催(1回/月)
- ・ 財務統計処理
- ・ 不要IT機器の廃棄
- ・ IT機器の自前修理による修理費用、買換え費用の削減
- ・ 情報系ネットワーク機器入れ換え
- ・ 生体モニタシステムリプレイス
- ・ 電子カルテサーバーリプレイス
- ・ 医薬品情報システム導入サポート

<進行中>

- ・ 心電図システムサーバーリプレイス

年度総括

本年度は生体モニターシステムのリプレイスと改修工事に伴うネットワーク敷設、部門移動に伴う IT 機器移設等の作業と電算係としては多忙な年度でした。

今年度も引き続き改修工事に伴う部門移動に伴うネットワーク敷設や IT 機器移設の作業や部門サーバーのリプレイスの作業、本院とクリニック対向無線の再構築等の作業が予定されています。更なるスキルアップと効率のよい対応を心がけて業務を遂行していきたいと考えております。

広報係

主任 知念 政治

活動目的

広報専任担当者 2 名で、病院・クリニック・地域包括ケアセンターの各種広報活動を行っております。中心業務は各施設の現状や PR ポイント、新規業務などをホームページや広報誌、マスメディア等を通じ内外に発信する事ですが、その活動に関わる情報の収集から取材・撮影を行い、広報誌や公式サイト、デジタルサイネージコンテンツなどの作成を行ったり、報道機関向け資料の作成なども行います。また、定期的に開催される「かりゆし会広報委員会」事務局を運営し、施設内における掲示物などに関する規定を作成・管理を行ったり、全体の広報方針や広告関連予算を審議し理事会への提案も行います。また、毎年度の年報作成についても「かりゆし会年報作成委員会」事務局を運営し作成業務にあたっております。

認定・資格

認定・資格名	人数
初級システムアドミニストレータ	1
サーティファイ web クリエイター能力検定試験 上級	1

認定・資格名	人数
サーティファイ Flash クリエイター能力認定試験 上級	1
ユニバーサルデザインコーディネーター 準 2 級	1

活動報告

<かりゆし会>

- ・公式メインサイトおよび採用ポータルサイトの維持・更新

<ハートライフ病院>

- ・各種パンフレット作成
- ・広報誌あすなろ No. 93 ～ 96（計 4 回の発行）
- ・デジタルサイネージコンテンツ作成
- ・臨床研修事務局関連作業
 1. 修了証・アルバムの作成
 2. 募集ホームページ更新
 3. 初期研修医募集パンフレット作成
- ・増築改修プロジェクト
 1. 広報活動
 2. サイン計画
- ・市民公開講座運営補佐
 1. 広報活動
 2. 講座運営
- ・平成 29 年度年報作成
- ・QI プロジェクト広報
- ・講演会ポスター作成
- ・その他付随業務
- ・その他院内掲示ポスター作成

<クリニック>

- ・糖尿病教室広報活動
- ・その他付随業務

< 地域包括ケアセンター >

- ・入居者募集に係わる広報活動

< はーとらいふ保育園 >

- ・園児募集に係わる広報活動

主な報道・取材対応

区分	内容	掲載媒体	年月日
取材誘致・対応	誰でもいつでもお手軽エクササイズ	週間レキオ vol1730	2018 年 6 月 21 日
取材対応	ヘルシーカフェ ohana 栄養の日	沖縄タイムス	2018 年 7 月 26 日
取材対応	ヘルシーカフェ ohana 栄養の日	RBC JNN お昼のニュース	2018 年 8 月 5 日
取材誘致・対応	ハートライフ病院 健康まつり	RBC The news	2018 年 11 月 20 日
取材誘致・対応	ハートライフ病院 健康まつり	沖縄タイムス	2018 年 11 月 31 日
取材誘致・対応	ラビッド型ドクターカー導入	琉球新報	2019 年 3 月 28 日

事務局運営

1. 広報委員会

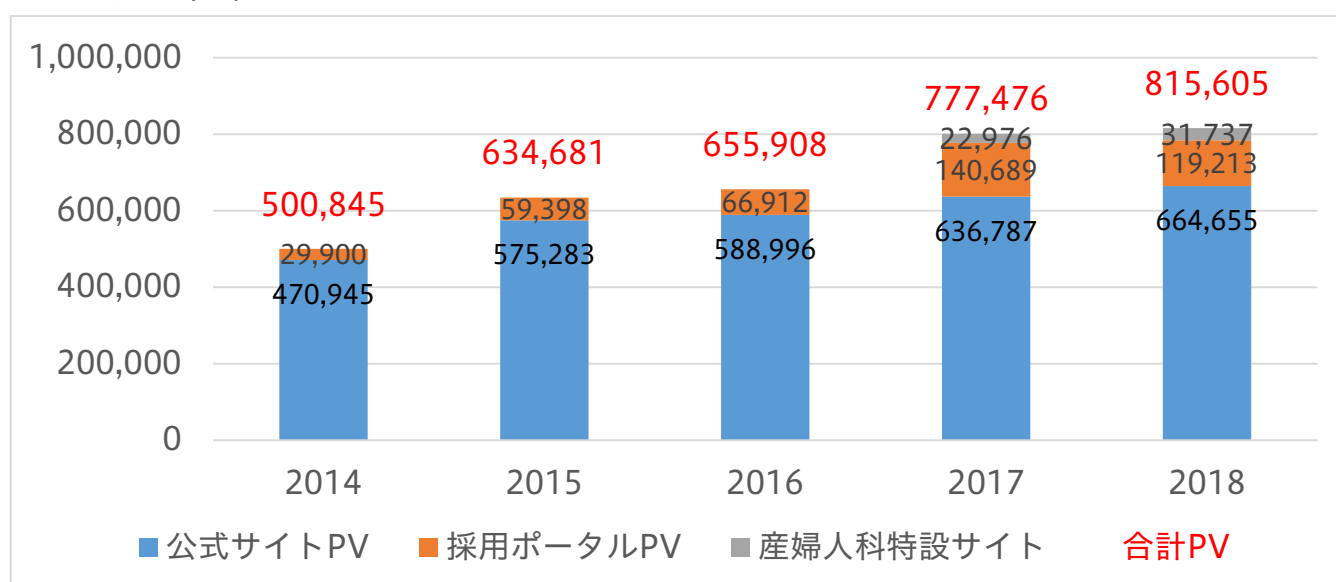
2. 年報作成委員会

活動実績

名称	開催地	年月日	参加者
コンプライアンス講習会「ソーシャルメディアの利用について」	当院	2018 年 4 月 1 日	新入職員対象

公式サイト統計

ページ閲覧数 (PV) 推移



※ 2014 年より現在の集計方法に変更しましたが、経年で統計情報に誤りがあったため下方修正を行っております。

※ 2014 年 8 月 18 日より採用情報専用ポータルを立ち上げ、公式サイトより情報を分離しました。

※ 産婦人科特設サイトは 2017 年 9 月 1 日より公開しました。

人事課（法人事務局）

法人事務局人事課 係長 河上 裕一

職員数

総数

6 名

職種別

一般事務 6 名

運営方針

1. 「組織は人」＜人を大切にする＞

- (1) 人材育成（人間性やスキルを伸ばす）
- (2) 労務環境改善（ワークライフバランス）
- (3) 公平な人事考課制度の確立
- (4) 職員の精神衛生の充実

2. 「人材確保」

- (1) 計画採用の確立
- (2) 人材の活性化（再雇用制度・短時間勤務制度・異動・障がい者雇用）
- (3) 離職率の低下対策

活動実績

業務実績

年月日		名称
通年		県内社会医療法人 人事情報交換会 1 回／月
2018 年	4 月	4 年制大学新卒事務 4 名ローテーション研修開始
	5 月	事務職採用合同企業説明会（コンベンションセンター）
	6 月	医師採用関連リクルート（東京）
	7 月	事務職採用合同企業説明会（コンベンションセンター） 2019 年度採用看護師採用試験（個別面接）
	8 月	2019 年度採用看護師採用試験（個別面接）
	10 月	法人 30 周年記念式典サポート
		琉球大学訪問 事務職総合職募集
		沖縄国際大学訪問 事務職総合職募集
		名桜大学大学訪問 事務職総合職
		沖縄大学訪問 事務職総合職
	11 月	事務職採用企業説明会（院内） 2019 年度採用看護師採用試験（個別面接）
	12 月	年末調整 ストレスチェック
2019 年	1 月	沖縄アカデミー専門学校 介護職募集
		沖縄女子短期大学訪問 保育士募集
	2 月	職員満足度調査
		2019 年年度新入職看護師 オリエンテーション
		2019 年新入職事務職総合職 オリエンテーション
	3 月	年俸制医師・年俸契約及び面談 名桜大学 事務職総合職・看護師就職説明会

財務・経理課

財務・経理課長 比嘉 靖

職員数

総数

5 名

職種別

一般事務 5 名

運営方針

1. 財務・経理内容の的確な開示を行い、経営実態の理解を図る。
2. 正確且つ迅速に経理に関する経営資料を作成する。
3. 各部門の予算執行状況を把握する。

平成 30 年度目標

1. 法人外部監査の窓口部署として、改善に向けた取り組み
2. 経理規程の策定、承認に向けた取り組み
3. 統括資産管理担当部署としての取り組み
4. 業務ローテーションによる負担均衡を図り、残業削減を目指す

活動実績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
業務の効率化に向けた取り組みについて	第 60 回全日本病院学会	東京都	2018 年 10 月 6 日	大山朝史

研修・セミナー参加等

日時	場所	内容
8 月	沖縄県医師会館	病院の経営人材育成講座
12 月	P'sSQUARE	消費税軽減税率セミナー

病院 事務部

部門紹介

事務部は総務課、財務・経理課、請求業務課、管財課、診療情報管理室、経営企画室、地域医療連携室の 7 部署で構成されており、158 名の職員が所属しています（法人事務局各部門含む）。

職員数

総数

158 名

職種別

一般事務	98 名	施設技術者	5 名
診療情報管理士	8 名	調理師（収益部門）	2 名
医療ソーシャルワーカー	6 名	その他	39 名

各部署概要・実績

総務課

総務課課長 吉川 忍

職員数

総数

19 名

職種別

一般事務	7 名	患者送迎サービス係	7 名
秘書	3 名	司書	1 名
警備員	1 名		

運営方針

- 事務処理の迅速化を図る
- 各部署に対する支援強化を図る
- 職場環境の整備に努める
- ワークライフバランスの推進
- 病院機能評価更新審査に向けた整備及び事務局サポート

活動実績

院内行事運営など

年月日	名称
平成 30 年 4 月 2 日	平成 29 年度 入職式・新入職員オリエンテーション (1 日目) 新入職員歓迎会
平成 30 年 4 月 3 日	新入職員オリエンテーション (2 日目)
平成 30 年 4 月 13 日	南風原町長選挙 不在者投票
平成 30 年 4 月 20 日	与那原町長選挙 不在者投票
平成 30 年 4 月 23 日	院内合同慰霊祭
平成 30 年 6 月 19 日	九州厚生局による適時調査
平成 30 年 7 月 3 日	講演会「働く人から学ぶ」 講師：大久保 寛司 先生 (人と経営研究所 所長)
平成 30 年 8 月 22 日	ハートライフ病院 開院 30 周年
平成 30 年 9 月 3 日	永年勤続者 (10 年及び 20 年及び 30 年) 表彰
平成 30 年 9 月 6 日	沖縄県市町村議会議員選挙 不在者投票
平成 30 年 9 月 26 日	糖尿病勉強会「糖尿病の病態と治療・Q & A」 講師：山本 壽一 ハートライフクリニック院長
平成 30 年 9 月 27 日	沖縄県知事選挙 不在者投票
平成 30 年 10 月 18 日	ハートライフ病院 30 周年記念講演会及び記念祝賀会 (ラグナガーデンホテル)
平成 30 年 10 月 19 日	那覇市長選挙 不在者投票
平成 30 年 11 月 1 日	講演会「病院機能評価受審に向けて」 講師：小松原 嘉哲 先生 (日本医療機能評価機構 評価事業推進部 支援課 係長)
平成 30 年 11 月 15 日	講演会「働く人から学ぶ」 講師：大久保 寛司 先生 (人と経営研究所 所長)
平成 30 年 11 月 17 日	ハートライフ病院 30 周年記念 健康まつり
平成 30 年 11 月 20 日	中部保健所による医療監視 (立入検査)
平成 30 年 11 月 22 日	沖縄県医師会主催 医療従事者 (20 年勤続) 表彰式・懇親会 (ダブルツリー by ヒルトン 那覇首里城)
平成 30 年 11 月 26 日	糖尿病勉強会「糖尿病療養指導 三位一体」 講師：山本 壽一 ハートライフクリニック院長
平成 30 年 11 月 28 日	中部地区医師会主催 医療従事者 (10 年勤続) 表彰式・懇親会 (日本プライダルセンター)

年月日	名称
平成 30 年 12 月 14 日	病院機能評価に向けた模擬サーベイ 講演会「老いと ぼけ の世界と看取り」 講師：村瀬 孝生 先生（宅老所よりあい 代表）
平成 30 年 12 月 22 日	かりゆし会大忘年会 エリスリーナ西原ヒルズガーデン
平成 30 年 12 月 28 日	御用納め 納会
平成 31 年 1 月 4 日	仕事始め
平成 31 年 1 月 7 日	かりゆし会成人式
平成 31 年 1 月 11 日	新春もちつき大会
平成 31 年 1 月 16 日	病院機能評価に向けた SRL 模擬サーベイ（1 日目）
平成 31 年 1 月 17 日	病院機能評価に向けた SRL 模擬サーベイ（2 日目）
平成 31 年 2 月 1 日	講演会「運動器エコーのすゝめ」 講師：皆川 洋至 先生 城東整形外科診療部長
平成 31 年 2 月 2 日	医療セミナー「運動器エコーのすゝめ ＊医師対象」 講師：皆川 洋至 先生 城東整形外科診療部長
平成 31 年 2 月 21 日	辺野古米軍基地建設のための埋め立ての賛否を問う県民投票 不在者投票
平成 31 年 3 月 6 日	平成 30 年度 火災避難訓練
平成 31 年 3 月 11 日	病院機能評価 訪問審査（1 日目）
平成 31 年 3 月 12 日	病院機能評価 訪問審査（2 日目）
平成 31 年 3 月 27 日	講演会「私にとっての医療」 講師：久留宮 隆 先生（国境なき医師団）
平成 31 年 3 月 29 日	講演会「熊本地震、その時 阿蘇は！」 講師：甲斐 豊 先生（阿蘇医療センター院長）

管財課

管財課用度係

用度係 係長 諸見里 和也

職員数

総数

6 名

職種別

一般事務 6 名

運営方針

1. 物品の安全・安定供給

各現場へ必要物品の安定供給をする為に定数物品・注文物品等、発注から納品まで敏速に実行できる体制を構築する。

使用後も廃棄処理時に有害物質を出さない、環境に優しい物品の採用。

患者・職員に対し、安全に配慮した物品の採用。

物品の標準化。標準化する事により、使用方法の統一が図れ、安全かつコスト削減にもつながる。

医療材料説明添付文書通り順守し管理する。

2. 物品管理

在庫管理・定数管理の強化

定期的に定数を見直し、適正な定数を目指す。

年 2 回の、棚卸を実施。

適正な在庫数を維持管理する。

SPD システムのバージョンアップを図り、維持管理の強化。

機器の不具合・故障等の場合、現場に出来るだけ支障の無い様に、速やかに対応する。

災害拠点病院に適した維持管理。

事務什器備品の資産管理。

3. イントラの整備

イントラ整備に伴い、各種申請書、請求伝票連絡関係等の電子化の推進。

4. 係員の教育

勉強会、県内外への研修、見学等の積極的な参加に努める。

患者様の安心・安全の為に、医療従事者として出来る最善策を日々、研究実践する。

理念

患者の安心・安全のため、部署として、病院職員として出来る最善の策（行為）を日々、研究・実践する。

用度係活動実績

研修等

名称	日時	参加者
第 13 回アジアメディカルショー博多	2018 年 6 月	諸見里・新垣
単回使用医療機器（SUD）の再製造に関する研修	2018 年 7 月	久場副院長・川越先生・東恩納師長・新垣
医療材料国際規格変更フロー説明会	2019 年 3 月	諸見里・新垣

業務計画

1. 医療改定に伴う医療材料、日用品の見直し。
2. 新人職員の教育とスキルアップ。
 - ⇒ 取扱い材料がどのような診療で使用されるかなどを紐づけて教育する。
 - ⇒ 各業者対応や発注業務、納品書の入力業務を援助なしで対応出来る様に指導する。
3. 手術室 3 室増室に伴い、診療材料や鋼製小物などの整理と、各診療科の先生方や関係部署へ、安価材料への変更提案。
4. 事務備品の資産管理の徹底。
5. 新規治療（医療事業）に対するサポートと提案。
 - ⇒ 昨年末にマゴット治療などを開始しているので、今後も新規治療がある場合は、取扱店や金額交渉、納期の確認など、臨機応変に対応出来る体制を作る。

収入計画

1. 購入材料引き率目標の設定

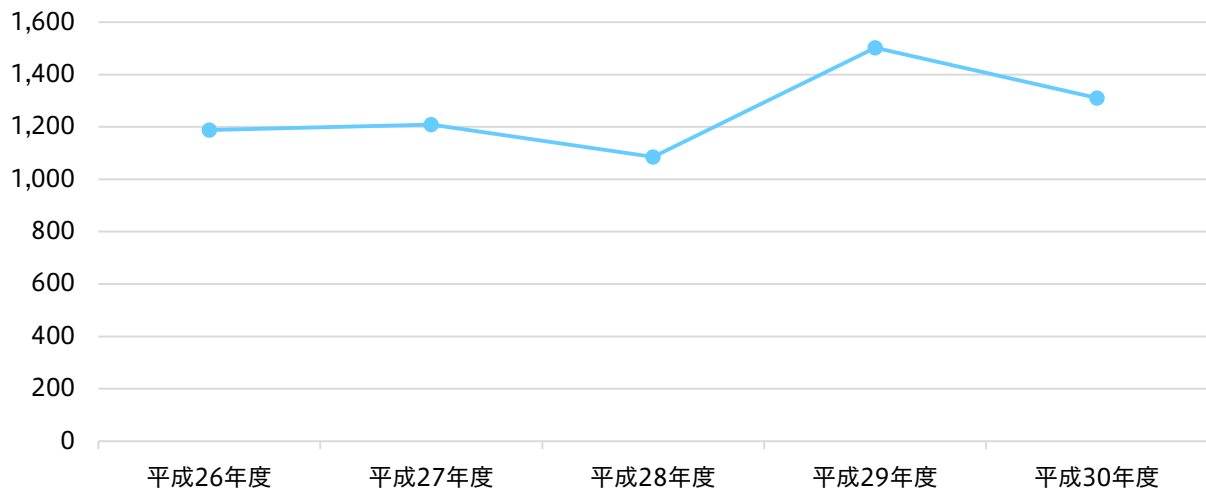
人員計画

1. ワークライフバランスの取れた職場の環境作り。
 - ⇒ 増改築工事や保育園開設、月報の区分分け提案による詳細な管理、固定資産管理の運用強化などの取り組みで昨年度は残業が多かったので、月 30 時間以内 / 人の残業となる様に課内で具体案を検討して実行する。

設備計画

1. 医療材料、日用品の安心、安全、清潔をもって管理出来る広い倉庫の確保。
 - ⇒ 現在の倉庫が狭く、廊下に陳列する環境にあり消防からの指摘事項となっている。
 - ⇒ 災害拠点病院に係る医材の確保が出来ない。
 - ⇒ 診療材料倉庫の出入管理を強化するために、防犯カメラやカードリーダーの設置を提案する。
2. 院内 SPD システム買い替え
 - ⇒ 新人職員も入力作業などを迅速に対応出来るためにも 10 台の増設を提案する。
 - ⇒ 手術室の材料管理を用度課で行う事を検討しているので、専用端末などの必要備品を提案する。

物品仕入れの推移（単位：百万）



※通常仕入れ以外に増改築に掛った費用も計上

管財課施設管理係

施設管理係 係長 具志堅 徳明

職員数

総数

5 名

職種別

施設技術者 5 名

認定・資格

認定・資格	人数
第三種電気主任技術者	2
第一種電気工事士	2
第二種電気工事士	5
1 級電気工事施工管理士	1
消防設備士甲種 1 類	2
消防設備士甲種 2 ～ 7 類・特類	2
消防設備士乙 4 類	2

認定・資格	人数
2 級ボイラー技士	5
1 級ボイラー技士	1
ボイラー整備士	1
危険物取扱者乙 4 類	5
2 級管工事施工管理技士	1
2 級土木施工管理技士	1
第二種冷凍機械	2

運営方針

安全管理と省エネに務める

理念

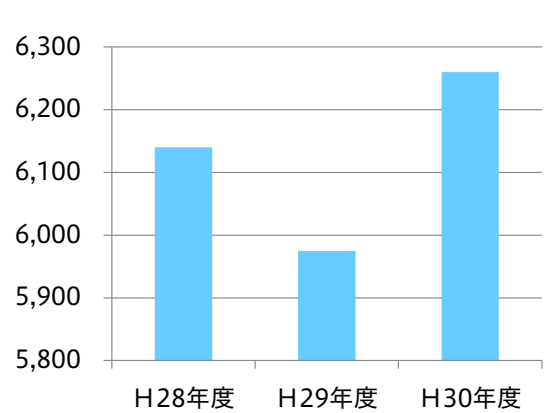
関係法令等を遵守し施設内を常に最良の状態に維持管理する。予防保全的業務を実施し、設備の耐用年数の延長を図り省エネルギーの達成に務める。

業務実績

ハートライフ病院

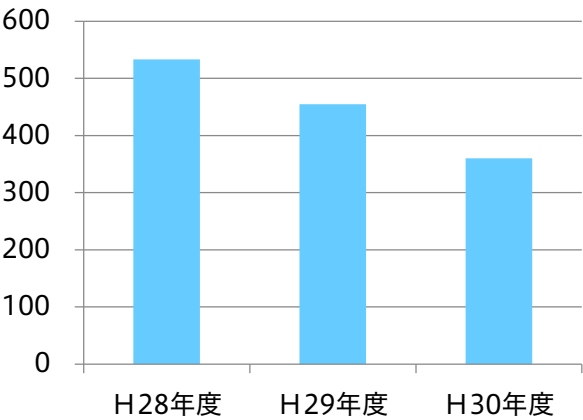
総電力量（単位：千 kwh）

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
千 kwh	6,140	5,975	6,260
対前年比	0.4% 減	2.7% 減	2.6% 増



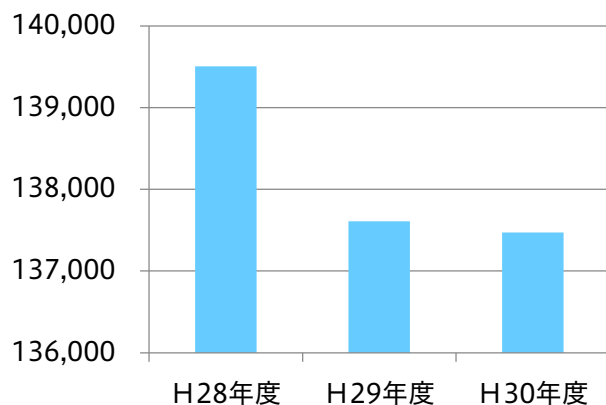
蓄熱電力量（単位：千 kwh）

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
千 kwh	533	455	360
対前年比	8.2% 減	14.6% 減	20.8% 減

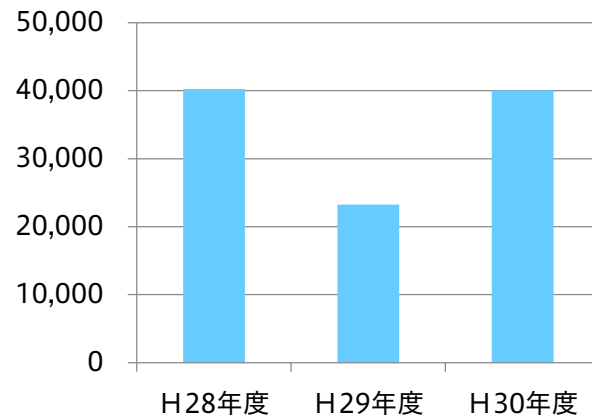


A 重油使用量（ボイラ）（単位：ℓ）

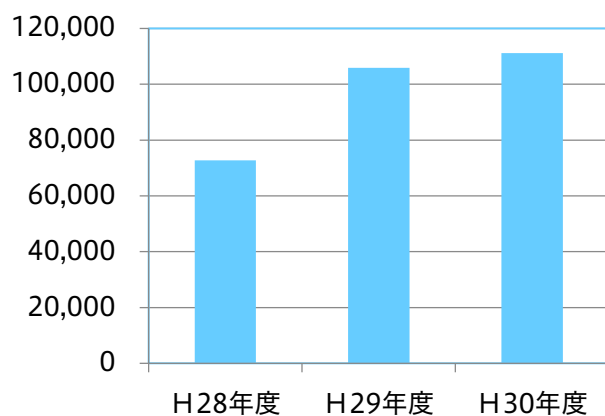
	H28 年度	H29 年度	H30 年度
ℓ	139,505	137,607	137,472
対前年比	3.5% 減	1.3% 減	0.1% 減

**LPG 使用量（吸収式冷凍機）（単位：m³）**

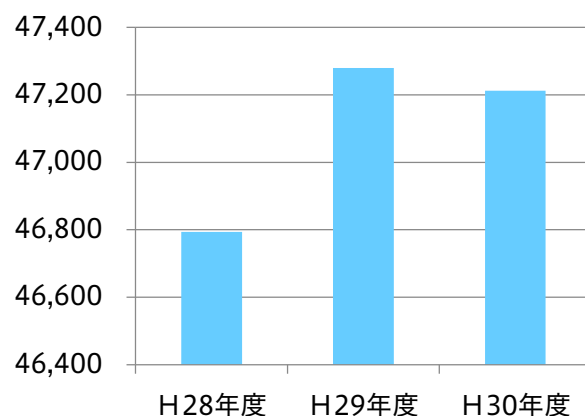
	H28 年度	H29 年度	H30 年度
m³	40,253	23,229	40,067
対前年比	7.1% 減	42.2% 減	72.5% 増

**A 重油使用量（常用発電機）（単位：ℓ）**

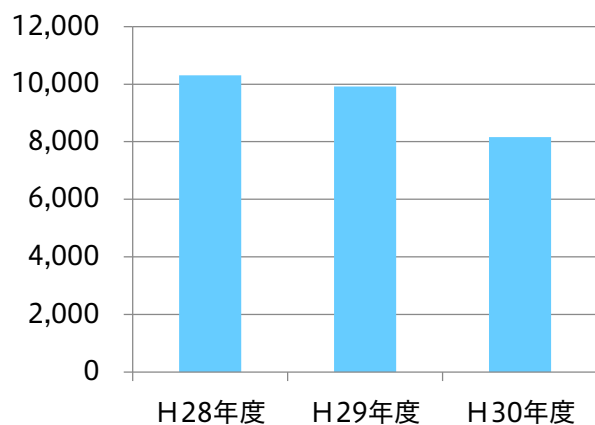
	H28 年度	H29 年度	H30 年度
ℓ	72,727	105,909	111,112
対前年比	62% 増	45.6% 増	4.9% 増

**上水道使用量（単位：m³）**

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
m³	46,794	47,280	47,212
対前年比	8.1% 減	1% 増	0.1% 減

**LPG 使用量（厨房）（単位：m³）**

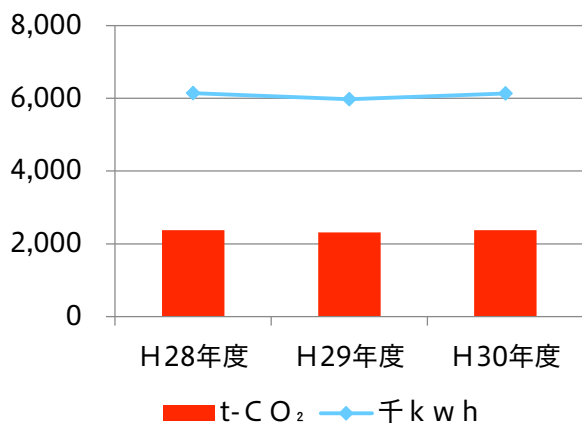
	H28 年度	H29 年度	H30 年度
m³	10,310	9,917	8,165
対前年比	12.6% 減	3.8% 減	17.6% 減



ハートライフ病院

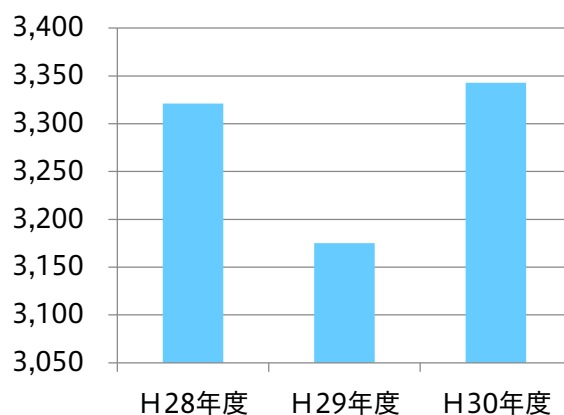
エネルギー使用量（電力）・CO₂ 排出量

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
千 kwh	6,140	5,975	6,133
t-CO ₂	2,376	2,312	2,373



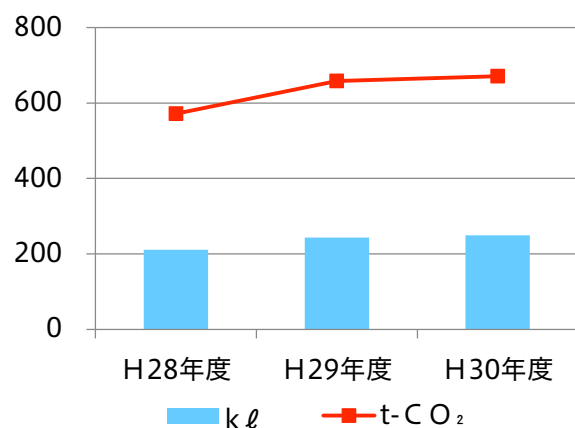
CO₂ 総排出量 (t-CO₂)

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
t-CO ₂	3,321	3,175	3,343
対前年比	2.5% 増	4.4% 減	5.3% 増



エネルギー消費量（A 重油）・CO₂ 排出量

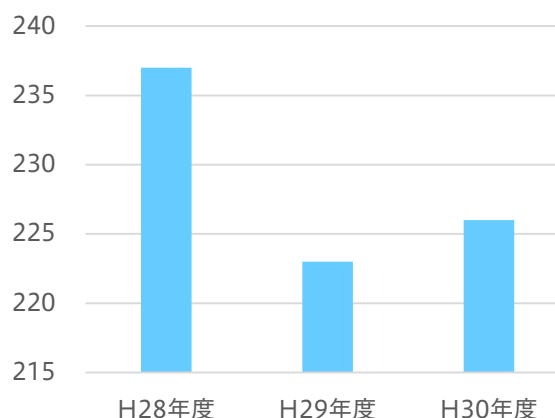
	H28 年度	H29 年度	H30 年度
kℓ	211	243	249
t-CO ₂	572	658	671



ハートライフクリニック

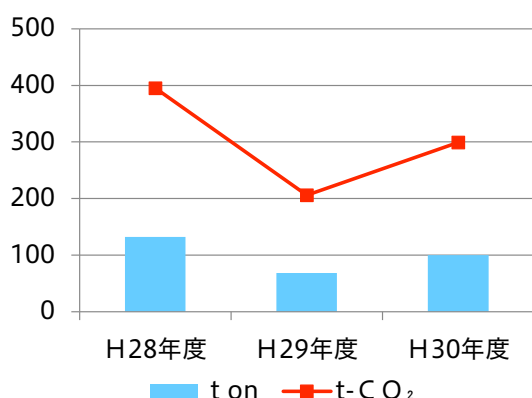
総電力量（単位：千 kwh）

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
千 kwh	237	223	226
対前年比	2.7% 増	5.9% 減	1.3% 増



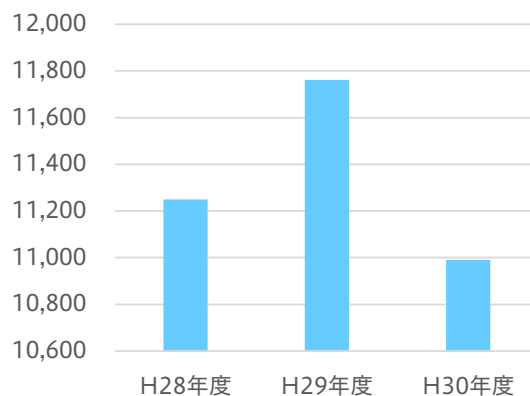
エネルギー消費量（LPG）・CO₂ 排出量

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
ton	132	68.6	99.8
t-CO ₂	395	205.8	299



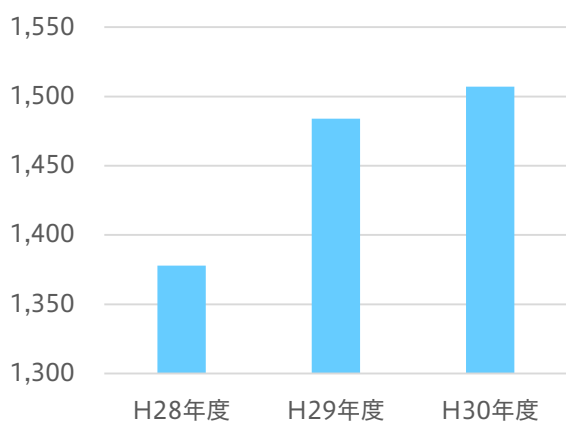
LPG 使用量（単位：m³）

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
m ³	11,250	11,762	10,990
対前年比	14.6% 増	4.5% 増	6.5% 減



上水道使用量 (単位 :m³)

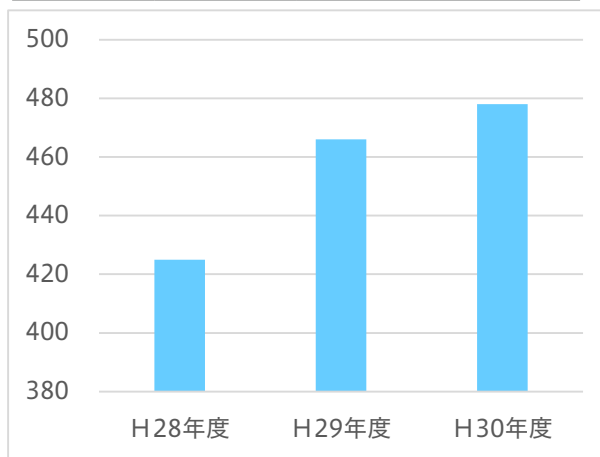
	H28 年度	H29 年度	H30 年度
m³	1,378	1,484	1,507
対前年比	4.3% 減	7.7% 増	1.5% 増



ハートライフ地域包括ケアセンター

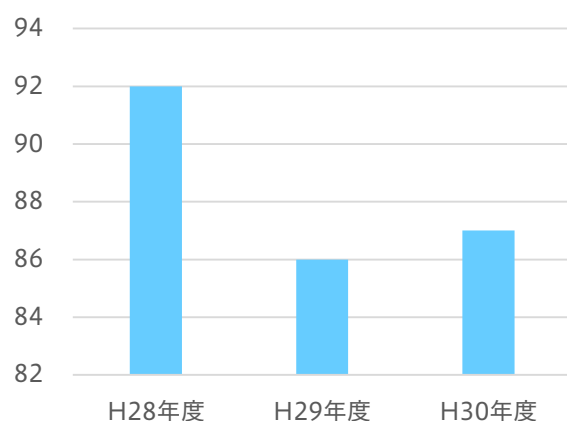
総電力量 (単位 : 千 kwh)

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
千 kwh	425	466	478
対前年比	90.5% 増	9.6% 増	2.5% 増



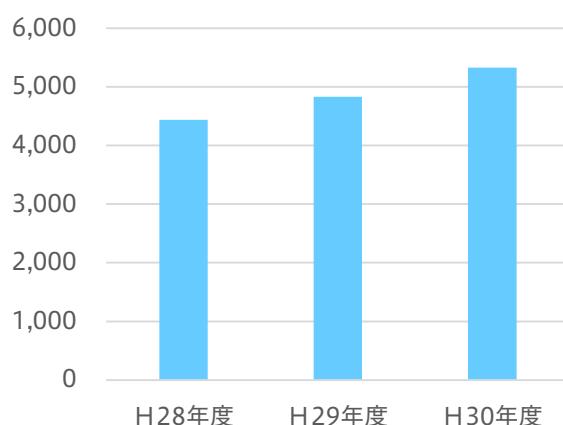
エネルギー使用量 (電力) :CO₂ 排出量 (t)

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
CO₂ (t)	92	86	87
対前年比	2.2% 増	6.5% 減	1.2% 増



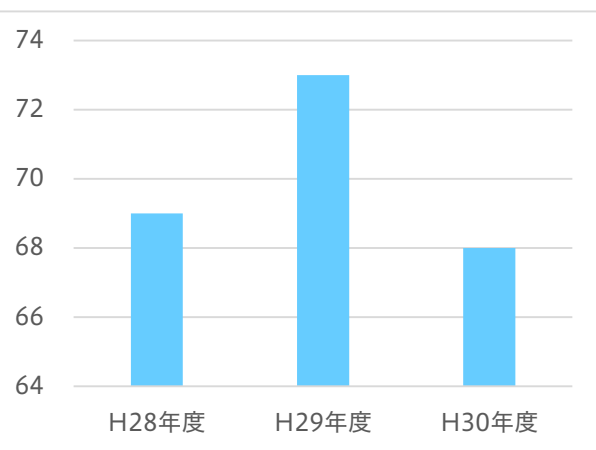
LPG 使用量 (単位 :m³)

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
LPG (m³)	4,440	4,829	5,330
対前年比	89% 増	8.7% 増	10.3% 増



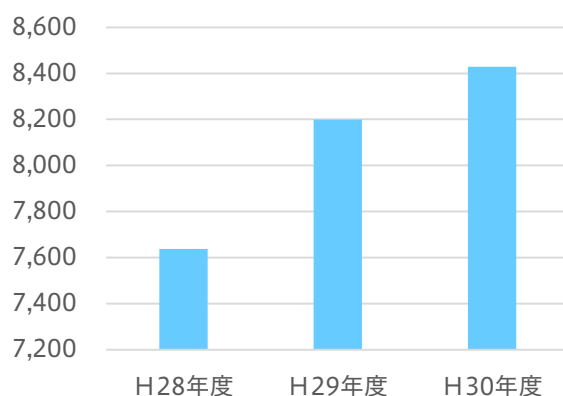
エネルギー使用量 (LPG) :CO₂ 排出量 (t)

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
CO₂ (t)	69	73	68
対前年比	13.1% 増	5.8% 増	6.8% 減



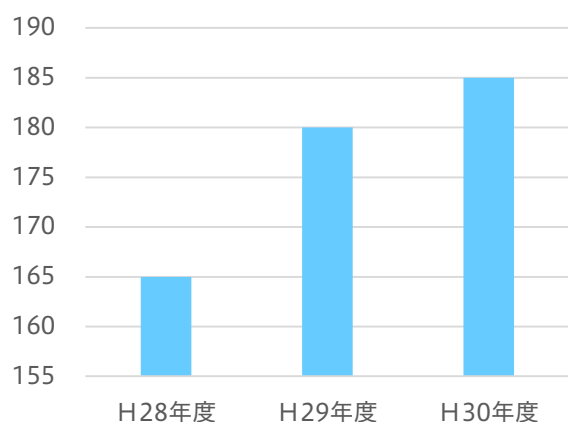
上水道使用量 (単位 :m³)

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
m³	7,637	8,199	8,429
対前年比	104% 増	7.3% 増	2.8% 増



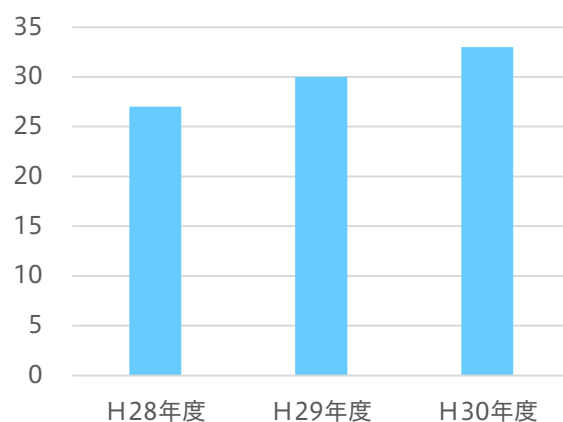
電力 CO2 排出量 (単位: t)

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
t-CO2	165	180	185
対前年比	90% 増	7.1% 増	2.7% 増



LPG CO2 排出量 (単位: t)

	H28 年度	H29 年度	H30 年度
t-CO2	27	30	33
対前年比	80% 増	11.1% 増	10% 増



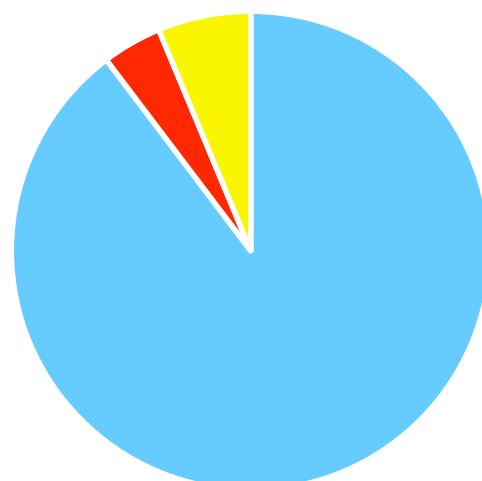
法人全体のエネルギー使用量

エネルギー発熱量:GJ

	本院	クリニック	老人ホーム
電力量	1,577	58	123
LPG 使用量	130	30	14
A 重油	250		
合 計	1,957	88	137
法人合計	2,182		
エネルギー使用割合			
	本院	クリニック	老人ホーム
	90%	4%	6%

平成 29 年度 2094KL 対前年比 4.2%増加

法人全体エネルギー使用量 原油換算合 計(2182kℓ)



■ 本院 ■ クリニック ■ 老人ホーム

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	氏名
電気設備保全講習	福岡市	2018 年年 4 月	具志堅徳明
ボイラー水管理技術講習	浦添市	2018 年年 9 月	宜保 卓
資源エネルギー庁立ち入り現地調査説明会	那覇市	2018 年年 9 月	具志堅徳明
消防法定講習	宜野湾市	2018 年年 10 月	比屋根 斉
電気設備保全講習	福岡市	2018 年年 11 月	比屋根 宗
消防長会 予防事務担当者会議	うるま市	2018 年年 11 月	比屋根 斉
省エネルギー講座	東京都	2019 年 2 月	具志堅徳明

防災訓練

名称	開催地	年月日
新入職員向け消防訓練	当院	2018 年 4 月 2 日
消防総合訓練	当院	2019 年 3 月 6 日

電気、水道、消防、建築、医療ガス等、各設備法定点検・検査及び定期自主点検の実施

年月日	名称
2018 年	消防訓練・エレベーター点検・浄化槽設備点検・常用発電機点検
	第一種圧力容器法定点検（3 号機）・ダムウェーター点検
	受変電設備点検・貯水槽・貯湯槽清掃（ケアセンター）
	簡易専用水道検査（本院・クリニック・ケアセンター）エレベーター点検
	浄化槽設備点検・常用発電機点検・温水ボイラーばい煙測定
	消防設備点検（本院）・BEMS 定期点検（ケアセンター）・エレベーター点検（本院）
	受変電設備点検（クリニック）害虫防除（本院西館 1F）・ダムウェーター点検
	衛生害虫防除作業（厨房・食堂・病棟・事務所）・エレベーター点検・浄化槽設備点検
	ダムウェーター点検・蒸気ボイラー点検・吸収式冷凍機点検・受変電設備点検（ケアセンター）
	特殊建築物検査【本院・ケアセンター】（設備、建築）・ばい煙濃度測定
	飲料水水質検査・電話設備点検・受変電法定点検（クリニック）・浄化槽設備点検
	常用発電設備点検・ダムウェーター点検・東館、ELV 定期検査・レジオネラ検査
	本館、非常用発電設備点検・ELV 点検・常用発電設備点検・消防用設備点検（クリニック）
	第一種圧力容器性能検査・ダムウェーター点検・受変電設備点検（ケアセンター）
	院内フィルター清掃・BEMS 定期点検（ケアセンター）
	衛生害虫防除作業（厨房・食堂）・エレベーター点検・浄化槽設備点検
	医療ガス設備点検・（本館）非常用発電設備年次点検・ダムウェーター点検
	受変電設備点検（クリニック）・常用発電設備点検・第一種圧力容器性能検査（4 号機）
	常用発電設備点検・ダムウェーター点検・浄化槽水質検査・浄化槽設備点検
	エレベーター点検・院内フィルター清掃・（クリニック・ケアセンター）非常用発電設備点検整備
2019 年	第一原水槽バキューム清掃
	上水道タンク清掃（本館・ケアセンター）・消防用設備点検（本院）・受変電設備点検（クリニック）
	浄化槽設備点検・常用発電設備点検・電話設備点検・衛生害虫防除作業（ケアセンター）
	BEMS 定期点検（ケアセンター）・ELV 点検・ダムウェーター点検
	衛生害虫防除作業（厨房・食堂・病棟・事務所）・ELV 点検・浄化槽設備点検
	消防用設備点検（ケアセンター）・防火・防災対象物点検・受変電設備点検（ケアセンター）
	常用発電設備点検・ダムウェーター点検・受変電設備点検（本館・東館）
	常用発電設備点検・浄化槽設備点検・ダムウェーター点検・受変電設備点検（クリニック）
	常用発電システム盤年次点検・ダムウェーター点検・受変電設備年次点検（ケアセンター）
	第一種圧力容器性能検査（1 号機）・GHP 点検（クリニック）・消防用設備点検（クリニック）
	防火・防災対象物点検・ELV 点検・東館、フィルター清掃
	ばい煙濃度測定・衛生害虫防除作業（厨房・食堂）・ダムウェーター点検・ELV 点検
	常用発電設備点検・浄化槽設備点検・受変電設備点検（クリニック）・BEMS 定期点検（ケアセンター）
	東館 ELV 点検

診療情報管理室

診療情報管理室課長 柳 学

職員数

総数

9 名

職種別

診療情報管理士 8 名（病歴担当 5 名、がん登録担当 3 名）

一般事務 1 名（病歴担当 1 名）

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	8

事業計画・評価

項 目	概 要	達成率	評価
【業務（収入）計画】業務全般に対する取組みの内容及び、展望について	○ DPC の機能評価係数Ⅱアップに向けて	0%	保険診療係数は ICD10 コードの部位不明・詳細不明割合を全体の 10% 未満に抑えることができアップした。カバー率係数、救急医療係数もアップした。しかし地域医療係数、効率性係数、複雑性係数が下がり全体で 0.0019 下げた
	○ 病院指標の作成と公開他	100%	各診療科の部長等へ評価コメントを依頼し、期日までに自院ホームページへアップ、機能評価係数への評価が行なわれた
	○ 診療・研究・経営に役立つ統計・分析資料の作成	50%	各部署や医師等から依頼された資料への対応はできたが、当部署からの積極的な発信が出来ていない
	○ 診療録の監査（量的・質的）の実施の継続及び内容の充実を図る	50%	診療録委員会にて 2 ヶ月毎（偶数月）に診療録の監査を実施しているが、監査項目の見直し等の検討が必要
	○ カルテ廃棄の作業（保管スペースの確保）		死亡退院後 11 年経過した退院カルテの廃棄作業に今年度も手を付けられなかった（※廃棄対象 H14.01-H19.12DC 分）
【要員計画】計画を実行する為に必要な要員	○ 人員は現状の 9 名を維持（病歴担当 6 名（診療情報管理士 5 名 + 契約 1 名）・がん登録担当 3 名（診療情報管理士 3 名）	100%	平成 30 年度の退院患者総数が 9,211 名で、退院患者 2,000 名に 1 名の診療情報管理担当者を配置すれば、診療録管理体制加算の基準はクリアするので、現状の人員を維持。
【教育研修計画】年間スケジュールの作成	○ 診療情報管理士による全職員向けの DPC 勉強会の開催	0%	開催出来ず
	○ DPC 夏季セミナー等への参加	0%	参加出来ず
	○ がん登録研修等への参加	50%	がん登録担当が参加
	○ 平成 30 年度「第 26 回院内研究発表会」へ演題発表	100%	病歴担当から発表
【設備計画】機器の更新・新規購入、修繕、備品	特になし		

活動実績

研修・勉強会などへの参加

題名・タイトル	目的	開催地	年月日	参加者
平成 30 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会傍聴	沖縄県の今後のがん対策について最新情報を収集する為	琉球大学医学部附属病院 管理棟 3 階	2018 年 5 月 11 日	宮平奈美子
日本がん登録協議会第 27 回学術集会 in 沖縄	全国でのがん登録業務の取組みを情報収集し、当院でのがん登録業務へ活用する	沖縄県市町村自治会館	2018 年 6 月 13 日～15 日	宮平奈美子・兼濱亜紀
平成 30 年度院内がん登録実務中級認定者研修会	院内がん登録にかんする高度で専門的な知識および技術を習得すること	国立がん研究センター	2018 年 7 月 2 日～3 日	宮平奈美子・兼濱亜紀
平成 30 年度緩和ケア研修会担当者会議	緩和ケア研修会の新指針が平成 30 年度より適用されたことに対しての情報収集	沖縄県自治研修所	2018 年 8 月 17 日	宮平奈美子・兼濱亜紀
小学生向けに行われる「がん教育」授業を参観：講師 東京女子医科大学病院教授 林和彦先生	がん対策推進委員会主催の小学生向け「がん教育」講演会を開催する際の参考にするため	沖縄市立高原小学校	2018 年 9 月 27 日	宮平奈美子(西原 Dr, 本田師長)
第 60 回全日本病院学会 in 東京	発表	グランドニッコー東京 台場	2018 年 10 月 5 日～7 日	兼濱亜紀
腫瘍学分類コース（第 3 期生）	腫瘍学分類コース・スクーリング受講	一般社団法人日本病院会（東京）	2018 年 10 月 11 日～14 日	宮平奈美子・田河美智代
第 1 回 SSISCOPE 研修～診療情報管理士コース～	臨床統計・診療の質管理・データ抽出に関わる技術の向上	株式会社ソフトウェア・サービス（大阪）	2018 年 10 月 12 日～13 日	大城克枝
平成 30 年度第 1 回院内がん登録研修会	全国がん登録実務に関わる知識・技術の向上	琉球大学医学部 臨床講義棟 1 階 小講義室	2018 年 10 月 27 日	兼濱亜紀・宮平奈美子・雨宮絢
平成 30 年度全国がん登録医療機関実務担当者研修会	全国がん登録実務に関わる知識・技術の向上	沖縄県庁 講堂（4 階）	2018 年 10 月 31 日	兼濱亜紀・宮平奈美子・雨宮絢
第 97 回診療情報管理士生涯教育研修会	診療情報管理士の新たな業務指針 2018 の習得及び能力向上	一般社団法人日本病院会 2F セミナールーム（東京）	2018 年 11 月 17 日～18 日	真栄平久美子
第 4 回 SSISCOPE 研修～診療情報管理士コース～	診療情報管理士として SSISCOPE を用いて情報分析・統計処理能力の向上目的	大阪・株式会社ソフトウェア・サービス	2019 年 1 月 25 日～26 日	真栄平久美子
日本ヘルニア学会・沖縄支部主催「第 6 回沖縄ヘルニア研究会」	総合司会	沖縄県医師会館	2019 年 2 月 23 日	兼濱亜紀

医事課

医事課 課長 宮城 淳

職員数

総数

43 名

職種別

一般事務 43 名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	2

運営方針

1. 患者さんには（目配り・気配り・誠心誠意）
2. 細分化業務の早期構築（量から質の人材育成）
3. 請求漏れ発生の防止（診療では補助・保険では本業の心）
4. 新入職員及び職員教育・研修の充実と実施

業務計画

- ①病院収入の確保とサポート
 - ・減点査定・レセプト返戻の対策と強化
 - ・診療報酬改定の早期対策と強化
 - ・医療保険制度改革の早期対策と強化
 - ・新規施設基準の届け出と強化
- ②保険請求知識の向上
 - ・請求漏れ防止の対策強化
 - ・職員への指導及び教育。査定・返戻の減少対策及び勉強会
- ③窓口サービスの強化・患者誤認の防止の徹底
 - ・患者さんへの目配り、気配り
 - ・氏名、生年月日の再確認

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
三水区医事定例勉強会	県医師会	2018 年 4 月 18 日	宮城・桑江・伊集・渡久地（総務）
三水区医事定例勉強会	中部徳洲会	2018 年 6 月 20 日	桑江・新垣・田中・砂川・佐平
三水区医事定例勉強会	県医師会	2018 年 10 月 17 日	桑江・伊集・新垣・田中
三水区医事定例勉強会	県医師会	2019 年 2 月 20 日	伊集・新垣・田中・上原
MDV 九州地区活用研究会	那覇市立病院	2018 年 9 月 15 日	宮城・我如古（情報管理）・他
医療経営セミナー（三水区）	那覇市	2018 年 7 月 13 日	宮城・桑江・新垣・屋我・田中

名称	開催地	年月日	参加者
沖縄県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業説明会	沖縄市	2018 年 11 月 8 日	桑江・新垣・田中・金城
結核指定医療機関連絡会議（公費事務担当）	沖縄市	2018 年 9 月 20 日	上原・奥間
労災診療費算定実務研修会	那覇 / 労働局	2018 年 11 月 18 日	宮平（真）・松川

実習生受け入れ

実習校	期間	受入れ人数
那覇日経ビジネス 2 年生企業実習	2018 年 7 月 17 日～ 8 月 10 日	1 人

その他

名称	開催地	年月日	参加人数
障害者雇用・就業支援実践研修（講師派遣）	那覇 / 労働局	2018 年 11 月 27 日	宮城・河上（人事課）
日経教育グループ「第1回教育課程編成委員会」	那覇市	2018 年 11 月 11 日	宮城
日経教育グループ「第2回教育課程編成委員会」	沖縄市	2019 年 2 月 19 日	宮城

附随業務部門 食堂とまと

事務部副部長 比嘉 靖



店舗



ドック食

院内食堂として、病院敷地奥の別館 1 階で営業を行っています。お客様の約 6 割が病院職員で、平日の日替わりランチ、店舗販売の弁当は職員割引で提供し職員食堂の役割も担っております。

また、当院人間ドック受診者向けの昼食メニューも食堂とまとで調理を行い、8 階人間ドックの専用レストランにて提供しております。

平成 30 年度は、前年に比べて売上高、客数共に増加しました。

メニュー

日替わりランチ、みそ汁定食、豆腐チャンプルー定食、さんま定食、ポークたまご定食、カツカレー、カレー、沖縄そば、日本そば（きつね）、うどん（きつね）、ライス、サラダ、弁当（みそ汁付）

営業時間：月曜日～土曜日 11：30～15：00

定休日：日曜日、祝日

職員数

総数

10 名

職種別

調理師 2 名

調理補助 7 名

調理員 1 名

経営方針

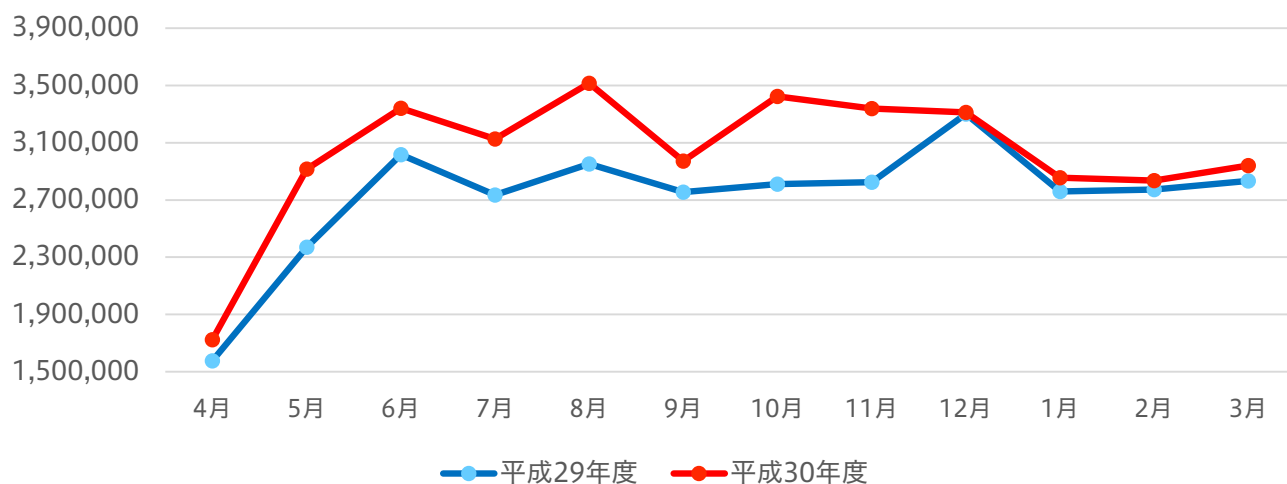
職員や来院者に対し、「笑顔で親切ハートライフ病院」を合言葉にして、安全・安心で美味しい食事を提供していきます。

活動報告

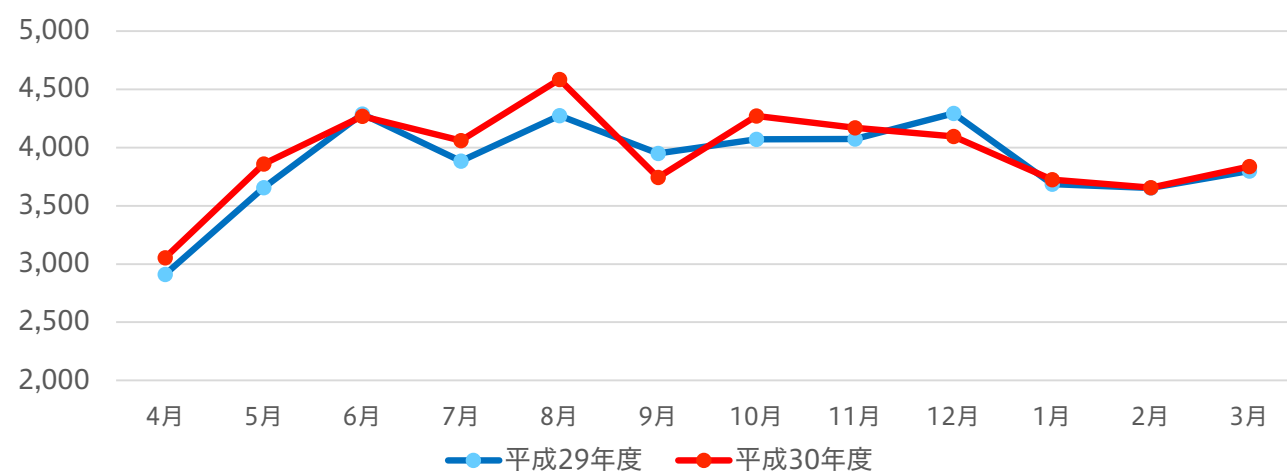
- ・ 弁当新メニューの追加

業務実績

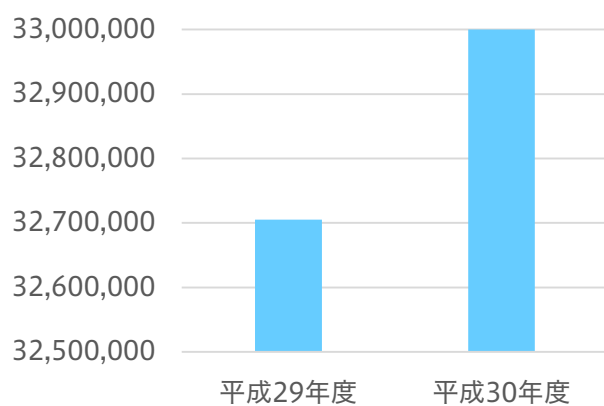
売上推移



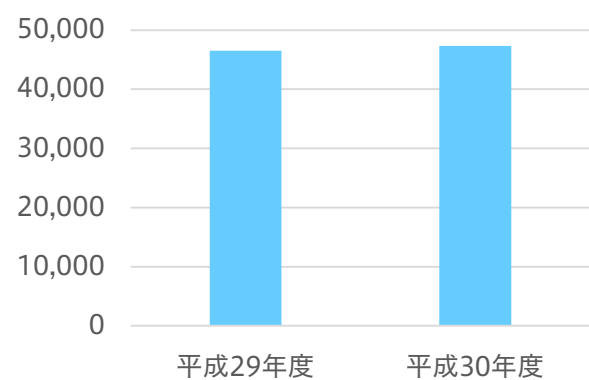
客数推移



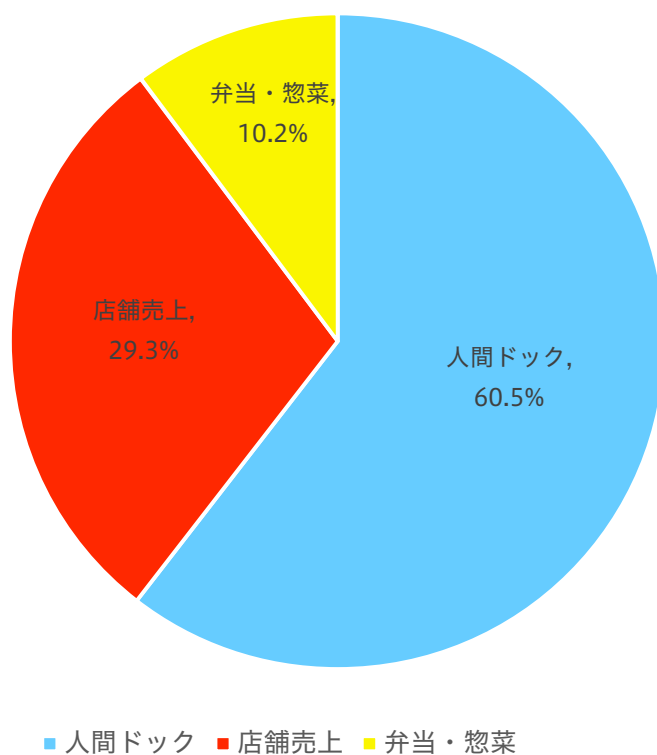
総売上高推移



総客数推移



売上割合



事務部 年度総括



事務部長
當銘 秀之

はじめに、ハートライフ病院は平成 30 年 8 月に開院 30 周年を迎え、その年の 10 月に 30 周年祝賀会、11 月には 30 周年記念健康まつりを盛況のうちに開催することが出来ました。これもひとえに職員の皆様のご支援のおかげだと心より感謝致します。また、これから先の開院 40 周年、50 周年を迎えることを祈念致します。

さて、平成 30 年度は、4 月に医療報酬・介護報酬同時改定、10 月に初めてとなる社会医療法人監査、10 月と 11 月には前述した 30 周年祝賀会、30 周年記念健康まつりの開催、そして年が明けた 3 月には病院機能評価受審と大変忙しい年度でありました。それ以外にも、昨年度から工事をしておりました手術室 3 室の増室、放射線科、生理検査室、地域連携室の改修工事が 4 月には終了し、それ以降もリハビリテーション室、小児科、救急センター、予防医学センター、内視鏡センターの改修工事が次々と完了致しました。同時に進行していました立体駐車場建築工事も 5 月には完成し運用を開始しました。これで構想から 7 年に及ぶ増改築工事が全て無事に完了することになりました。本当に多忙な年ではありましたが、特に大きな問題もなく無事に年度末を迎えることが出来ましたことを大変嬉しく思います。また、工事期間中は当院をご利用の皆様には、ご迷惑とご不便をお掛け致しましたことをお詫び申し上げると共に、ご協力に感謝申し上げます。

事務部では、病院目標の一つでもあります 5 年後を見据えた人材育成の取り組みの一環として、4 月から大学新卒者 4 名を迎え 9 カ月間の長期研修を行いました。12 月に行われました 4 名の研修終了報告会では、入職時とは格段に成長している姿を見ることができ、大変感動、感激致しました。これからの更なる成長が楽しみです。

平成 31 年度は、30 年度と比較して大きなイベントはありませんが、HCU の新規設置、全館空調機の入れ替え、トイレ改修工事がありますので、今年度も少なからず忙しい年になることが予測されます。

5 月からは新たな年号「令和」に変わりますが、事務部門としては例年通り「笑顔で親切」のスローガンのもと、様々なイベントを職員一丸となって乗り切っていく所存です。

委員会活動

医療安全管理委員会

委員会名	医療安全管理委員会	開催日	毎月第 3 金曜日
委員長名	久場良也	構成人数	26 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	安村公均
活動目的	1) 医療事故防止のための安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上を図る。 2) 医療事故やニアミスの情報を収集し、分析して具体的な事故防止対策に役立てる。		
今年度の 主な活動内容	1. 医療事故の分析及び再発防止策の検討。 2. 医療事故発生防止のための啓蒙、教育。 3. インシデント・アクシデント報告の集計と分析。 4. 医療安全管理体制相互評価（中頭病院、与那原中央病院）の実施。 5. マニュアル、同意書の見直し。 6. 早期把握・介入による当該部署へのサポートを目的としたオカレンス報告の策定と実用。		
備考			

医療ガス安全・管理委員会

委員会名	医療ガス安全・管理委員会	開催日	年 1 回（不定期）
委員長名	島袋 泰	構成人数	2 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	野原 剛
活動目的	医療ガス（診療に供給する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。		
今年度の 主な活動内容	1. 医療ガス設備について実施責任者に保守点検を行わせること。監督責任者は、実施責任者による業務を指導、監督する。 2. 帳簿を備え、行った保守点検業務について記録を作成し保存する。 3. 医療ガス設備に係る新設及び増設工事・部分改造・修理等にあたっては臨床各部門にその旨周知徹底を図り、使用に先立って厳正な試験・検査を行い、安全を確保する。 4. 医療施設内の各部門に医療ガスにかかわる知識を普及し、啓発に努める。 5. その他医療ガスに関わる事項。		
備考	医療ガス安全管理委員長が久場 良也より 島袋 泰へ変更となりました。 災害拠点病院の要件は満たしています。（最小で 5 日～10 日は持つ見込み）		

医療事故対策委員会

委員会名	医療事故対策委員会	開催日	適宜
委員長名	久場良也	構成人数	11 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	安村公均
活動目的	病院で発生する医療事故、訴訟問題に迅速に対応するとともに適切な対応を図るため。		
今年度の 主な活動内容	1. 医療事故発生時の事実と経過内容の確認と有責事案の判断。 2. 医療事故の原因調査の実施（関係者聴取、M&M カンファレンスの実施など）。 3. 補償対応に関する協議。 4. 患者・患者家族説明対応。 5. 医療事故事例の医師会への報告、第三者や外部検証委員会による見解の聴取。 6. 医療事故事例に関する顧問弁護士との調整。 7. 医療事故事例の分析から対策を立案し、指示と改善の再評価。		
備考			

医療廃棄物委員会

委員会名	医療廃棄物委員会	開催日	不定期開催
委員長名	奥島憲彦	構成人数	22 名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	医療廃棄物の管理に関する基準を定め、医療廃棄物を適正に処理し、感染を防止する。		
今年度の主な活動内容	・4月の新人オリエンテーションにて、委員会活動報告と廃棄物処理の説明を行う。 ・感染性や非感染性廃棄物の廃棄不備などを写真にて記録し、関係部署へ注意喚起を行う。 ・電子マニフェスト化に向けて、説明会へ参加。次年度までに変更予定。		
備考			

院内感染対策委員会

委員会名	院内感染対策委員会	開催日	毎月第3月曜日等
委員長名	普天間光彦	構成人数	18 名
事務局・担当部署	感染対策管理室	担当者名	城間克也
活動目的	ハートライフ病院の感染管理のため、院内感染に関する意思決定機関として関連事項の調査・審議を行う。		
今年度の主な活動内容	1) 感染対策委員会の開催 月1回定例開催で12回の開催 緊急会議等4回開催（インフルエンザウイルス集団感染2事例、麻疹流行期の対策会議） 2) 委員会における調査・報告内容 ICT報告 ①サーベイランス（耐性菌 / 抗酸菌 / インフルエンザウイルス / CD / 針刺し・切創の発生報告） ②手指衛生状況（アルコール製剤使用量、手指衛生遵守率） ③耐性菌アウトブレイク監視（MRSA） ④JANISサーベイランス事業（全入院部門） AST報告 ①抗菌薬使用状況（総使用量、指定抗菌薬、使用届出） ②血液培養分離 ③菌血症患者介入症例 ④血液培養の複数セット採取率と汚染率		
備考			

安全衛生委員会

委員会名	安全衛生委員会	開催日	毎月第3木曜日
委員長名	奥島 憲彦	構成人数	14 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	吉川 忍
活動目的	職員の健康保持及び、健康増進を図る 職員のメンタル不調の予防		
今年度の主な活動内容	2018年4月 春季職員健診実施（健診後事後措置実施 5月～） 2018年4月 職場巡視（1～3部署 / 月）通年 2018年10月 秋季職員健診実施 2018年10月 職員インフルエンザワクチン予防接種実施 2018年12月 ストレスチェック実施（フォローアップ 1月～） 2019年1月 『交通安全』に関するアンケート実施（職員対象） 2019年2月 職員満足度調査（ワークライフバランス委員会と共同実施） 2019年2月 産業医を菅谷 明子 医師から銘苅 正 医師へ変更		
備考			

NST・褥瘡対策・排泄ケア委員会

委員会名	NST・褥瘡対策・排泄ケア委員会	開催日	毎月第 2 月曜
委員長名	宮平工 (NST) / 東盛貴光 (褥瘡) / 嘉川春生 (排泄) /	構成人数	57 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	嘉数智子
活動目的	1. 入院患者の褥瘡発生を予防する 2. 褥瘡発生 (入院時より有する) 患者に対して適切なケアを実施する 3. 褥瘡ケアに対する質の向上 4. 低栄養にある患者のアセスメントを行い適切なアドバイスを行う 5. オムツ交換の手技だけではなく、患者さんにとって尊厳のある排泄ケアの実施 6. 排尿自立に向けた支援		
今年度の主な活動内容	毎週水曜日：褥瘡回診 毎週木曜日：NST 回診実施 毎週金曜日：排尿ケアラウンド 外科医師、形成外科医師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、褥瘡専従看護師、NST 専従管理栄養士にて回診を実施。医師による処置だけではなく、低栄養にある患者の場合は NST チームが介入し、ポジショニング指導等は理学療法士が介入し実施、指導を行なっている。 排尿ケア回診では、尿道留置カテーテル患者を対象に自立排尿ができるよう指導を実施。		
備考			

エネルギー管理委員会

委員会名	エネルギー管理委員会	開催日	奇数月の第 2 金曜日
委員長名	松元 悟	構成人数	7 名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	・各事業所の光熱費などが適正に使用されているかを年間を通して管理する。 ・省エネ器具や補助金などを活用して、費用削減に努める。		
今年度の主な活動内容	1. 全居室の室空調機が老朽化しているので、高効率型空調機への取替を計画し、予算化する。 2. 東館の照明器具をすべて LED で計画して光熱費の削減を行った。 3. 立体駐車場の照明器具をすべて LED 化で計画して、光熱費の削減を行った。		
備考			

栄養管理委員会

委員会名	栄養管理委員会	開催日	毎月第 3 火曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	15 人
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	真栄城 ゆかり
活動目的	・栄養管理の充実・向上とその適正な運営 (栄養管理、給食に関する問題点の改善及び対策)		
今年度の主な活動内容	・嗜好調査 (年 4 回) の報告。 ・入院時の禁忌食品 (アレルギー) の聞き取りの統一を図った。 ・食事変更、欠食等時間外オーダー件数報告と防止策検討。 ・食事介助の多い病棟を優先に検討、配膳順番変更を行った。 ・退院時の栄養指導の算定漏れが無いよう実施までの流れを各病棟統一した。 ・入院治療計画書の栄養管理までの過程。		
備考			

化学療法委員会

委員会名	化学療法委員会	開催日	毎月第 1 木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	12 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	大関秀和
活動目的	当院で実施するすべての化学療法の医学的、薬学的、安全性及び経済学的評価を行い、その選択、購入、配布、及び使用等に関する勧告を行う。		
今年度の主な活動内容	・プロトコールシステムの整備・改定 ・マニュアルの整備・改定 ・院内勉強会の開催 ・閉鎖式デバイスの導入に向けた取り組み ・化学療法加算増加・がん患者指導料の算定増加への取り組み ・無菌調製処理加算取得に向けた取り組み		
備考			

がん対策推進委員会

委員会名	がん対策推進委員会	開催日	毎月第3木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	9名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	宮平奈美子
活動目的	がん診療を行う医療機関として、県、他医療機関との連携を取りながら、より充実したがん医療の提供の推進を図る。		
今年度の 主な活動内容	1. セカンドオピニオンの受け入れ、および他院への依頼 2. 緩和ケア病院への紹介 3. がん患者さんへの在宅退院支援 4. 沖縄県緩和ケア研修会の運営開催（2019年1月26日）（参加者29名：院内19名、院外10名） 5. 講演会「治療と仕事の両立支援セミナーとピアサポートの紹介」運営開催（2018年11月21日）（参加者42名） 6. がん対策推進企業アクションからの情報紙（ニュースレター2018vol.1～8）を正面玄関、各部署へ配布 7. 患者さん向けがんの小冊子（14部位）を正面玄関に配布 8. 2015年症例の沖縄県院内がん登録集計報告書10冊を関係部署、および患者用として関連診療科外来へ配布 9. 2017年症例の全国がん登録、院内がん登録の提出（527件） 10. 国立がん研究センター主催の院内がん登録予後調査支援事業への参加 11. 協議会、研修会、セミナーへの参加 ・「第7次沖縄県医療計画」（がん分野）専門的医療機関の選定要件再検討会議参加（2019年1月29日 / 参加者：西原） ・沖縄県がん診療連携協議会緩和ケア・在宅医療部会研修会ワーキング参加（2019年2月18日 / 参加者：西原）・がん対策推進企業アクション統括セミナー参加（2019年3月5日 / 参加者：望月） ・沖縄県がん診療連携協議会傍聴参加（2018年5月、8月、11月、2019年2月の計4回 / 参加者：宮平、田中、桑江、知花）		
備考			

呼吸器ケア委員会

委員会名	呼吸器ケア委員会	開催日	毎週水曜日
委員長名	普天間 光彦	構成人数	28名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	弓濱義之
活動目的	1) 人工呼吸器からの離脱支援：ウィニング計画の立案と実施、コンサルテーション 2) 人工呼吸器装着患者の合併症予防のための支援 3) 呼吸器関連デバイスの更新や運用検討 4) 酸素療法や人工呼吸器使用に関する勉強会の定期的な開催 5) 毎月第2水曜日にミーティングを行い意見交換やケアに関する情報収集を行う		
今年度の 主な活動内容	1) 毎週水曜日に行う院内ラウンド【2018年度は年間257名に対してラウンド実施】 ①対象患者は人工呼吸器装着中で呼吸器から離脱を目標としている患者、もしくは離脱困難で長期間呼吸器管理が必要な患者や在宅人工呼吸器に移行する可能性のある患者への介入 ②病棟看護師やリハビリスタッフからの要請で酸素療法実施中の患者のデバイス選定やコンサルテーション 2) 人工呼吸器関連のデバイス変更や更新時の機器・デバイス選定への寄与 3) 呼吸器ケアに関する勉強会の開催 「酸素療法について2018/6/13」、「リハビリ、体位ドレナージについて2018/7/18」、「NPPVについて2018/9/5」、「PEEP、グラフィックモニター2018/11/14」		
備考	2019年度より呼吸ケア加算の算定を開始予定		

個人情報保護委員会

委員会名	個人情報保護委員会	開催日	年 2 回 (5 月・10 月)
委員長名	仲地智俊 (個人情報保護管理責任者)	構成人数	5 名
事務局・担当部署	事務局	担当者名	仲地智俊
活動目的	社会医療法人かりゆし会において、個人情報保護計画を策定し、実施・評価・改善を行い、当法人職員に対して、個人情報保護を遵守する重要性を理解させ、実際に個人情報が適切に取り扱われることを活動目的とする。		
今年度の 主な活動内容	1. 平成 30 年 4 月 2 日 (月) 新職員オリエンテーション 新職員オリエンテーションにて個人情報保護に関する説明 2. 平成 30 年 5 月 24 日 (木) 委員会開催 職員の個人 Twitter による患者の個人情報漏洩未遂への対応 ※漏洩未遂であったが、懲罰委員会を経て厳重注意とした 3. 平成 30 年 10 月 25 日 委員会開催 ①委員の変更を承認 ②診療現場での患者・関係者の無断撮影禁止を再確認		
備考			

診療録管理委員会

委員会名	診療録管理委員会	開催日	毎月第 4 水曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	16 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
活動目的	診療録管理委員会は、診療録帳票の検討、記載要領及び診療録の適切で効率的な利用、保管の為に必要な事項を調査、検討するため、また、診療情報の適用の可否を審議することを目的とする。		
今年度の 主な活動内容	委員会毎月 1 回定例とし、第 4 水曜日に開催することを原則とする。 1) 検査伝票、診療帳票等の新規作成、改定に関すること 2) 入院、外来診療録の整備と質的向上の為に諸条件に関すること 3) 診療に関する諸様式の整備改定に関すること 4) 診療情報管理室の効率的な管理運営に関すること 5) 診療録管理に関すること 6) 診療情報の提供に関すること 7) その他		
備考			

卒後臨床研修管理委員会

委員会名	卒後臨床研修管理委員会	開催日	年 2 回 (6 月・3 月)
委員長名	奥島憲彦	構成人数	51 名
事務局・担当部署	卒後臨床研修事務局	担当者名	新屋瑞希
活動目的	本委員会は、当院研修プログラムの管理及び研修計画の円滑な実施や研修管理委員会に関する事項について連携し、より具体的な業務を行う。また、卒後臨床研修管理委員会の運営に関して必要な事項を審議するため、卒後臨床研修委員会運営協議会を設置している。		
今年度の 主な活動内容	1. 平成 30 年度採用初期研修医第 15 期生 (5 名) の紹介 2. 平成 30 年度スケジュールの確認 3. 平成 29 年度採用初期研修医第 14 期生 (5 名) の修了判定 4. 令和 2 年度 (2020 年度) 初期研修医募集要項の確認 5. 研修医からの意見・要望等の取り入れ・検討 6. 平成 31 年度採用研修医の募集定員の増員について		
備考			

地域医療支援病院運営委員会

委員会名	地域医療支援病院運営委員会	開催日	年1回(8月)
委員長名	奥島憲彦	構成人数	20名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	新垣りか・松原稔二
活動目的	ハートライフ病院が地域のかかりつけ医、かかりつけ歯科医などからの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に必要な支援を行うため、ハートライフ病院地域医療支援病院運営委員会を設置する。		
今年度の主な活動内容	地域医療支援病院委員会を平成30年8月27日(月)に開催し、下記の(1)～(12)の平成29年度実績を報告した。 (1)開設者 (2)紹介率(紹介率・逆紹介率) (3)共同利用 (4)救急医療 (5)研修 (6)病床数 (7)構造設備 (8)諸記録 (9)委員会 (10)患者相談 (11)その他 (12)居宅等		
備考	年度に1回以上委員会を開催する。		

治験審査委員会

委員会名	治験審査委員会	開催日	毎月第2火曜日
委員長名	松元 悟	構成人数	10名
事務局・担当部署	治験管理センター、薬局	担当者名	田中健嗣
活動目的	治験を行う為に必要な第三者機関(院長の諮問機関)として、「治験の原則」に従って、すべての被験者の人権の保護、安全の保持および福祉の向上を図ることを目的とする。治験を開始する前から終了後に至るまで、その責務は継続するものである。		
今年度の主な活動内容	稼働治験数:4件		
備考	稼働治験の増加に伴い、増員を予定しています。		

薬事審議委員会

委員会名	薬事審議委員会	開催日	奇数月の第3金曜日
委員長名	松元 悟	構成人数	10名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
活動目的	毎年、多くの医薬品が開発され、新たに薬価収載されている。この数多くの市販される医薬品の中から、患者個々の病態や経済性に考慮した医薬品を選定することは、薬物療法を適正に行うにあたって重要な事である。また、同種・同効の医薬品ならびに後発医薬品が多く薬価収載されており、これらの医薬品を無秩序に購入し使用することは、医学・薬学・経済面から見ても合理的であるとはいえない。さらに新規購入医薬品が増えることで、使用されなくなった既存の薬剤の整理を行わない限り、採用医薬品は増加し過剰在庫による経済的負担と、医薬品を管理する人的、スペース的負担を増加させる。従って薬物療法の適正化と、医薬品管理業務における、医薬品の流通を円滑に行う為に、薬事審議委員会を設置する。		
今年度の主な活動内容	委員会の役割 ・新規採用医薬品の採用 ・後発医薬品の採用方法 ・既採用医薬品の再評価の必要性 ・陳旧化した医薬品の取り扱い ・同種・同効薬の再評価 ・院内製剤の採否の決定 ・医薬品の適正な使用方法の協議 ・医薬品の副作用及び感染症の協議 ・在庫医薬品の適切な管理と運用 ・病院医薬品集・医薬品情報等について ・臨床試用医薬品の採否の決定		
備考			

輸血療法委員会

委員会名	輸血療法委員会	開催日	奇数月第 1 金曜日等
委員長名	佐久川 廣	構成人数	8 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	蔵下 恒
活動目的	輸血療法の安全な実施及び血液製剤の適正使用を図ることを目的し、輸血療法に係る全般を議題、検討内容とする。		
今年度の主な活動内容	・血液製剤使用状況の確認：製剤毎、医師毎の使用状況の集計を行い、大量使用症例は内容の検討を行った。 ・廃棄血の発生状況を検討し対策をおこなった。 ・輸血後感染検査実施率向上に向けて、案内文書の配布を開始した。※（10 月より） ・使用済み血液パックの回収を実施：血液製剤の細菌汚染等の確認のため 2 週間程度の冷蔵保管を実施。※（4 月 1 日より） ・自己血・しゃ血用採血パックの変更※針刺し防止機能付きの採血パックへ変更。 ・輸血ガイドライン変更に対処するため、“輸血終了 6 時間後”の観察実施の追加を行った。 ・輸血管理料－Ⅱ（110 点）、輸血適正加算－Ⅱ（60 点）の申請をおこなった。 ※血液製剤（アルブミン製剤を含む）の使用患者に月 1 回を限度として算定される。 ・廃棄血の抑制は、他施設と比較して特に廃棄率の高かった FFP に対し OPE 等にたいする準備血の抑制を依頼した。 FFP 廃棄：2016 年度：5.80%（343,642 円）⇒ 2017 年度：3.6%（213,350 円）⇒ 2018 年度：1.59%（118,882 円）※改善が認められた。 ・輸血後感染症検査実施率：2016 年：6.4%⇒ 2017 年：3.6%⇒ 2018 年：21.2% ※改善を認めた。 ・輸血管理料－Ⅱ、輸血適正加算－Ⅱ：2018 年度規定に達し、両方の加算が申請できました。※ 2019 年度：輸血管理料－Ⅱ加算は申請可能です。 輸血適正加算－Ⅱは、FFP・アルブミンの使用量により加算申請出来ず。		
備考			

臨床検査適正化委員会

委員会名	臨床検査適正委員会	開催日	不定期（3 回 / 年）
委員長名	佐久川 廣	構成人数	6 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	斎藤辰好
活動目的	臨床検査は診療の補助として行われるもので、疾病の診断・治療・予後を判断するための重要な情報を提供するものである。 質の高いデータを迅速に提供できるよう努力する事が大切である。 上記をサポートする事を目的とする。		
今年度の主な活動内容	委員会は基本年 3 回開催し、必要に応じ臨時に開催する 1) 臨床検査が関わる業務の範囲の検討 2) 検査精度管理、機器選定ならびに導入計画 3) 検査項目や、正常値の検討 4) 新規検査の導入や検査中止の検討 5) その他		
備考			

倫理委員会

委員会名	倫理委員会	開催日	不定期
委員長名	與座 一	構成人数	10 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院（以下、「病院」という。）の職員が行う医療行為および医学研究（以下、「医療行為等」という。）において、「ヘルシンキ宣言」（2000 年エジンバラ修正、2002 年ワシントン総会で注釈追加）を尊重し、国内の倫理指針の趣旨にそって、倫理的配慮が図られているかどうかを審議することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	1) 医療にかかる法律の順守に関する事項 2) 患者の権利に関する事項 3) 医療行為等をめぐる生命倫理に関する事項 4) 臓器移植および新治療法の採用に関する事項 5) その他、病院長または委員長が必要と認めた事項 議題数：27 件		
備考	新法に則った、倫理委員会の体制作りに取り組んでおります。		

DPC 委員会

委員会名	DPC 委員会	開催日	毎月第 2 金曜日
委員長名	奥島憲彦	構成人数	14 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
活動目的	DPC 委員会は、DPC 対象病院として DPC 業務の適正な運用を図るために審議検討をすることを目的とする。		
今年度の主な活動内容	1) 適切なコーディングを行う体制に関すること。 2) 診断及び治療方法の適正化標準に関すること。 3) 院内で標準的な診断及び治療方法の周知徹底に関すること。 4) その他 DPC 業務に係る課題に関すること。		
備考			

緩和ケア委員会

委員会名	緩和ケア委員会	開催日	毎週月曜日
委員長名	花城直次	構成人数	20 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	本田由佳理
活動目的	患者及び家族の生活の質向上のために各部署の専門家が協働してチームを作り、がん治療の開始、または生命を脅かす病に関する問題を、精神的・身体的・社会的・スピリチュアルの面からケアを提供する。		
今年度の主な活動内容	1. 緩和ケア対象の病棟を多職種チームでラウンドし、患者の経過報告と相談を受けながら委員で検討した内容を提案し、記録に残す。痛みの評価シートで疼痛コントロールを評価する。 2. 毎月1回は会議室で症例カンファレンスやデスカンファレンスを行い、多職種間の意見交換する。 3. 定期的に勉強会を開催し、緩和ケアの内容で医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、臨床心理士各専門分野の資料を用いて情報共有する。 4. 緩和ケア病棟への施設見学をし、終末期看護のケアを早期に転院できるよう多施設と情報共有する。 5. 緩和ケア認定看護師の活動内容を整理して今後の企画をまとめる。 6. 緩和ケアの病棟ラウンドでがん性疼痛緩和指導加算の取得状況確認する。		
備考			

診療報酬対策委員会

委員会名	診療報酬対策委員会	開催日	毎月第 4 月曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	8 名
事務局・担当部署	医事課	担当者名	伊集 準
活動目的	当院目標査定率 0.14% の達成に努める		
今年度の主な活動内容	1) 保険診療に関する事 2) 請求漏れ、査定減の対策に関する事 3) 保険請求事務等の改善に関する事 4) レセプト作成、点検に関する事		
備考			

IT 推進委員会

委員会名	IT 推進委員会	開催日	毎月第 3 水曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	16 名
事務局・担当部署	経営企画室電算係	担当者名	宮城克己
活動目的	電子カルテ・オーダリングシステムをはじめとした院内情報システム（機器）の導入から開発、運営・保守に関する全般の検討を行い、院内 IT 環境の充足をはかる。		
今年度の主な活動内容	1) 医事・オーダリング・電子カルテなどの医業システムの運用方法の検討 2) グループウェアなどの情報サービス・業務システムの検討 3) 上記①②に係るネットワークの検討 4) IT 導入に伴うセキュリティ管理 5) 各部門システムの導入、運用検討 6) 職員の IT 知識の向上		
備考			

クリニカルパス委員会

委員会名	クリニカルパス委員会	開催日	毎月第 2 月曜日
委員長名	宮平 工	構成人数	34 名
事務局・担当部署	経営企画室、経営企画室電算係	担当者名	安里 竜、高橋慎二
活動目的	クリニカルパスを充実することで、医療の質の向上を図る 患者中心の安全な医療を提供する クリニカルパスを充実させ、業務の効率化を図るとともに、職員の業務負担軽減を図る 在院日数の短縮を図るとともに、コスト削減を担う パス大会の円滑な運用を図る		
今年度の 主な活動内容	パスの作成・運用、勉強会の開催、パス大会の開催、その他		
備考			

救急総合診療部委員会

委員会名	救急総合診療部委員会	開催日	毎月第 2 金曜日
委員長名	銘苅 正	構成人数	20 名
事務局・担当部署	ER-Aide	担当者名	森元 一晟
活動目的	救急総合診療部の体制（人材確保を含む）を整える。 問題点の検討や改善など要望を早めに対応できるような正式なルートをつくる。		
今年度の 主な活動内容	1. 救急搬送患者、時間外救急患者の受入れに關しての流れや問題点、救急総合診療部に関わるすべての職種のワークライフバランスを考えながら、話し合いをもち、解決策を考え、活動目的を達成する。 2. 救急総合診療部小委員会にて初期問題を検討する。重要事項に關しては、救急総合診療部委員会で再検討し、救急総合診療部委員会としての承認を得る。その後議事録は、翌月の運営委員会で報告する。		
備考	救急総合診療部小委員会は、月に1回以上（第1金曜日）、救急総合診療部委員会は毎月（第2金曜日）1回開催とする。		

投書対策委員会・患者満足度向上委員会

委員会名	投書対策委員会・患者満足度向上委員会	開催日	毎月第 3 金曜日
委員長名	當銘秀之	構成人数	6 名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	富里 等
活動目的	患者さん等からのご意見を収集し、医療サービス向上に繋げること。		
今年度の 主な活動内容	患者さん等に対する接遇とコミュニケーションの質並びに待ち時間短縮の向上に努めた。 患者さん等からのご意見に対応。 職員の接遇向上にむけた教育・研修・講演会等を企画。 患者満足度調査実施。 快適な療養環境に努めた。		
備考			

健康増進委員会

委員会名	健康増進委員会	開催日	毎月第 4 木曜日
委員長名	奥島憲彦	構成人数	13 名
事務局・担当部署	事務部・医療技術部・看護部	担当者名	金城信矢（事務部）
活動目的	職員の健康増進活動を支援する。		
今年度の 主な活動内容	1. 健康増進企画会議（毎月 1 回） 2. 健康増進委員会全体会議（偶数月に 1 回） 3. 毎月朝礼時のワンポイント体操・ラジオ体操指導 4. あすなろ誌面へストレッチ情報掲載（年 4 回） 5. 新入職員歓迎本島縦断駅伝大会（5/20） 6. 部署対抗卓球大会（8/7～8/9） 7. 部署交流ソフトバレーボール大会（10/27） 8. 第 4 回消費エネルギーコンペ大会		
備考			

医療機器安全管理委員会

委員会名	医療機器安全管理委員会	開催日	不定期
委員長名	末吉 健次	構成人数	7 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	大城 安
活動目的	院内で使用される医療機器に係る安全管理体制を図る		
今年度の主な活動内容	医療機器の安全使用のための研修 医療機器の保守管理 医療機器の保守点検に関する記録 医療機器の知識・情報の収集 医療機器を安全に使用できるような運用を検討する		
備考			

医療機器安全管理分科会

委員会名	医療機器安全管理分科会	開催日	不定期
委員長名	仲松 晋也	構成人数	9 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	仲松 晋也
活動目的	院内で使用される医療機器に係る医療機器安全使用のための具体的な方策などについて指針を示すことにより、適切な医療機器安全管理を推進、安全な医療の提供に資することを目的とする。		
今年度の主な活動内容	医療機器の安全使用のための研修 医療機器の保守点検 医療機器の保守点検に関する記録の整理 医療機器の知識・情報の収集		
備考			

透析機器安全管理委員会

委員会名	透析機器安全管理委員会	開催日	3 ヶ月毎、第 2 月曜日
委員長名	内里 司	構成人数	5 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	内里 司
活動目的	透析機器安全管理委員会は血液透析業務における医療設備、医療機器に関連した安全管理及び品質管理を目的とし設置する。		
今年度の主な活動内容	(1) 透析教育修練カリキュラムの整備に関すること。 (2) 透析液管理マニュアル完備に関すること。 (3) 透析機器及び水処理装置の保守・点検等の管理計画の策定に関すること。 (4) 管理記録、測定記録、報告書の作成並びに保管、管理に関すること。 (5) 職員への適正使用のための研修実施に関すること。 (6) 関連医療情報の安全使用のために必要となる情報の収集、その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施に関すること。 (7) その他、透析液に関すること。		
備考	透析機器安全管理委員会会議は 3 ヶ月毎に 1 度実施する。有事の際は臨時会議を実施する。		

広報委員会

委員会名	広報委員会	開催日	5 月、8 月、11 月、2 月の第 2 木曜日
委員長名	久場良也	構成人数	7 名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念政治
活動目的	1) 各施設の現状、新規業務などをホームページや広報誌、新聞等を通じて院外に PR する。 2) 各施設の情報を収集・審議し、広報方針を決定する。 3) 広報・広告関連予算を審議し、理事会へ提案する。 4) 各施設における掲示物などに関して、規定を作成する。		
今年度の主な活動内容	企画室広報係より事業に関する広報・広告活動を提起し他職種で検討を行う。法律や条例、各評価機関の定めに従った情報提供。		
備考			

年報作成委員会

委員会名	年報作成委員会	開催日	毎月第 3 木曜日
委員長名	奥島憲彦	構成人数	15 名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念政治
活動目的	かりゆし会年報の企画・データ収集・作成およびそれらのデータ保全。		
今年度の 主な活動内容	1. 平成29年度年報の作成(全350ページ) 年報の企画およびデータ収集、編集、製本を行った。また、今年度よりCD-Rへのデータ書き込みと レーベル作成を外注化し費用の削減を図った。 2. 平成29年度各科実績報告会の運営 平成30年6月5日(火)と6日(水)の2回開催した。 3. 平成30年度年報(ハートライフ病院30周年特別号)の企画 ハートライフ病院の30周年を記念した特別号となるため、掲載内容の検討を行った。		
備考			

手術室運営委員会

委員会名	手術室運営委員会	開催日	2ヶ月に1回 木曜日開催
委員長名	久場良也	構成人数	37 名
事務局・担当部署	手術室	担当者名	東恩納小百合
活動目的	手術を安全に、確実に遂行していくためには手術室の円滑な運営が大切であり、病院の管理体制・職員・設備などをふまえ、効率よく管理運営される事を目的とする。		
今年度の 主な活動内容	問題や議案が発生した際に開催。 ここでは手術スケジュールの調整に関する事、安全管理・感染管理に関する事、設備に関する事、機器の保守点検、新規購入等について協議し、その時々の問題解決機関となる。 議事録は別ファイル「手術室運営会議録」に保管する。 平成 30 年 4 月 5 日 1. 各科手術日の確認 2. 手術室増改築3室稼働時期について 平成 30 年 6 月 21 日 1. タイムアウト方法の見直しについて 2. 手術同意書の各科統一化にむけて 平成 30 年 8 月 2 日 1. 単回使用医療機器について 平成 30 年 9 月 6 日 1. 手術室看護師の現状と今後について 2. 麻酔同意書の変更について 平成 31 年 1 月 17 日 1. 手術部位マーキングについて 2. 手術同意書の左右明記について		
備考			

台風対策委員会

委員会名	台風対策委員会	開催日	必要時(原則 13 時開催)
委員長名	松元 悟	構成人数	16 名(医局・看護部・医療技術部・事務部)
事務局・担当部署	事務部 総務課	担当者名	吉川 忍
活動目的	1. コンディション発令(台風対策)の有無、病院診療及び、職員出勤の有無などを検討し決定する。 2. コンディション解除の日時を検討し、病院診療時間および職員の出勤時間などを決定する。		
今年度の 主な活動内容	2018 年 6 月 台風 6 号対策対応 2018 年 6 月 台風 7 号 〃 2018 年 7 月 台風 10 号 〃 2018 年 8 月 台風 14 号 〃 2018 年 9 月 台風 24 号 〃 2018 年 10 月 台風 25 号 〃		
備考			

ICU・東 2F 病棟合同運営委員会

委員会名	ICU・東 2F 病棟合同運営委員会	開催日	全体会議：第 3 火曜日 3 ヶ月毎
委員長名	久場良也	構成人数	21 名
事務局・担当部署	経営企画室	担当者名	安里 竜
活動目的	診療科間、多職種連携を密にし、より効率的な ICU 運営、東 2F 病棟運営を目指す。 重症患者（救急・術後・外傷）診療の質の向上に向けた教育と業務の効率化を図る。		
今年度の 主な活動内容	1) 教育班 院内 BLS・ICLS 講習会の運営 2) 入院調整班 重症度、医療・看護必要度実績の報告 重症度、医療・看護必要度を考慮したベッドコントロール 救急外来改築工事に伴うベッドコントロール 3) 資機材班 東館増築に伴う救急カートと AED の新設置の検討 救急カートの定数薬剤の再検討 新リハビリ室の、救急カート設置と急変時の受入れルートの検討		
備考	ICU・救急検討委員会から ICU・東 2F 病棟合同運営委員会へ名称変更		

図書委員会

委員会名	図書委員会	開催日	年 2 回（5 月・10 月）
委員長名	宮平 工	構成人数	5 名
事務局・担当部署	総務課・図書係	担当者名	宮城映子
活動目的	ハートライフ病院図書室の適正な管理運営を図るため、必要な事項等を審議検討することを目的とする。		
今年度の 主な活動内容	・各部署購入図書検討 ・年間雑誌購入検討 ・文献データベース利用検討 ・廃棄資料検討 ・文献複写依頼 ・蔵書点検 ・所蔵目録作成 ・図書室移動		
備考			

人事検討委員会

委員会名	人事検討委員会	開催日	毎月第 2 月曜日
委員長名	奥島憲彦	構成人数	5 名
事務局・担当部署	法人事務局 人事課	担当者名	比嘉康文
活動目的	1. 医療の質、向上に寄与するための人材確保 2. 各部門の現状把握・分析をし、適正人員及び適正人件費を検討し、経営に寄与する。 3. 職員の採用（増員・補充・異動・その他）は人事検討委員会を通して検討する。承認後は理事会調整会議にて再審議し、増員等新規に関しては理事会の承認を得る。 4. 昇進・昇格人事を検討し、理事会へ提案する。 5. 業務委託の検討		
今年度の 主な活動内容	2018（平成 30）年度人事検討委員会開催数 13 回。承認された事案は理事会で審議され決定される。主な審議内容は、①昇進人事②業務拡張に伴う増員③退職・産休に伴う欠員補充④給与表・資格手当の見直しなどがある。2018（平成 30）年度は、かりゆし会全体で、174 名を採用した。（ハートライフ病院 141 名、ハートライフクリニック 2 名、地域包括ケアセンター 20 名、保育事業 7 名、附随附帯業務 4 名）		
備考	人事検討委員会に提出する事案には、部署体制図を必ず添付するようお願いいたします。委員会は毎月第 2 月曜日に行われますので、稟議書等資料は、前週水曜日までに紙ベースにて人事課へ提出をお願いします。		

教育・研修管理委員会

委員会名	教育研修管理委員会	開催日	不定期 + 3 月
委員長名	久場良也	構成人数	5 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	仲地ますみ
活動目的	医療・看護・医療技術、組織管理・運営、患者接遇、医療連携（ネットワーク）、IT 等に関する教育・研修を充実させ、人材の育成と医療レベルの標準化、向上に寄与する。		
今年度の主な活動内容	1) 全職員対象の講演会、研修会の実施状況確認、実績まとめ 2) 各部門の学生実習受け入れ状況の確認と実績取りまとめ 3) 委員会のあり方検討 次年度へ向けて体制、運営の見直しを行った		
備考			

診療材料等管理検討委員会

委員会名	診療材料等管理検討委員会	開催日	不定期
委員長名	久場良也	構成人数	16 名
事務局・担当部署	管財課用度係	担当者名	諸見里和也
活動目的	① 診療材料に関する方針及び、懸案事項を審議し調整する。 ② 診療材料等に係る方針に関する事。 ③ SPDシステムの運用に関する事。 ④ 購買管理、在庫管理、使用管理に関する事。 ⑤ 発注事務等の改善に関する事。 ⑥ 職員教育及び啓蒙に関する事。		
今年度の主な活動内容	審議採用案件 1. 人工真皮（OASIS）/ 形成外科 東盛部長 2. デルマポアドレッシング / 形成外科 東盛部長 3. 瀉血バック / 感染対策員 城間 4. 硬膜外針 / 麻酔科 釜野 5. 蒸散プローベ / 整形外科 新垣部長 6. オプティフローダイレクトコネクタ / 臨床工学科 仲松主任 7. カテーテルアブレーションキット / 救急診療部 内間師長 8. 療法に関わる消耗品酸素の変更 / 用度 諸見里・臨床工学科 仲松主任 9. キウイ娩出吸引カップ / 婦人科 武田部長 10. MVAキット / 婦人科 堀本先生 11. 抗癌剤混合調整器具の変更 / 薬局 大関副薬局長 12. 手袋付吸引カテーテルのメーカー変更 / 用度 諸見里		
備考			

物品購入検討委員会

委員会名	物品購入検討委員会	開催日	毎月第一金曜日
委員長名	代理 久場良也（9月より）	構成人数	12 名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	・委員会の年間予算内で、現場に必要な物品を検討し優先順位をつけて必要物品を購入すること。 ・年度内に購入が難しい物品などは、次年度の予算で購入するように調整する。		
今年度の主な活動内容	・30 年度の物品購入委員会で審議し、理事会で承認を得た案件は 53 件で、総額約 38,790 万円の医療機器などを購入した。 ・今年度から施設設備や建物の維持の為に中長期計画を立てて、工事費用の予算化を図った。		
備考			

ワークライフバランス委員会

委員会名	ワークライフバランス委員会	開催日	毎月第4木曜日
委員長名	佐久川 廣	構成人数	7名
事務局・担当部署	事務局・総務課	担当者名	富里 等
活動目的	全職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進する		
今年度の 主な活動内容	医師の勤務負担軽減（医師勤務実績表を作成し当直明け休日を推進） タイムレコーダ打刻徹底周知（実労働時間の把握） 職員満足度調査（2019年2月実施）安全衛生委員会、人事課との共同 36協定の遵守 医師の36協定届出（特別条項） 年次有給休暇取得率集計		
備考			

患者サポート委員会

委員会名	患者サポート委員会	開催日	毎週木曜日
委員長名	西原 実	構成人数	7名
事務局・担当部署	医事課	担当者名	桑江 高
活動目的	1. 医療従事者と患者等との円滑なコミュニケーションを図る 2. 患者等の不安に寄り添い、入院生活を支援する 3. 患者サポート相談窓口担当者及び各部門の担当者等が患者等からの相談を円滑に実施できるよう支援する。		
今年度の 主な活動内容	・患者サポートカンファレンスを開催し、現場にフィードバックすることで、当委員会への相談数は減少 ・メディエーター研修への参加要請 ・不当な対応を訴える患者の対応について、医師・各師長とカンファレンスを行い、対応に困った際には医療安全管理者がスタッフへのアドバイス及び患者対応を行う ・毎週木曜日の委員会にてインシデント及び投書にて上がった事案について検討・対策を行った ・平成30年度は計47回の委員会開催を実施 ・患者サポート案件61件について委員会にて協議し対応・改善を図った ・落ち着いて食事する場所が欲しいとの来院者の声に対しイートスペースを設置 ・車イス入院患者の敷地外移動（コンビニ等）に関して安全面を考慮し通行止めの表示（ポール）を設置 ・深夜帯の救急出入口設置に伴い総合受付フロアが無くなる為監視カメラを設置 ・東館設置に伴い安全面を考慮し、早朝の待合患者を無くす為東館への入場制限をした ・患者家族から要望のあった手術待合室の改善（照明・内装）を図った		
備考			

QI委員会

委員会名	QI委員会	開催日	毎月第4金曜日
委員長名	奥島憲彦	構成人数	12名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳 学
活動目的	当院は2012年度より引き続き日本病院会主催の「QIプロジェクト2018」に参加しております。QI（Quality Indicator）とは「医療の質の指標」を意味しています。		
今年度の 主な活動内容	・QIプロジェクト2018年度 42項目の臨床指標データの収集。 ・本誌の「医療の質 Quality Indicator (QI)」のページでデータをご覧いただけます。		
備考			

災害対策委員会

委員会名	災害対策委員会	開催日	毎月第 3 月曜日
委員長名	久場良也	構成人数	10 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	吉川 忍
活動目的	災害発生時、来院する傷病者に対し、迅速・的確に対応し適切な災害医療を提供することを目的とする。災害発生時の初期消火・通報・避難誘導訓練の定期実施（2 回 / 年度）		
今年度の 主な活動内容	2018 年 4 月 消火訓練（消火器の取扱い・消火用散水栓の取扱い） 2019 年 3 月 初期消火・通報・避難誘導訓練（中城北中城消防本部立ち会い） 2019 年 3 月 災害対策訓練（災害時浄水器操作訓練・化学防護服着用訓練・トリアージテント設営訓練）		
備考			

増改築検討委員会

委員会名	増改築検討委員会	開催日	毎月第 4 水曜日
委員長名	奥島憲彦	構成人数	16 名
事務局・担当部署	管財課	担当者名	宮里 毅
活動目的	増改築計画の立案、および関連する業務・内容の検討・調整業務を行う。		
今年度の 主な活動内容	・手術室 3 室の増設工事が 5 月に竣工し、稼働。 ・救急外来改修・拡張工事が 11 月に竣工し、稼働。 ・予防医学センター改修工事が 12 月に竣工し、稼働。 ・内視鏡センター改修工事が 1 月に竣工し、稼働。 ・3 月の理事会へ増改築工事費用の最終報告を行い、委員会は終了。		
備考			

ハートライフクリニック 平成 30 年度 年次報告

Annual report of Heartlife Clinic 2018

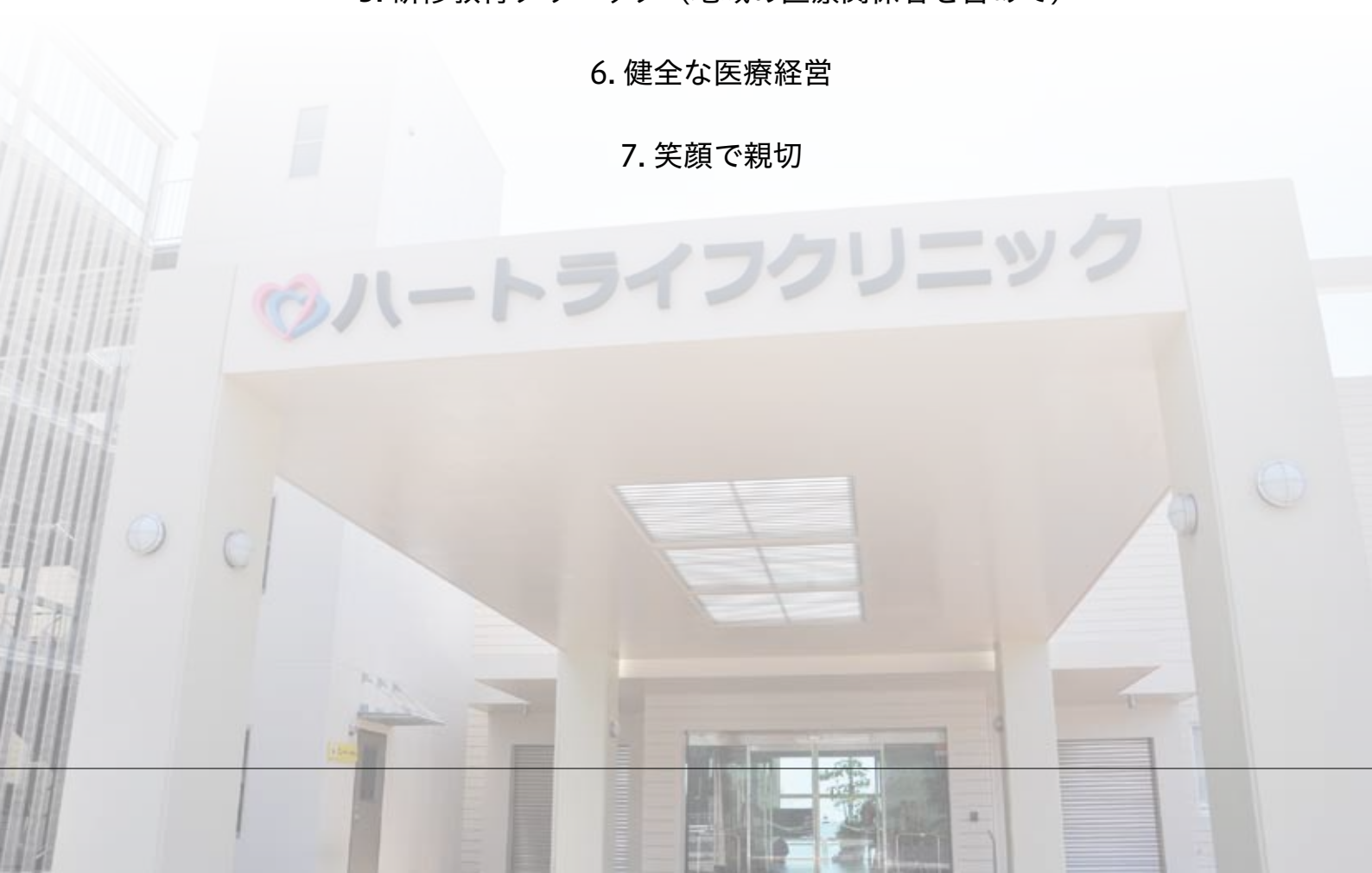


理念

わたしたちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 生活習慣病の自立支援
2. 小児プライマリー（初期）医療
3. 地域循環型医療（かかりつけ医との連携）
4. 生活習慣病改善の指導で健康長寿を目指す
5. 研修教育クリニック（地域の医療関係者を含めて）
6. 健全な医療経営
7. 笑顔で親切



ハートライフクリニック

年報発刊によせての挨拶



ハートライフクリニックは2012年4月に開院して7年が経過しました。地域のかかりつけ医療機関として小児科と内科、また専門医療として内科と糖尿病内科の患者様に利用して頂きました。開院からは延べ219,128名もの患者様に受診して頂いており、かかりつけ医として近隣の市町村だけでなく、専門性の高い医療を求めて離島から定期通院される患者様もおられ、ハートライフクリニックの存在が広く知られるようになったと思います。

平成30年度の当院の内科は上地 華代子 医師が常勤で勤務しており、本院の循環器内科統括部長の與座 一 医師、現ハートライフ病院院長の佐久川 廣 医師、かりゆし会理事長の安里 哲好 医師に担当して頂きました。また、総合内科医師の徳田 安春 医師、また土曜日の診療には高山 真一 先生にも非常勤として担当して頂きました。

小児科では、本院から小児科部長の国島 知子 医師、川満 豊 医師、崎原 徹裕 医師、非常勤として新里 亜紀 医師、琉球大学小児科学教室から浜田 有為子 医師に診療を担当して頂きました。医師数の不足から休診する場合もありご迷惑をお掛けしています。

糖尿病内科では、わたくし山本 壽一と非常勤で糖尿病専門医の山城 小百合 医師、崎原 みち代 医師、福地 万里 医師、琉球大学第2内科学教室から屋比久 賢光 医師と仲村 武裕 医師、腎臓内科担当として琉球大学第3内科学教室から中村 卓人 医師に診療を担当して頂きました。

糖尿病内科ではインスリンなどの自己注射療法の患者様が多く、重症の合併症を持つ患者様も通院されています。診療だけでなく、土曜日には糖尿病教室や患者会、1型糖尿病患者様の交流会、また世界糖尿病デいに併せたイベントも開催しています。

年報では、平成30年度のハートライフクリニックの診療実績を各部署別に報告します。データから把握できるクリニックの今後の課題は医師不足の解消です。受診者数や新患の制限をせずに地域のニーズに応えるためには優秀な医師確保が最大の課題です。次年度には課題達成の報告ができるように努力したいと思います。

今後とも皆さまのお力添えをお願い申し上げます。

社会医療法人かりゆし会
ハートライフクリニック
院長 山本 壽一

クリニック概要

(平成 30 年 4 月 1 日現在 / データ作成 ハートライフクリニック 野村)

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会 ハートライフクリニック

所在地

〒 903-0101 沖縄県中頭郡西原町字掛保久 288 番地

連絡先

電話 (098) 882-0810 (代表)

FAX (098) 882-0820

ホームページ <http://www.heartlife.or.jp/clinic/>

管理者一覧

理事長 安 里 哲 好

院 長 山 本 壽 一

施設概要

敷地面積及び建物概要

敷地面積 5,866.90㎡ 建築面積 2,674.97㎡ 延べ床面積 5,959.94㎡

規模構造 鉄筋コンクリート造 地上 2 階建

職員数

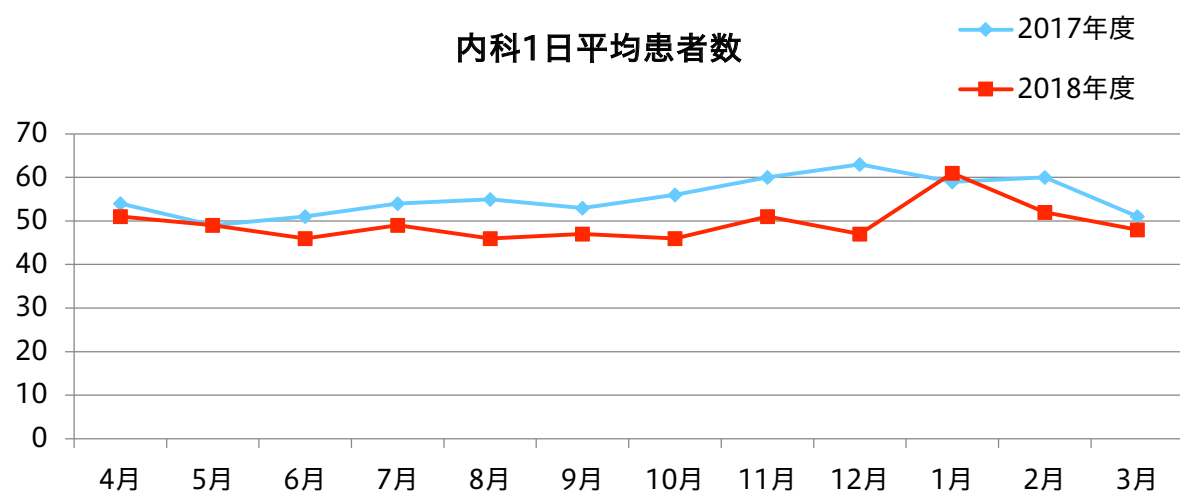
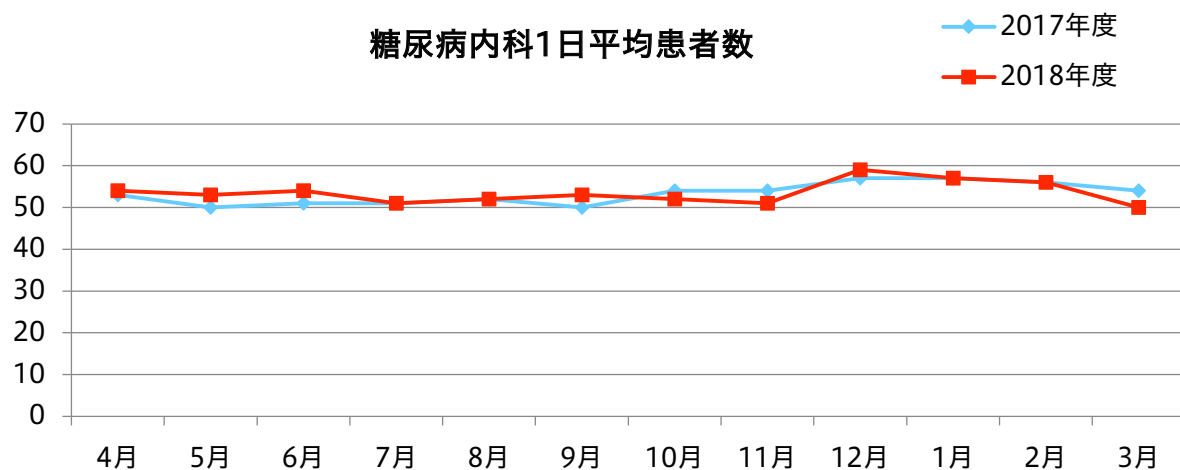
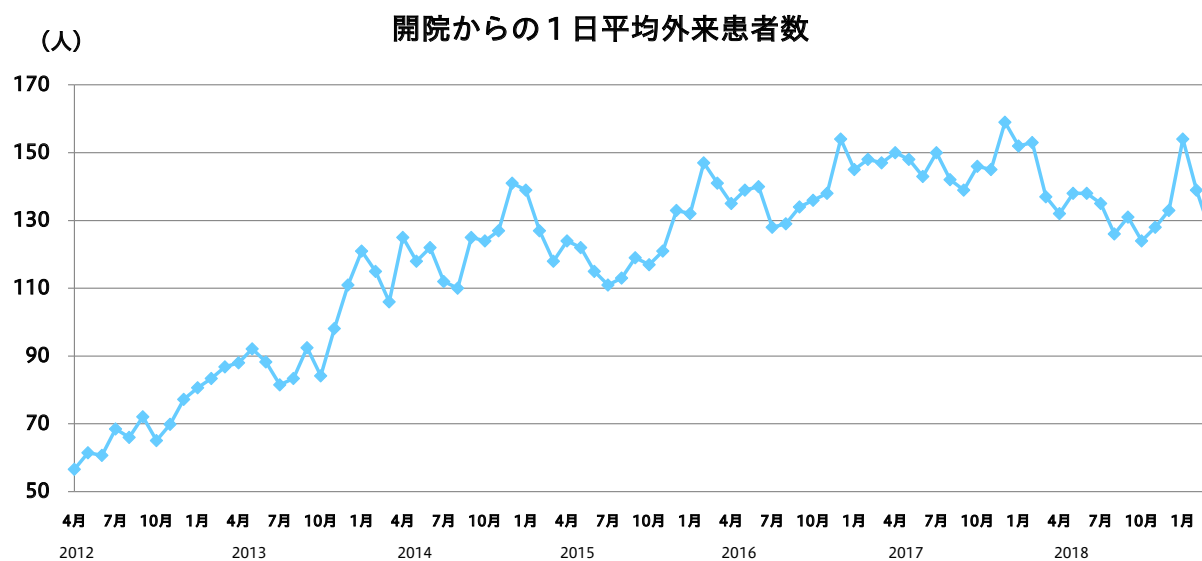
総数 56 名

職種別

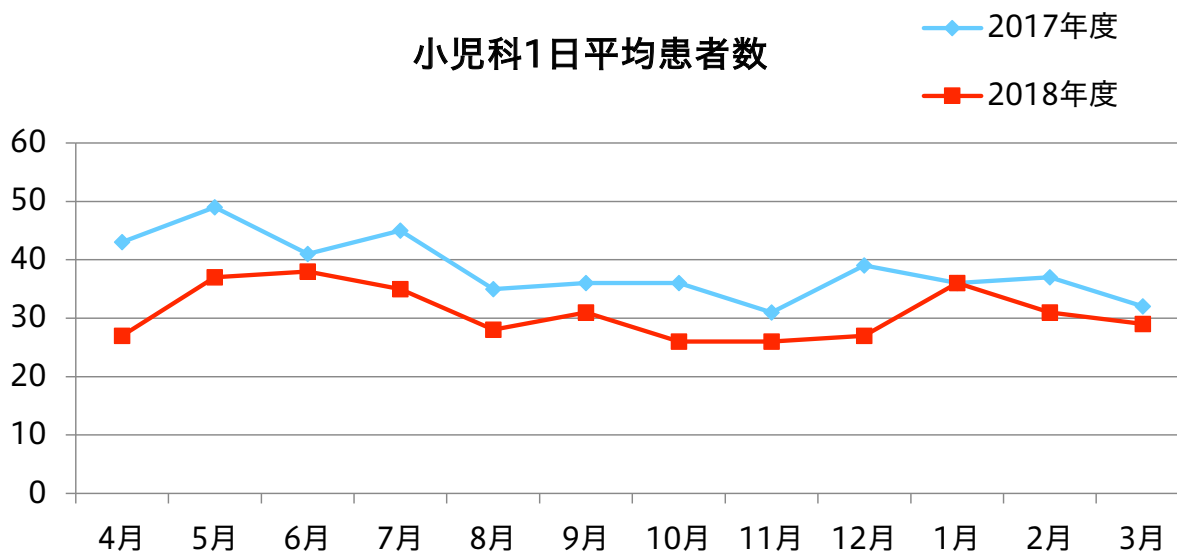
(平成 30 年 4 月 1 日現在 / データ作成 総務課 中里)

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	2	クラーク	4	臨床心理士	1	その他	6
非常勤医師	18	保育士	1	管理栄養士	2		
看護師	10	臨床検査技師	2	理学療法士	1		
准看護師	2	放射線技師	1	一般事務	6		

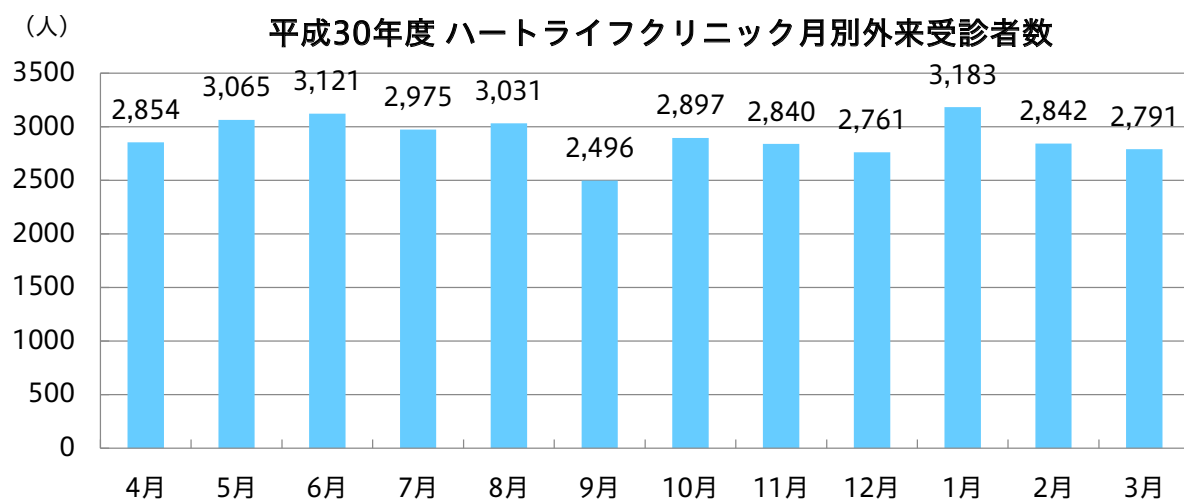
患者統計



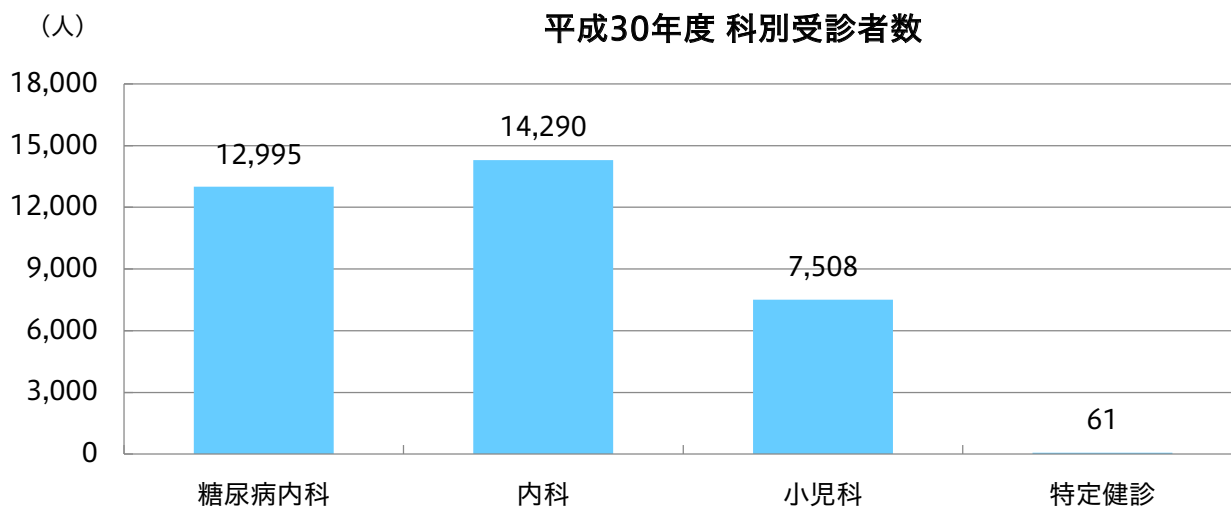
小児科1日平均患者数

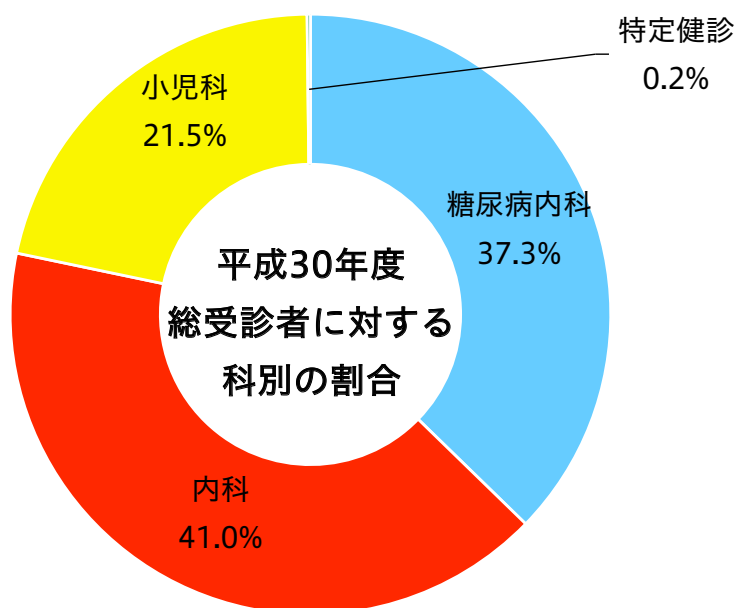


平成30年度 ハートライフクリニック月別外来受診者数



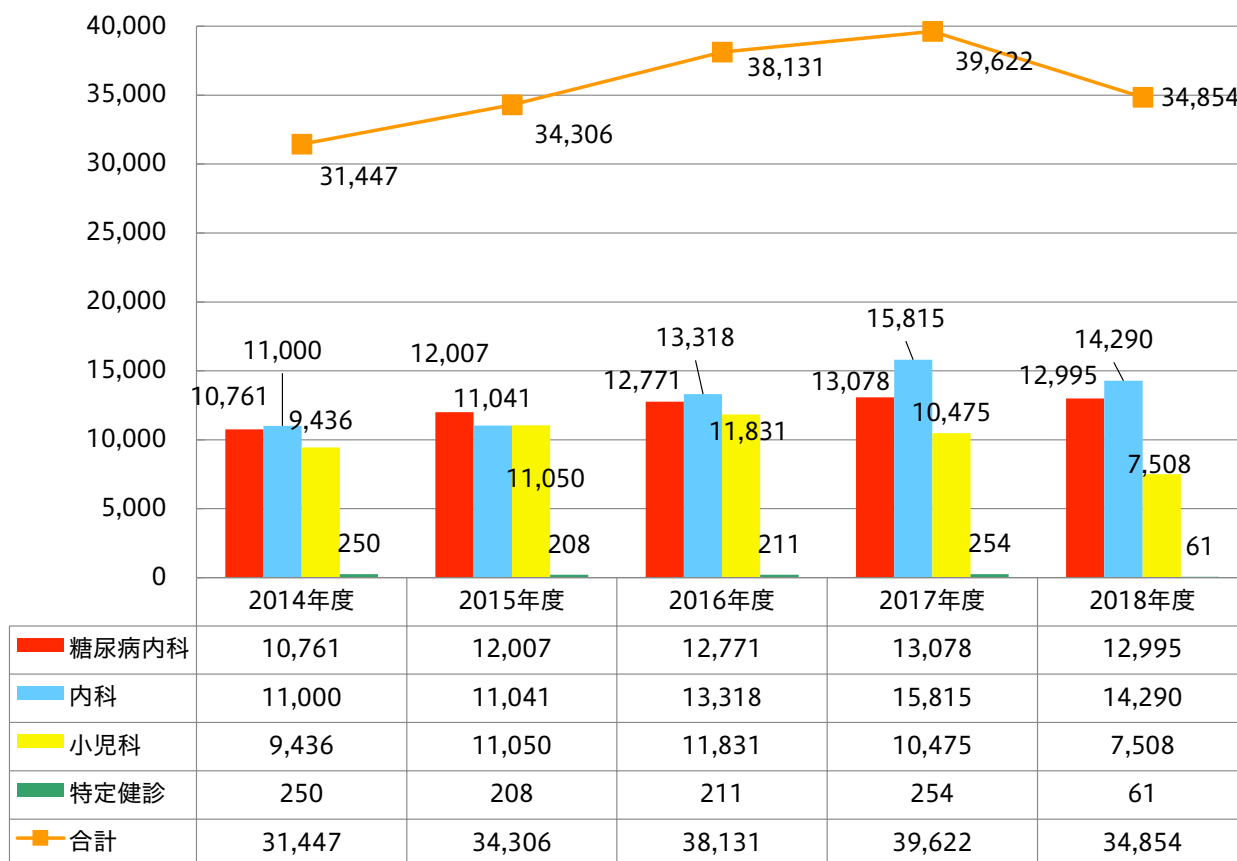
平成30年度 科別受診者数



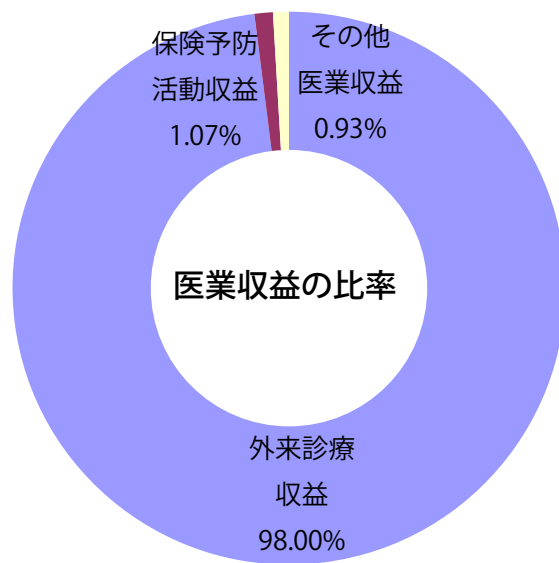


(人)

外来受診者数 年次推移 (2013年度～2018年度)



財務情報



ハートライフクリニック 部門別業務実績

糖尿病内科

部門紹介

ハートライフクリニック糖尿病内科は、患者さまの生活習慣や価値観を尊重しながら、患者さまが糖尿病と共によりよい人生目標を目指して、治療が続けられるようにサポートすることです。

糖尿病内科では、最新のインスリンポンプ療法やインクレチン自己注射療法、インスリン強化療法などの治療を、また持続血糖皮下モニター CGM などの検査を外来ベースで導入しています。治療の難しい不安型の糖尿病患者さまや重度の合併症を持つ患者さまが多く通われています。

私たちスタッフである看護師、栄養士、検査技師、理学療法士、臨床心理士が糖尿病患者さまの療養指導を行います。日本糖尿病療養指導士の資格を持つスタッフは 6 名いて、透析予防のためのチーム医療、下肢の切断予防のためのフットケアなどの加算がとれる施設として厚生労働省から認定されています。

糖尿病内科休診日である土曜日には外来教育コースや糖尿病患者会「ハッピーハート会」、1 型糖尿病患者の交流会「ポパイの会」を定期的に開催しています。外来教育コースは当クリニック通院以外の患者さま、健康講話には一般の方も参加されています。毎年 11 月 14 日の糖尿病デ이에合わせてクイズなどの院内掲示により啓発運動などにも協力しています。

職員数

総数 21 名

医師 6 名（常勤 1 名、非常勤 5 名）

臨床心理士 1 名

看護師 5 名

メディカルクラーク 5 名

管理栄養士 2 名

クラーク 1 名

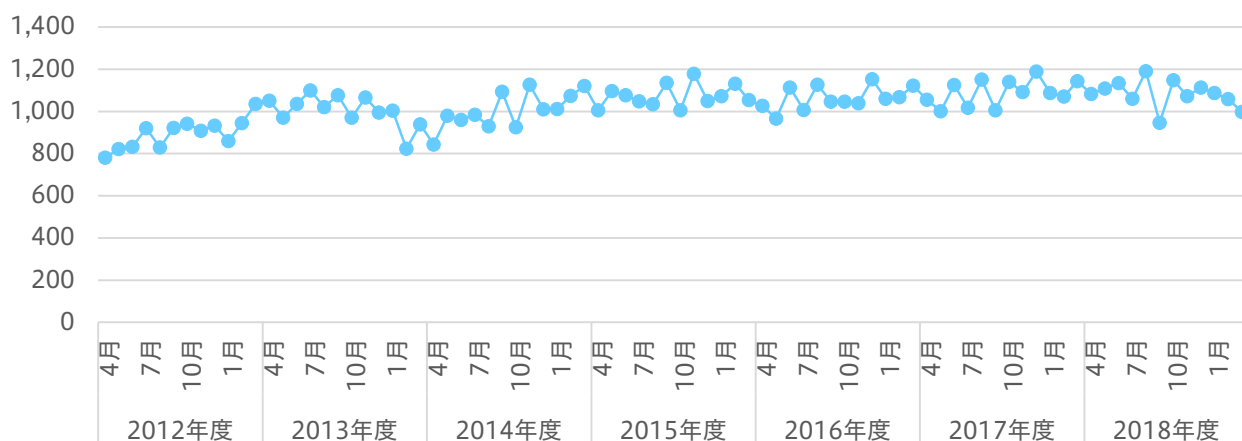
検査技師 1 名

認定・資格

名称	人数
日本糖尿病療養指導士	6

名称	人数
沖縄県地域糖尿病療養指導士	1

開院からの受診者数推移



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
Flash Glucose Monitor(FGM)利用者のアンケート調査のまとめ	第 67 回日本医学検査学会	静岡県	平成 30 年 5 月 12 日	仲里幸康
「糖尿病のあれこれ」	沖縄県食生活改善推進員連絡協議会研修会	那覇市	平成 30 年 6 月 26 日	新垣優子
糖尿病療養指導士の活動と役割	平成 30 年度 沖縄県地域糖尿病療養指導士基礎講習会	南風原町	平成 30 年 7 月 8 日	仲里幸康
「明日から出来る糖尿病療養指導～基本の食事バランス」	中部医師会糖尿病診療ネットワーク第 1 回勉強会	北谷町	平成 30 年 7 月 19 日	新垣優子
司会	日本糖尿病協会沖縄県栄養士部会 総会・研修会	宜野湾市	平成 30 年 7 月 28 日	新垣優子
1 型糖尿病 治療開始直後に中断した 20 歳代女性 ～糖尿病医療学から学ぶ事例検討～	中部地区医師会糖尿病ネットワーク・ク委員会推奨講演会	北谷町	平成 30 年 9 月 19 日	久高 恵
臨床検査技師の療養指導のポイント前編	第 47 回検査糖尿病研究会 / 糖 Q 会	那覇市	平成 30 年 9 月 27 日	仲里幸康
FGM 利用開始してから 1 年間のまとめ 『リブレ Pro に関わって 1 年間の振り返り』	第 53 回日臨技九州支部医学検査学会	大分県	平成 30 年 10 月 6 日	仲里幸康
減量に成功した 2 型糖尿病患者の動機を探る	第 56 回日本糖尿病学会九州地方会	福岡県	平成 30 年 10 月 12 日	玉那覇美幸
足トラブルを繰り返す 3 症例への関わり	第 56 回糖尿病九州地方会	福岡県	平成 30 年 10 月 13 日	島袋夕子
1 型糖尿病妊娠糖尿病患者の療養支援	第 56 回九州地方会	福岡県	平成 30 年 10 月 13 日	伊保 希望
通院患者のフットケアの認知度と予防的フットケア	第 7 回日本下肢救済・九州沖縄地方会	佐賀県	平成 30 年 10 月 19 日	島袋夕子
糖尿病食のメニュー提供	日本糖尿病協会沖縄県栄養士部会 研修会Ⅱ	西原町	平成 30 年 12 月 1 日	新垣優子・只野みね子
リブレ使用経験	第 1 回 Freestyle リブレ勉強会	南風原町	平成 30 年 12 月 4 日	仲里幸康
臨床検査技師の療養指導のポイント後編	第 48 回検査糖尿病研究会 / 糖 Q 会	那覇市	平成 30 年 12 月 13 日	仲里幸康
司会	平成 30 年度 第 2 回沖縄県日本糖尿病療養指導士の講習会	南風原町	平成 31 年 2 月 23 日	仲里幸康
ポスター発表「ミニ講話は栄養障害に繋がるか」	第 38 回食事療法学会	北海道	平成 31 年 3 月 2 日	只野みね子
ポスター発表「クリニック内に併設された、栄養士が考えるカフェ運営」	第 38 回食事療法学会	北海道	平成 31 年 3 月 2 日	新垣優子
司会	平成 30 年度 第 3 回沖縄県日本糖尿病療養指導士の講習会	南風原町	平成 31 年 3 月 23 日	仲里幸康

患者教育活動

ポパイの会開催

1 型糖尿病患者さんご家族を対象に、勉強会や情報交換会を開催しています。

開催日	テーマ		参加者数
11 月 17 日 (土)	・患者さんによる体験談発表 2 名		19 名
	・ちょこっと質問タイム	担当 久高 / 看護師	
	・グループで話し合ってみよう! & 発表		
	・山本先生のお話	担当 山本 / 医師	
	・患者さんが進行するディスカッション	担当 伊保 / 看護師	



■ グループで話し合ってみよう! & 発表



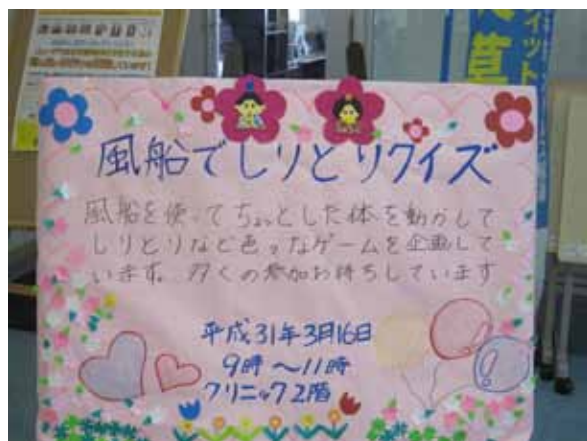
■ 山本先生の話

ハッピーハート会

ハッピーハート会は患者、スタッフで構成されており、糖尿病に対する意識を深めること、また患者さん同士の親睦を図ることを目的としています。

テーマ	担当	開催日	参加人数
平成 29 年度 総会・音楽会	スタッフ・会員	4 月 21 日	15 人
室内でできる運動	通院患者・理学療法士	7 月 21 日	台風にて延期
楽しく体を動かそう～レッツダンス～	通院患者・理学療法士	12 月 1 日	21 人
平成 31 年 風船でしりとリクイズ	通院患者・スタッフ	3 月 16 日	13 人

患者会イベント風景



糖尿病教室

糖尿病教室とは、看護師や理学療法士など様々な専門家の講話を通して、糖尿病のセルフケアに役立つ情報や知識を学んでいただいたり、糖尿病の患者さん同士で自分なりのセルフケアの工夫や苦労話を話し合う場を設けるなど、より良いセルフケアを目指そうとするものです。

開催日	テーマ	職種 / 名前	参加人数
4 月 14 日	わかっていたようで知らなかったテレビでは教えてくれない糖尿病の豆知識	看護師 / 伊保	12 名
	糖尿病検査の総論	臨床検査技師 / 仲里	
5 月 12 日	今さら聞けない食事と血糖	管理栄養士 / 只野	17 名
	糖尿病の薬・あれこれ～皆で薬の勉強をしよう～	薬剤師 / 津波古	
6 月 9 日	糖尿病の運動療法～痩せる運動と血糖改善運動の違い～	理学療法士 / 長嶺	34 名
	糖尿病とのお付き合い～糖尿病は心で治る! ?～	臨床心理士 / 高橋	
7 月 14 日	熱中症の予防～環境・体・行動～	看護師 / 久高	18 名
	シックディってその症状なの?	看護師 / 伊保	
	暑い! 夏の運動はこれだ! ～熱中症を予防しながら効率よく運動!～	理学療法士 / 長嶺	
8 月 4 日	”ちよい”引き方式で夏の”ちよい”太り対策!	管理栄養士 / 只野	8 名
	夏だ～海だ～バーベキューだ～ 食べる派? 動く派? 対策は?	看護師 / 玉那覇	
9 月 8 日	もしも食～非常時の食事のコト考えていますか?～	管理栄養士 / 只野	9 名
	災害時にはカラダにやさしい運動を!	理学療法士 / 長嶺	
	災害時、糖尿病のお薬どうするの?	薬剤師 / 津波古	
10 月 20 日	口は体の入り口～糖尿病と健口～	歯科衛生士 / 幸喜	7 名
	考えようセルフケア～健やかな生活を送るために～	看護師 / 島袋	
11 月 10 日	元気の源は足元から! 「いきいき足元運動」	理学療法士 / 長嶺	8 名
	足を大切にしよう～足のお手入れ一緒に Try ～	看護師 / 島袋	
12 月 8 日	腎臓にやさしいお食事教えます。～糖尿病食とココが違う!～	管理栄養士 / 只野	12 名
	腎生について	臨床検査技師 / 仲里	
1 月 12 日	最新の糖尿病治療薬とセルフケア	医師 / 山本院長	38 名
2 月 9 日	骨コツ食で骨粗鬆症対策	管理栄養士 / 只野	25 名
	骨(コツ) 骨(コツ) 筋トレ! いつのまにかチャーガンジュー	理学療法士 / 長嶺	
3 月 9 日	動脈硬化の検査	臨床検査技師 / 仲里	25 名
	動脈硬化と認知症の危ない関係	臨床心理士 / 高橋	



1月の外来教室の風景(最新の糖尿病薬とセルフケア)



今年の一文字作成中



今年の一文字完成

糖尿病月間



糖尿病内科ではインスリンの発見者フレデリック・バンディング博士の誕生日に制定された11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせ、11月1日から11月30日の間イベントを開催しました。イベントはクリニック利用者の方を対象に参加型で行い大盛況に終わりました。

～イベント内容～

1. ブルーライトアップ & ブルーサークルデコレーション
2. パネル展示（患者会・外来教室・栄養士・看護師・心理士・理学療法士・Dr）
3. 糖尿病関連の資料展示
4. 自己血糖測定体験（46人）
5. 糖尿病 チンダミークイズ（達成者46人）
6. 試食コーナー～食物繊維とってるね？～もち麦試食会（250人）



～自己血糖測定ブース&ブルーサークル～



11月14日 世界糖尿病デー

糖尿病勉強会

目的

- ①入院診療担当部門と外来診療担当部門の連携
- ②地域包括支援に向けての情報提供
- ③職員の健康維持のためのセルフケア・情報提供

目標

患者さんの外来通院に向けて、コーディネートの視点がもてる

初めての試みでハートライフ病院での勉強会を開催しました

テーマ	担当	参加者
糖尿病の病態と治療・Q&A	医師：山本壽一	49 名
糖尿病療養指導が楽しくなるかも あなたもインスリンの達人に！	看護師：久高恵 医師：山本壽一	73 名
糖尿病療養指導三位一体 1. 毎日の食事と糖尿病 2. 運動と運動療法の違い 3. 心から考える患者理解	管理栄養士：新垣優子 理学療法士：長嶺敦司 臨床心理士：高橋紗也子	46 名



心理相談室

ハートライフクリニック 2F の糖尿病内科には「心理相談室」があります。全国でもめずらしい糖尿病内科内の相談室です。来院される方の「こころ」と「からだ」、「毎日の暮らし」をトータルでサポート出来るようにと開室しています。

支援内容			平成 30 年度実績
患者様向け	カウンセリング	糖尿病の話だけに限らず、心にひっかかっていること、日々のことを時間をゆっくりとお伺いしています。	113 件
	心理アセスメント	心理アセスメントで性格傾向や抑うつ感などを評価することで、具体的に療養計画に繋げていくことが出来ます。	
	認知機能アセスメント	認知機能アセスメントで、認知機能の傾向を知ることによって、ご自身の得意不得意を知って、より主体的に生活をおくること、家族が日常生活で支援出来るポイント、医療スタッフの治療方針の検討に役立ちます。 ご家族の介護相談にも応じています。 ※スクリーニング検査となりますので、診断には精査が必要となります。	
	糖尿病教室	糖尿病の方がご自身の工夫で療養生活を送っていただくために必要な知識の心理に関することを講義しています。	年 3 回
	糖尿病患者会 (ハッピーハート会)	糖尿病を抱える方同士で支え合う仲間の集まりである患者会のイベントの手伝いや病気という繊細な話に触れる時のフォローアップをしています。	
スタッフ向け	シェアリング	よりきめ細やかなケアのために医療スタッフ間で患者様の情報を共有する会をコーディネートしています。	週 1 回
	カンファレンス	症例を通して、「からだ」と「こころ」両面からのケアを考えるためのカンファレンスをコーディネートしています。	月 1 回

栄養の日

2018 年、「栄養の日」のテーマである「栄養障害の二重負荷（過栄養と低栄養）」に対して、栄養素の過不足を補完する役割を持つおやつが改善が重要であると考え、栄養障害改善の理解促進を目的とし、おやつをテーマとしたミニ講話を行いました。

栄養の日
たのしく食べる、カラダよろこぶ



院内、カフェでミニ講話



手作り T シャツ



テレビやラジオの取材



内科

内科 上地 華代子

部門紹介

平成 30 年より常勤は呼吸器内科医 1 名に加え、本院の先生方の応援をいただき、月、土を除く午前は 2 診体制としております。

與座医師の循環器内科の外来診療も週 3 回から 4 回となり定期患者数が増加しております。その他、2 週に 1 回木曜日午後（第 1 週、第 3 週）は総合内科の徳田医師、水曜日午前は琉大の腎臓内科の先生にきていただいておりますご紹介頂ければ幸いです。

また、午後を中心に禁煙外来を行っており、初診は火曜日午後が望ましいのですが、日時は相談可能ですのでお問い合わせいただきますようお願い致します。

職員数

総数 14 名

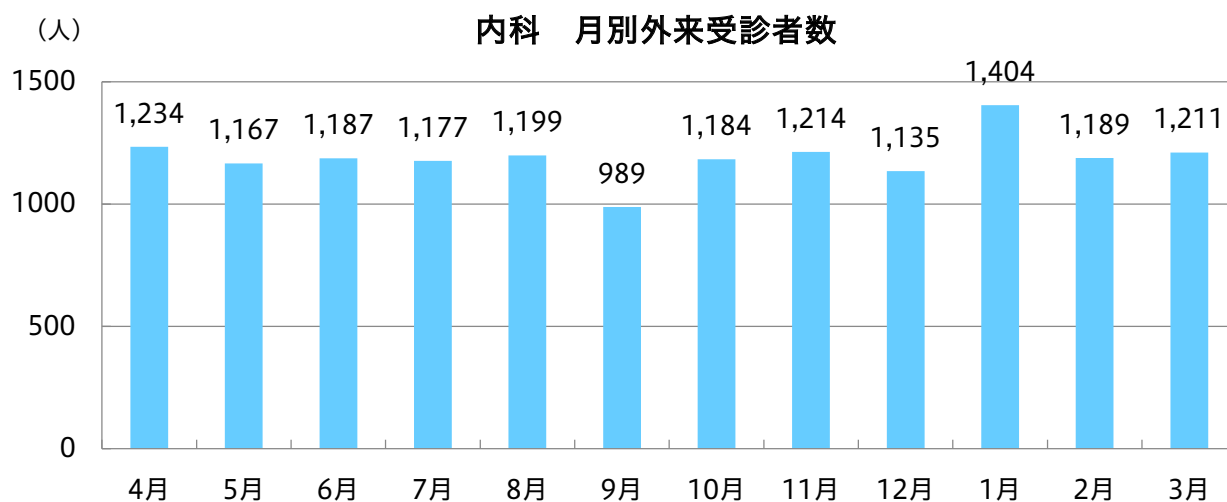
医師 8 名（常勤 1 名 非常勤 7 名）

看護師 4 名

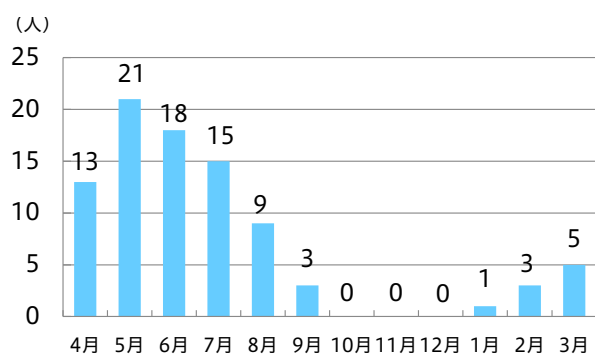
メディカルクラーク 1 名

クラーク 1 名

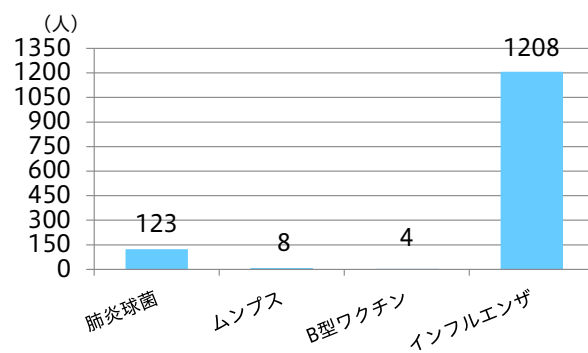
業務実績



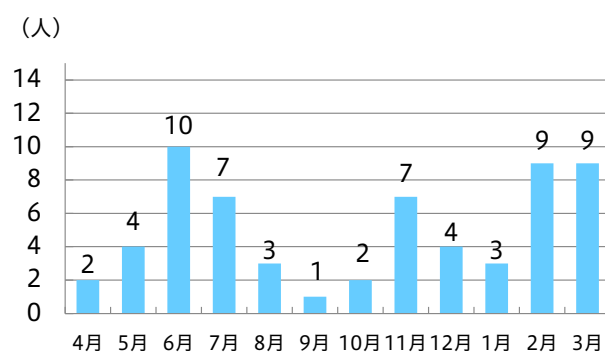
禁煙外来受診者数



予防接種・ワクチン接種実施数



特定健診受診者数



小児科

ハートライフクリニック小児科 川満 豊

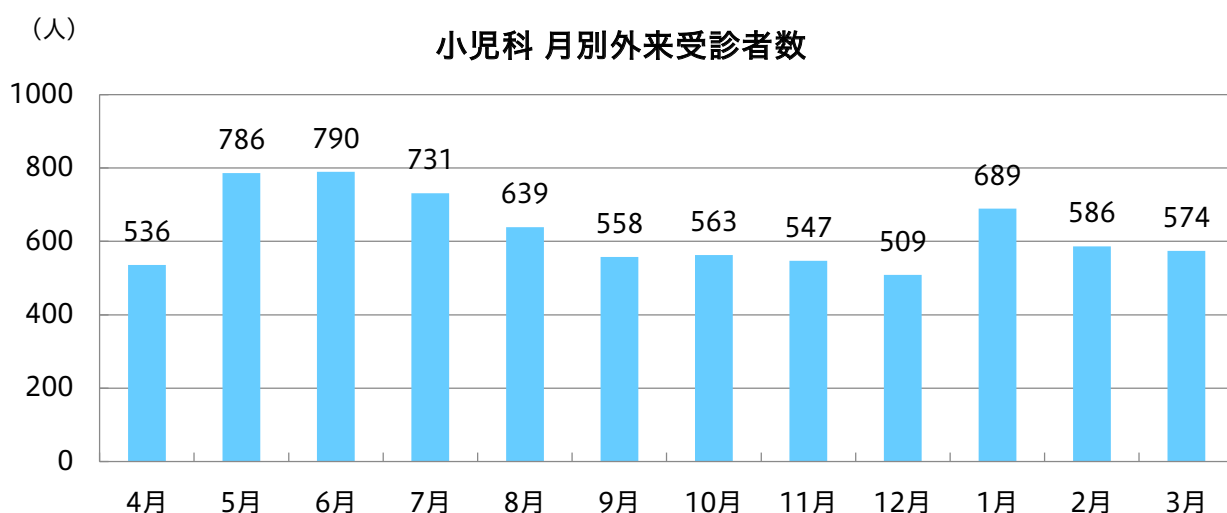
部門紹介

小児科では小児一般外来を行っております。ハートライフクリニックの医師と主に琉球大学附属病院小児科医局から派遣していただいている非常勤医師で診療にあたっています。

当クリニックの小児科内は、プレイルームを広めにとっており、お子さんが安心して怖がらずに来院できるように工夫しています。

対応が困難な検査や入院が必要となる専門的な治療は、他の医療機関やハートライフ病院などと連携して治療を行います。

業務実績



附属施設

疾病予防運動施設リューザ

疾病予防運動施設 リューザ 長嶺 敦司

部門紹介

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）はハートライフクリニックと併設しているため、医師による運動処方箋をもとに医学的視点を加味し、安心して効果的な運動による疾病予防が可能です。

リューザでは、理学療法士が常駐しており、また、健康運動指導士といった運動の専門家が一人ひとりの身体の状態に合った運動プログラムを作成し、健康づくりを全面的にサポートします。

職員数

総数 5 名（外部指導者含む）

理学療法士 2 名

健康運動指導士 3 名

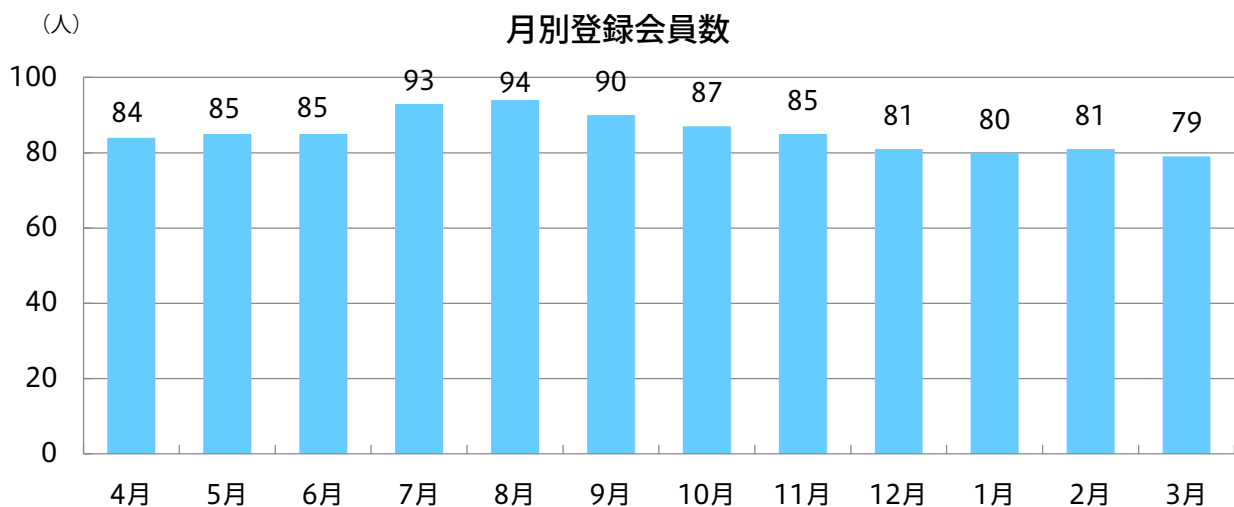
資格・認定

日本糖尿病療養指導士

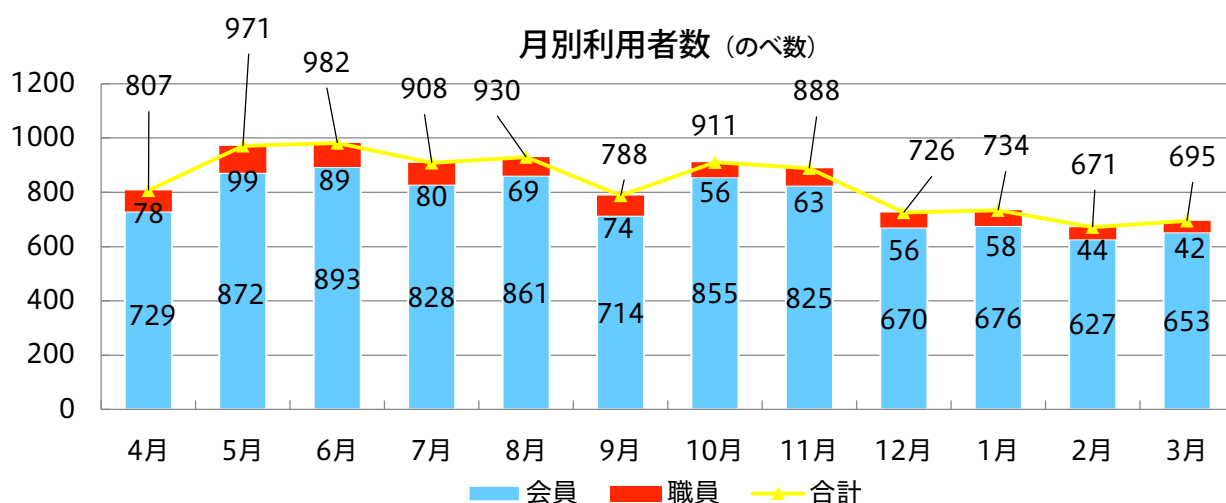
沖縄県地域糖尿病療養指導士

健康運動実践指導者

業務実績



研究業績



学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
高齢2型糖尿病に対するヘアゴムを使用した運動効果の検証	第56回日本糖尿病九州地方会	福岡国際会議場	2018年10月12日	長嶺敦司

活動実績

講演会参加実施

名称	開催地	年月日	講師
明日から出来る糖尿病療養指導～いつでも！どこでも簡単運動療法～ 主催：中部医師会糖尿病医療ネットワーク委員会第1回勉強会	中部医師会	2018年7月19日	長嶺敦司
糖尿病の運動療法	医療法人おもと会沖縄リハビリテーション福祉学院(与那原町)	2018年10月10日、12月14日	長嶺敦司
運動療法で糖尿病を予防しよう	西原町小波津公民館	2018年12月13日	長嶺敦司
日本健康運動指導士会 沖縄県支部研修会(司会)	沖縄市武道館(会議室&第2道場)	2018年8月5日(日)	長嶺敦司

メディア掲載実績

名称	媒体	掲載年月日	講師
誰でも・いつでも・どこでもヘアゴムエクササイズ	琉球新報情報誌レキオ	2018年6月21日	長嶺敦司

広報誌あすなろへの寄稿

タイトル	号	監修
リューザバンドでいつでも！どこでも！ヘアゴムエクササイズ！Part 5「猫背予防！」	No.93 春号	長嶺敦司
リューザバンドでいつでも！どこでも！ヘアゴムエクササイズ！Part 6「バイバイ振袖！二の腕運動」	No.94 夏号	長嶺敦司
リューザバンドでいつでも！どこでも！ヘアゴムエクササイズ！Part 7「目覚めて！お腹周り！」	No.95 秋号	長嶺敦司
リューザバンドでいつでも！どこでも！ヘアゴムエクササイズ！Part 8「上半身！前も横も伸び伸び」	No.96 新年号	長嶺敦司

ヘルシーカフェ ohana

ヘルシーカフェ ohana 新垣 優子

部門紹介

クリニック内に健康管理のサポートを目的とした管理栄養士が運営するヘルシーカフェ・オハナが併設されており、6年目を迎えます。利用者層は、主に外来受診患者とその家族、職員が多いです。カフェでは、ヘルシーランチや日替わりバランス弁当などを提供しています。

沖縄の文化的特徴として肉料理や揚げ物が振る舞われる行事が多く、糖質、脂質、塩分の過剰摂取が繰り返されます。そこで、カフェから揚げ物や脂質、塩分を抑えた料理を提供することで食習慣の改善を促しています。

職員数

総数 5名

調理師 1名

フロア（配膳） 1名

調理補助 3名



ヘルシー日替わりランチ

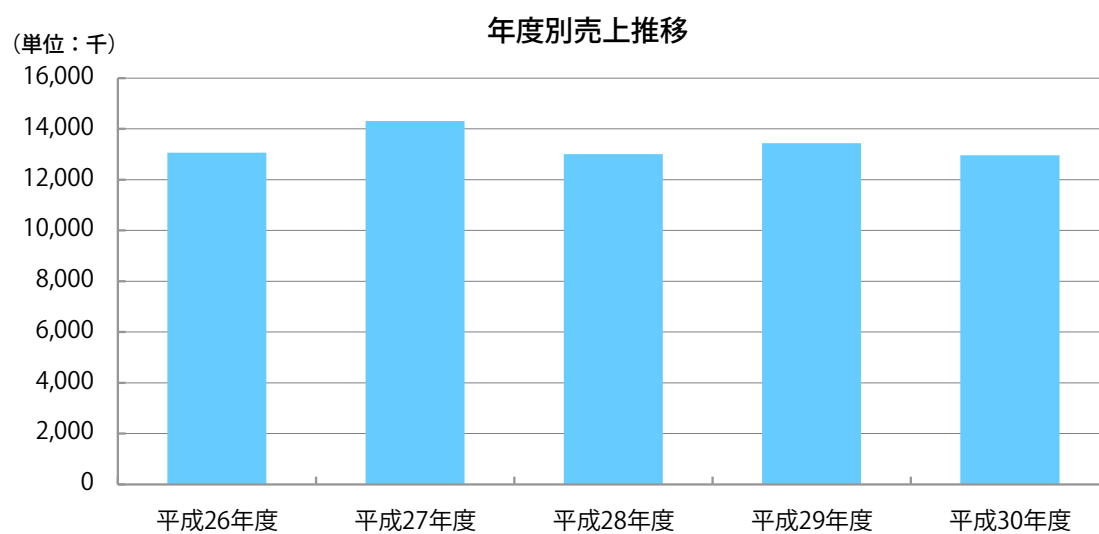


新メニュー ちゅらまーみランチ（腎臓食）



月替わりヘルシーランチ

業務実績



ハートライフ地域包括ケアセンター 平成 30 年度 年次報告

Annual report of Heartlife area comprehensive care center 2018



理念

わたしたちは、心と心を結ぶ信頼される、医療と介護をめざします

運営方針

1. 自分や自分の家族がして欲しいと思うケアを提供します。
2. いつでも笑顔で親切なケアを提供します。
3. 利用者の方の個性や楽しみを尊重し、その人らしく笑顔で日常生活を送れるように優しさと温かみのあるケアを提供します。
4. 医療と介護の連携により、切れ目のない支援を提供します。
5. 職員がやりがいと誇りを持って、働ける環境を作ります。



年報発刊によせての挨拶



はじめに

当ケアセンターは、2015年7月の開所から4年目を迎えました。展開している各種サービスの利用者数は伸びてきてはおりますが、いまだ計画通りとはいかず、特に入居者数は当初からの目標である90名以上／月平均には至っておりません。

同一法人の病院と直結していることもあり、透析治療が必要ななどの医療依存度が高い入居者様が多くいらっしゃいますが、当センターとしては、医療依存度、介護度の高い入居者を受け入れることが地域社会のニーズと捉えており、この傾向は今後も続くと考えております。

2018年度に課題として取り組んだ離職率低下については、50%前後だった離職率が県内平均を下回る20%台になるなど一定の成果がありました。介護職の処遇改善に理解を示し、ご協力下さった安里理事長はじめ理事の先生方、人事課の皆様、法人職員の皆様、そして当センターの職員の皆様に感謝申し上げます。

2018年度の目標と振り返り

①安全・安心な生活空間の提供

2019年2月にインフルエンザのアウトブレイクがありました。2019年度は法人の感染対策室ともタイアップして全職員あげて感染対策に取り組んでいます。

②離職率20%台以下の継続

維持できています。

③WLBの推進 残業時間低減

職員充足率があがっていないこともあり、残業時間の低減は果たせていません。

④サービスの質向上

各種勉強会や外部研修などへの参加で、質の向上は果たせていると考えております。

⑤訪問事業（看護・介護）の拡大を図る

訪問看護の実績は前年比で1.5倍に増えました。

2019年度の目標

A. 療養環境

①安全・安心な生活空間の提供

②サービスの質向上

B. 職員が働きやすい環境

- ①離職率 20% 台以下の継続
- ②残業時間低減

C. 利用者増

- ①ケアセンター全体（有料老人ホーム、デイサービス、訪問介護）の介護職員の確保
- ②住宅型有料老人ホーム：7 月以降、平均入居者数 95 名以上の達成。
- ③デイサービス：1 日平均利用者数 56 名以上の達成
- ④訪問看護：8 月以降 1 カ月の延べ件数 450 件以上の達成
- ⑤訪問介護：10 月以降 1 カ月の延べ件数 500 件の達成
- ⑥ケアプランセンター：ケアマネジャー 1 人あたり 30 名の達成（管理者は 15 名）

2019 年度への展望

当センターで 2018 年度最大の目標として掲げた離職率の低下は達成されました。しかし離職が全くなかったわけではなく、あくまでその数が減ったにすぎません。熟練した職員が退職することは、入居者様へ提供するサービスの質の低下につながるだけでなく、残った職員の負担増にも影響します。

私は 2019 年度、更に離職率の低下に力をいれることで、入居者様に提供しているサービスの質の向上につなげ、共に頑張ってくれている職員が疲弊してしまわないように全力を尽くしたいと思います。

これからも当センターは、法人内外との連携を強化することで地域に貢献していくことを最大の課題とし「快活な施設」を目指します。

本院、クリニックの皆様にはこれまで同様、医療連携、施設設備面の管理、スタッフの人事労務管理など、ご支援くださいますよう、よろしくお願い致します

社会医療法人かりゆし会
ハートライフ地域包括ケアセンター
センター長 宮平 典子

施設概要

組織概要

施設名

ハートライフ地域包括ケアセンターを総称として、5 事業所で構成される。

1. 住宅型有料老人ホームはーとらいふ
2. デイサービスはーとらいふ
3. ヘルパーステーションはーとらいふ
4. 訪問看護ステーションはーとらいふ
5. ケアプランセンターはーとらいふ

所在地

〒 903-0103 沖縄県中頭郡西原町字小那覇 1606 番地

連絡先

電話 (098)944-3300 (代表)

ホームページ <https://www.heartlife.or.jp/care/>

管理者一覧

理 事 長	安里 哲好
セ ン タ ー 長	宮平 典子
事 務 長	仲地 智俊
副センター長	比嘉 藤子

職員数

総数

69 名

内訳

センター長	1 名
事務長（法人事務局部長）	1 名
副センター長（訪問看護管理者兼務）	1 名
事務職員	1 名

●有料老人ホーム

看護師 11 名（訪問看護兼務）

介護職員 20 名

相談員 1 名

●デイサービス

看護師 2 名

介護職員 20 名

柔道整復師 2 名

●訪問看護

看護師 11 名

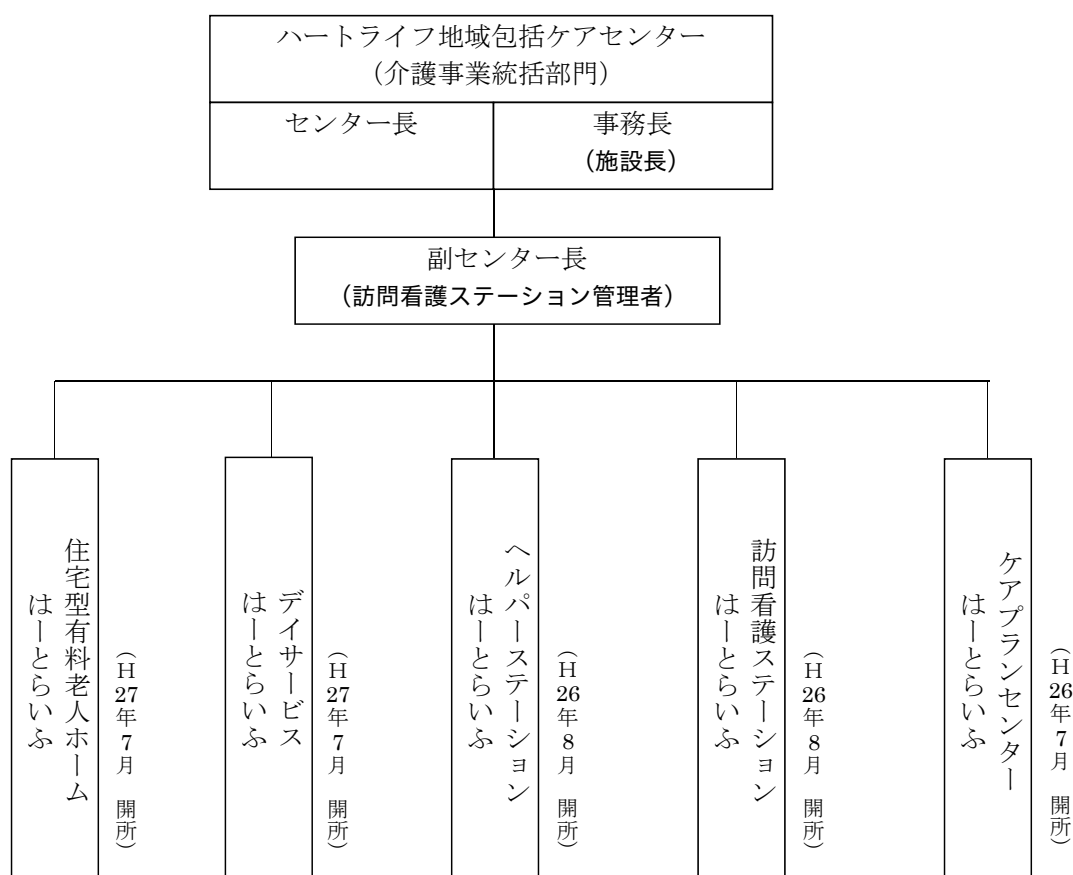
●訪問介護

介護職員 7 名

●ケアプランセンター

ケアマネージャー 4 名

組織図



平成 30 年度 利用者実績

住宅型有料老人ホーム はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規入居者数	2	6	4	6	4	5	2	4	5	3	4	5	50	4.2
短期入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
月末入居者数	74	79	81	84	87	89	85	83	85	86	86	88	1,007	83.9
退去者数	2	1	2	3	1	3	6	6	3	2	4	3	36	3.0
うち死亡者数	2 (1)	0	1 (1)	2 (0)	0	3 (2)	4 (3)	3 (0)	2 (0)	2 (1)	2 (2)	2 (0)	23(10)	1.9 (0.8)
看取者数	1	0	0	2	0	2	1	2	2	0	0	2	12	1.0
入院者数	127	150	166	228	238	213	217	125	144	171	197	124	2100	175.0
訪問診療利用者数	18	19	20	22	22	25	24	23	25	24	23	24	269	22.4
平均介護度	3.2	3.3	3.3	3.4	3.3	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.2	3.3	3.3

※死亡者数の () は入院先で亡くなった方。

デイサービス はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	2	5	4	5	3	3	2	3	5	3	4	5	44	3.7
利用実人数	73	77	77	84	84	87	79	82	83	84	81	88	979	81.6
利用延べ人数	1,282	1,410	1,395	1,410	1,491	1,323	1,400	1,383	1,378	1,295	999	1,468	16,234	1352.8
一日平均数	51.3	52.2	53.7	54.2	55.2	55.1	51.9	53.2	53.0	54.0	52.6	56.5	53.6	53.6
平均介護度	3.2	3.3	3.3	3.4	3.4	3.5	3.3	3.4	3.4	3.4	3.3	3.2	3.3	3.3

ヘルパーステーション はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	3	2	2	0	1	4	1	4	1	4	18	5	45	3.8
利用実人数	27	29	27	29	30	33	29	27	27	29	44	34	365	30.4
延べ人数	378	353	314	389	364	342	283	314	323	324	356	365	4,105	342.1
一日平均数	12.6	11.4	10.5	12.5	11.7	11.4	9.1	10.5	10.4	10.5	12.7	11.8	11.3	11.3
平均介護度	3.8	3.9	4.0	3.9	3.8	4.0	4.0	4.1	4.3	4.0	3.5	3.8	3.9	3.9

訪問看護ステーション はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	2	6	2	4	3	4	4	5	7	8	2	6	53	4.4
利用実人数	32	36	36	44	47	52	48	51	56	64	61	68	595	49.6
延べ人数	170	192	192	318	301	331	385	374	286	376	351	440	3,716	309.7
一日平均数	5.7	6.2	6.4	10.3	9.7	11.0	12.4	12.5	9.2	12.1	12.5	14.2	10.2	10.2
平均介護度	3.7	3.7	3.8	3.8	3.8	3.9	3.8	3.9	3.8	3.7	3.6	3.4	3.7	3.7

ケアプランセンター はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
新規利用	2	0	0	0	1	2	1	3	5	2	3	6	25	2.1
利用実人数	88	89	83	81	81	85	86	86	89	89	92	99	1048	87.3

はーとらいふ保育園 平成 30 年度 年次報告

Annual report of Heartlife area comprehensive care center 2018



理念

私たちは心と心を結ぶ親子の絆を深める保育を目指します。

保育方針

保育園の特質を生かし、家庭や地域と連携を取りながら乳幼児期に必要な
心身共にすこやかな成長を保育方針とします

保育目標

よくあそぶ子

好奇心豊かな子

表現豊かな子



年報発刊によせての挨拶



平成 30 年度は設立 2 年目、全園児数 21 名からスタートしました。3 月までに産休・育休明けの職員や入職職員の方をはじめ、今年度も沢山のご家族とのご縁がございました事に深く感謝申し上げます。

保育目標「よくあそぶ子」「好奇心豊かな子」「表現豊かな子」、今年度の保育計画・課題でした園庭・戸外環境づくりに力を入れました。低年齢児の発達に適した固定遊具が設置され、全身を使って何度も繰り返しあそぶ事の楽しさを知り、自発性を育むことに繋がっています。又、保育士職員の手で畑づくりから取り組み、保育士と子ども達が果物、野菜、花（オクラ・人参・きゅうり・スイカ・じゃがいも・トマト・なす・ひまわり・・・）の変化を楽しみ、観て触れて収穫する体験と実際に味わい食育の一環として、実際に切ってみよう・食べてみようという五感を使った保育の充実は子ども一人一人に好奇心と意欲へ繋げる事ができました。

園の行事の在り方として、子どもの成長を保護者と確認でき楽しむ機会としてとても大切です。しかし法人との兼ね合いやかりゆし会保護者の勤務調整を考慮した行事（入園式、修了式等）を念頭に保護者を招いた行事にとらわれず、日頃の保育が大事をモットーに園内で低年齢児に合わせたものと工夫致しました。当園の理念である「私たちは心と心を結ぶ親子の絆を深める保育」から懇談会や個人面談を通して、ご家庭保護者との連携を図る事を目的とし、0 歳児から 2 歳児に必要な成長の確認と個々への対応が定着してきました。

現在、全国的に待機児童対策の一環として保育園が多く設立されてきている事や、幼稚園が認定こども園へ移行する流れ等の影響もあり、保育士確保が難しい状況が多く聞かれます。当園では保育士専門性の向上（キャリアパス研修）と待遇面におきましても処遇改善への取組を行っています。安心してお子様をお預け頂けるように、子どもにとって保育士にとってよりよい環境を整えています。

『子どもたちの笑顔が、かりゆし会皆様の笑顔へ繋がります事を心より願っております。』

社会医療法人かりゆし会
はーとらいふ保育園
園長 宮城 和香子

施設概要

当園は、社会医療法人かりゆし会の職員のお子さまを対象に、お預かりする保育園（企業主導型保育事業）です。育児中のかりゆし会職員が「仕事と育児の両立と充実」を提供できるように平成 29 年 4 月より設立しました。

組織概要

施設名

はーとらいふ保育園

所在地

〒 901-2417 沖縄県中頭郡中城村字伊集 159 番地

連絡先

電話 098-987-6543

FAX 098-987-6544

管理者一覧

理事長 安 里 哲 好

園 長 宮 城 和香子

職員数

総数

職種別

園長 1 名

保育補助 1 名

保育士 9 名

事務主任（連携推進担当） 1 名

保育士配置基準	定員
0 歳児	9 名
1 歳児	13 名
2 歳児	7 名

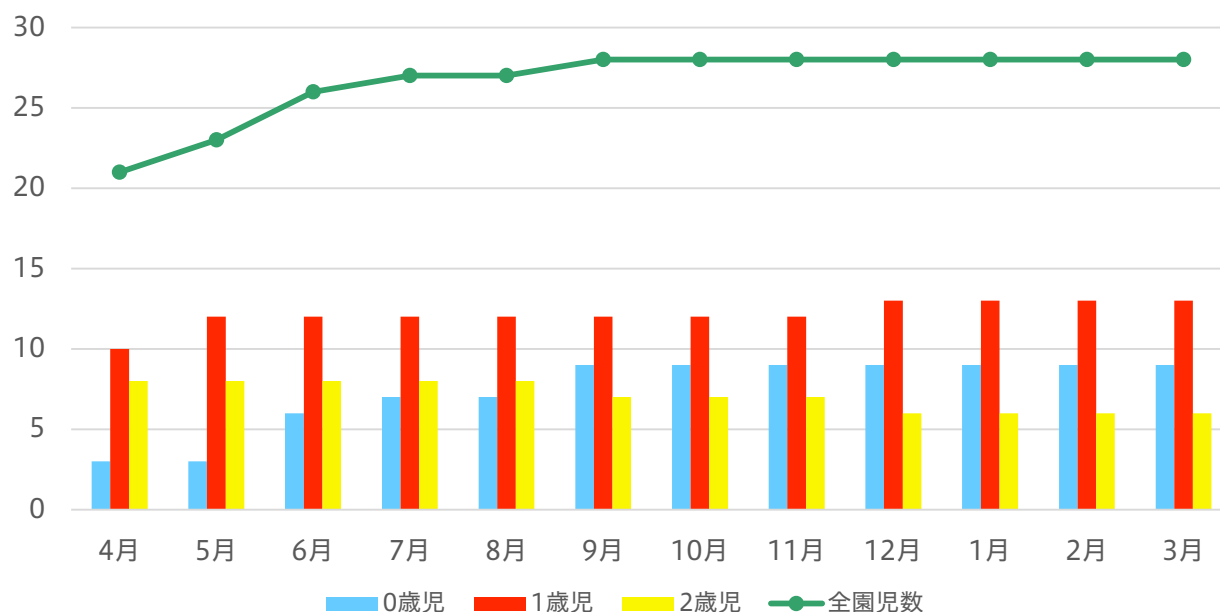
保育料金	
0 歳児	25,100 円
1・2 歳児	25,000 円

※兄弟割引：二人目（双子以上を含む）

延長保育
時間：18 時 15 分～19 時 14 分
※ 1 回あたり 200 円頂戴します

園児在籍数

※ 1 日付け



はーとらいふ保育園平成 30 年度行事・活動

4 月	入園式・懇談会
5 月	親子おさんぽ・歯科健診
6 月	内科健診
7 月	七夕・水あそび
8 月	ミニプール・総合避難訓練
9 月	敬老の日にちなんで
10 月	うんどうあそび
11 月	第2回 親子運動会・歯科・内科健診
12 月	クリスマス会・ハートライフ地域包括ケアセンター交流会
1 月	正月あそび
2 月	節分豆まき
3 月	ひな祭り

毎月行事 誕生会・避難訓練・個人面談

研修・勉強会実施報告

名称	日時	参加者
企業主導型保育施設長等研修会	平成 30 年 5 月 8 日・9 日・10 日	宮城和香子
サマースクール 2018	平成 30 年 8 月 3 日・4 日・5 日	池村理奈・金城麻紀
園内研修安全・事例を基に	平成 30 年 9 月 13 日	全員参加
心肺蘇生法講習	平成 30 年 9 月 22 日	砂川智美・金城麻紀
認可外保育施設職員研修	平成 30 年 11 月 3 日・4 日	嶺井春香・池村理奈
園内研修虐待防止	平成 30 年 11 月 10 日	全員参加
キャリアアップ	平成 30 年 11 月 24 日・25 日	金城麻紀・池村理奈・宮城奈々
子育て支援研修地域保育コース	平成 30 年 11 月 24 日・25 日 12 月 2 日・9 日・15 日・16 日 1 月 17 日・18 日	比嘉里玖

名称	日時	参加者
平成 30 年度保育安全研修会	平成 31 年 2 月 4 日	宮城和香子
福祉施設事業所への人材育成推進セミナー	平成 31 年 2 月 6 日	金城久乃

次年度の計画・方針

1. 保育時間

開園：7 時 15 分～18 時 14 分 延長保育：18 時 15 分～19 時 14 分

2. 園児定員数

0 歳児（9 名） 1 歳児（12 名） 2 歳児（9 名）

保育室基準に準ずる（総定員数 30 名）

3. 食育

植物食物からの体験保育

4. 絵本環境

月刊購読を取り入れ、読み聞かせの充実に努める

5. 企業主導型保育事業としての行事の在り方の見直し子どもの発達年齢を踏まえた行事の取組

6. 「共に子育て」をテーマに懇談会・個人面談の実施

保護者と「共に育ち合う」を目的とする

7. 小児 AED 設置

実践研修の実施

8. 保育士資質向上

処遇改善（キャリアパス研修）の推進

かりゆし会の 1 年

写真 かり 平成30年

平成30年4月2日

平成30年4月3日

平成30年4月23日

平成30年5月1日

平成30年5月20日

平成30年6月5日

平成30年6月6日

平成30年6月12日

平成30年6月15日

平成30年6月19日

平成30年7月3日

平成30年7月5日

平成30年7月20日

平成30年7月31日

平成29年8月3日

平成30年8月7日

平成30年8月8日

平成30年8月9日

平成30年8月15日

平成30年8月21日

平成30年8月22日

平成30年9月3日

平成30年9月7日

平成30年9月26日

平成30年9月28日

平成30年9月29日

平成30年10月3日

平成30年10月6日

平成30年10月10日

平成30年10月18日

平成30年10月19日

平成30年10月25日

平成30年10月26日

平成30年10月27日

平成30年10月29日

平成30年10月31日

平成30年度 入職式・新入職員オリエンテーション(1日目)

新入職者歓迎会

春季 職員健診(35歳未満:4/1~11、35歳以上:4/1~30)

新入職員オリエンテーション(2日目)

院内合同慰霊祭

医療機器勉強会

新入職員歓迎 沖縄本島縦断駅伝大会

平成29年度 科別実績報告会(1日目)

// (2日目)

平成30年度 事業計画説明会<役職者対象>

緩和ケア勉強会『『死にたい』と打ち明けられた時の接遇』 講師:心療内科 菅野 善一郎 先生

九州厚生局による適時調査

講演会「働く人から学ぶ」 講師:大久保 寛司 先生(人と経営研究所 所長)

講演会「頭痛のたね もとい ねた」 講師:林 裕之 先生(福井大学医学部附属病院 総合診療部長・教授)

クリニカルパス大会 特別講演「パスの電子化で変化する取り組み・変化しない取り組み ~パスを取り巻く環境~」

講師:河村 進 先生(四国がんセンター 特命副院長・病院情報管理部長・日本クリニカルパス管理委員会委員長)

Web講演会「認知症ケア加算を考える」 座長:鶴田 先生(潤和会記念病院 名誉院長)

産婦人科病棟増築記念 地域医療講演会「他科から紹介される産婦人科疾患」

講師:片淵 秀隆 先生(熊本大学大学院 産婦人科学教授)

職員交流 卓球大会(1日目)

職員交流 卓球大会(2日目)

職員交流 卓球大会(3日目)

院内感染対策講演会「標準予防策と手指衛生の5つのタイミング」 講師:普天間 光彦 先生

中部合同カンファレンス

ハートライフ病院 開院30周年

永年勤続者(10年及び20年及び30年)表彰

講演会「サイコカーディオロジーから見た循環器疾患とうつ病」

講師:西村 勝治 先生(東京女子医科大学医学部精神医学講座 主任教授)

糖尿病勉強会「糖尿病の病態と治療・Q&A」 講師:山本 壽一 ハートライフクリニック院長

講演会「安全な中心静脈カテーテル挿入のためのリカバリス」 講師:徳嶺 譲芳 先生(杏林大学医学部麻酔科教授)

セミナー「CVCカテ挿入のハンズオンセミナー」 講師:徳嶺 譲芳 先生(杏林大学医学部麻酔科教授)

講演会「見えるCKD診療 ~保存期CKDの実臨床~」 講師:土屋 健 先生(東京女子医科大学 血液浄化療法科教授)

講演会「“電気メス”を効率よく上手に使うには」 講師:渡邊 祐介 先生(手稲溪仁会病院 外科)

院内研究発表会 医療技術部予選会

ハートライフ病院30周年記念講演会及び記念祝賀会 (ラグナガーデンホテル)

講演会「文献の探し方、読み方、整理の仕方」 講師:上田 剛士 先生(洛和会丸太町病院 救急・総合診療科部長)

院内研究発表会 事務部予選会

院内研究発表会 看護部予選会

かりゆし会スポーツレクリエーション「部署交流ソフトバレーボール大会」 西原町民体育館

医療安全講演会「“医療安全” 安全意識の醸成に向けて」 講師:久場 良也 副院長・医療安全管理責任者

糖尿病勉強会「あなたもインスリンの達人に ミニレチャー」 講師:山本 壽一 ハートライフクリニック院長



入職式



慰霊祭



科別実績報告会



全島縦断駅伝



ハートライフ病院30周年記念講演会



ハートライフ病院30周年記念祝賀会



ソフトバレー大会



卓球大会

平成30年11月1日	講演会「病院機能評価受審に向けて」 講師:小松原 嘉哲 先生(日本医療機能評価機構 評価事業推進部支援課 係長)
平成30年11月2日	院内研究発表会 本選
平成30年11月6日	感染講習会
平成30年11月8日	感染講習会
平成30年11月15日	感染講習会
平成30年11月17日	講演会「働く人から学ぶ」 講師:大久保 寛司 先生(人と経営研究所 所長)
平成30年11月20日	ハートライフ病院30周年記念 健康まつり 医療監視(中部保健所による立入検査) 感染講習会
平成30年11月21日	「治療と仕事の両立支援セミナーとピアサポートの紹介」 講師:増田 昌人 先生(琉球大学医学部附属病院 がんセンター長)
平成30年11月22日	沖縄県医師会主催 医療従事者(20年勤続)表彰式・懇親会 (ダブルツリーbyヒルトン 那覇首里城)
平成30年11月26日	糖尿病勉強会「糖尿病療養指導 三位一体」 講師:山本 壽一 ハートライフクリニック院長
平成30年11月27日	感染講習会
平成30年11月28日	中部地区医師会主催 医療従事者(10年勤続)表彰式・懇親会 (日本ブライダルセンター)
平成30年11月29日	感染講習会
平成30年12月7日	講演会「電子カルテデータによる診療支援」 講師:岩淵 勝好 先生(山形市立病院 呼吸器内科医長)
平成30年12月12日	感染講習会
平成30年12月14日	病院機能評価に向けた模擬サーベイ 講演会「老いと ぼけ の世界と看取り」 講師:村瀬 孝生 先生(宅老所よりあい 代表)
平成30年12月18日	感染講習会
平成30年12月28日	御用納め 納会
平成31年1月4日	仕事始め
平成31年1月7日	かりゆし会成人式
平成31年1月11日	新春もちつき大会
平成31年1月16日	病院機能評価に向けたSRL模擬サーベイ(1日目)
平成31年1月17日	病院機能評価に向けたSRL模擬サーベイ(2日目)
平成31年1月22日	感染対策講演会「起因菌を狙い打て! 感染症診療の基本的考え方」 講師:成田 雅 先生(沖縄県立中部病院 感染症内科)
平成31年1月23日	倫理講演会「立ち止まる倫理のすゝめ Part 1」 講師:金城 隆展 先生(琉球大学医学部附属病院 地域医療部 臨床心理士)
平成31年1月29日	講演会「岡山県南西部地域における医療・看護連携」 講師:黒瀬 正子 先生(倉敷中央病院 副院長)
平成31年2月1日	講演会「運動器エコーのすゝめ」 講師:皆川 洋至 先生 城東整形外科診療部長
平成31年2月2日	医療セミナー「運動器エコーのすゝめ ＊医師対象」 講師:皆川 洋至 先生 城東整形外科診療部長
平成31年2月6日	倫理講演会「立ち止まる倫理のすゝめ Part 2」 講師:金城 隆展 先生(琉球大学医学部附属病院 地域医療部 臨床心理士)
平成31年2月8日	報告会「認定看護師報告会」
平成31年2月19日	整形外科セミナー「がん時代の整形外科に求められる意識改革 ～がん口コモを考える～」 講師:河野 博隆 先生(帝京大学医学部附属病院 整形外科主任教授)
平成31年2月20日	血液内科セミナー「多発性骨髄腫に対する免疫学的アプローチ」 講師:荻原 蔭太郎 先生(東京女子医科大学 血液内科講師)
平成31年2月22日	糖尿病セミナー「実臨床における糖尿病治療のトリセツ ～未来を護るベスト・チョイス～」 講師:野見山 崇 先生(福岡大学医学部 内分泌・糖尿病内科 准教授)
平成31年2月25日	役職者研修「幸せを呼ぶおもてなし講座」 講師:亀川 智子 先生(JAL・JTAセル・販売部グループ 長・客室乗務員)
平成31年2月26日	医療安全講演会「医療事故調査の実際」 講師:南須原 康行 先生(北海道大学病院医療安全管理部部長・教授)
平成31年3月6日	平成30年度 火災避難訓練
平成31年3月11日	病院機能評価 訪問審査(1日目)
平成31年3月12日	病院機能評価 訪問審査(2日目)
平成31年3月20日	「卒後臨床研修終了式」 「卒後臨床研修修了パーティ」 エリスリーナ西原ヒルズガーデン
平成31年3月26日	平成30年度 災害対策訓練(災害時浄水器の運転訓練・化学防護服の着用訓練・トリアージメントの設営訓練)
平成31年3月27日	講演会「私にとっての医療」 講師:久留宮 隆 先生(国境なき医師団)
平成31年3月29日	講演会「熊本地震、その時 阿蘇は!」 講師:甲斐 豊 先生(阿蘇医療センター院長)



院内研究発表会



ハートライフ病院30周年記念健康まつり



餅つき大会



納会



火災訓練



ラピッド型ドクターカー納車



卒後臨床研修終了式



奥島 憲彦 前院長退任(現名誉院長)

第25回 院内研究発表会

ハートライフ病院30周年これからの展望 ～選ばれる病院を目指して～

去る11月2日(金)に「第25回院内研究発表会」が行われ、各部門から予選を勝ち抜いた計12題で本選が行われました。

3時間弱の発表、質疑が行われ見事入賞を果たした参加者は以下の通りです。

1位



1位 薬局 大関 佐奈

「持参薬の取り扱いについての調査」

2位



2位 臨床工学科 仲松 晋也

「臨床工学科によるローコストオペレーション (LCO) への挑戦」

3位



3位 ICU 池根 悠太

「ICUスタッフにおける災害発生に対する意識・知識向上に向けて
～啓蒙活動を通し災害発生時対応能力の向上を図る～」



かりゆし会 平成 30 年度 永年勤続者

長年にわたり地域の健康のために尽くし
当法人の発展に寄与してきた 52 名の職員を紹介します。

30年勤続者



かりゆし会理事長

安里 哲好

地域から必要とされる病院であるために常に成長が求められた 30 年でした。様々な困難がありましたが、ここまでこれたのは職員の皆様の支えがあってこそだと感じています。ありがとうございました。



総務課

後原 保光

30 年間、多くの職員のご指導を賜りありがとうございました。残された期間、微力ながら貢献できるよう努力していきたいと思いをします。



外来

新垣 薫

心の温かな上司やスタッフに支えられ 30 年勤務できたことに感謝の気持ちで一杯です。笑顔と親切な心で患者様を支援していきます。



管財課 用度係

新川 進

ずいぶんと長い時を此処で過ごしてきました。沢山の出会い、同じ数だけサヨナラも……。皆様の日々の暮らし健やかでありますように。



経営企画室

栗盛 信子

ハートライフ病院の発展とともに過ごした 30 年間！誇りに思います。そしてこれまで支えて頂いた方々に感謝！有難うございました。



予防医学センター

佐藤 さとみ

家族、同僚の皆さん、上司の方々の支えあってこそと心より感謝申し上げます。今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



医療技術部

宮城 竜也

30 年勤務を迎え感じることはあっという間の 30 年でした。その間色々なことがあり今となっては全てが良い思い出です。これまで支えてくれた関係各位、地域の皆様そして職員の方々に感謝申し上げます。

20年勤続者



臨床検査科
安里 奈美

勤続年数 20 年という実感はあまりありませんが、これからも検査科で頑張りますので、よろしくお願い致します。



放射線科
新垣 弘扇

放射線科、他部署スタッフの支えや協力があり仕事と子育ての両立、学会や認定取得のスキルアップもできました。今後は後輩の協力をしていきたいです。



内視鏡センター
大城 敦



透析室
呉屋 清美

これまで頑張ってきたのは素晴らしい上司や同僚、家族に恵まれたおかげだと感謝しています、これからも努力を重ねていきます。



放射線科
津波 麻利子

ハートライフ病院に勤めてあっという間の 20 年でした。笑顔で親切をモットーにこれからも仕事に精進していきたいと思います。



かりゆし会 人事課
照屋 尚美

職場仲間、家族の支え・協力があって 20 年勤続が出来て感謝の気持ちでいっぱいです。今後も宜しくお願い致します。



外来
仲田 ひろ子

あっという間の 20 年でしたが、沢山の事を学びたくさんの出会いがありとても充実した年月でした。これからも頑張りたいと思います。



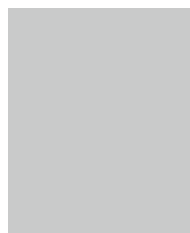
看護部
比嘉 成子

今まで沢山の方々から指導を受け、色々な事を学ぶことができました。常に患者さんの立場になって考え、これからもハートライフ病院の職員として頑張っていきます。



かりゆし会 事務部
比嘉 康文

これまでの 20 年間、同僚・上司・関連部署の方々に支えられて勤務して参りました。職員各位、ハートライフ病院に感謝です。



予防医学センター
前田 千代子

20 年あっという間。周りの支えがあって今の私がいます。若い人たちとの仕事は楽しく、毎日職場でパワーをもらっています。元気の源は今の職場です。



管財課 用度係
諸見里 和也

20 年色々学ばせて頂き、そして支えて下さった皆様に感謝します。これからも微力ながら患者さまの為に勤めて参りたいと思います。



5 階病棟
与那城 友子

10年勤続者



予防医学センター
安次富 道代

健診後の保健指導が主業務です。指導を受けた受診者が心身ともに健康的な生活を送るための支援ができるよう今後も頑張ります。



外来
安谷屋 佳子

「光陰矢のごとし」外来一筋であったという間の 10 年。辛い時期、悲しいとき支えてくれた仲間。私自身を成長させてくれたハートライフ。感謝を忘れず邁進していきたいと思っています。



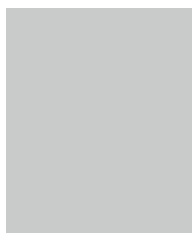
透析室
伊保 和加子

体調管理に気をつけながらこれからも頑張っていきたいと思っています。



外来
大滝 正美

一度退職した後、復帰を希望した理由は職員の人柄でした。それから 10 年私の思いは裏切っていません。皆さんに支えられて今日までできました。これからも「笑顔で親切に」の目標に向かって患者さんのために質の高い看護を提供していきたいと思っています。



東館 4・5 階病棟
小野 朋子

入職したとき 10 歳だった息子が今年 20 歳を迎えるまでアットという間で、気付くとハートライフで 10 年も働いていることに気付きました。



診療情報管理室 病歴
兼濱 亜紀

色々な事を学び人としても大きく成長した 10 年でした。これからも一層努力して参りますので変わらぬご指導ご鞭撻をお願い致します。



血液内科
狩俣 かおり



外科
国吉 史雄



外来
小橋川 春子

再就職から早 10 年。親子ほどの年齢差のスタッフと楽しく仕事をしています。今年で定年を迎えますが、再雇用で又頑張らせていただきます。



医師事務作業補助係
崎原 利奈

素晴らしい上司や仲間を支えられ、ここまで頑張ることができました。これからも頑張りますので、宜しくお願い致します



3 階病棟
新里 優子

10 年もあるから“ベテラン”ではなく、いつも 1 年目のつもりで初心忘れるべからずでいたいと思います。



産婦人科
武田 理



薬局
田中 泉

皆様のおかげで、10 年という期間があっという間に過ぎました。これからはがんばりたいと思いますのでよろしくお願い致します。



東館 I C U 病棟
玉木 紀光

永年勤続にて表彰していただき、ありがとうございます。身に余る栄誉であるだけではなく、10 年を振り返る良い機会になりました。



医師事務作業補助係
仲座 彩

この 10 年を迎えることが出来たのも皆様のおかげだと心より感謝しています。これからも初心を忘れず頑張ります。



医師事務作業補助係
仲松 泉

周りの皆様に支えられ 10 年勤めることができました。今後も精進して参りますので宜しくお願い致します



ハートライフクリニック 訓練室
長嶺 敦司

「笑顔で親切」の言葉にほれ込んで 10 年。かりゆし会に関わる皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。今後ともよろしくお願い致します。



医師事務作業補助係
仲村 優子

10 年努めさせていただき感謝しています。勉強になることが多かったです。これからも頑張っていきたいと思います。



医師事務作業補助係
比嘉 綾那

ハートライフ病院に入職し 10 年経ちました。まわりの方々に支えられてもらい、感謝しています。これからも頑張ります。



循環器内科
比嘉 章子



東館 2 階病棟
外間 幸代

ハートライフ病院に入職し 10 年経ちました。まわりの方々に支えられてもらい、感謝しています。これからも頑張ります。



医師事務作業補助係
前泊 あずさ

10 年あっという間にすぎました。これからも、1 日 1 日大切に頑張りたいと思います。



4 階病棟
新地 博美

永年勤務表彰をいただけたのも、医院長はじめ看護部長、師長、病棟職員の協力と家族の支えのおかげです。ありがとうございました。



救急科
三戸 正人



7 階病棟
宮城 久美子

あっという間に 10 年が経過したんだなと感じました。職場環境の良さ、協力してくれる方々のお陰で毎日が充実しています。



東館 2 階病棟
宮里 伸也

ハートライフ病院で勤務し 10 年の間、たくさんの事を経験し学ぶことができました。ありがとうございます。



6 階病棟
屋嘉比 あかね

10 年間も続けられたのは、この仕事が好きだという以外に周りの職員が支えてくれたからだと思います。これからは私が支える側になれるよう頑張っていきたいです。



予防医学センター
山内 敦子

多くの人に助けられ、支えられて勤務することができた 10 年でした。これからは予防分野で貢献できるよう頑張りたいです。



東館 2 階病棟
山城 敏裕

これからも、健康に気をつけて頑張りたい。

看護部 **泉 淑子**

6 階病棟 **大宮 那保**

住宅型有料老人ホームはーとらいふ **丸山 友望**

医師事務作業補助係 **瑞慶覧 律子**

編集後記

今年度も職員の皆さんの一年間の頑張りが一杯つまった年報が完成しました。定期的に集まり準備をしてくださった年報委員の皆様に心より感謝申し上げます。年報を読むとハートライフ病院が年々診療内容において充実してきていること、医療の質がレベルアップしていることを感じます。これもひとえに職員の一人ひとりが毎日の診療の現場で患者さんに対して全力投球している積み重ねだと思います。職員の皆様に心よりお礼申し上げます。

10年後も地域の中核病院として輝ける体制づくりが始まっています。次年度も皆でスクラムを組んで頑張しましょう。

年報作成委員会委員長 嘉川 春生

データ収集にご協力頂いた、各部署の皆様ありがとうございました。

年報作成委員会の皆様お疲れ様でした。

◇年報作成委員会◇

委員長	嘉 川 春 生（泌尿器科部長）
委 員	菅 野 善一郎（心療内科副部長）
	仲 地 ますみ（看護副部長）
	仲 座 義 富（医療技術部副部長）
	安 里 竜（事務部副部長）
	斎 藤 辰 好（臨床検査科技師長）
	石 新 紘 也（ハートライフ地域包括ケアセンター係長）
	新 垣 優 子（ヘルシーカフェ ohana 主任）
	大 城 真 澄（メディカルクラーク主任）
	知 念 政 治（経営企画室広報係主任）
	内 間 善 一（総務課）
	田 河 美智子（診療情報管理室）
	仲 松 泉（メディカルクラーク）
	宮 城 映 子（総務課図書係）
企画調整・編集	仲 田 尚 正（経営企画室広報係）

ハートライフ病院 30 周年記念特別号
社会医療法人かりゆし会 年報
第 25 巻 平成 30 年度年報 令和元年 8 月

編集発行人 社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
年報作成委員会

〒 901-2492 沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地
電話 . (098) 895-3255 (代) FAX. (098) 895-2534
URL. <https://www.heartlife.or.jp/>